

松戸市教育振興基本計画策定のための
市民アンケート調査
報告書

令和7年12月

松戸市教育委員会

目次

I	調査の概要	4
1	調査目的	5
2	調査概要	5
3	回収結果	5
4	報告書の見方	5
5	報告書を見る際の留意点	6
II	調査の結果	7
1	回答者の属性	8
F 1	性別	8
F 2	年齢	8
F 3	同居の子供有無	9
F 4-1	子供の年齢	10
F 5	世帯構成	11
F 6	職業	12
F 7	居住地区	13
2	生涯学習について	14
(1)	生涯学習活動の経験有無	14
(2)	活動している、したことがある生涯学習の内容	17
(3)	活動している、していた目的	32
(4)	活動をやめた、または活動したことがない理由	35
(5)	今後やってみたい学習活動	39
(6)	学習活動で得た知識や技術を活かしたいこと	43
(7)	市が力を入れるべきこと	47
(8)	知っている、自慢したい松戸市の文化遺産	52
3	松戸市の教育について	60
(9)	松戸市の子供たちに望む姿	60
(10)	子供たちの成長において問題だと思うこと	64
(11)	子供たちが身につける力や態度と学ぶべき場所	67
(12)	家庭が取り組むべき事柄	69
(13)	地域が取り組むべき事柄	72
4	学校での教育や指導について	77
(14)	学校に期待する教育や指導	77
(15)	言語活用科について	82
(16)	言語活用科に期待すること	85
(17)	I C T (情報通信技術) 教育について	88

(18)	I C T (情報通信技術) 教育に期待すること.....	90
(19)	参加したことのある学校・地域等の行事や活動.....	93
(20)	参加してみたい学校・地域等の行事や活動.....	96
(21)	学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由.....	99
5	子供について(保護者調査のみの項目)	102
(22)	子供の能力や態度の程度	102
(23)	日頃家庭で心がけていること	106
(24)	学校活動への参加、教師への協力への意思.....	109
6	設問間クロス集計	111
(1)	現在行っている学習活動(または行ったことのある活動)とその理由.....	111
(2)	生涯学習活動別 活動経験の有無と今後の活動意向(年代別)	113
(3)	今後やってみたい学習活動と活かしたいこと.....	121
(4)	学習活動の経験有無別 市が力を入れるべきこと.....	123
(5)	参加経験のある学校や地域等の行事・活動と家庭で力を入れるべき取り組み.....	125
(6)	参加経験のある学校や地域等の行事・活動と地域で力を入れるべき取り組み.....	127
(7)	参加経験のある学校や地域等の行事・活動と学校に期待する教育や指導.....	129
(8)	言語活用科の認知別 言語活用科に期待すること.....	131
(9)	I C T (情報通信技術) 教育の認知別 I C T (情報通信技術) 教育に期待すること....	132
(10)	学校活動の参加・教師への協力意思別 松戸の子供に期待する姿(保護者調査のみ)	133
(11)	学校活動の参加・教師への協力意思別 家庭で力を入れるべき取り組み(保護者調査のみ)	133
(12)	学校活動の参加・教師への協力意思別 地域で力を入れるべき取り組み(保護者調査のみ)	134
(13)	学校活動の参加・教師への協力意思別 学校に期待する教育や指導(保護者調査のみ) ..	135
(14)	学校活動の参加・教師への協力意思別 行事や活動に参加できない理由(保護者調査のみ)	136
(15)	学校活動の参加・教師への協力意思別 子供の能力・態度の習得度(問24×問22)	137
(16)	学校活動の参加・教師への協力意思別 日頃から心がけていること(保護者調査のみ) ..	138
7	自由記述	139
(1)	生涯学習について	139
(2)	言語活用科・英語教育について.....	141
(3)	I C T 教育について	142
(4)	道徳教育・人権教育について	144
(5)	特別支援教育・多文化共生について.....	145
(6)	体験活動・課外活動について	146
(7)	部活動について	148
(8)	いじめ・不登校について	149
(9)	通学について	150

(10) 家庭教育について	152
(11) 地域での教育について	153
(12) 学校施設について	154
(13) 教職員について	155
(14) 学校教育全般について	158
(15) 情報発信について	161
(16) 教育施策全般について	163
(17) 幼稚園・保育所・放課後児童クラブ・児童館などについて.....	167
(18) 公園・その他公共施設について.....	170
(19) アンケートについて	172
(20) その他	173
Ⅲ 調査票	174

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「(仮) 学びの松戸モデル (松戸市教育振興基本計画・第1期)」を策定するため、教育全般についての市民の課題意識について調査を行い、市民がどのような教育を望んでいるのか探るとともに、数値化・指標化し、必要なデータを取得することを目的とする。

2 調査概要

- ① 調査対象者： 松戸市に居住する 18 歳以上の男女個人 (以下「市民調査」)
1,500 人
松戸市に居住する 18 歳以上の男女個人で子供の保護者 (以下「保護者調査」)
1,500 人
- ② 抽出方法： 松戸市住民基本台帳のデータから層化無作為抽出
- ③ 調査方法： 郵送法 (郵送配付—郵送回収) ※はがきによる再依頼を 1 回実施
- ④ 調査期間： 令和 7 年 8 月 1 日 (金) ~ 9 月 1 日 (月)

3 回収結果

調査	標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
市民調査	1,500	581	38.7
保護者調査	1,500	700	46.7

4 報告書の見方

- ① 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入している。従って、数量の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- ② 回答率 (%) は、その質問の回答者数をもとに算出した。従って、複数回答の設問はすべての回答率を合計すると 100.0% を超えることがある。
- ③ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問の回答数である。

5 報告書を見る際の留意点

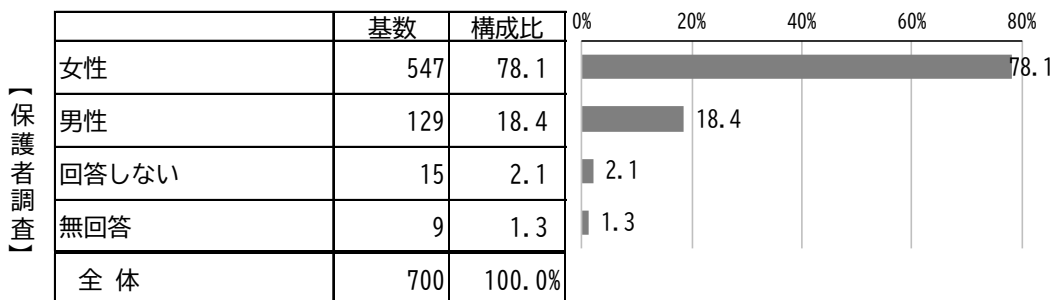
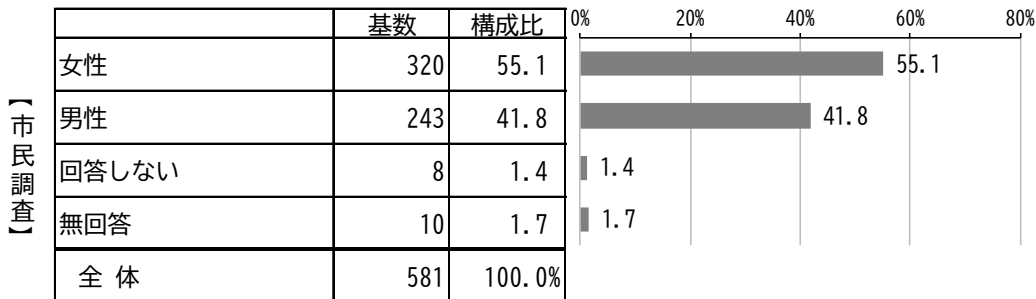
- ・調査の属性構成が、「市民調査」では高齢者に、「保護者調査」では女性に（子供のことについて回答を求めているため）比重がおかれる傾向にある。
- ・「保護者調査」では、子供がいる保護者に回答を求めたため、回答者の年齢が25～60歳に集まっている。一方で、「市民調査」では60歳を超えた回答者も含まれるため、年代別の集計表において、「市民調査」と「保護者調査」の年齢区分が異なっている（下の表を参照）。

市民調査の年齢区分	保護者調査の年齢区分
10-20代	18-34歳
30代	35-39歳
40代	40-44歳
50代	45-49歳
60代	50歳以上
70代	
80代以上	

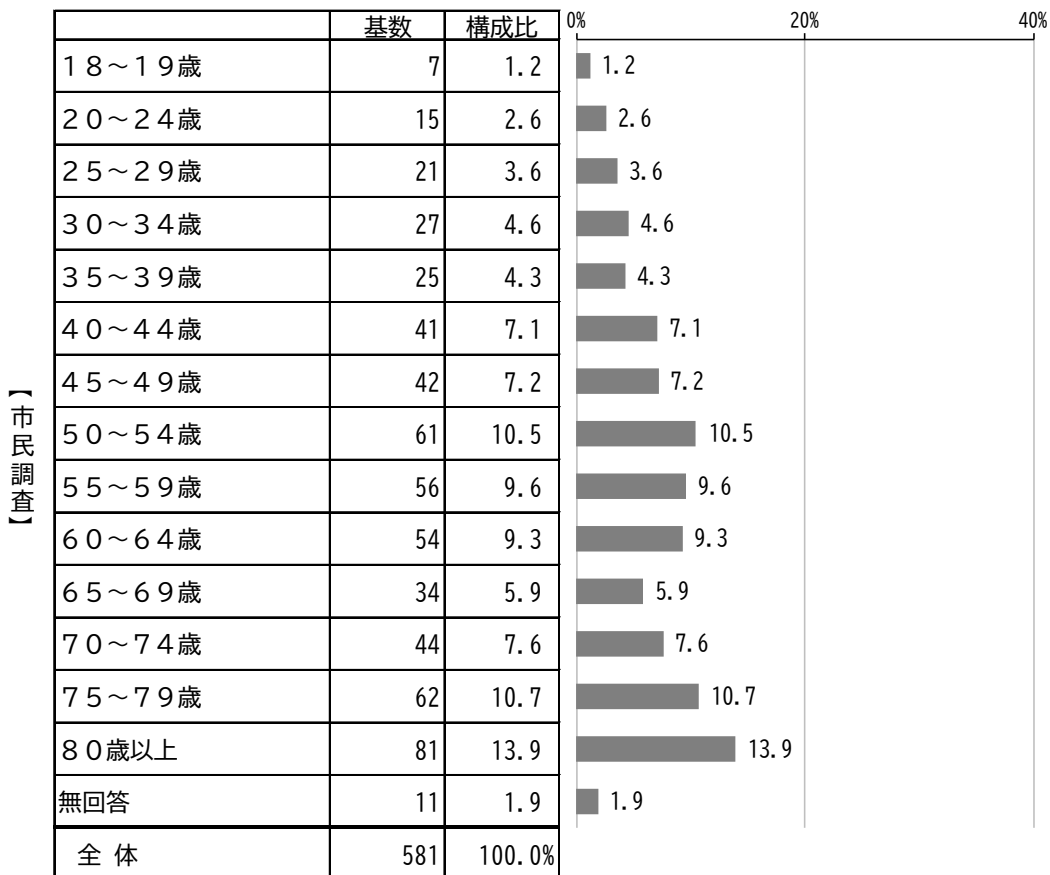
II 調査の結果

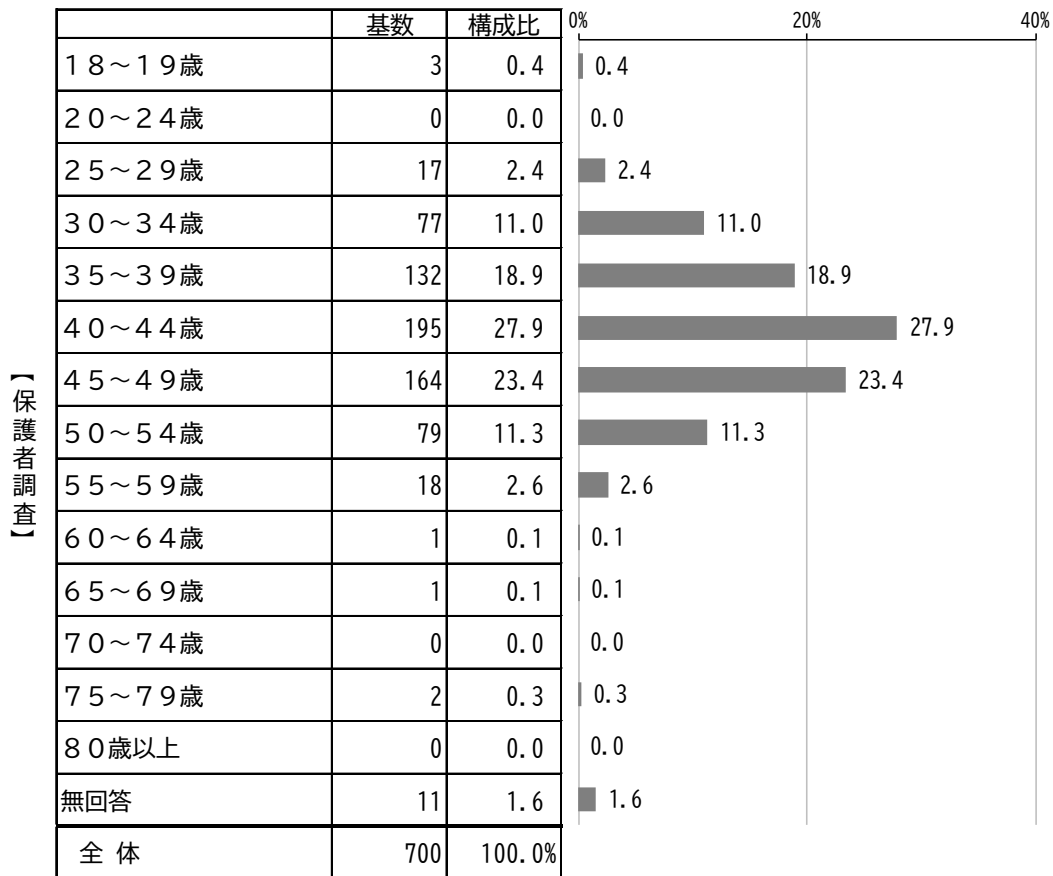
1 回答者の属性

F1 性別

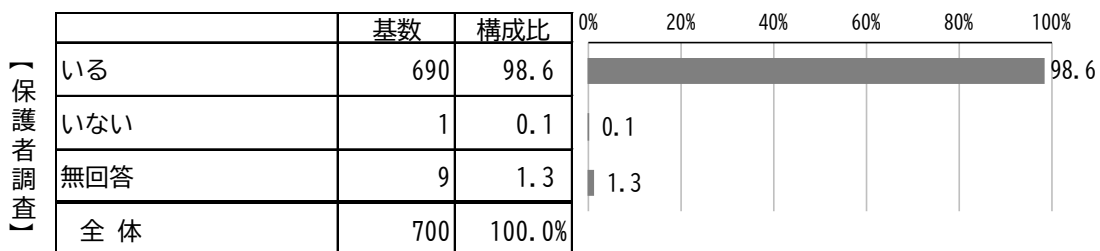
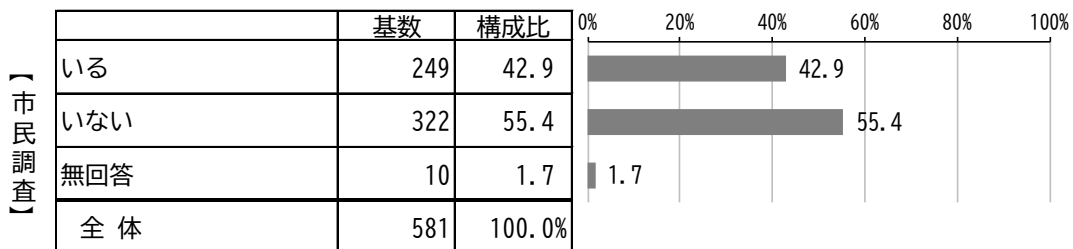


F2 年齢

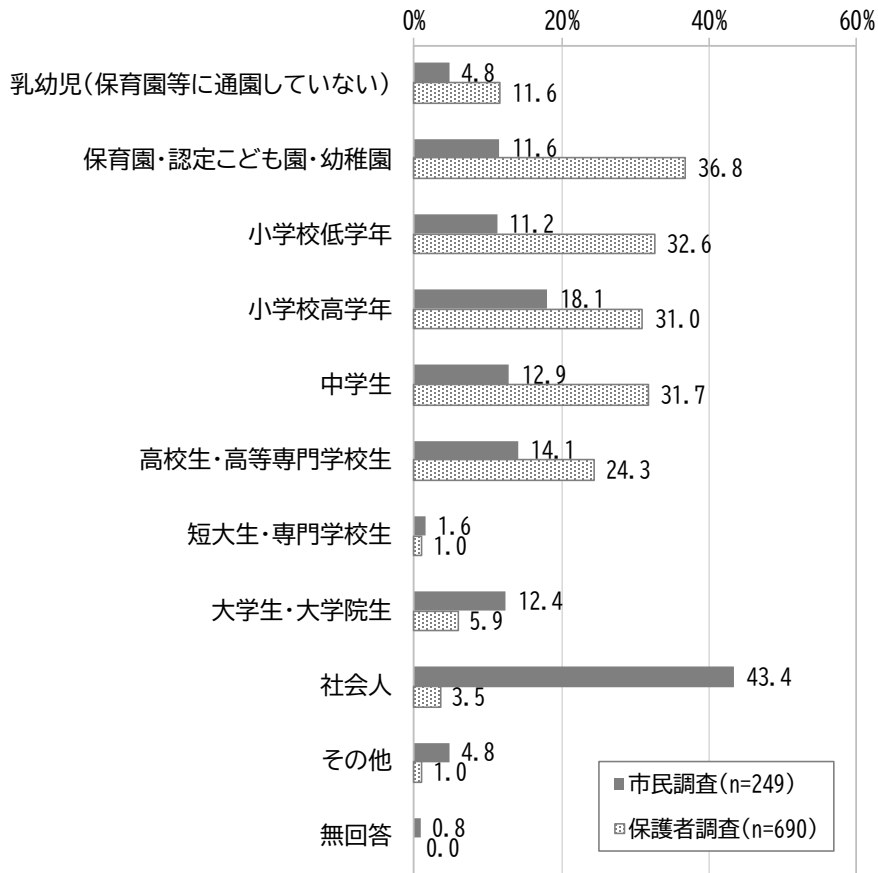




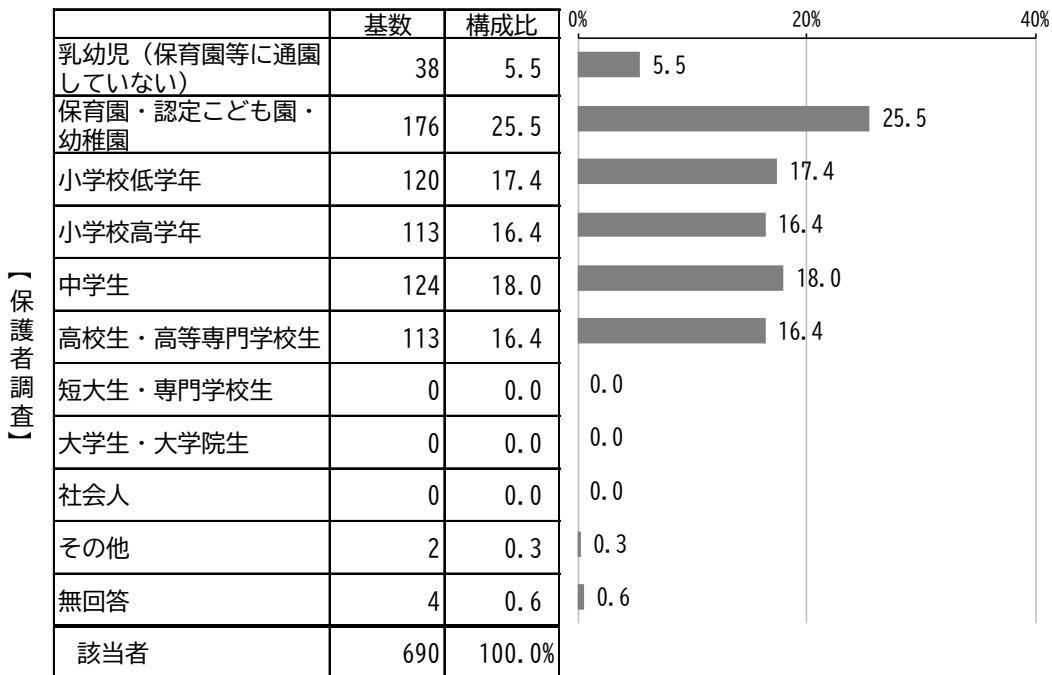
F3 同居の子供有無



F 4-1 子供の年齢

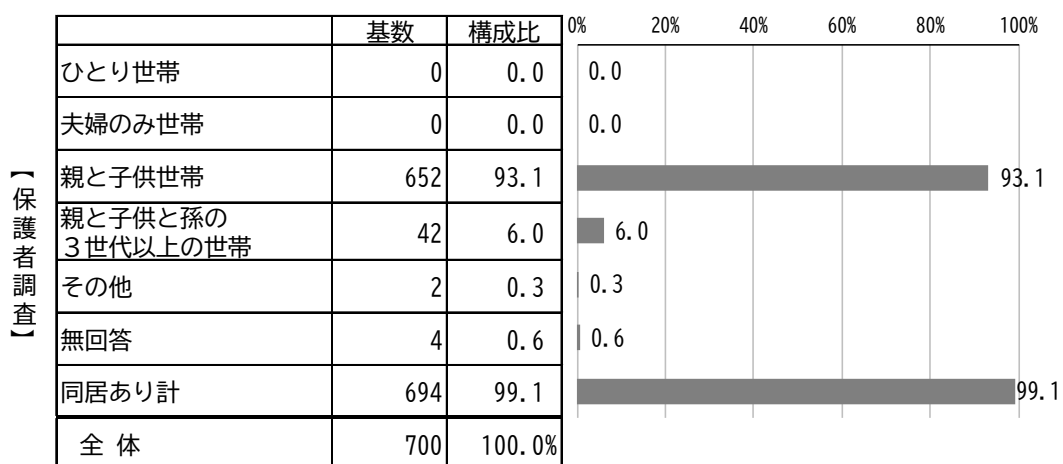
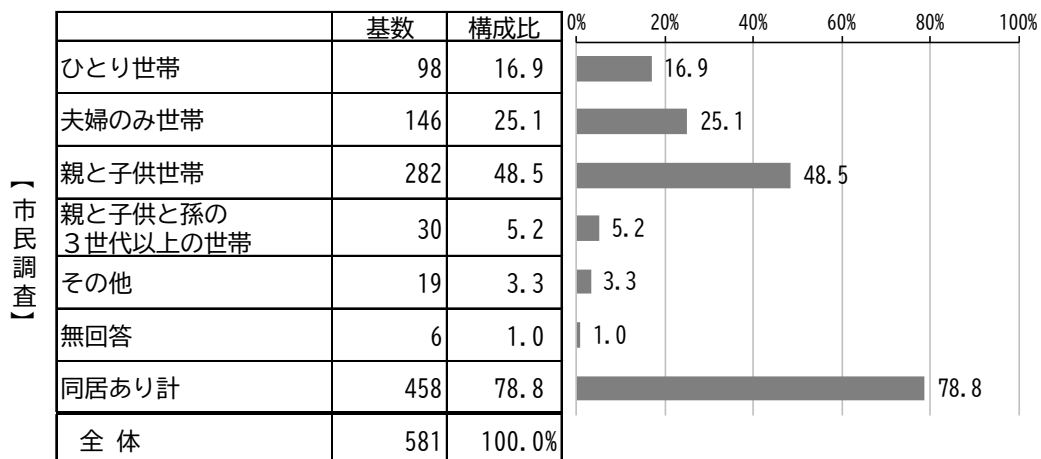


F 4-2 宛名の子供の年齢

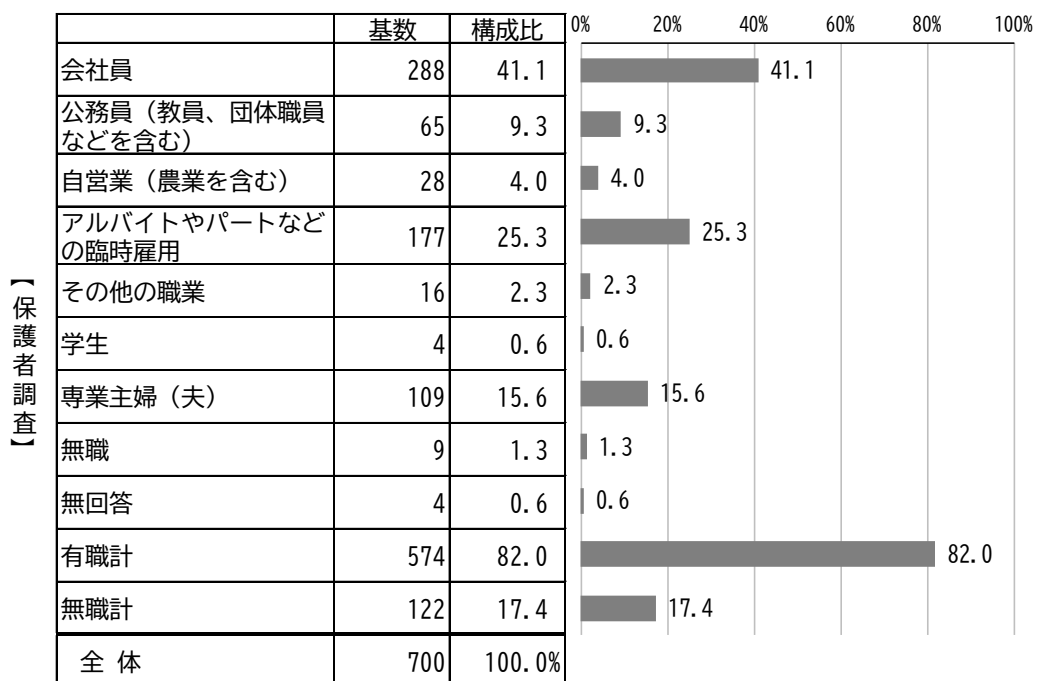
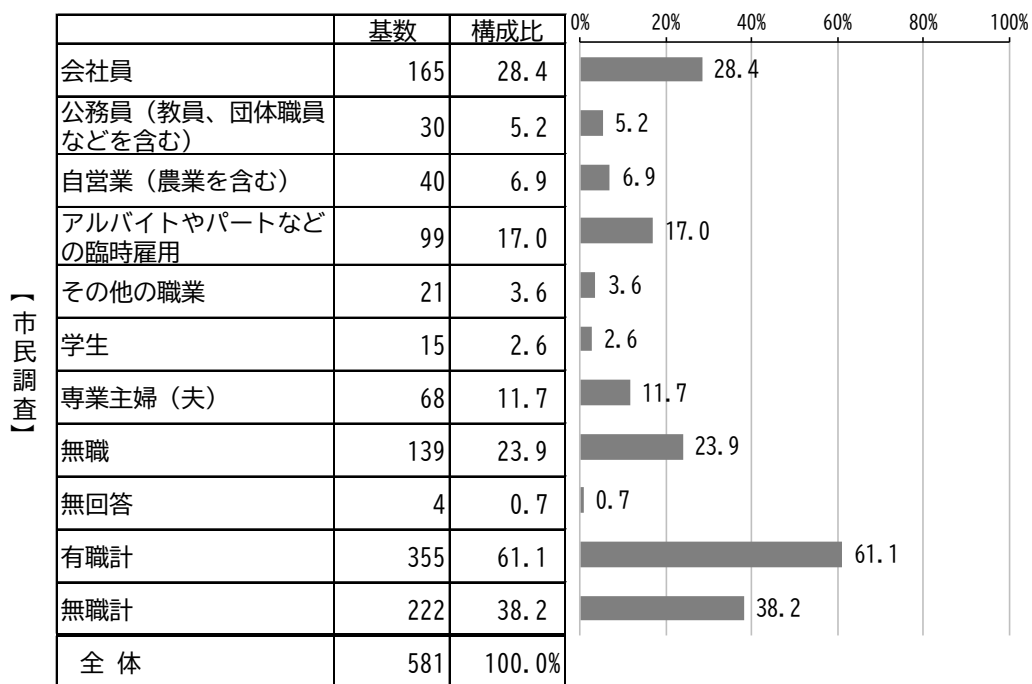


【保護者調査】

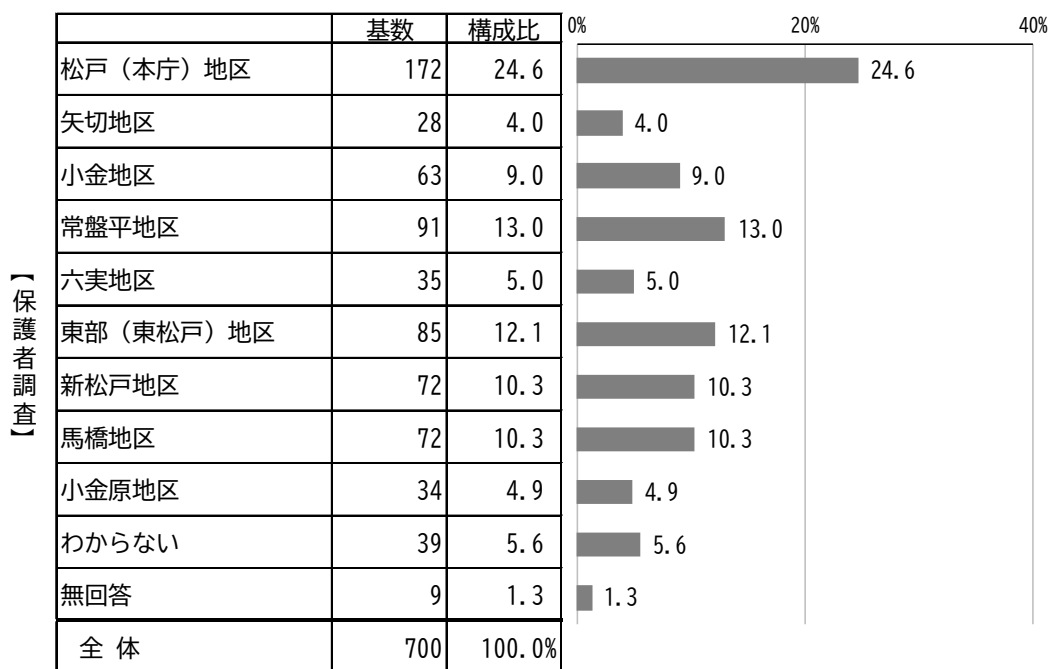
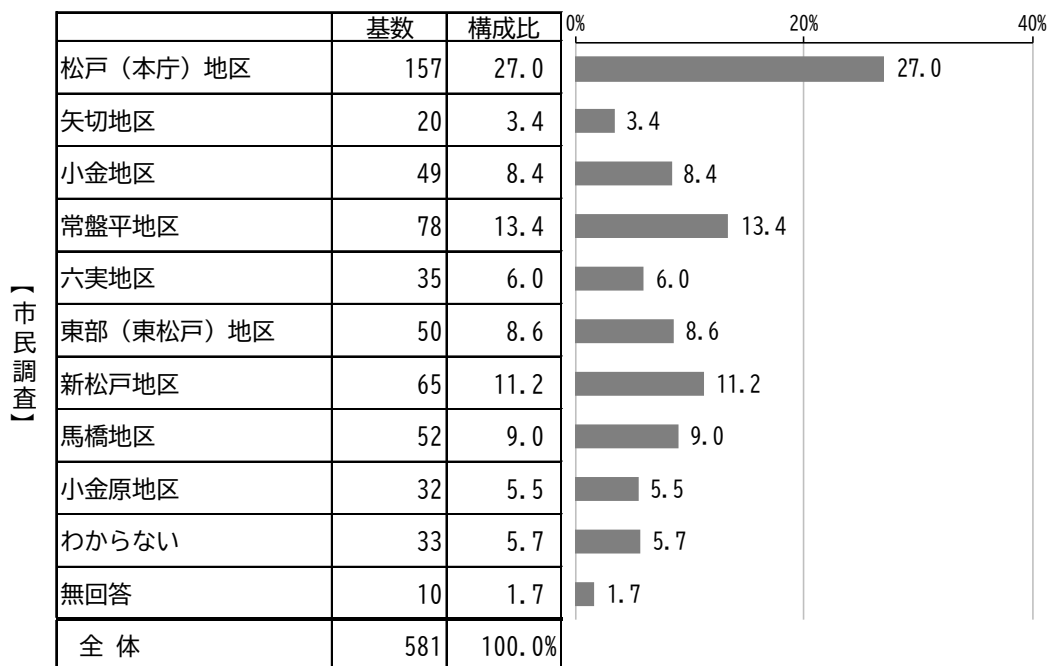
F 5 世帯構成



F 6 職業



F 7 居住地区



2 生涯学習について

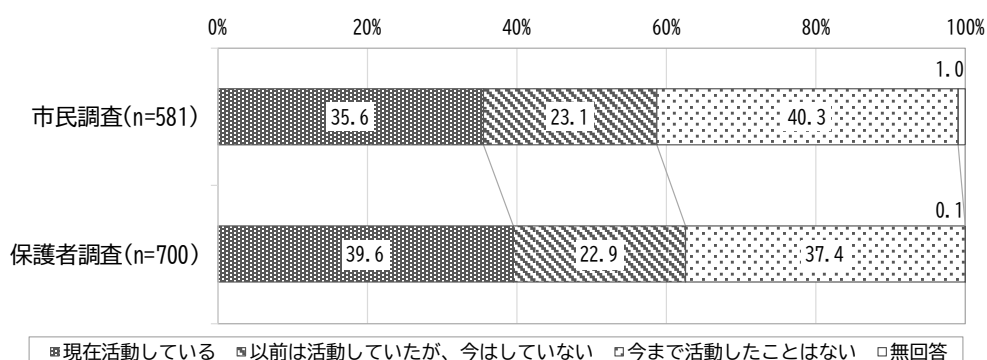
(1) 生涯学習活動の経験有無

「市民調査」「保護者調査」とも「現在活動している」が、30%超となっている。「以前は活動していたが、今はしていない」も加えると、生涯学習活動を経験したことがあると回答した回答者は、市民調査の58.7%に対し、保護者調査では62.5%となるなど、保護者調査のほうが3.8ポイント高くなっている。

※「生涯学習」とは、人々が生涯に行うあらゆる学習（学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など）を、さまざまな場や機会において行う学習のことを指します。

問1 現在、あなたは生涯学習に関して自主的に活動していますか。または以前に活動していましたか。
(あてはまる番号1つに○)

図表 2-1 生涯学習活動の経験有無

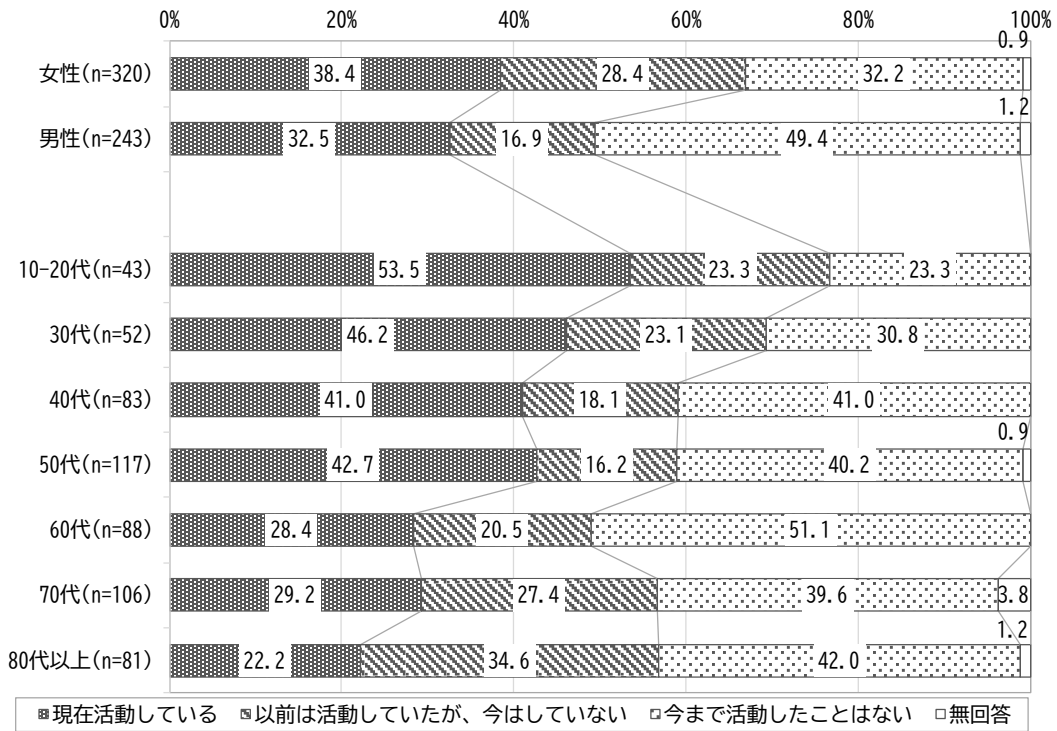


【生涯学習活動の経験有無×性別・年代】

● 市民調査

「現在活動している」と「以前は活動していたが、今はしていない」は女性で 66.8%と、男性の 49.4%と比べて 17.4 ポイント高い。年代では 10-20 代で 76.8%と最も高い。年齢が高くなるにつれて減少し、60 代で 48.9%と最も低くなるが、70 代になると 56.6%になるなど、再び上昇する。

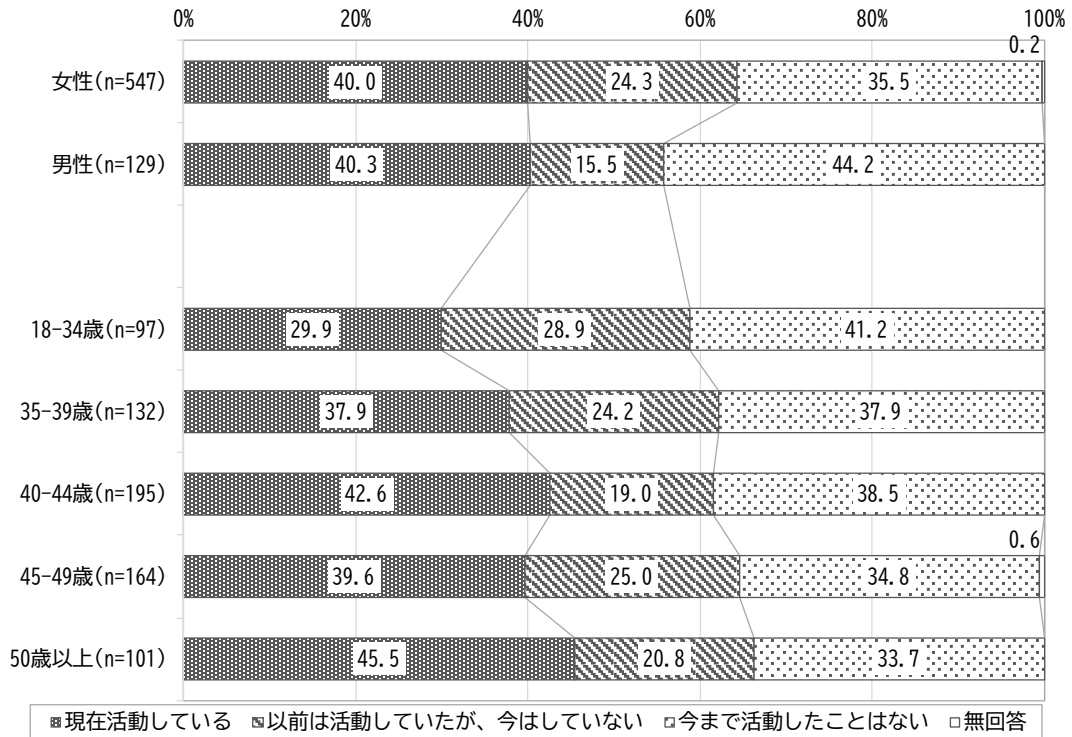
図表 2-2 生涯学習活動の経験有無（性・年代別）



● 保護者調査

「現在活動している」と「以前は活動していたが、今はしていない」は女性で64.3%と、男性の55.8%と比べて8.5ポイント高い。年代で顕著な差はないが、「現在活動している」のみを見ると、18-34歳が29.9%と最も低くなっている。反対に、最も高いのは50歳以上で、45.5%となっている。

図表 2-3 生涯学習活動の経験有無（性・年代別）

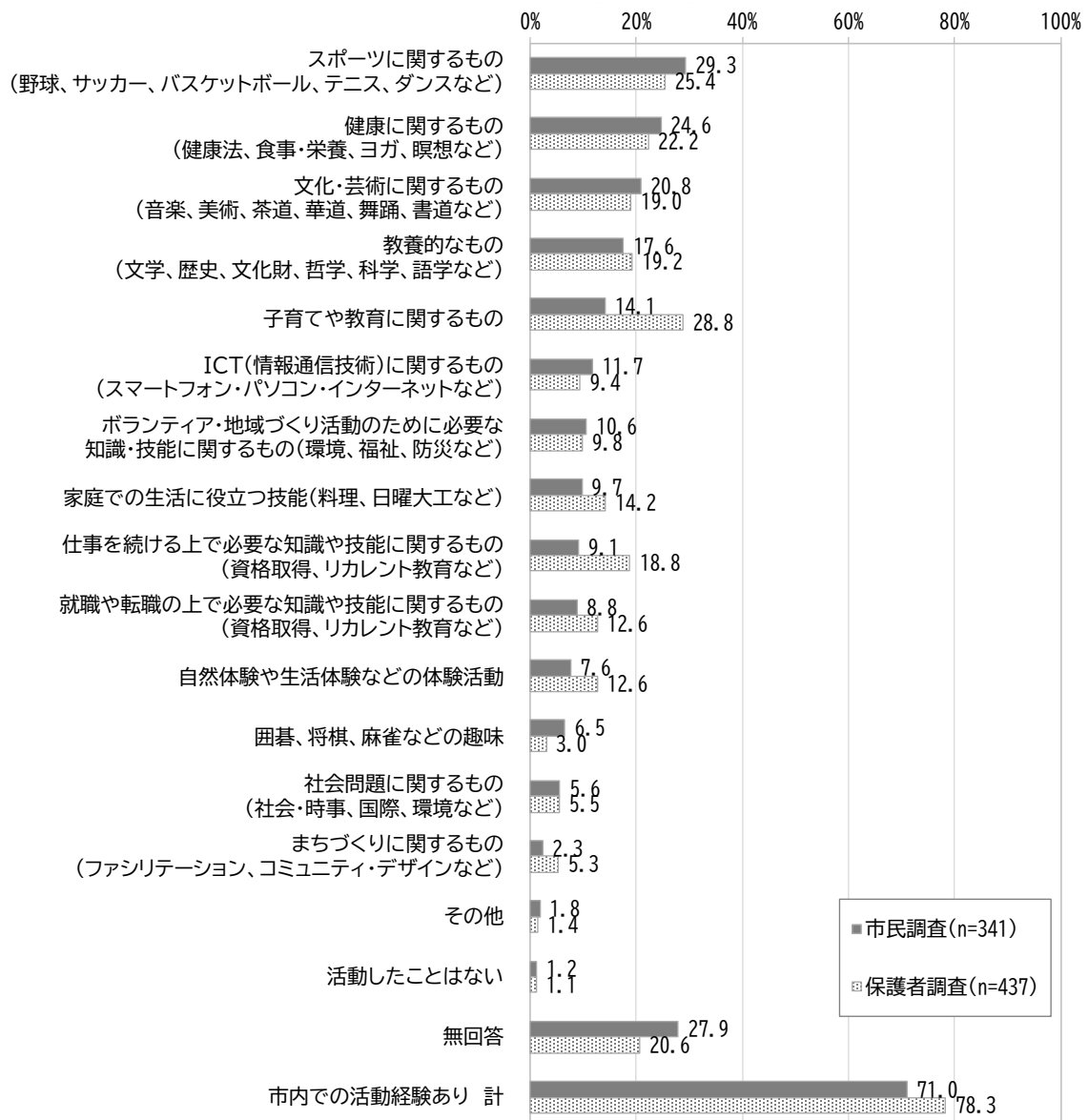


(2) 活動している、したことがある生涯学習の内容

「現在活動している」と「以前活動していた」を選択した回答者に、現在行っている（または行ったことがある）「松戸市内での生涯学習活動内容」についてたずねたところ、市民調査では「スポーツに関するもの」が 29.3%と最も高かった。保護者調査では「子育てや教育に関するもの」が最も高く、28.8%となっている。

問2 あなたが現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動について、市内・市外別にお答えください。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

図表 2-4 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（市内）

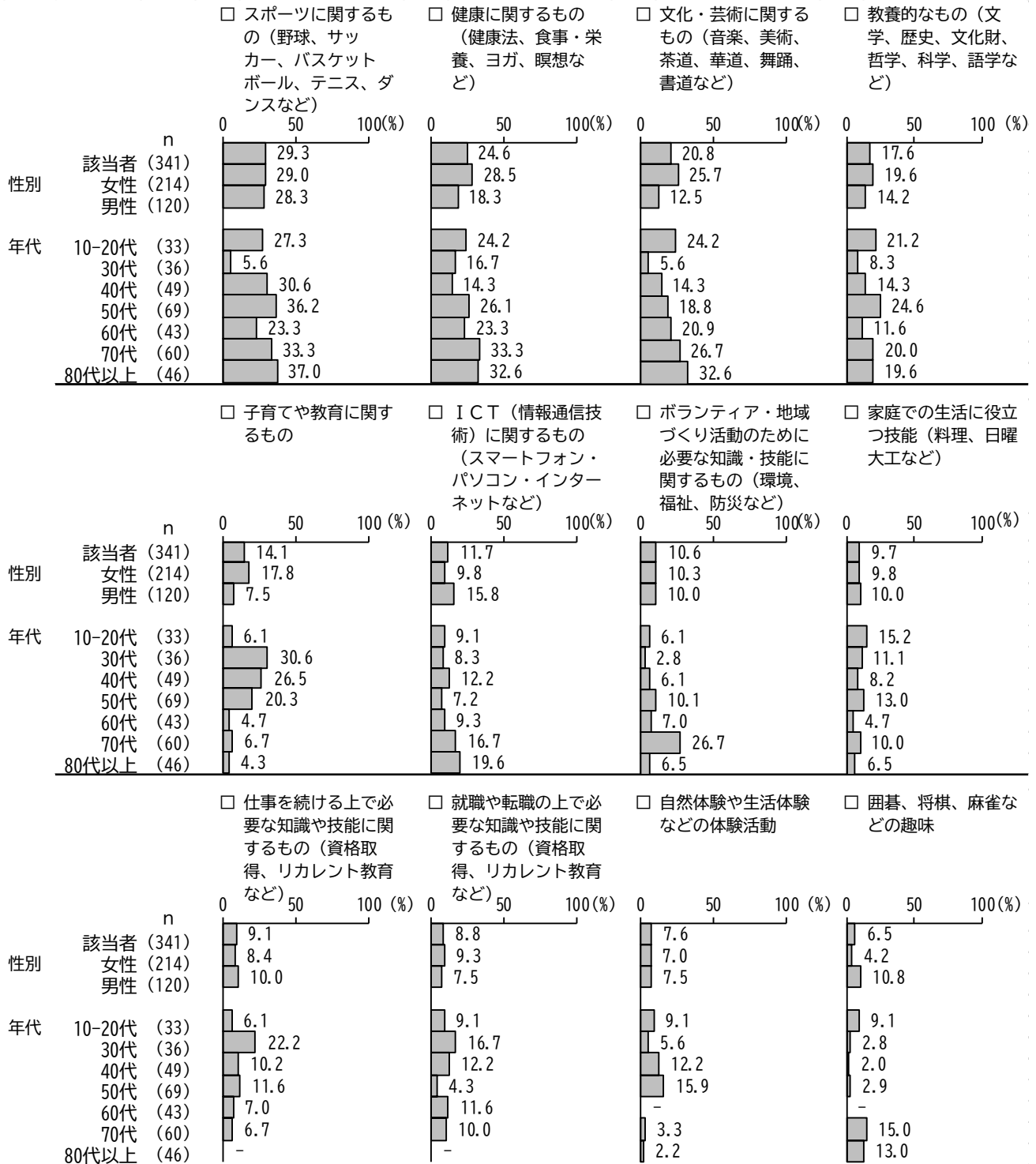


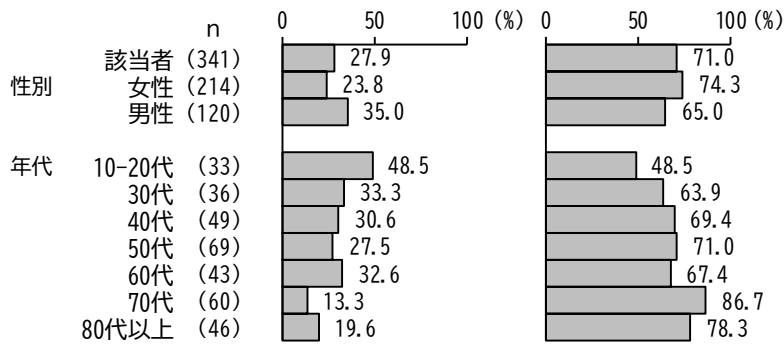
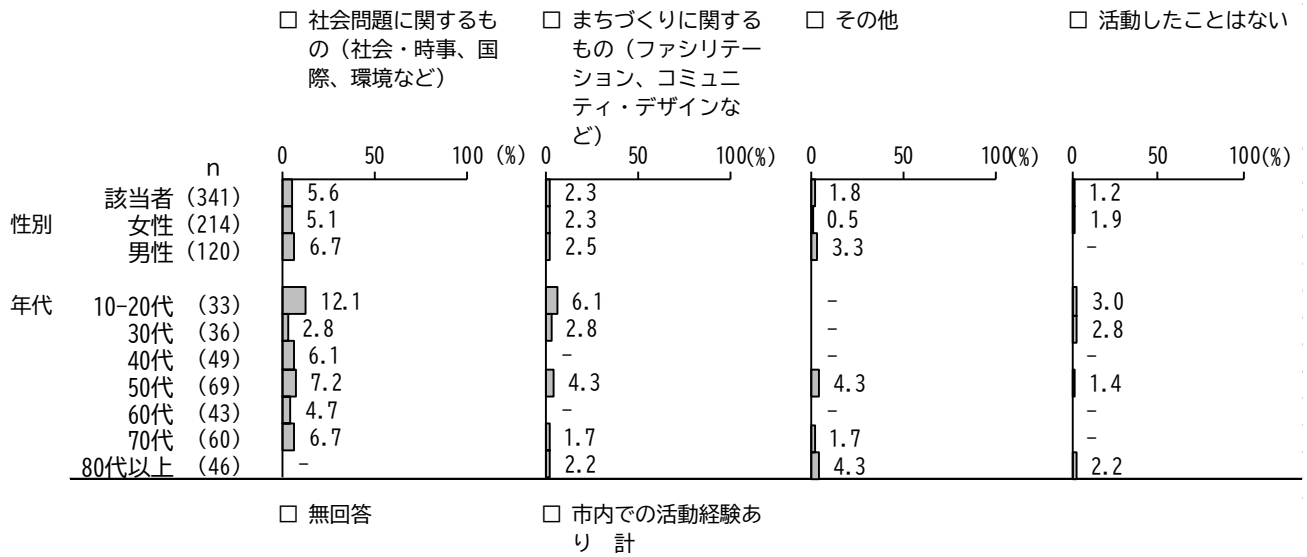
【市内で活動×性別・年代】

● 市民調査

「市内での活動経験あり計」でみたところ、女性（74.3%）が男性（65.0%）より9.3ポイント高かった。また、年齢が高くなるほど、参加率は高い傾向にある。

図表 2-5 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市内）

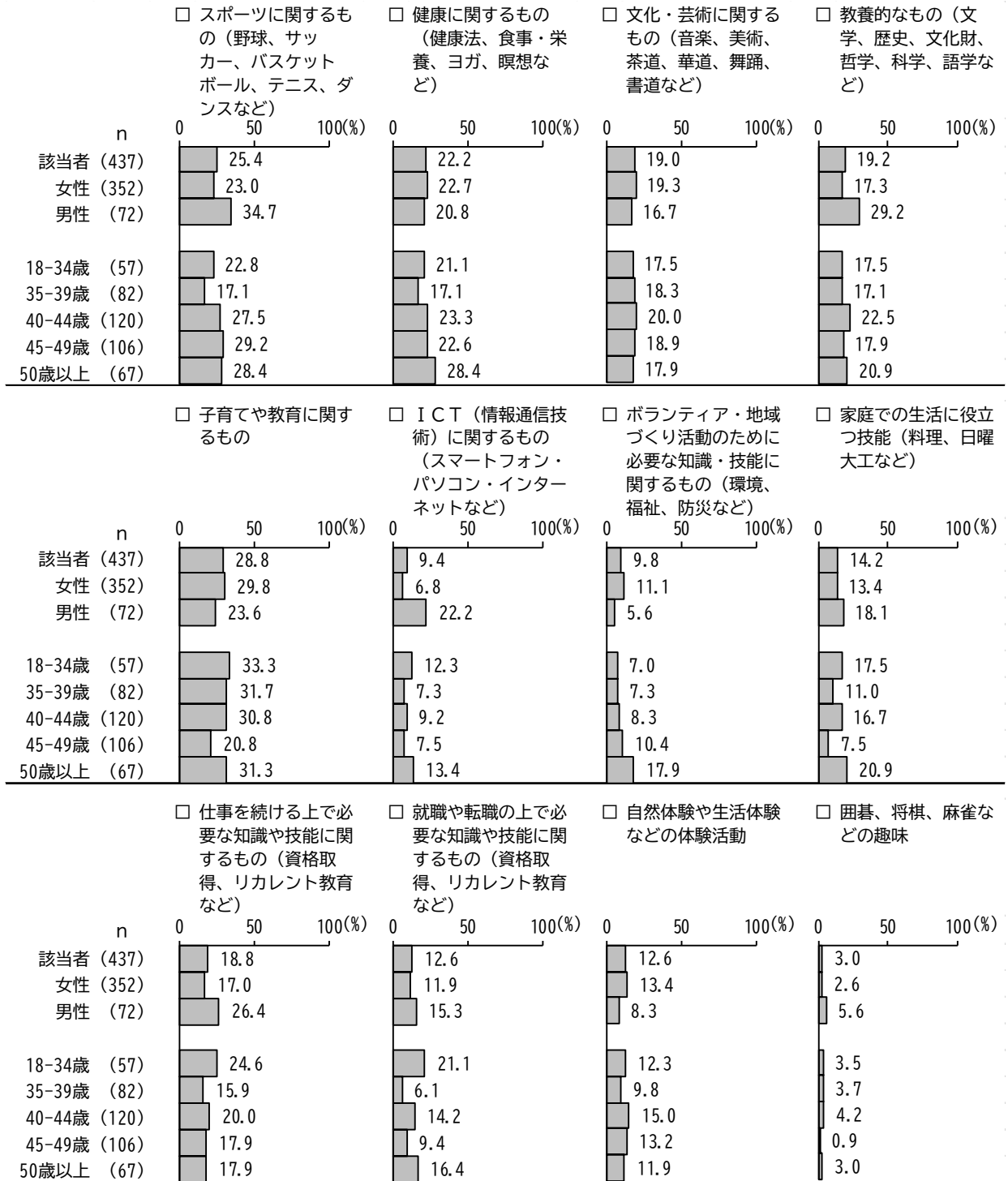


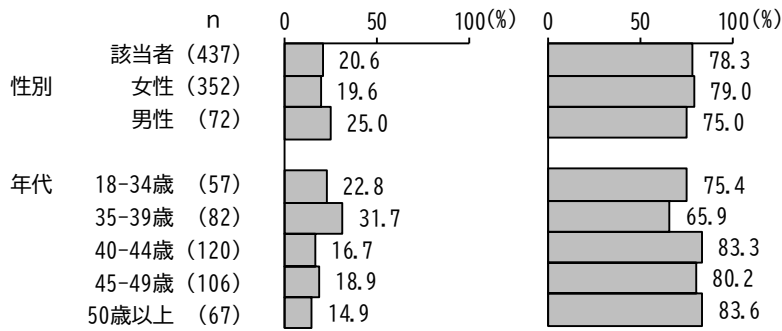
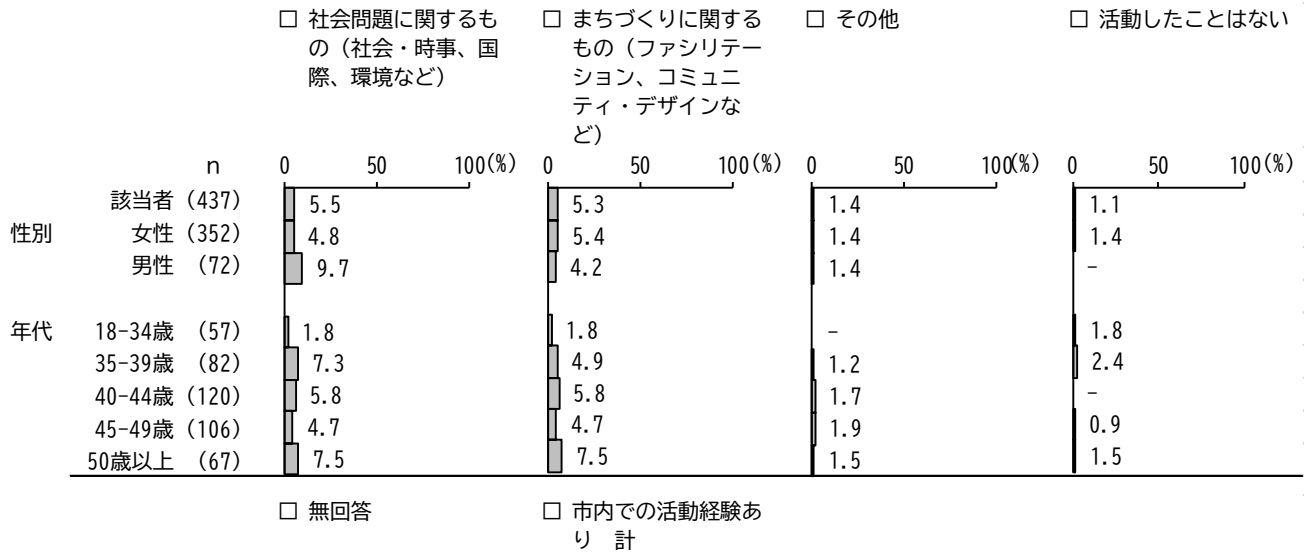


● 保護者調査

「市内での活動経験あり計」で見たところ、女性（79.0%）が男性（75.0%）より4ポイント高かった。年代別では、35-39歳の参加率が低い傾向にある。

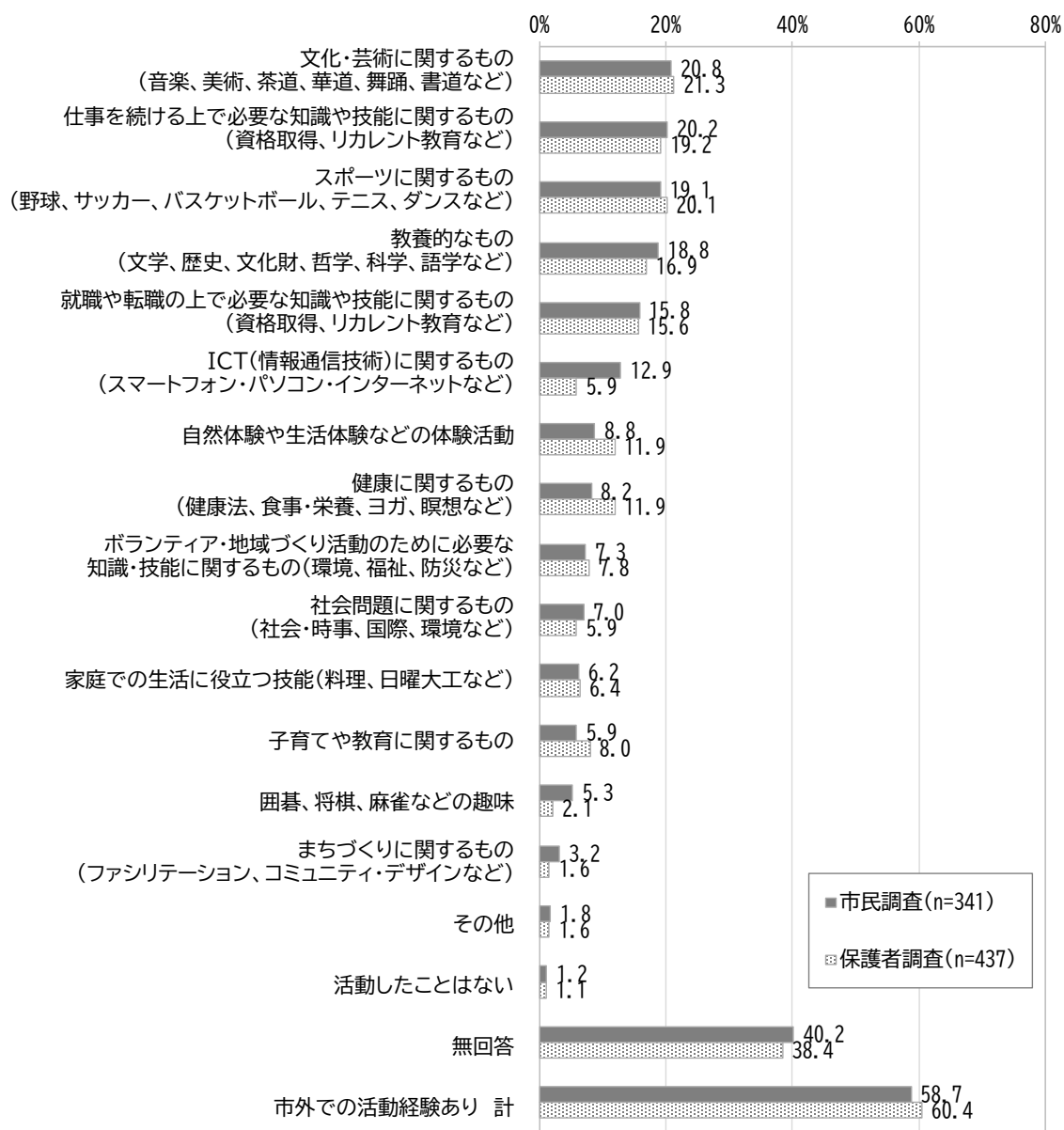
図表 2-6 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市内）





「現在活動している」と「以前活動していた」を選択した回答者に、現在行っている（または行ったことがある）「松戸市外での生涯学習活動内容」についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「文化・芸術に関するもの」がそれぞれ20.8%、21.3%と最も高くなっている。

図表 2-7 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（市外）

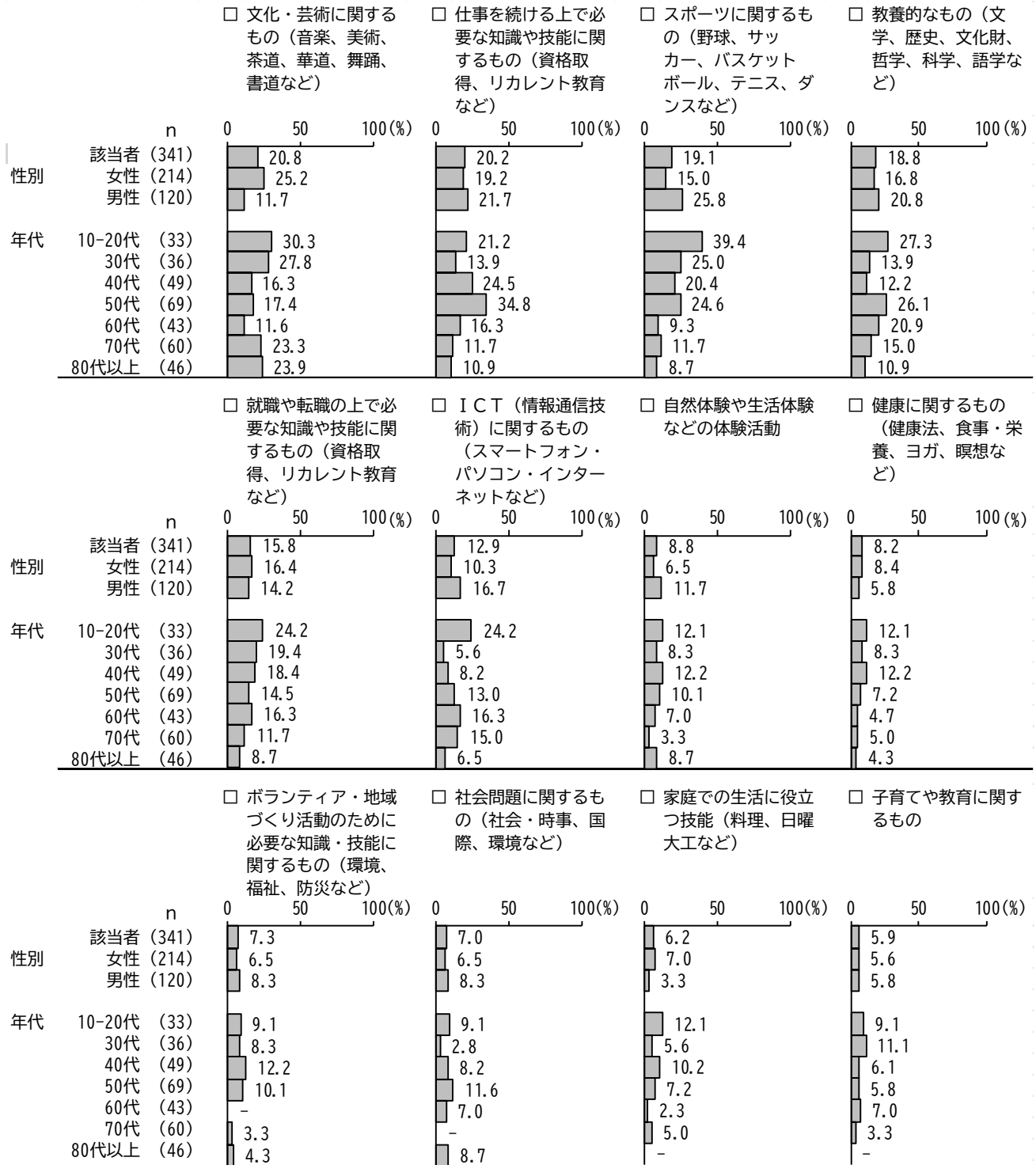


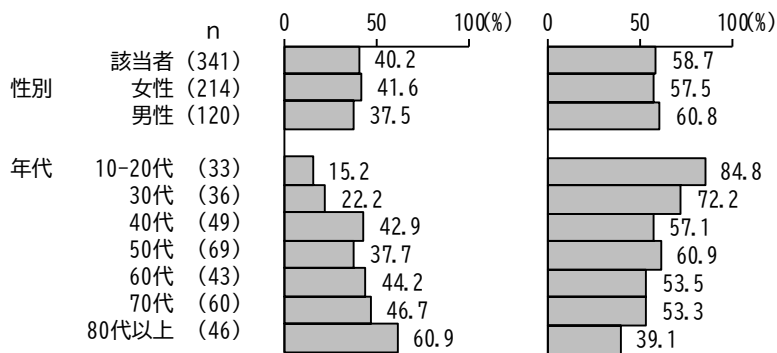
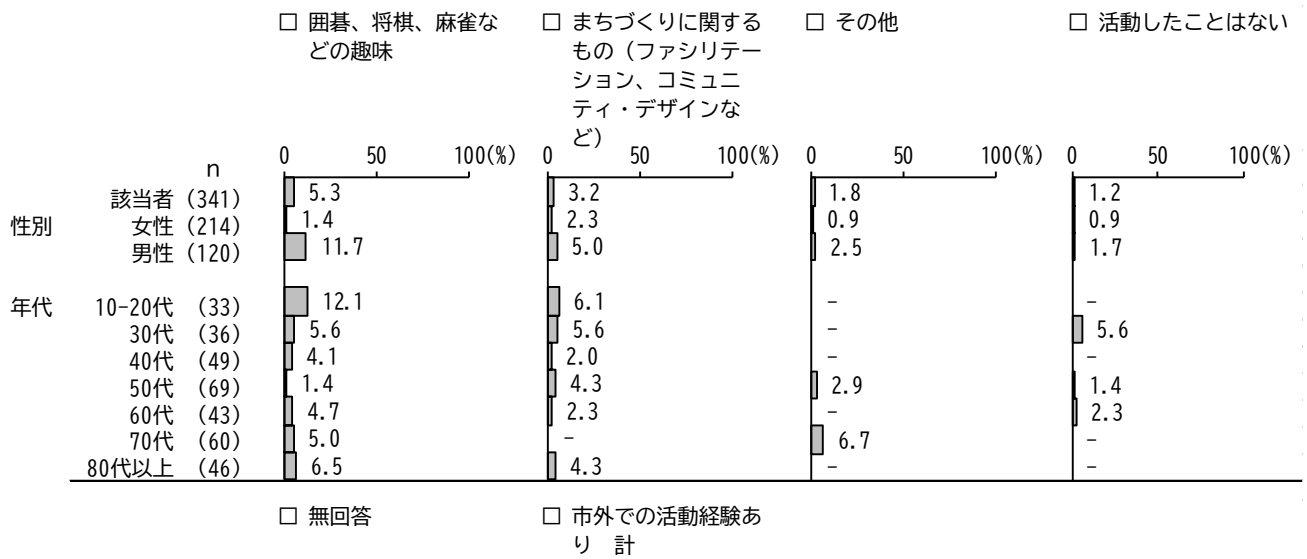
【市外で活動×性別・年代】

● 市民調査

「市外での活動経験あり計」でみたところ、男性（60.8%）が女性（57.5%）より3.3ポイント高かった。また、年齢が高くなるほど、参加率は低い傾向にある。

図表 2-8 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市外）

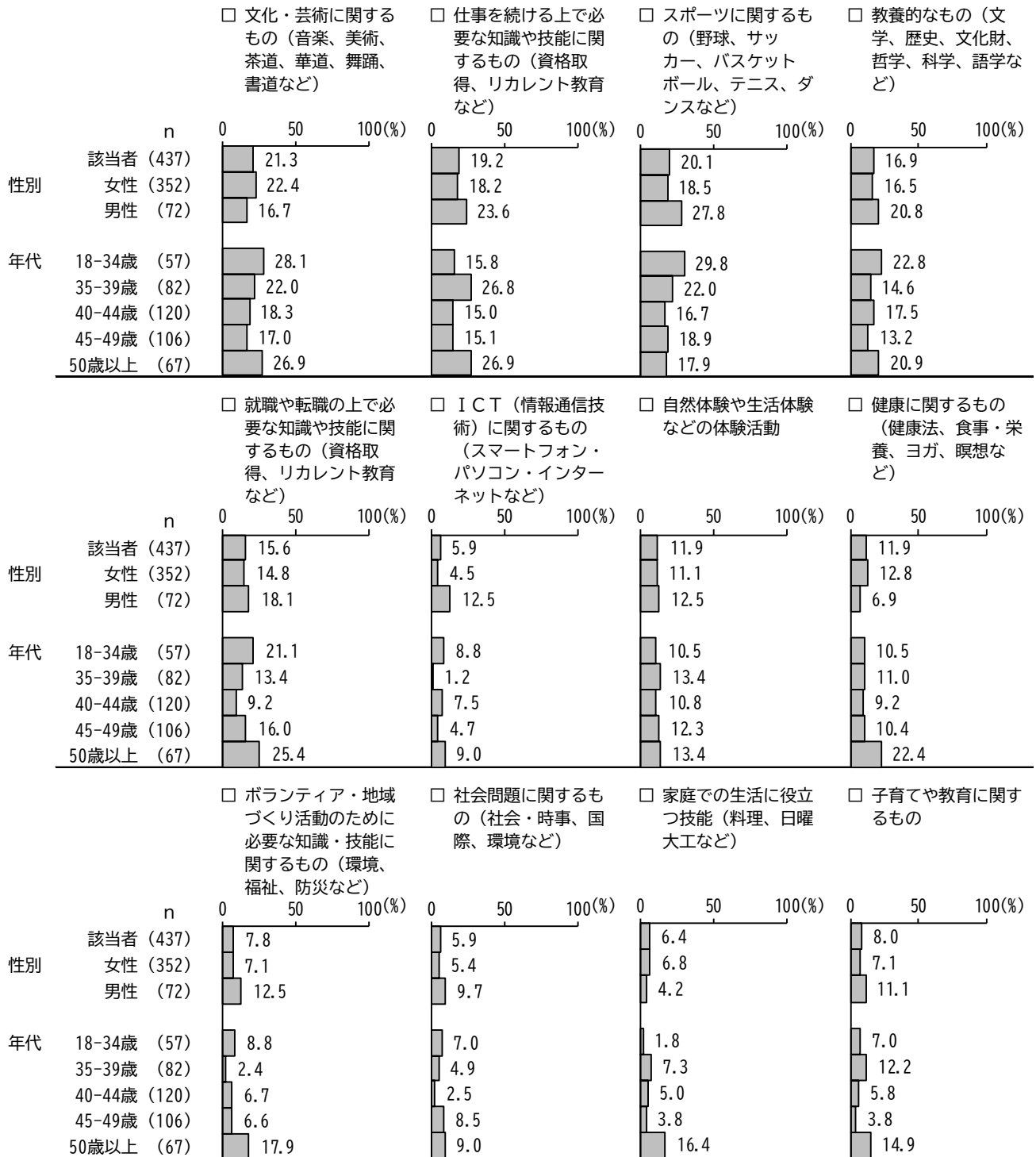


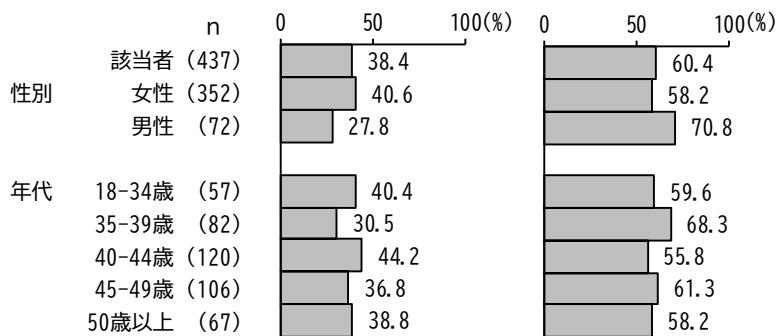
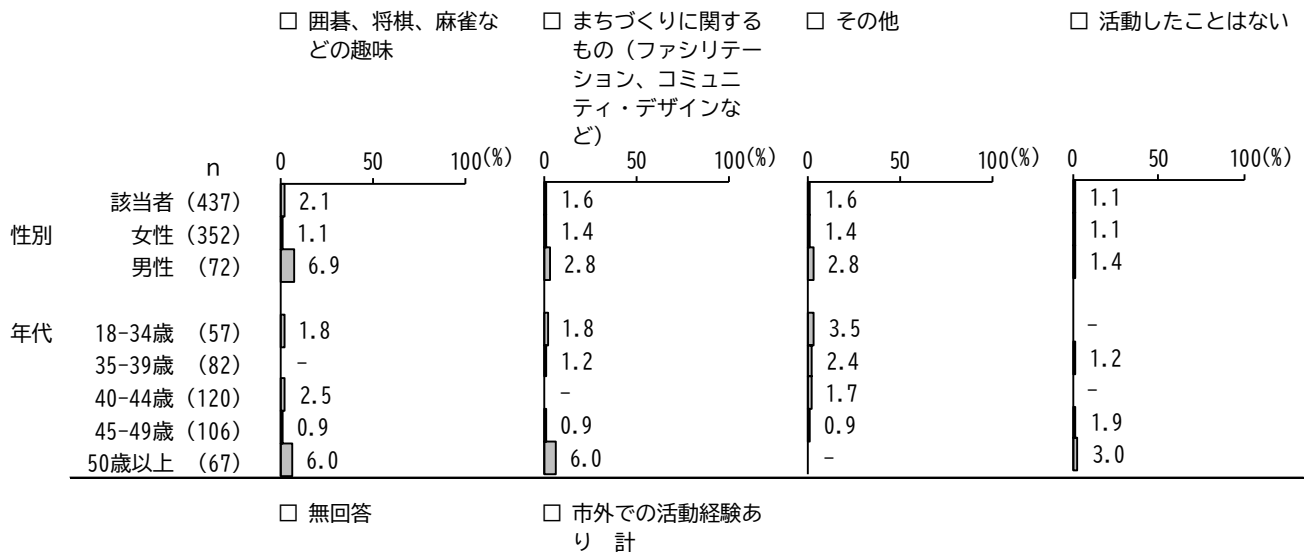


● 保護者調査

「市外での活動経験あり計」でみたところ、男性（70.8%）が女性（58.2%）より12.6ポイント高かった。年代による顕著な差はみられないが、35-39歳の参加率が最も高い（68.3%）。

図表 2-9 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市外）





【考察】

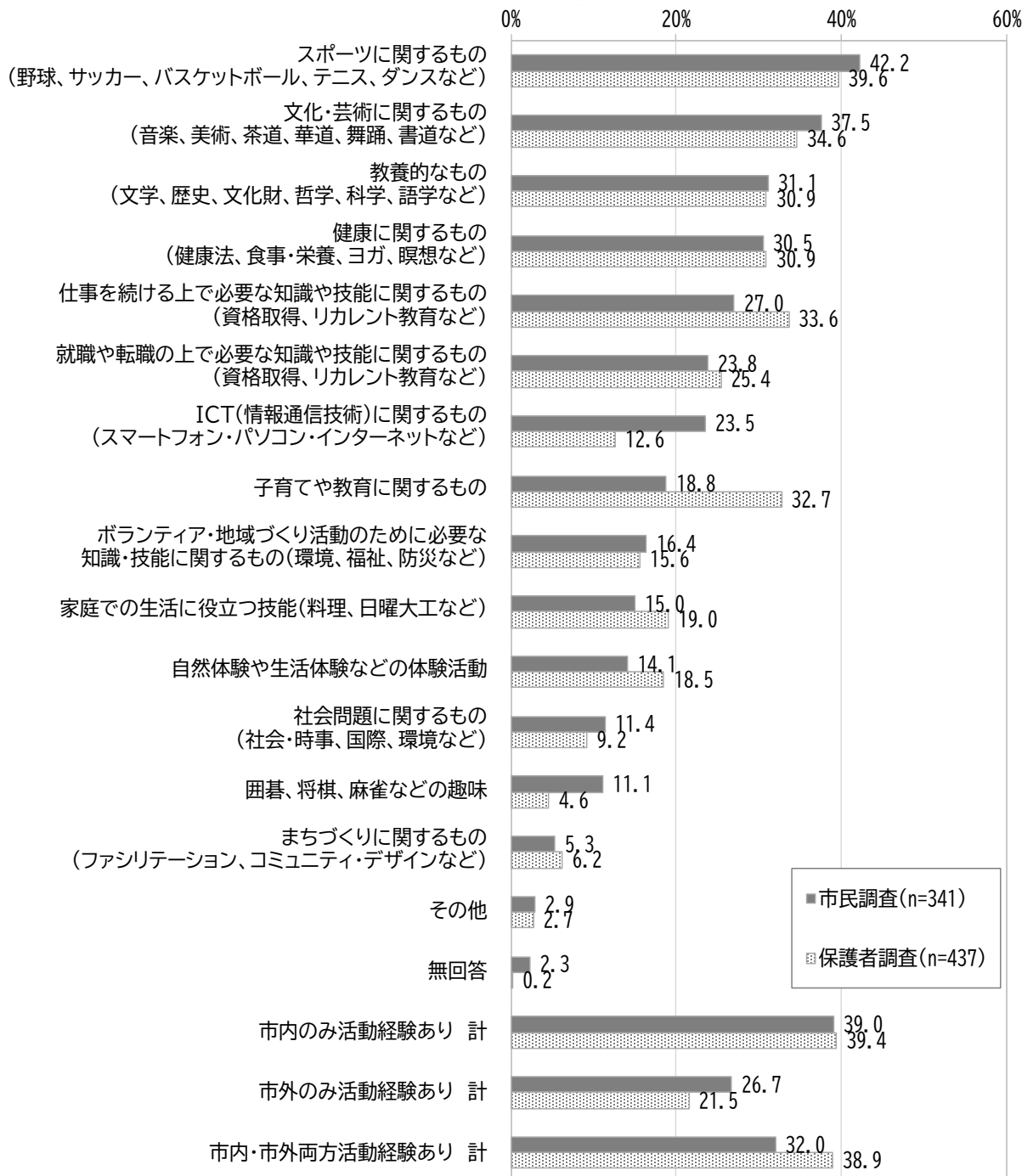
● 市内と市外での活動について

市内と市外での活動経験を比較すると、全体として市内での活動が多い傾向にある。また、生涯学習活動の場としては、スポーツや健康、子育てに関するものは市内に多く、一方で仕事や就職・転職に必要な知識や技能に関するものは、市外に多い傾向にある。

【市内・市外で活動（合算）】

市内と市外での活動を合算すると、「スポーツに関するもの」が市民調査・保護者調査とも最も高く（それぞれで42.2%、39.6%）、次いで「文化・芸術に関するもの」（それぞれで37.5%、34.6%）となっている。「子育てや教育に関するもの」では、市民調査と保護者調査で顕著な差が見られ（それぞれで18.8%、32.7%）、その差は13.9ポイントとなっている。

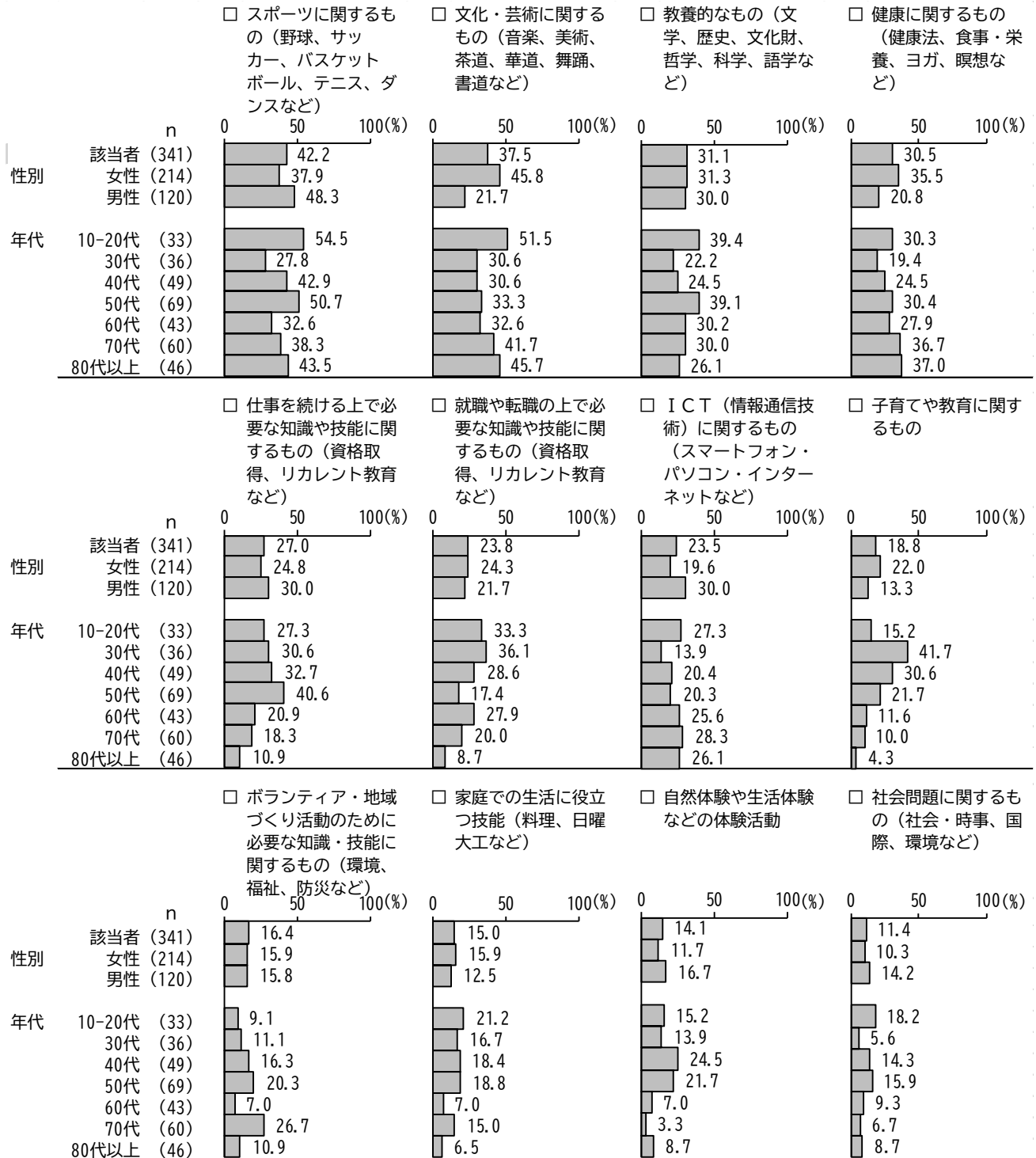
図表 2-10 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（市内・市外）

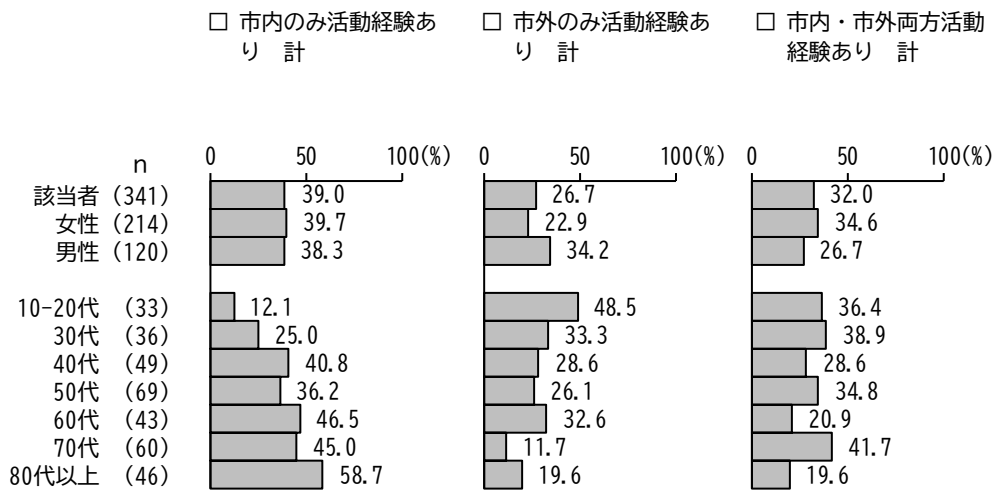
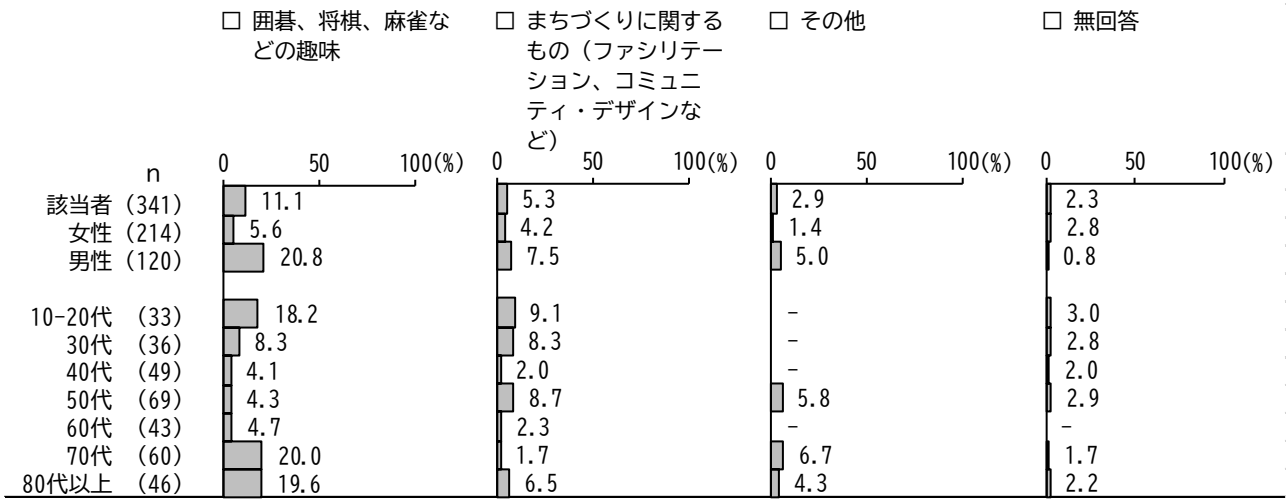


【市内・市外で活動（合算）×性別・年代】

● 市民調査

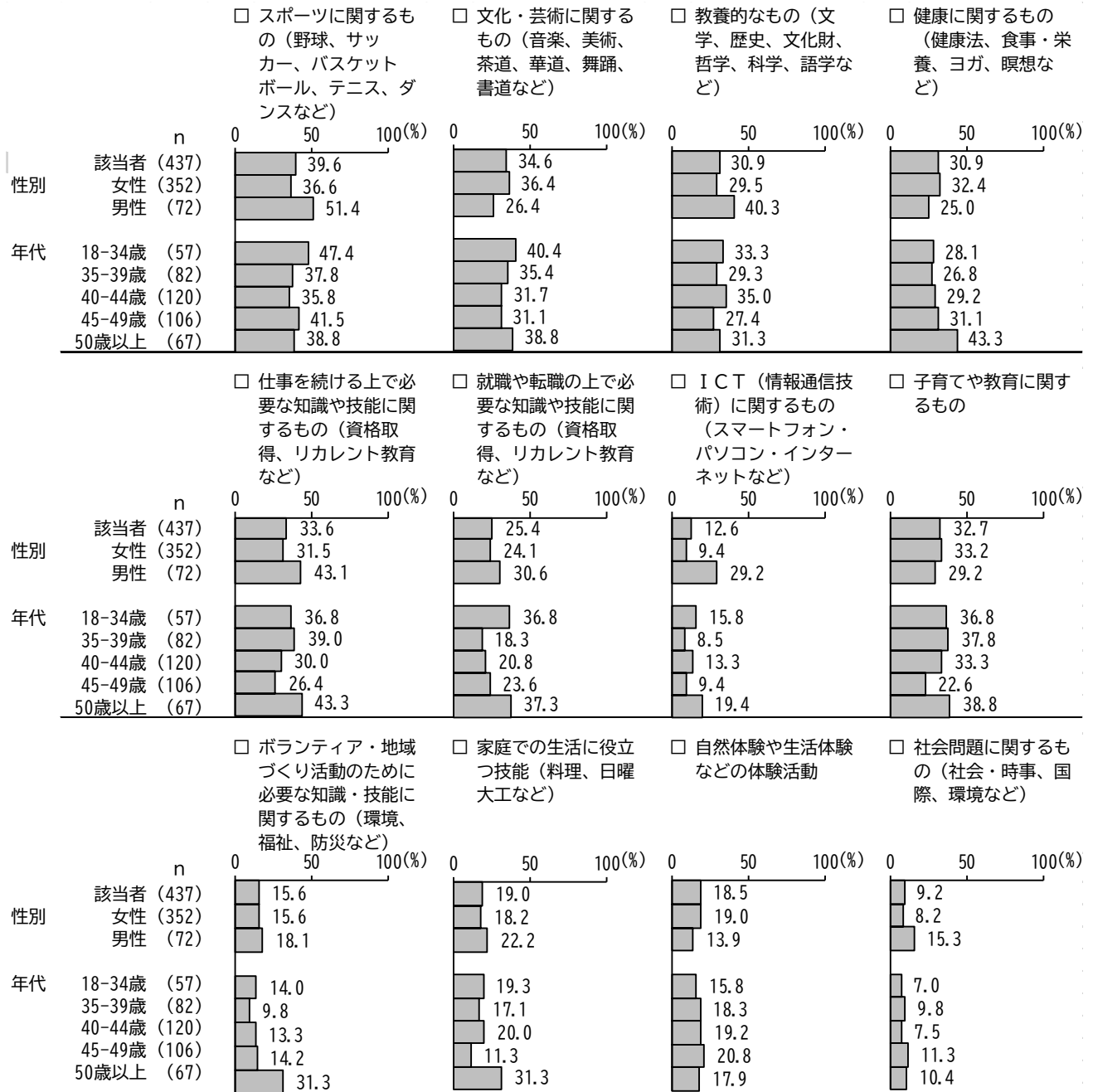
図表 2-11 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市内・市外）

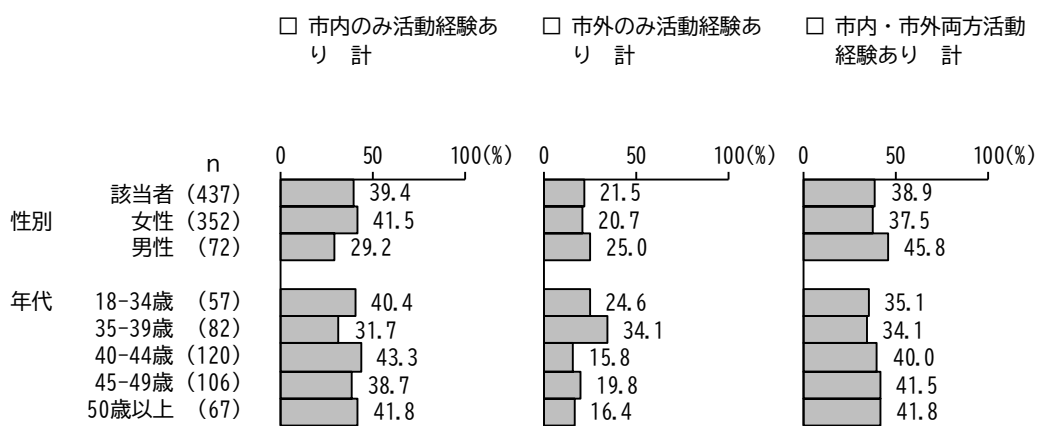
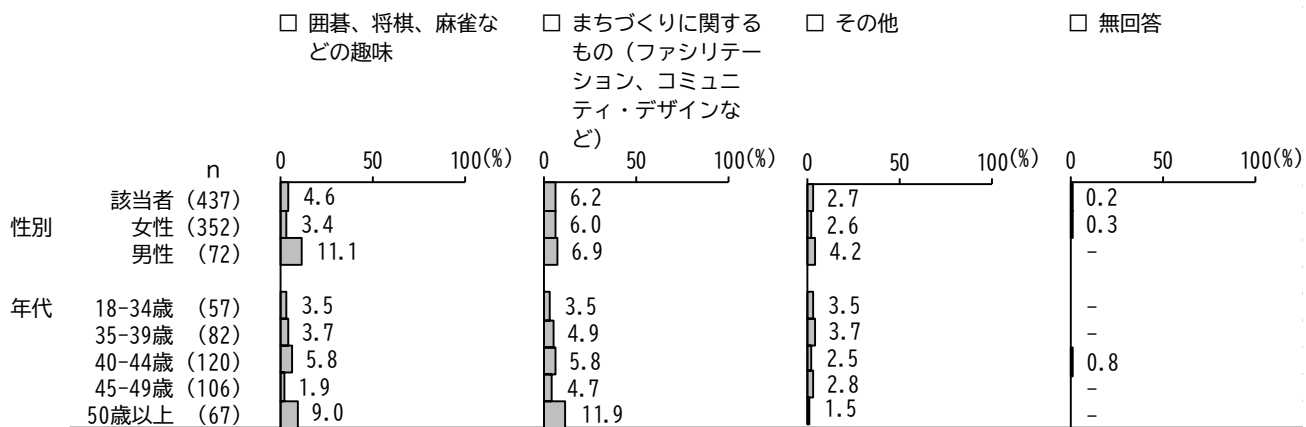




● 保護者調査

図表 2-12 現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動（性・年代別／市内・市外）





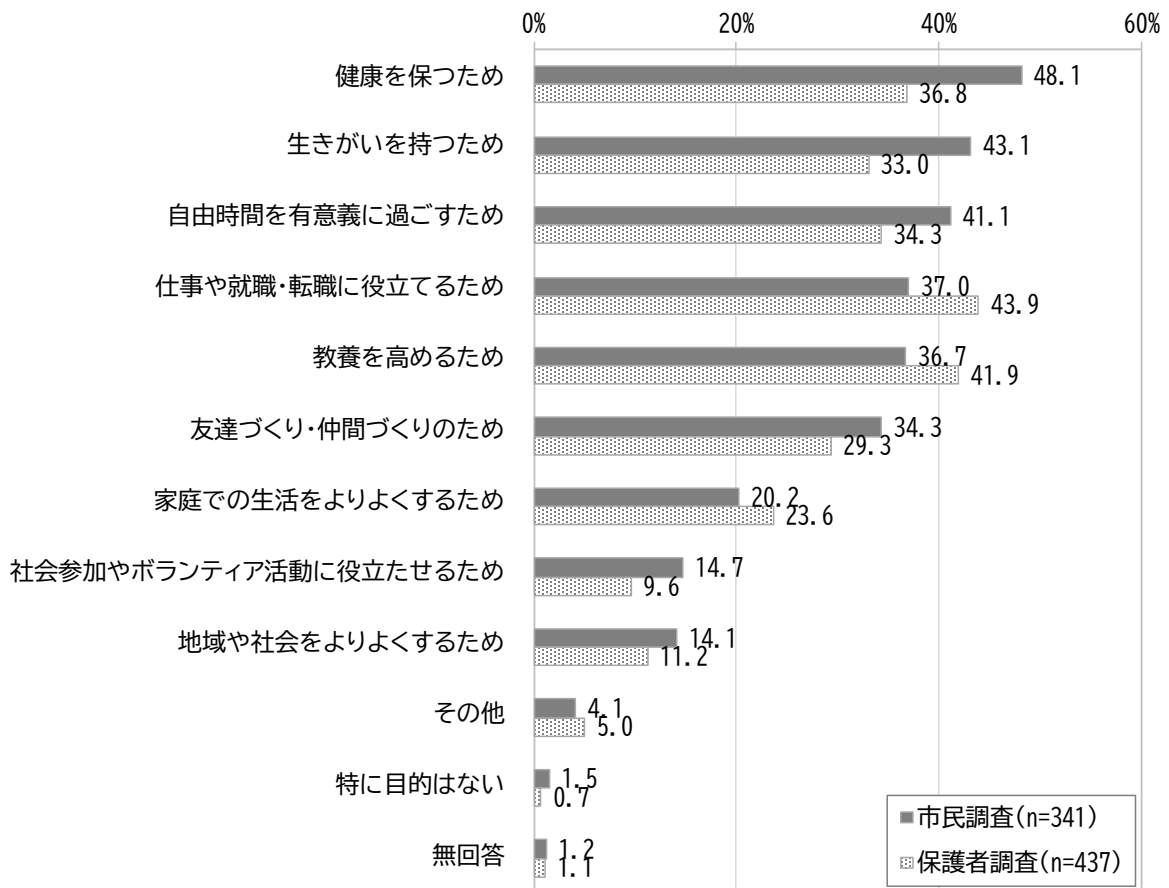
(3) 活動している、していた目的

生涯学習活動の目的をたずねたところ、市民調査では「健康を保つため」(48.1%)が最も高く、次いで「生きがいを持つため」(43.1%)となっている。保護者調査では、「仕事や就職・転職に役立てるため」(43.9%)、次いで「教養を高めるため」(41.9%)となっている。

問3 あなたが自主的な学習活動を行っている(いた)目的は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-13 生涯学習活動の目的

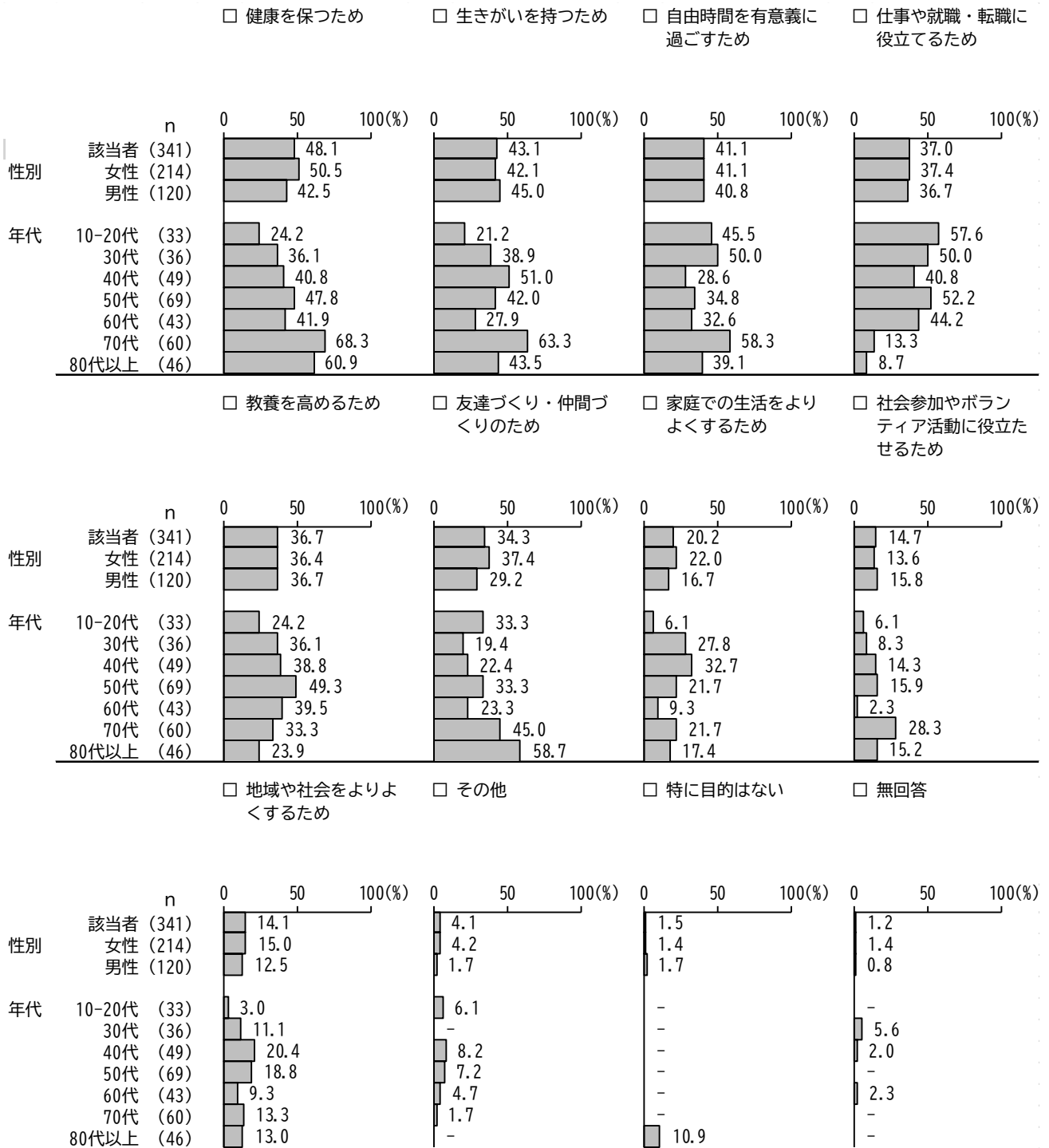


【活動目的×性別・年代】

● 市民調査

「健康を保つため」では女性（50.5%）が男性（42.5%）を8ポイント上回っており、年齢が高くなるにつれて回答率は高くなる傾向にある。「生きがいを持つため」では、性別で顕著な差はないが、年代で見ると70代が最も高く、63.3%となっている。

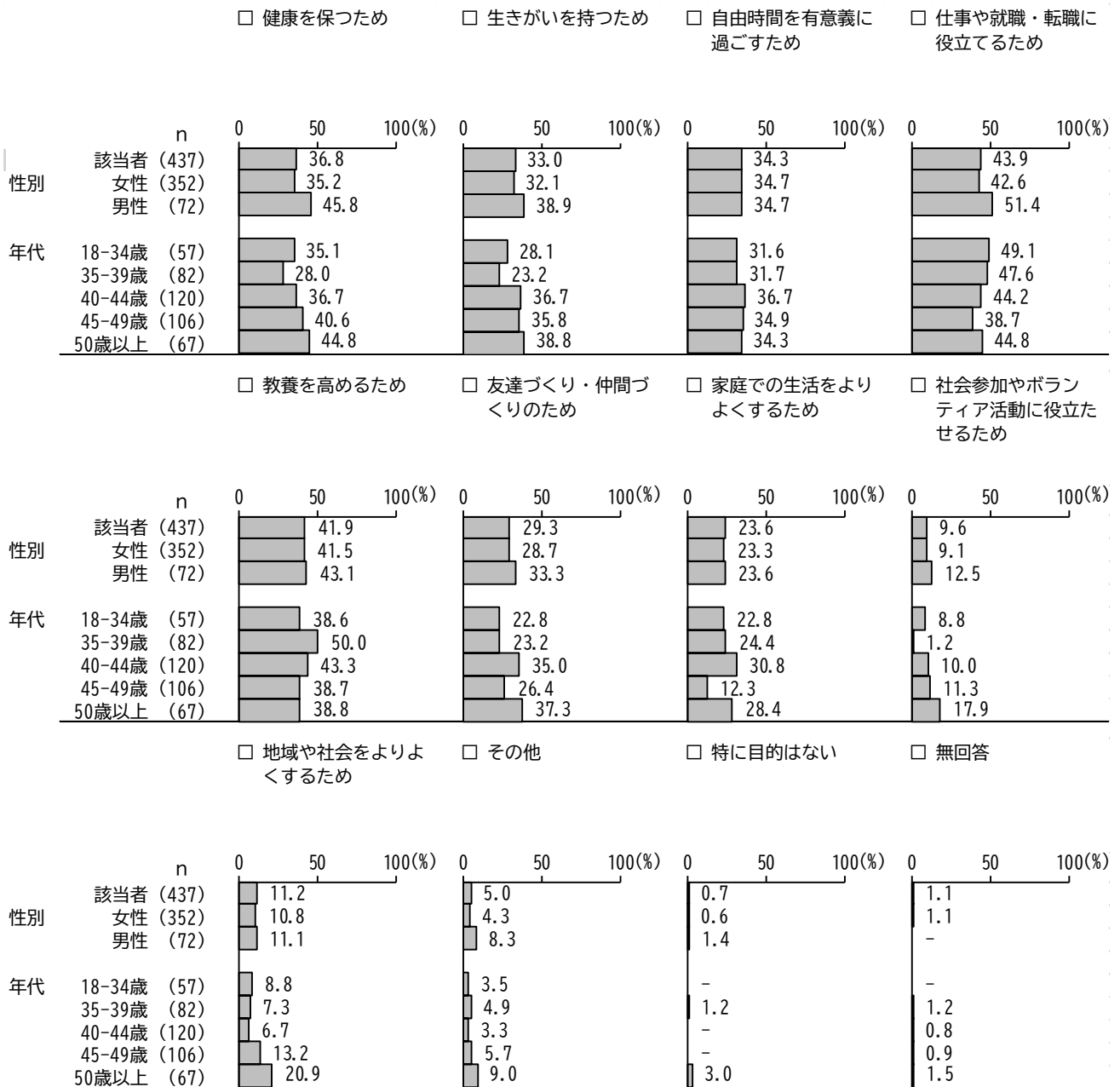
図表 2-14 生涯学習活動の目的（性・年代別）



● 保護者調査

「仕事や就職・転職に役立てるため」では男性（51.4%）が女性（42.6%）を8.8ポイント上回っており、45-49歳で30%台に落ちるものの、ほとんどの年代で40%を超えている。「教養を高めるため」では、性別で顕著な差はないが、年代で見ると35-39歳が50.0%と、最も高い。

図表 2-15 生涯学習活動の目的（性・年代別）



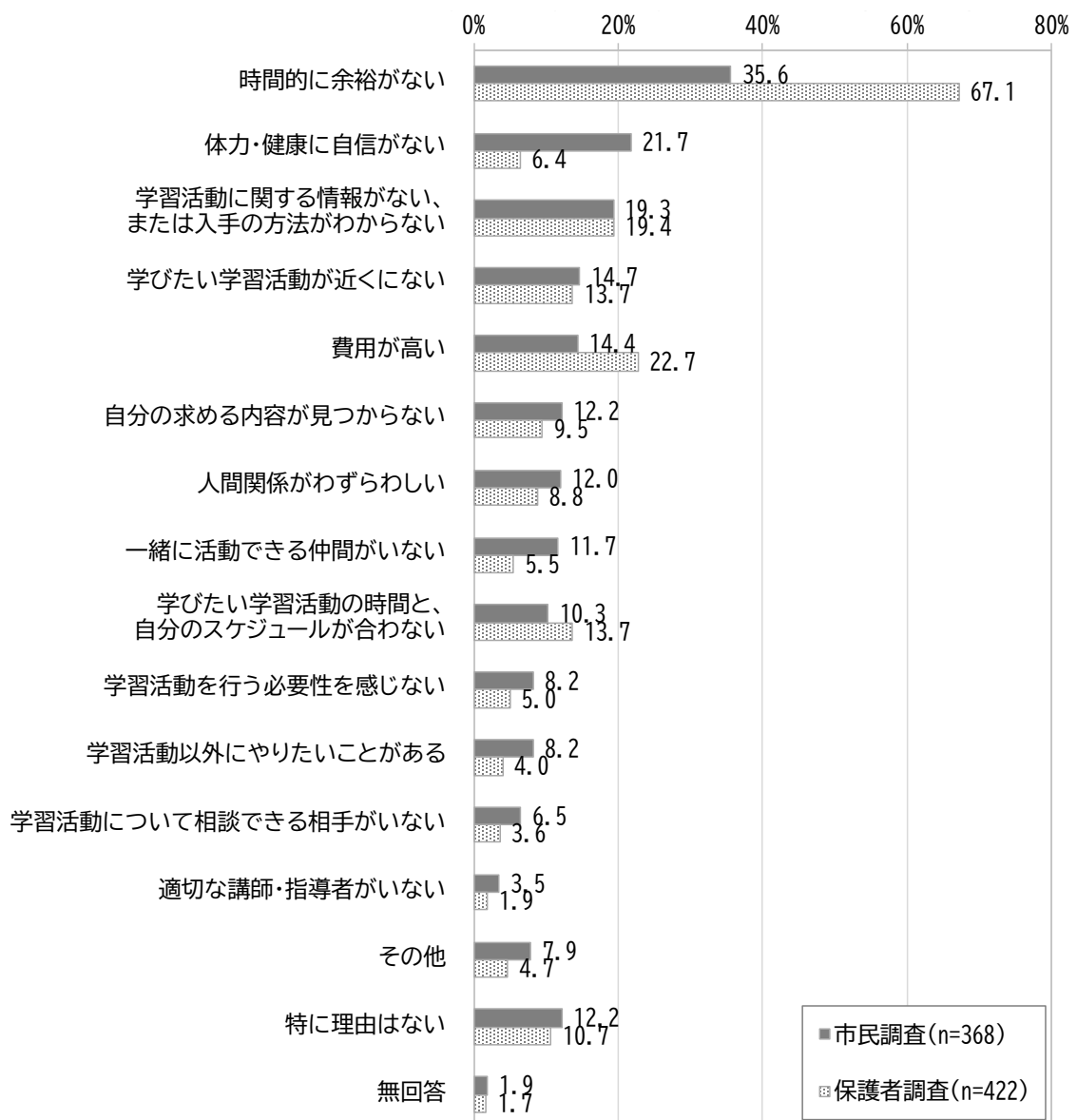
(4) 活動をやめた、または活動したことがない理由

生涯学習活動を「以前は活動していたが、今はしていない」または「今まで活動したことはない」を選択した回答者に、その理由をたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「時間的に余裕がない」が最も高く、市民調査で 35.6%、保護者調査で 67.1%となっている。両調査の差は 31.5 ポイントとなっており、保護者調査の対象者のほうが時間的な余裕がないことが見て取れる。

問4 あなたが現在、自主的な学習活動を行っていない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-16 生涯学習活動を行っていない理由

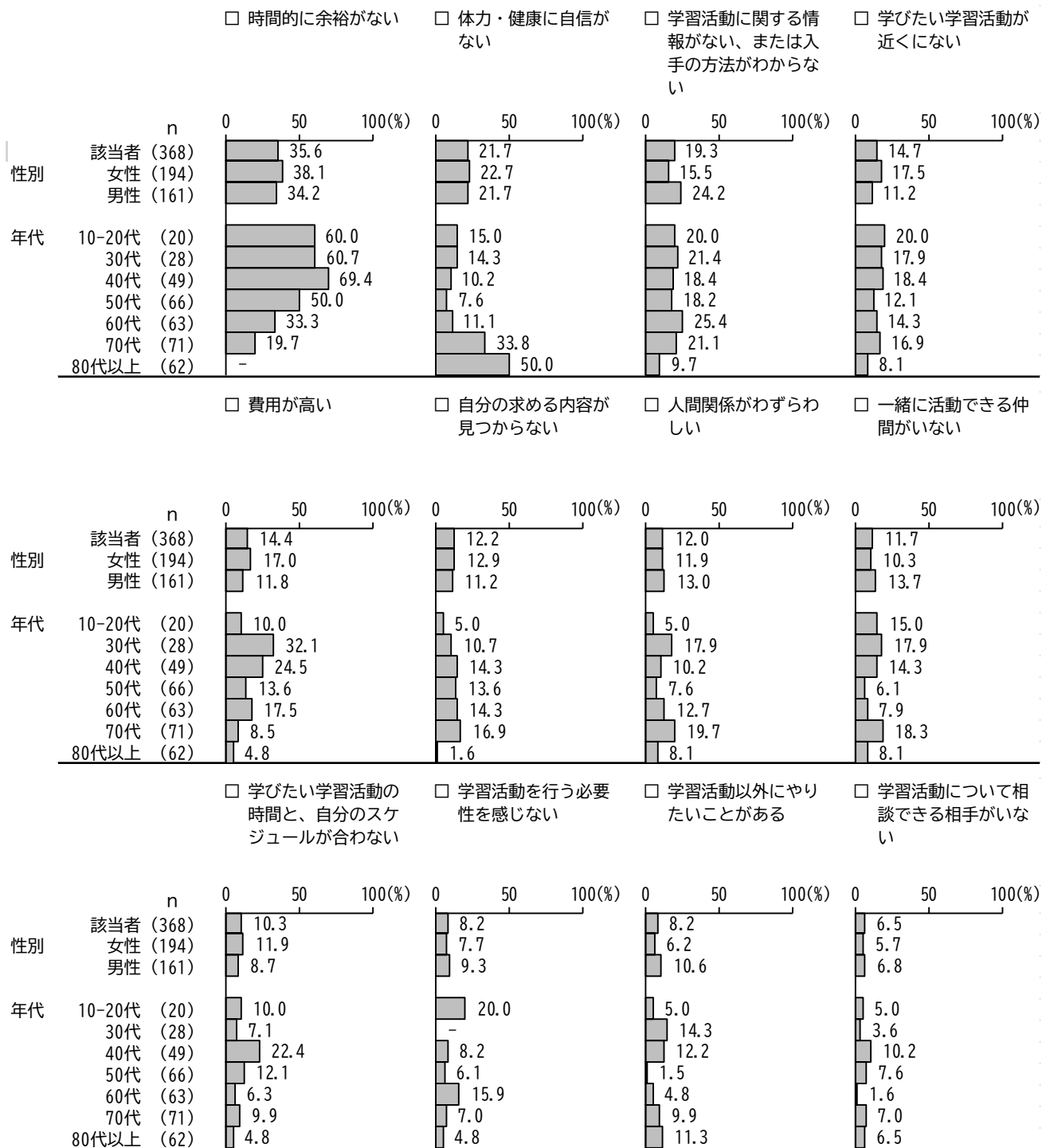


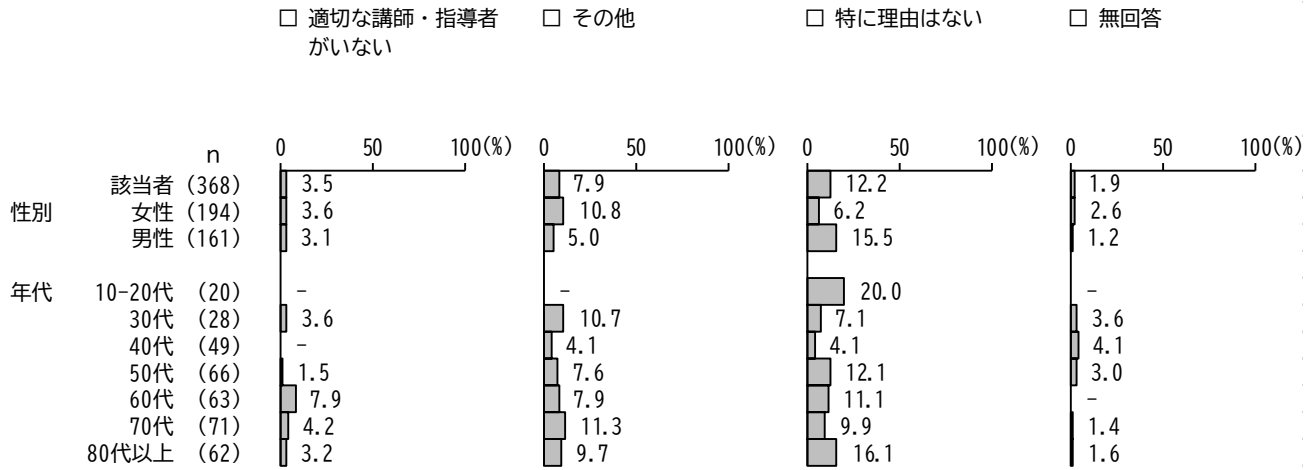
【活動を行っていない理由×性別・年代】

● 市民調査

「時間的に余裕がない」は性別で顕著な差はないが、40代（69.4%）をピークに、50代からは年齢とともに回答率が低くなる傾向にある。反対に、二番目に回答が多かった「体力・健康に自信がない」は、50代以降で回答率が高くなる傾向にある。

図表 2-17 生涯学習活動を行っていない理由（性・年代別）

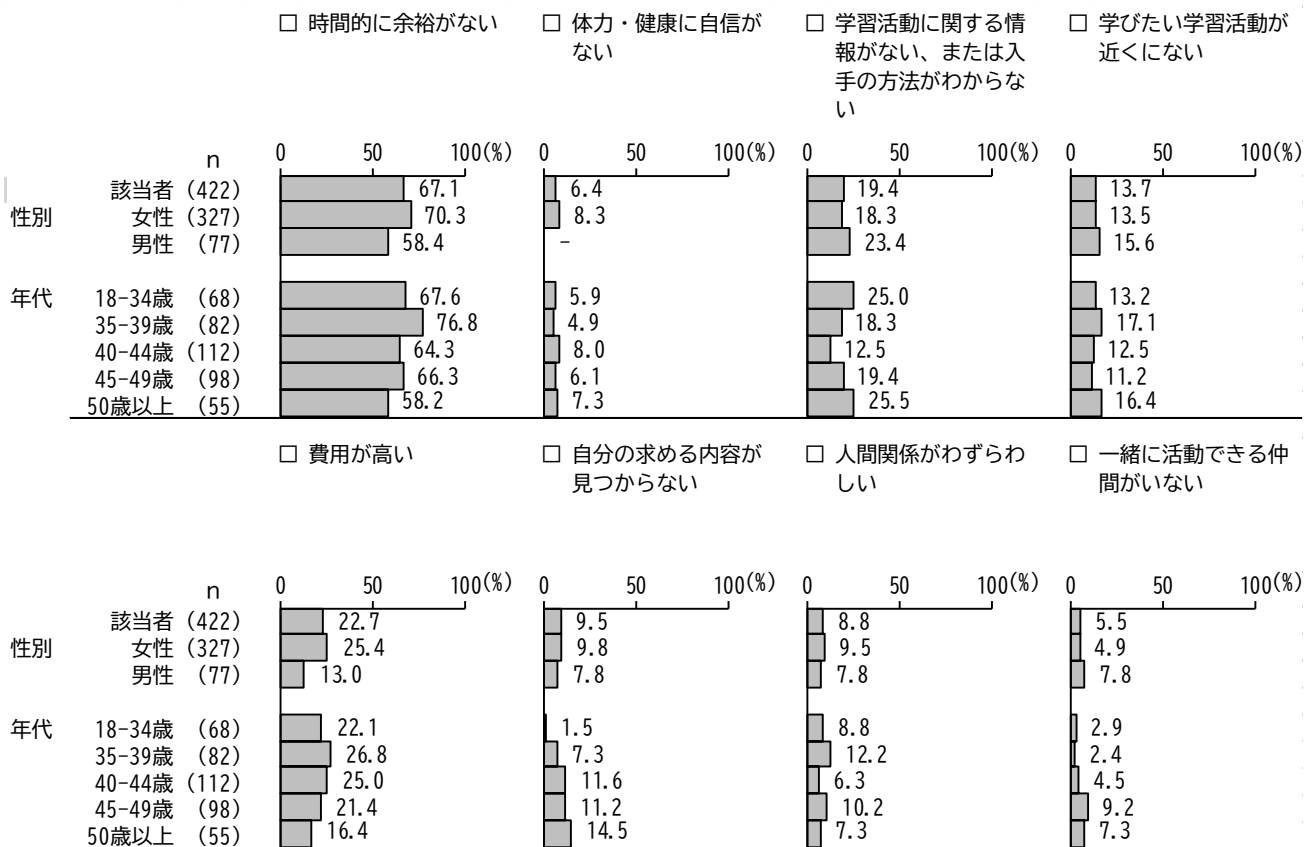


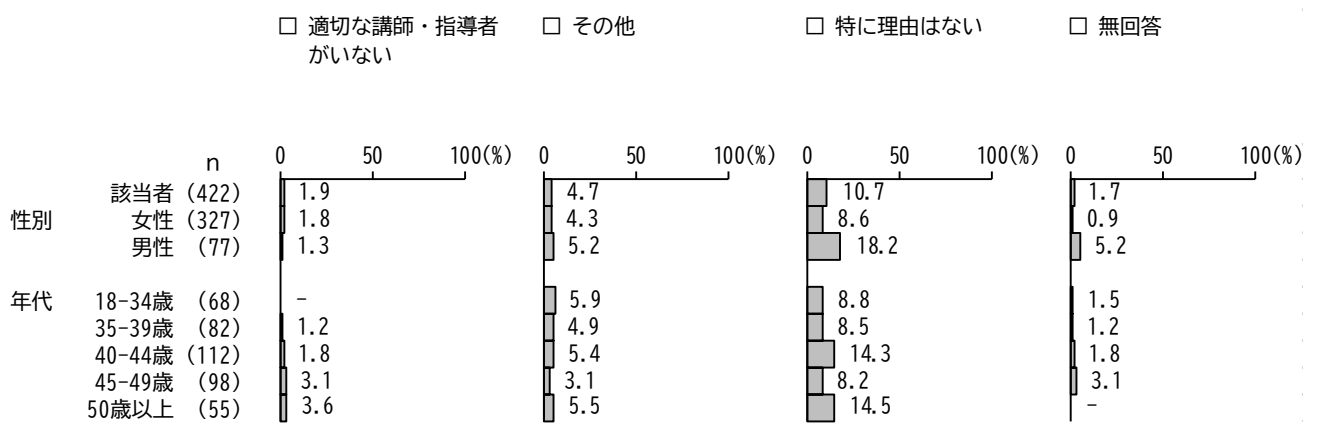
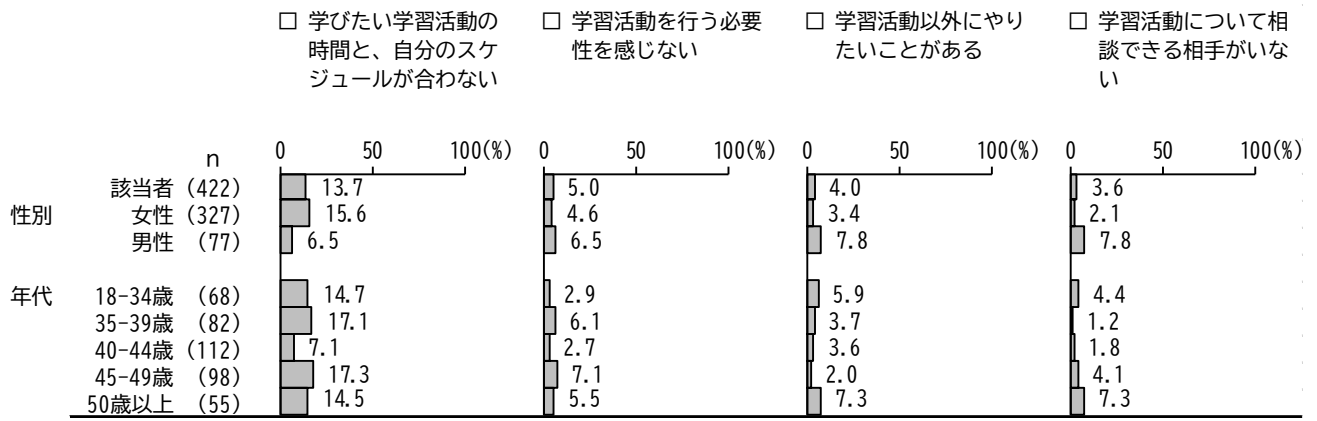


● 保護者調査

「時間的に余裕がない」は、特に女性で高く（70.3%）、男性（58.4%）を11.9ポイント上回っている。年代別に見ると、全ての年代でその回答率が高い。二番目に回答が多かった「費用が高い」についても、女性（25.4%）が男性（13.0%）を上回っており、年代別では35～44歳の層で、費用面を重視する傾向が見て取れる。

図表 2-18 生涯学習活動を行っていない理由（性・年代別）





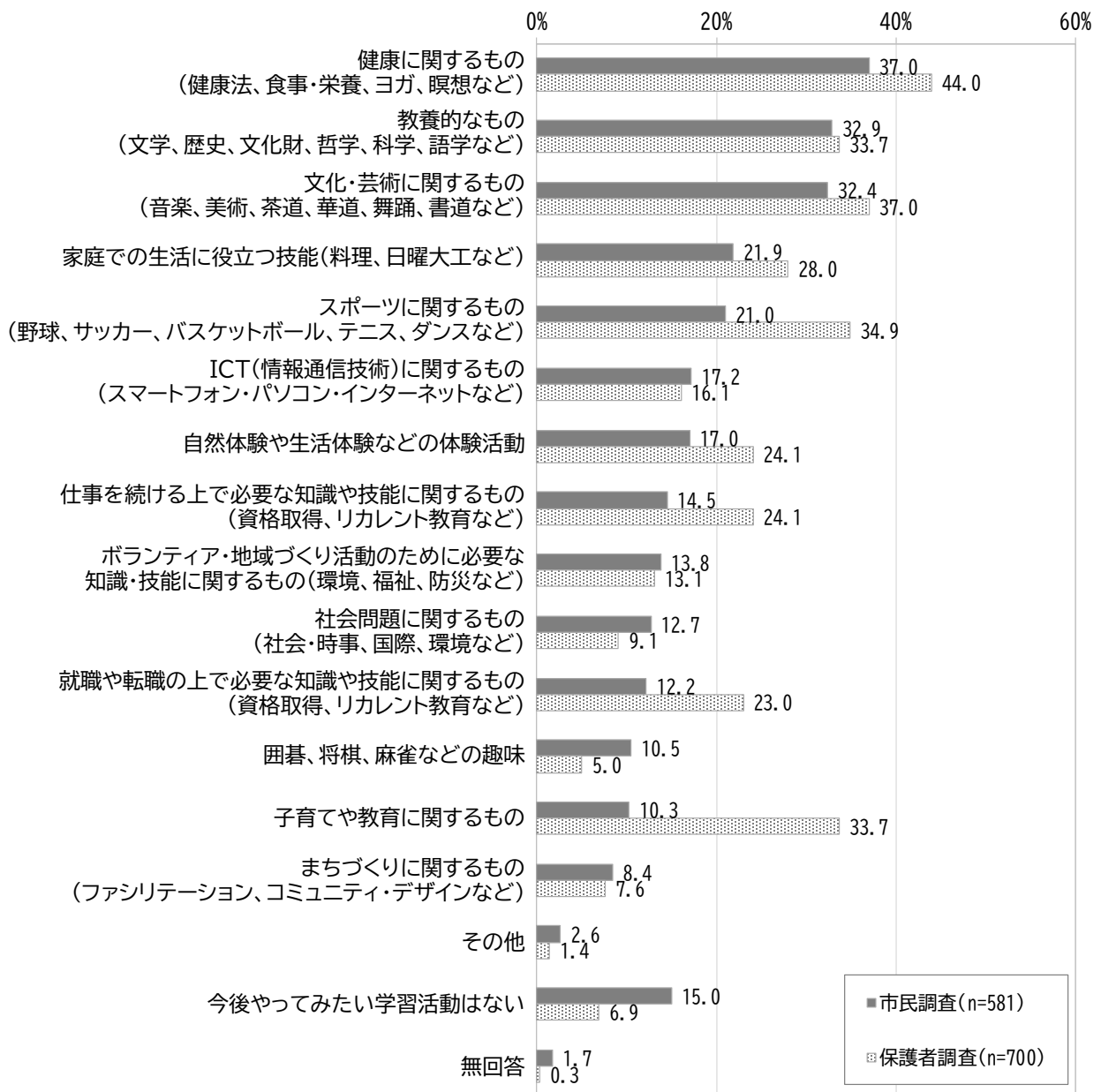
(5) 今後やってみたい学習活動

全員に、今後やってみたい学習活動についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「健康に関すること」が最多であった（それぞれ37.0%、44.0%）。二番目に多かったのは、市民調査の「教養的なもの」（32.9%）、保護者調査の「文化・芸術に関するもの」（37.0%）となっている。

問5 あなたが今後やってみたい学習活動はありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-19 今後やってみたい学習活動

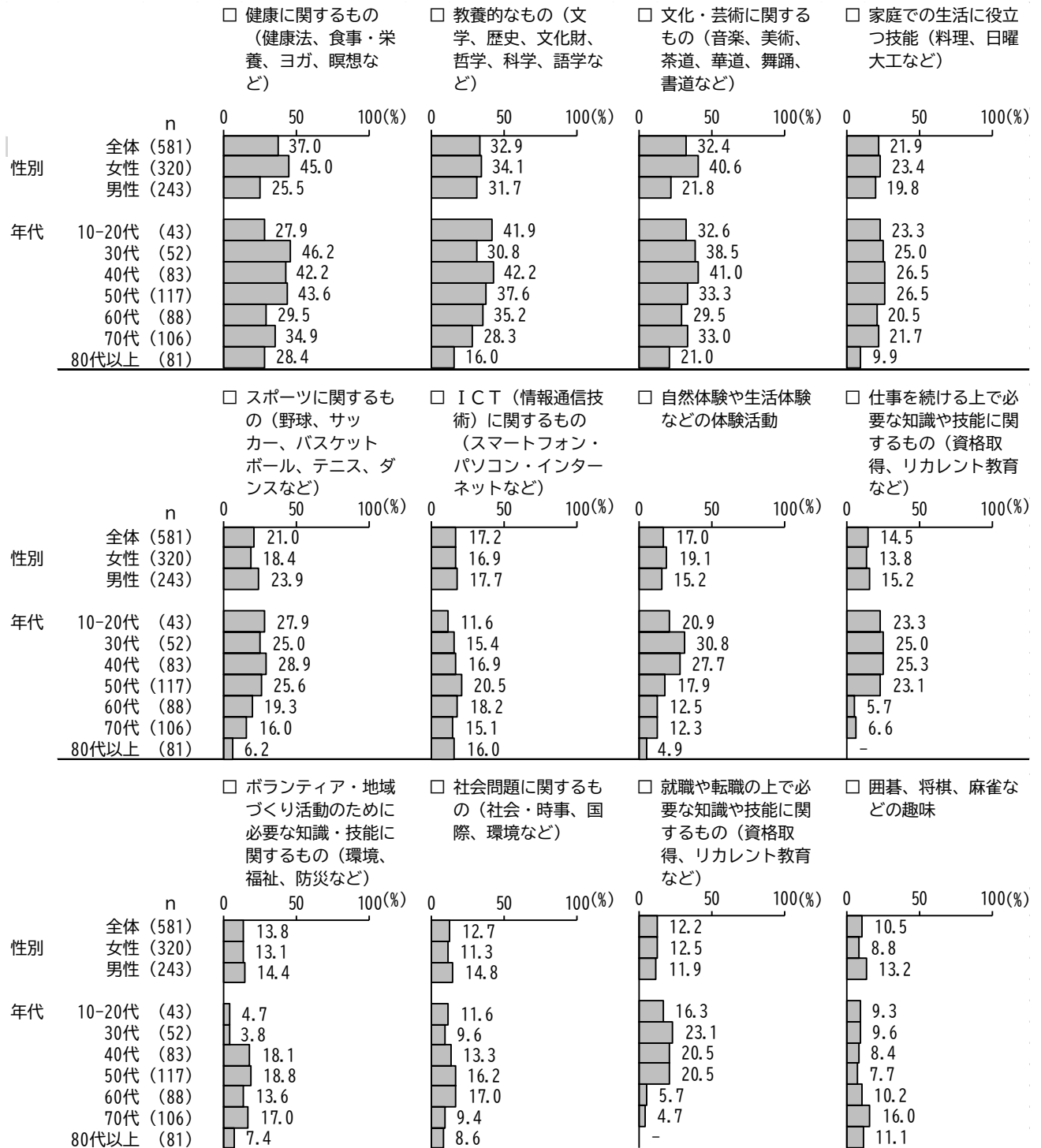


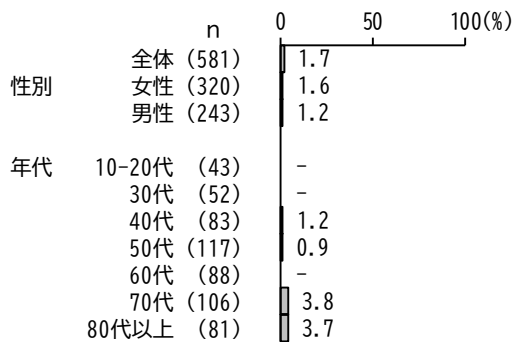
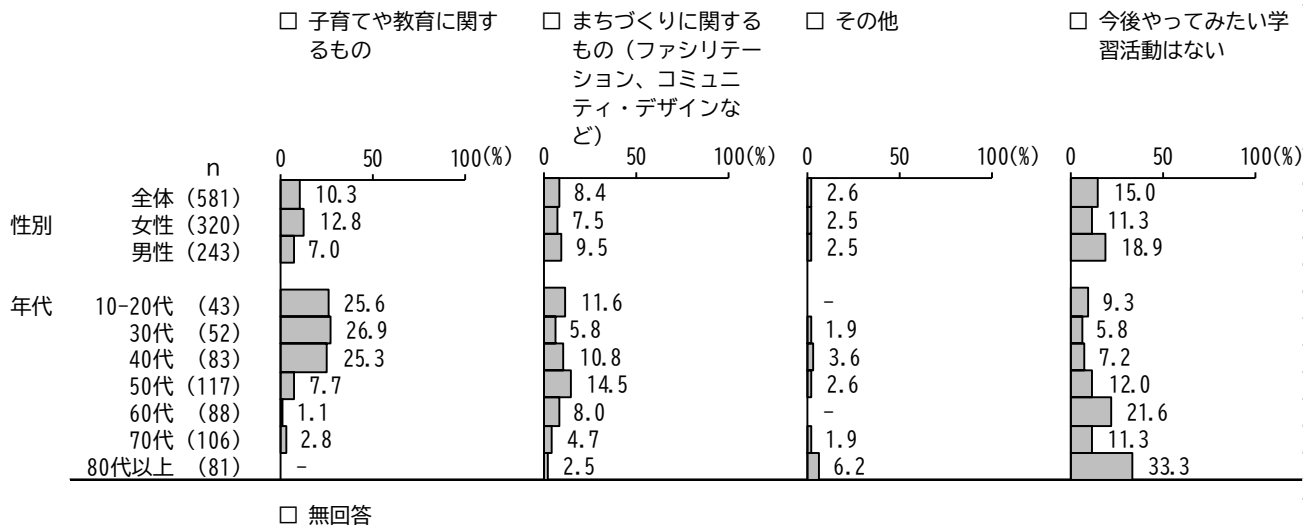
【今後やってみたい活動×性別・年代】

● 市民調査

「健康に関するもの」は、女性（45.0%）が男性（25.5%）を19.5ポイント上回っており、年代別で見ると30-50代で高くなっている。「教養的なもの」は性別で顕著な差は見られないが、年齢が高くなるにつれて回答率は低くなる傾向にある。

図表 2-20 今後やってみたい学習活動（性・年代別）

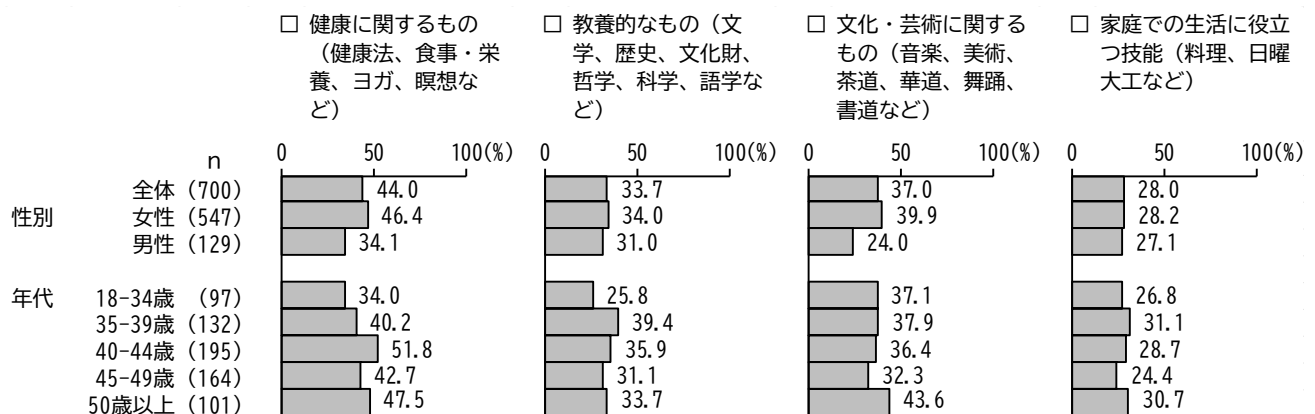


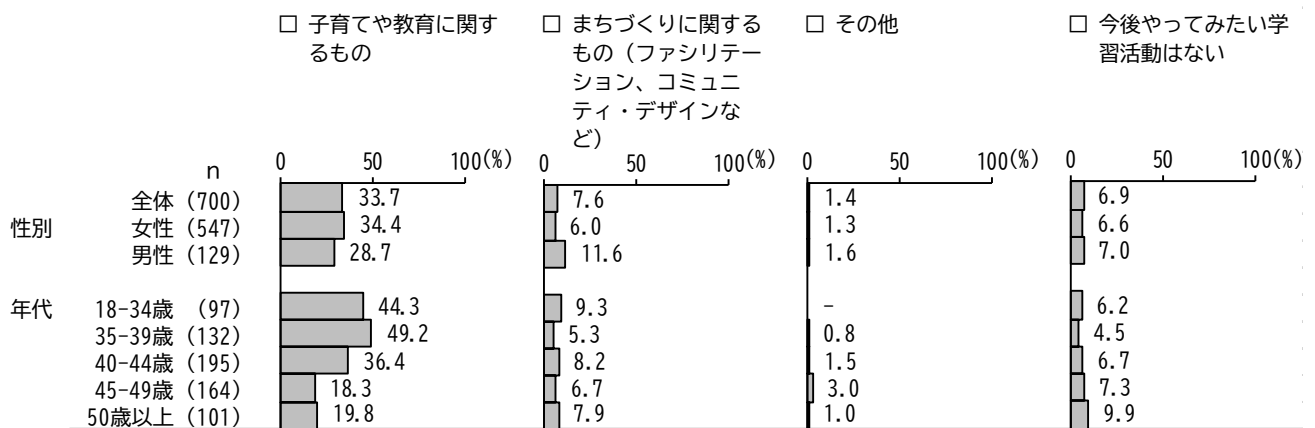
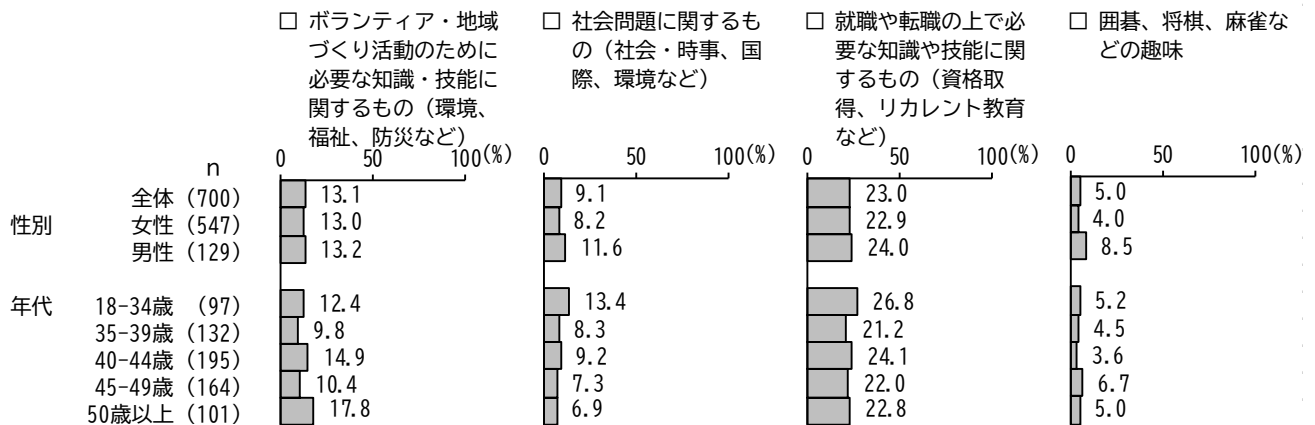
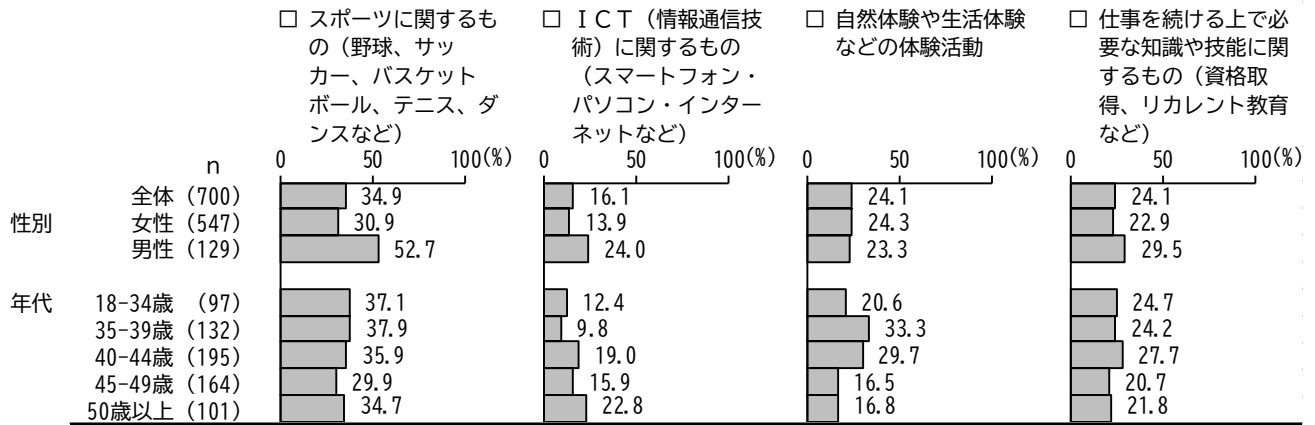


● 保護者調査

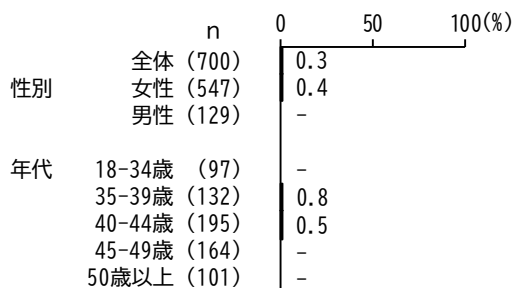
「健康に関するもの」は、女性（46.4%）が男性（34.1%）を12.3ポイント上回っており、年代別で見ると年齢層が高くなるほど、回答率も高くなっている。二番目に回答が多かった「文化・芸術に関するもの」は、女性（39.9%）が男性（24.0%）を15.9ポイント上回っている。年齢で顕著な差は見られないが、50歳以上でやや回答率が高くなる傾向にある。

図表 2-21 今後やってみたい学習活動（性・年代別）





□ 無回答



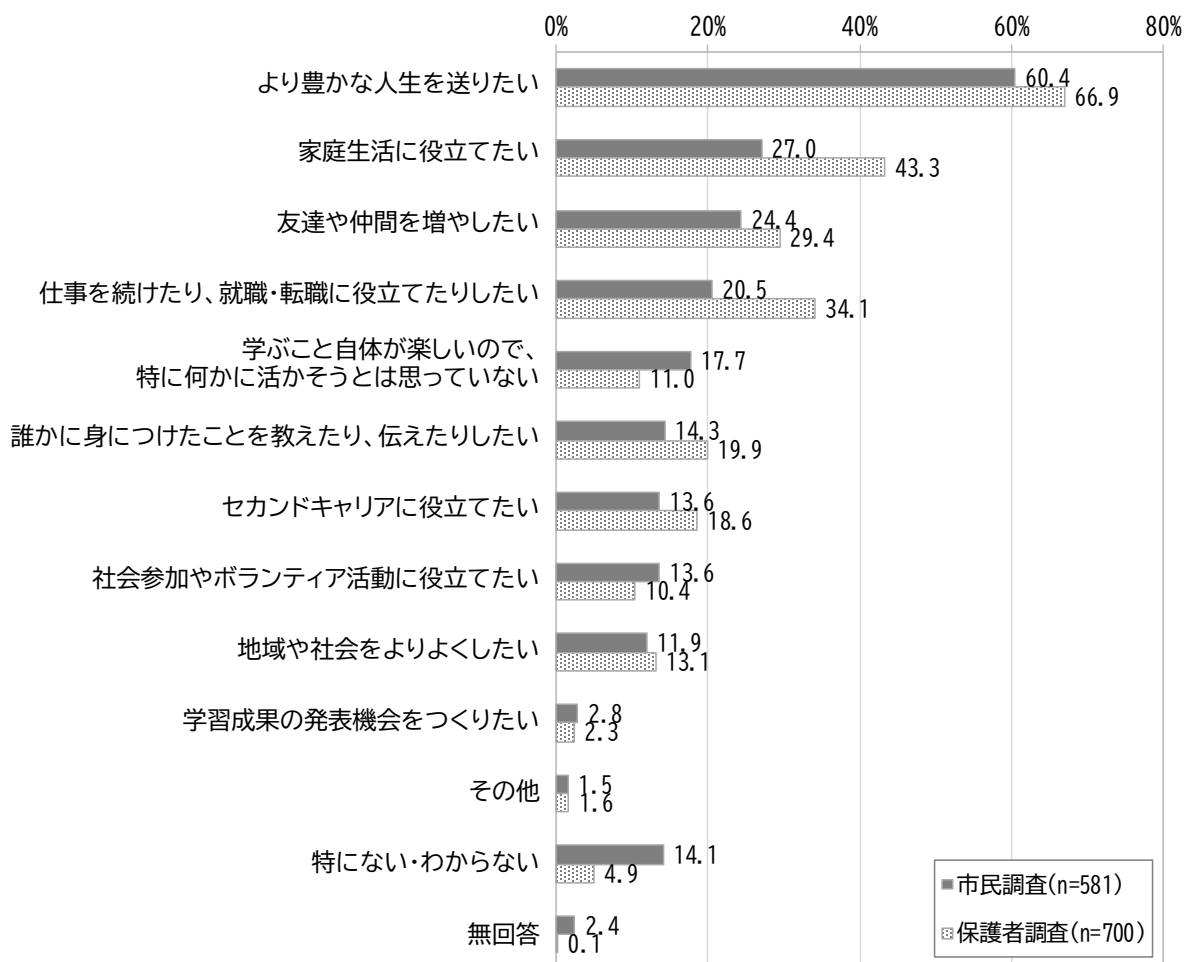
(6) 学習活動で得た知識や技術を活かしたいこと

全員に、学習活動で得た知識や技術をどのように活かしたいかとたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「より豊かな人生を送りたい」が最多であった（それぞれ 60.4%、66.9%）。市民調査と保護者調査で差の大きかった項目は、「家庭生活に役立てたい」（市民調査：27.0%、保護者調査：43.3%で差分が 16.3 ポイント）、「仕事を続けたり、就職・転職に役立てたりしたい」（市民調査：20.5%、保護者調査：34.1%で差分が 13.6 ポイント）となっている。全体として、保護者調査のほうが、知識や技術を活かす意欲が高い傾向にある。

問6 学習活動で得た知識や技術は、どのように活かしていきたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-22 得た知識や技術を活かしたい分野

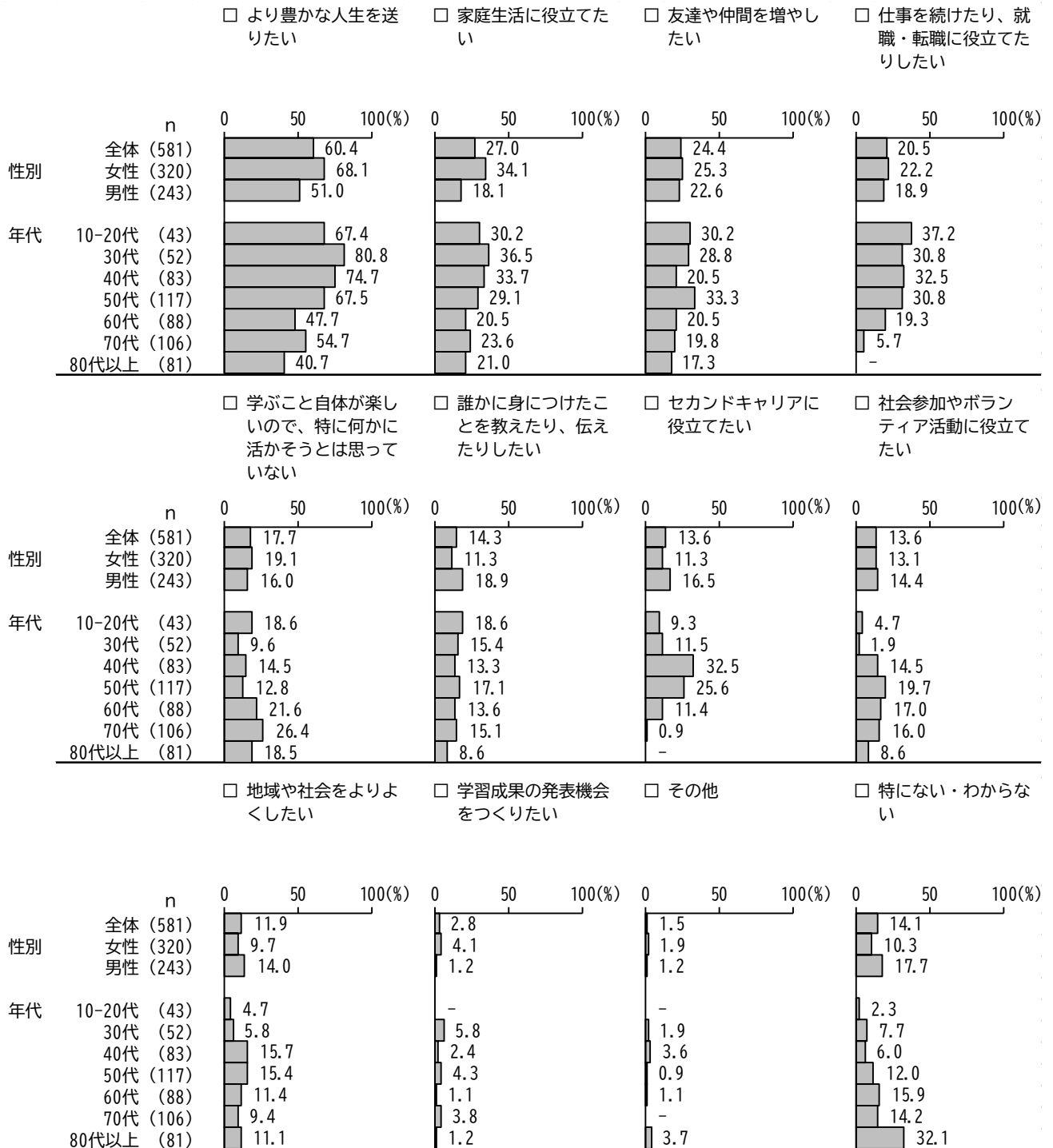


【今後やってみたい活動×性別・年代】

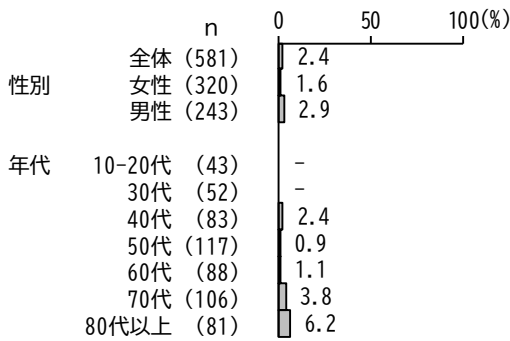
● 市民調査

「より豊かな人生を送りたい」は女性（68.1%）が男性（51.0%）を17.1ポイント上回っており、年齢が高くなるほど回答率は低くなる傾向にある。「家庭生活に役立てたい」も、女性（34.1%）が男性（18.1%）を16ポイント上回っている。

図表 2-23 得た知識や技術を活かしたい分野（性・年代別）



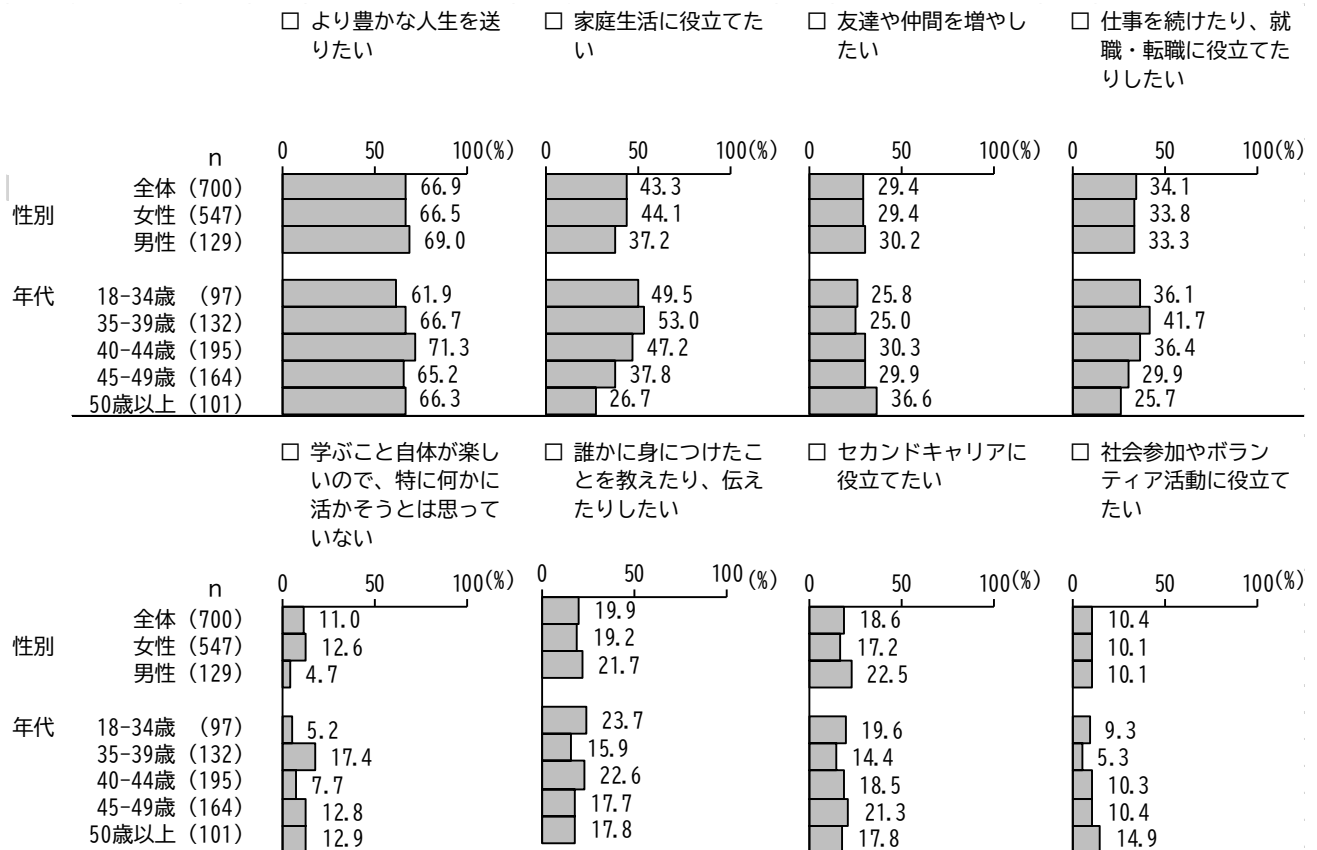
□ 無回答



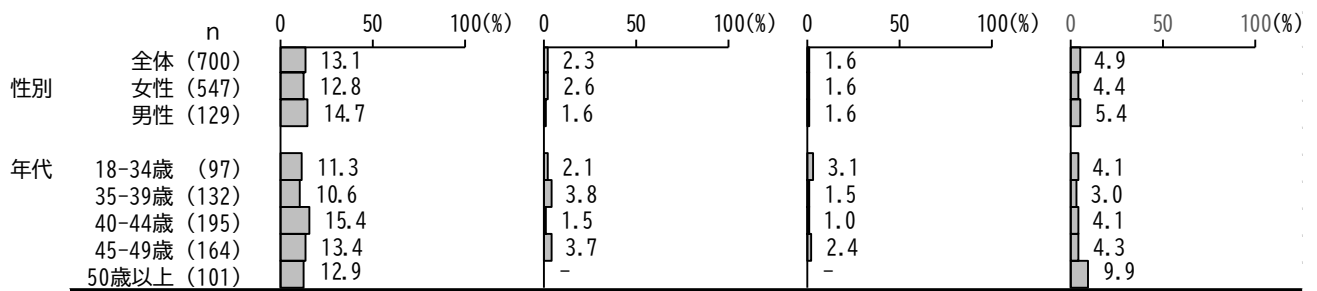
● 保護者調査

「より豊かな人生を送りたい」は性別や年齢で顕著な差は見られず、相対的に高い傾向にある。「家庭生活に役立てたい」は、女性（44.1%）が男性（37.2%）を6.9ポイント上回っている。

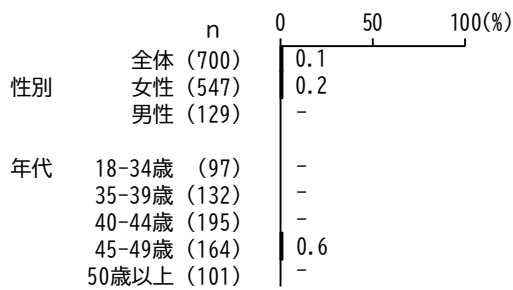
図表 2-24 得た知識や技術を活かしたい分野（性・年代別）



地域や社会をよりよ
くしたい
 学習成果の発表機会
をつくりたい
 その他
 特にない・わからな
い



無回答

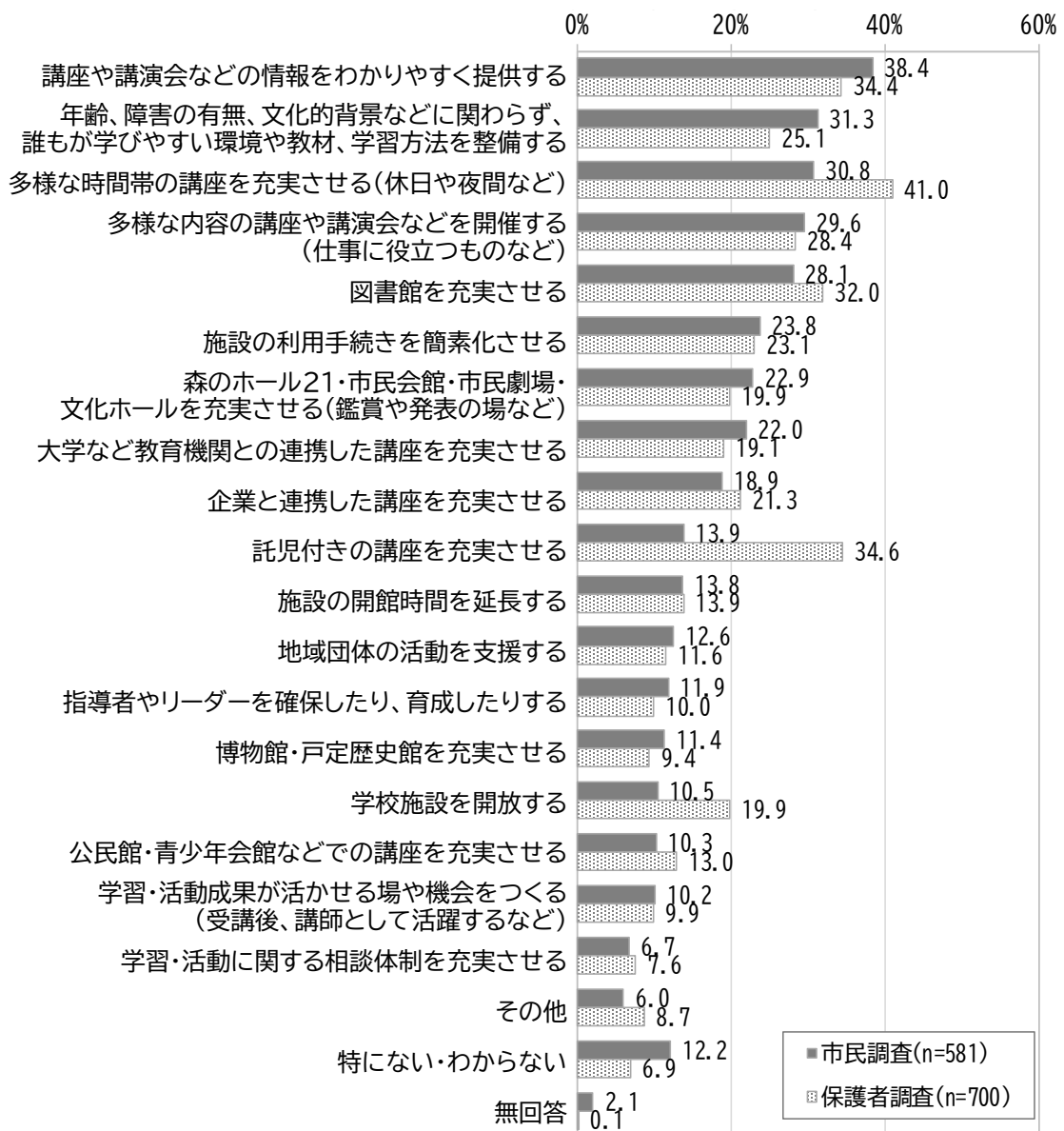


(7) 市が力を入れるべきこと

全員に、市民の学びのために市が力を入れるべきことについてたずねたところ、市民調査では「講座や講演会などのわかりやすい情報提供」(38.4%)、次いで「誰もが学びやすい環境、教材、学習方法の整備」(31.3%)となっているのに対し、保護者調査では「多様な時間帯の講座の充実」(41.0%)、次いで「託児付き講座の充実」(34.6%)となっている。

問7 今後、市民の方が学びたい時に学べるようにするため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-25 市が力を入れるべきこと

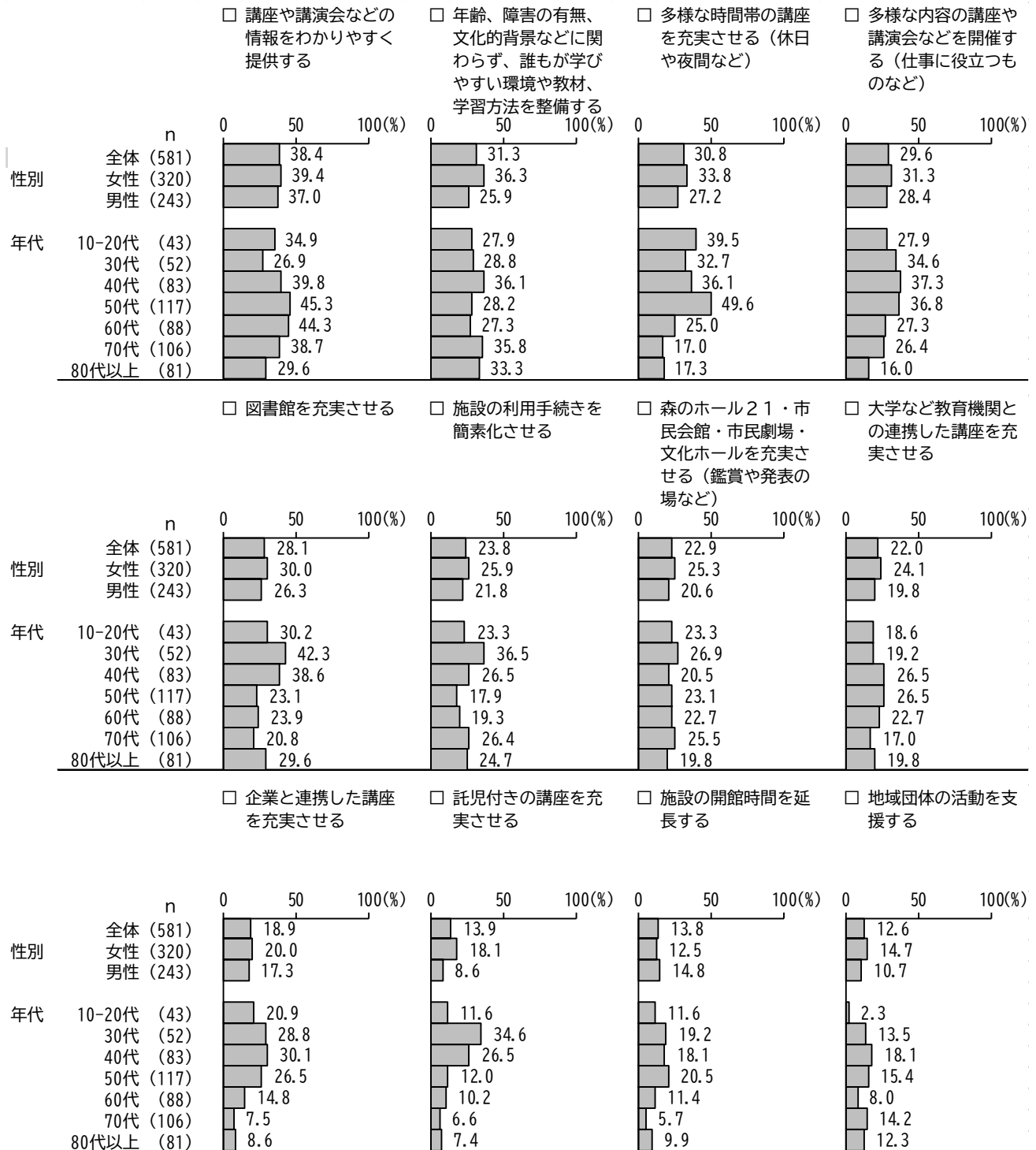


【市が力を入れるべきこと×性別・年代】

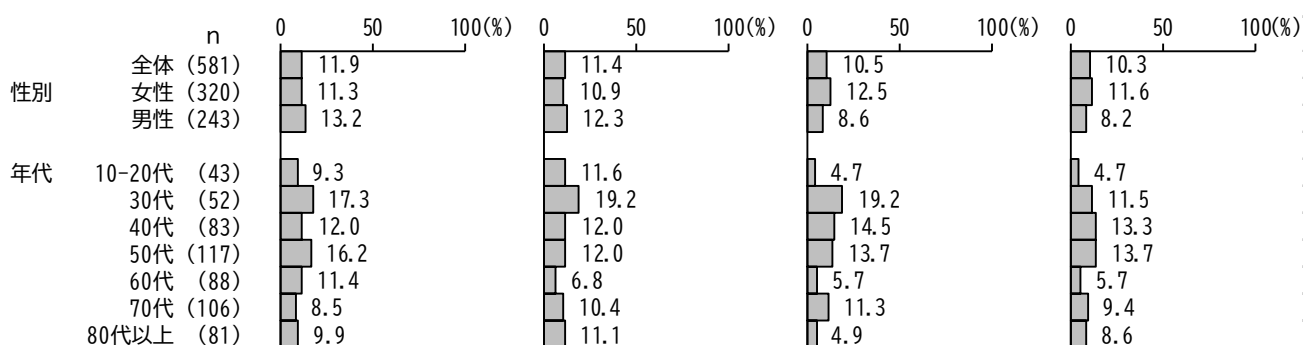
● 市民調査

「講座や講演会などのわかりやすい情報提供」は、性別で顕著な差は見られない一方で、年代別ではミドル世代ほど回答率が高くなっている。「誰もが学びやすい環境、教材、学習方法の整備」では、女性（36.3%）が男性（25.9%）を10.4ポイント上回っているが、年代別では顕著な差は見られない。

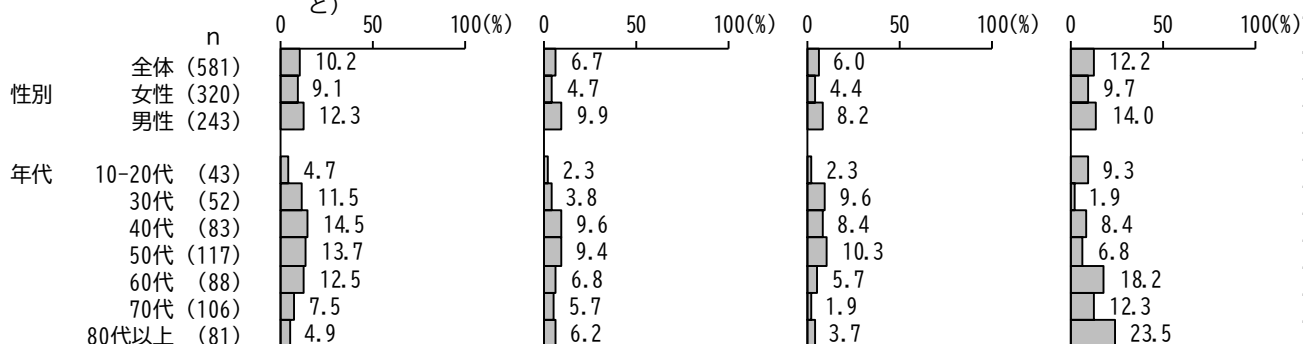
図表 2-26 市が力を入れるべきこと（性・年代別）



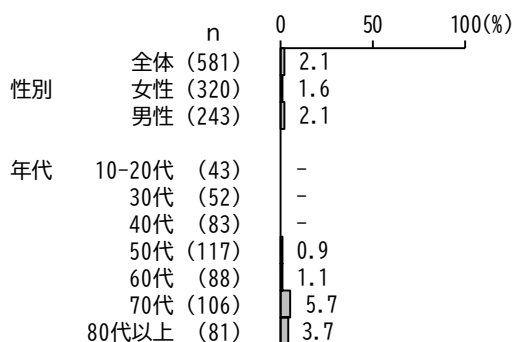
- 指導者やリーダーを確保したり、育成したりする
- 博物館・戸定歴史館を充実させる
- 学校施設を開放する
- 公民館・青少年会館などでの講座を充実させる



- 学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる（受講後、講師として活躍するなど）
- 学習・活動に関する相談体制を充実させる
- その他
- 特にない・わからない



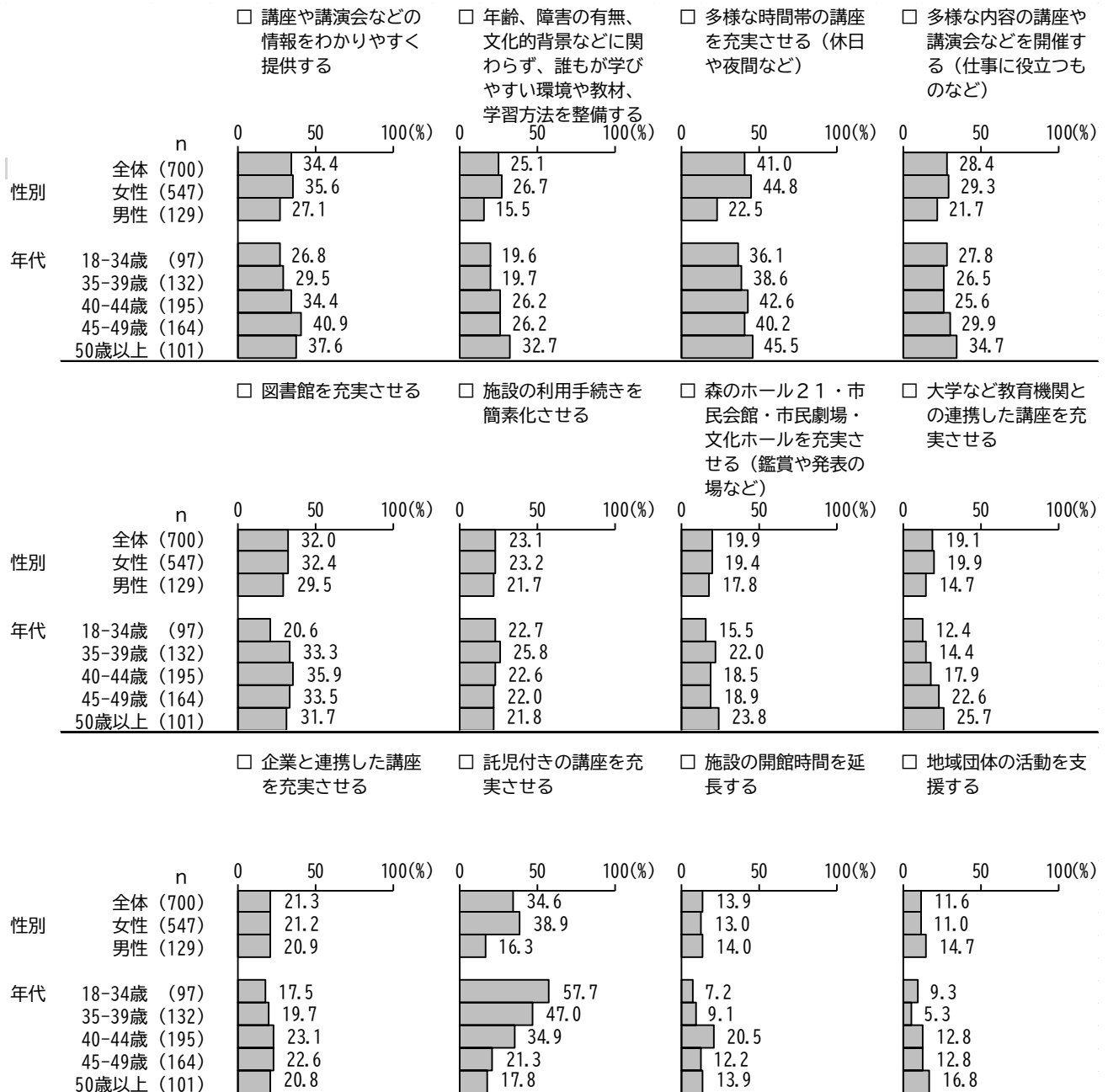
- 無回答



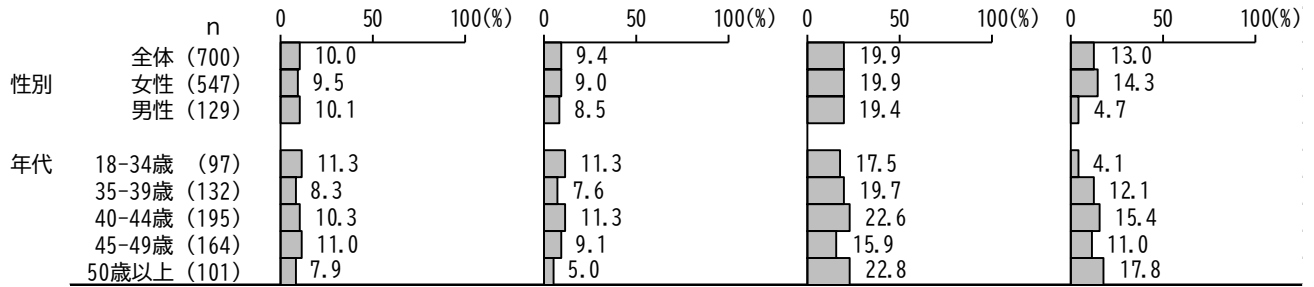
● 保護者調査

「多様な時間帯の講座の充実」では、女性（44.8%）が男性（22.5%）を22.3ポイント上回っている。年代別で見ると、年齢が高くなるにつれて、回答率が高くなる傾向にある。「託児付き講座の充実」も、女性（38.9%）が男性（16.3%）を22.6ポイント上回っている。年代別では若い年齢層ほど回答率が高くなる傾向となっている。

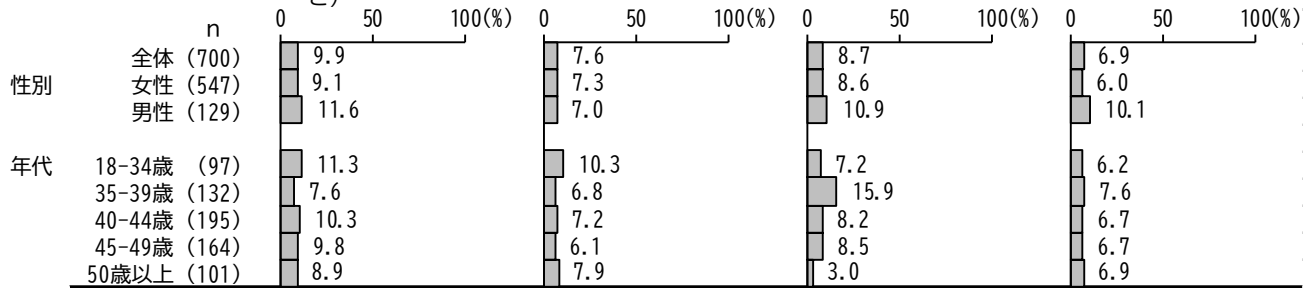
図表 2-27 市が力を入れるべきこと（性・年代別）



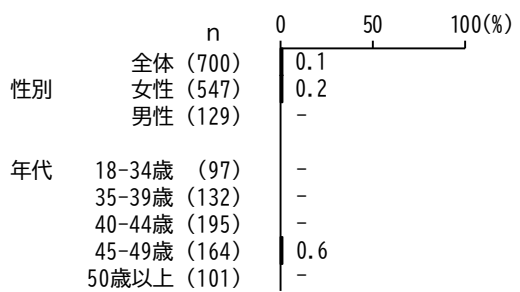
- 指導者やリーダーを確保したり、育成したりする
- 博物館・戸定歴史館を充実させる
- 学校施設を開放する
- 公民館・青少年会館などでの講座を充実させる



- 学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる（受講後、講師として活躍するなど）
- 学習・活動に関する相談体制を充実させる
- その他
- 特にない・わからない



無回答



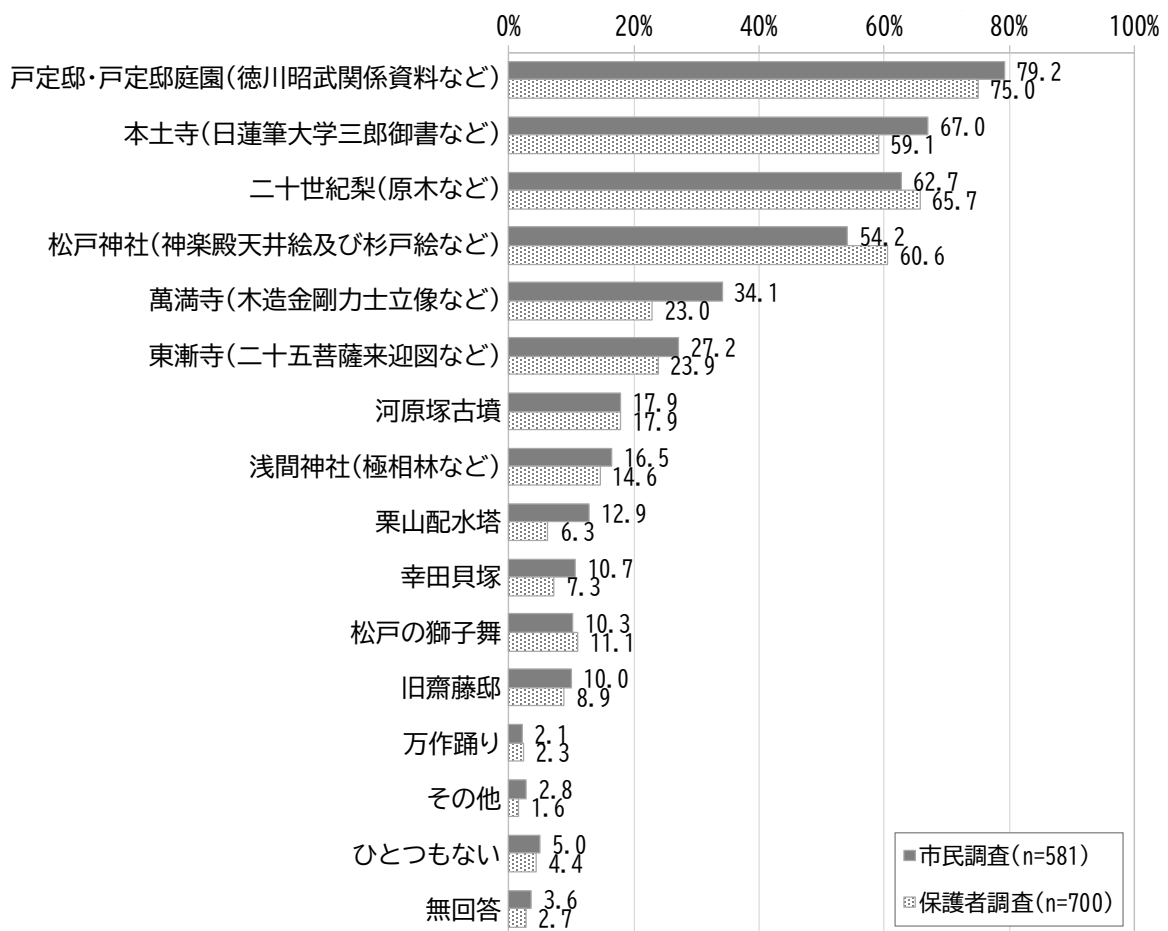
(8) 知っている、自慢したい松戸市の文化遺産

全員に、知っている文化遺産についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「戸定邸・戸定邸庭園」が最多（それぞれ79.2%、75.0%）となっている。次いで市民調査の「本土寺」（67.0%）、保護者調査の「二十世紀梨（原木など）」（65.7%）となっている。

問8 以下の文化遺産（文化財）について、ご存じのものをお答えください。また、そのうち他市の人に自慢したいものをお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

図表 2-28 知っている文化遺産

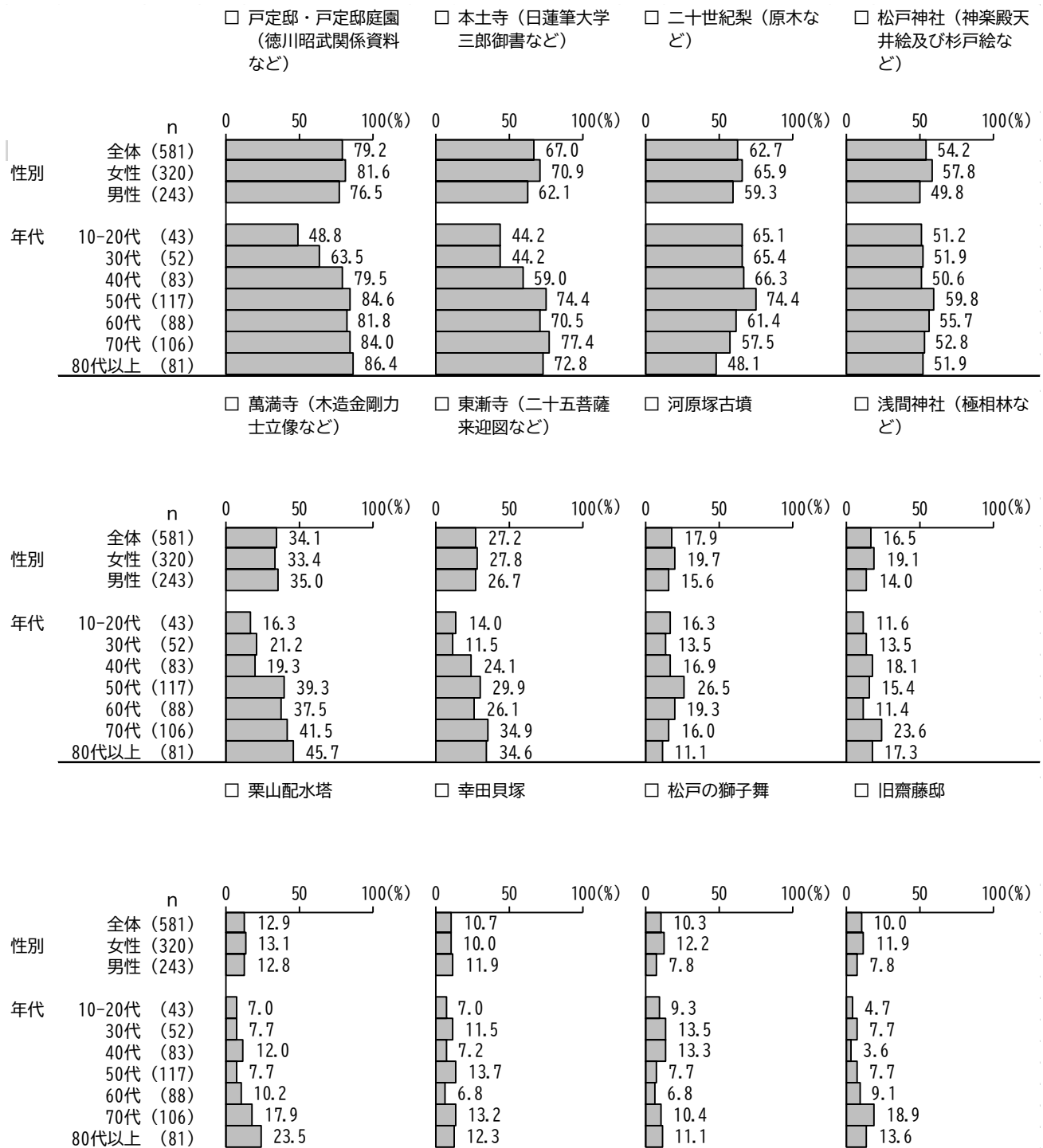


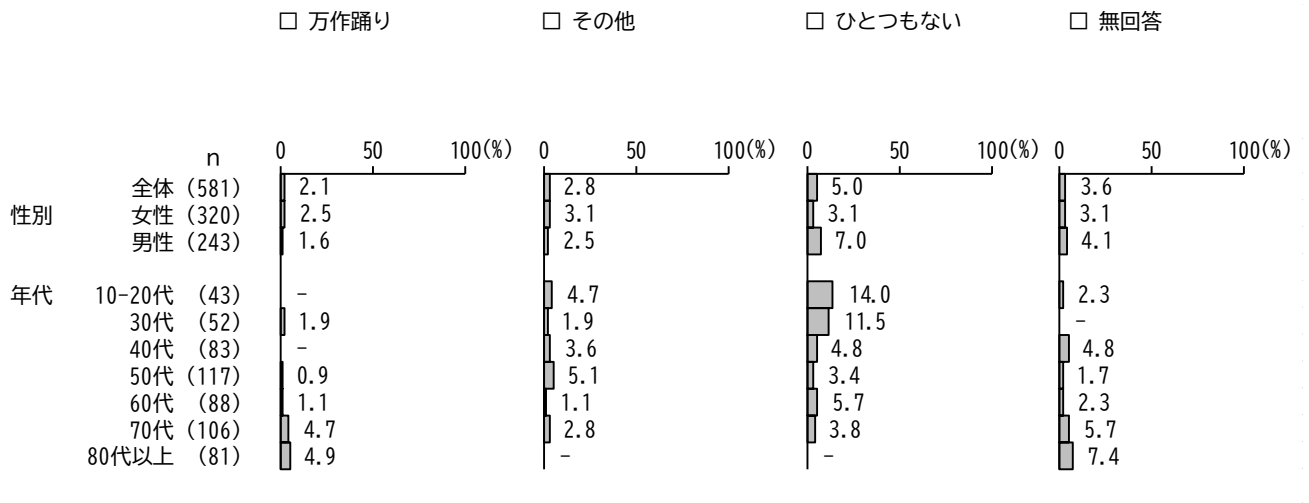
【知っている文化遺産×性別・年代】

● 市民調査

「戸定邸・戸定邸庭園」は、性別で顕著な差は見られず、75%超の高い回答率となっている。また、年齢が高くなるほど、知っている率は高くなる傾向にある。二番目に回答が多かった「本土寺」は、女性（70.9%）が男性（62.1%）を8.8ポイント上回っている。

図表 2-29 知っている文化遺産（性・年代別）

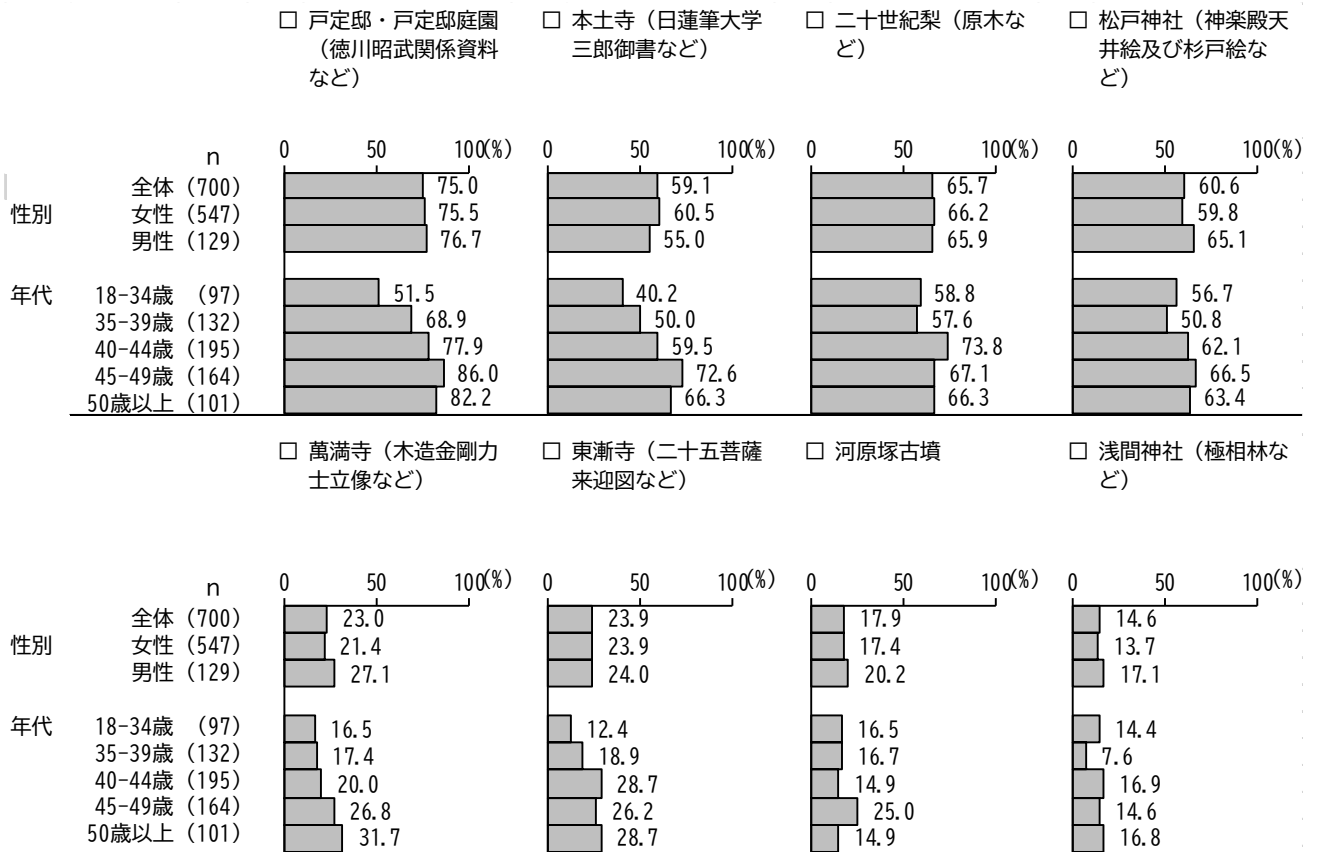




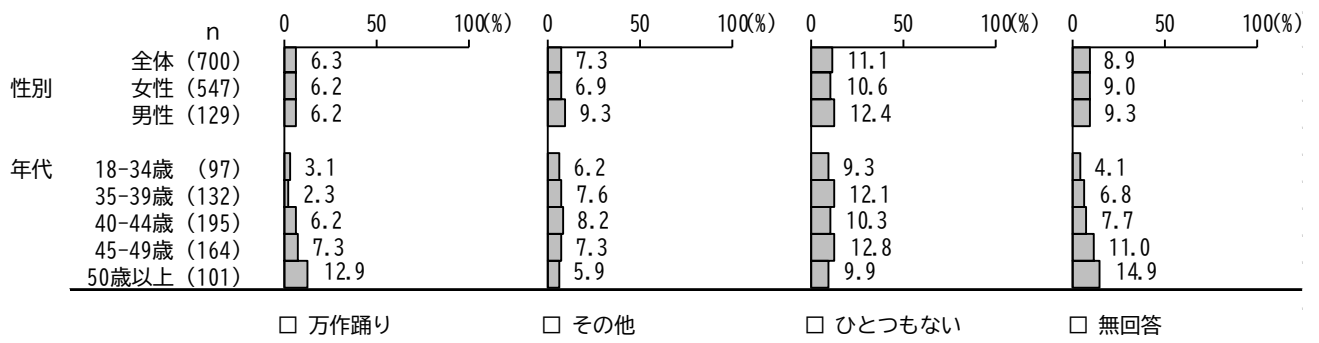
● 保護者調査

「戸定邸・戸定邸庭園」は、性別で顕著な差は見られず、75%超の高い回答率となっている。また、年齢が高くなるほど、知っている率は高くなる傾向にある。二番目に回答が多かった「二十世紀梨（原木など）」は性別や年代での顕著な差は見られない。

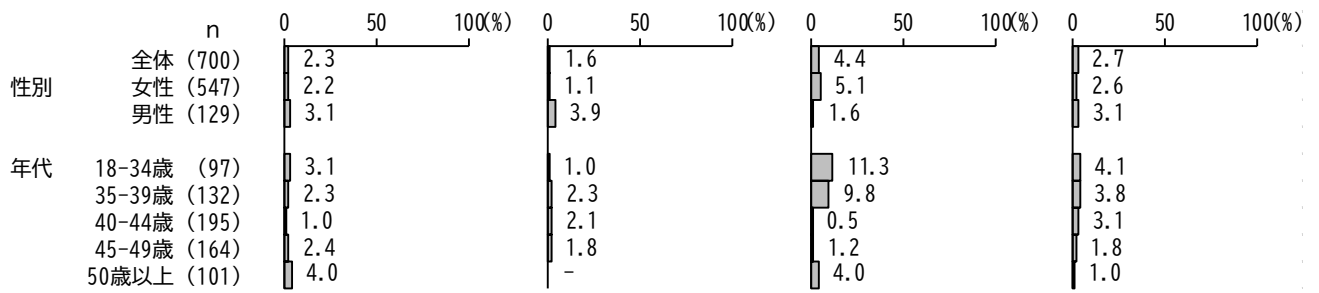
図表 2-30 知っている文化遺産（性・年代別）



栗山配水塔
 幸田貝塚
 松戸の獅子舞
 旧齋藤邸



万作踊り
 その他
 ひとつもない
 無回答

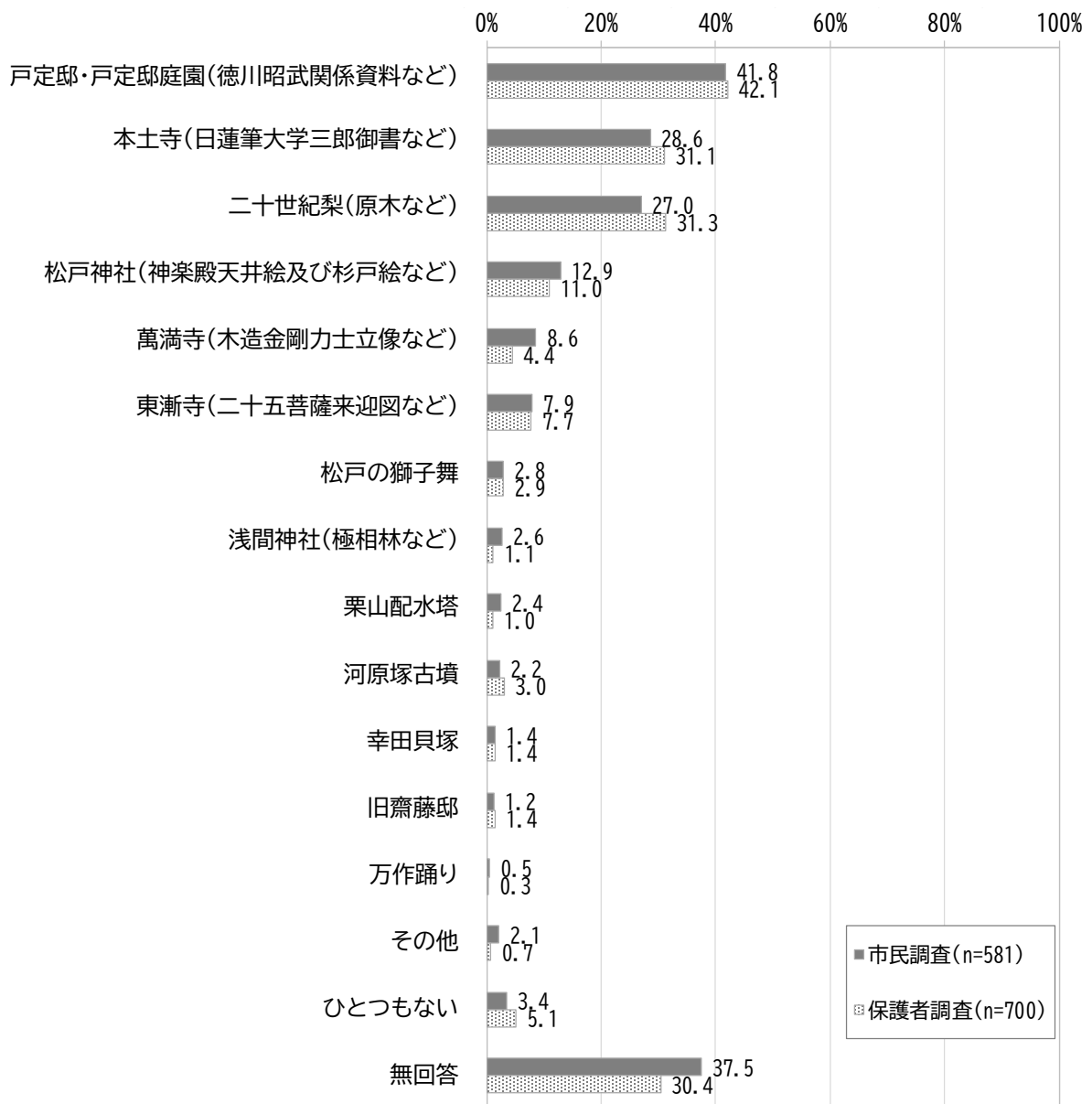


「知っている」文化遺産のうち、自慢したいものについてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「戸定邸・戸定邸庭園」が40%超で最多となっている。次いで市民調査の「本土寺」(28.6%)、保護者調査の「二十世紀梨(原木など)」(31.3%)となっている。

問8 以下の文化遺産(文化財)について、ご存じのものをお答えください。また、そのうち他市の人に自慢したいものをお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 2-31 自慢したい文化遺産

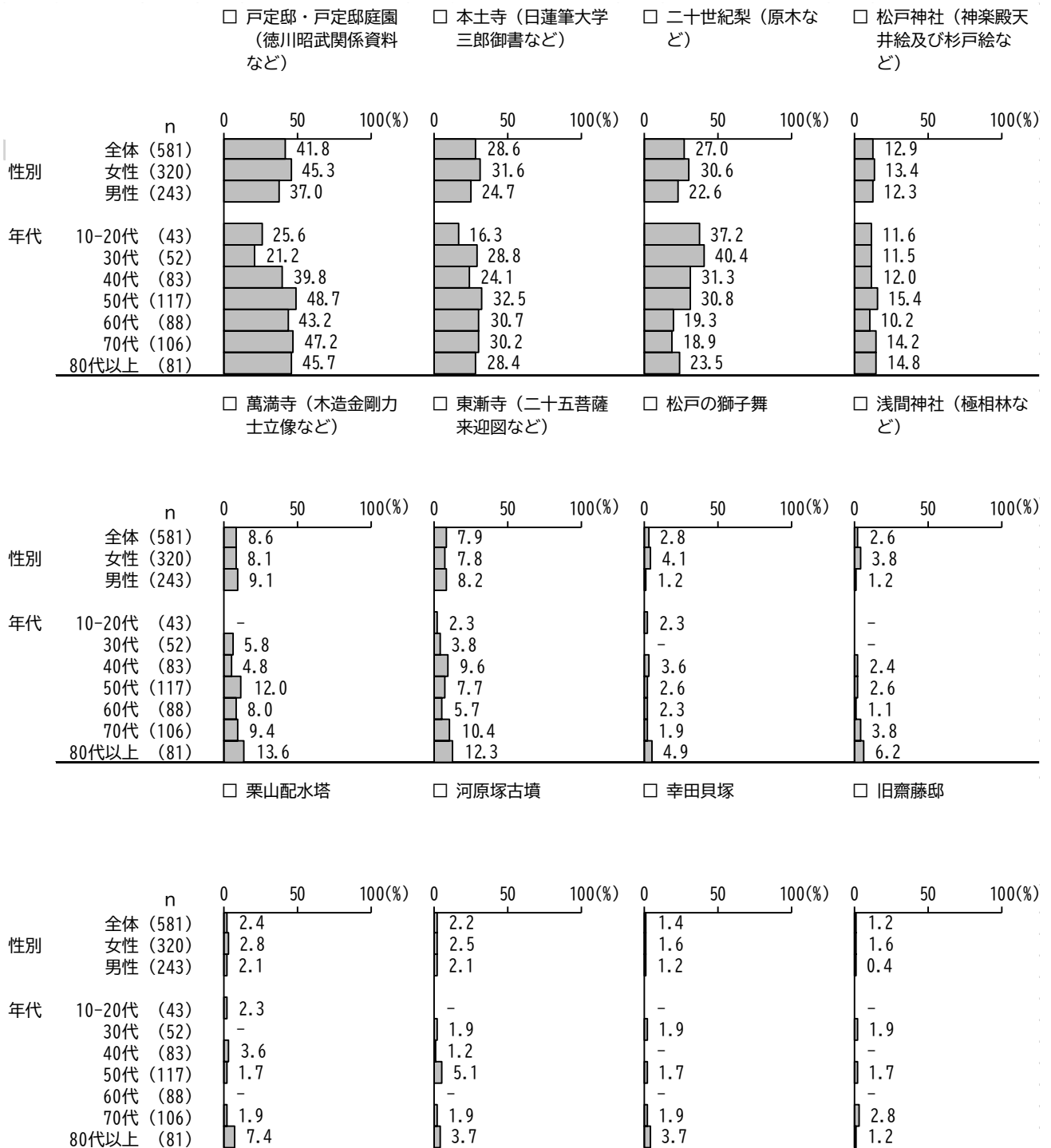


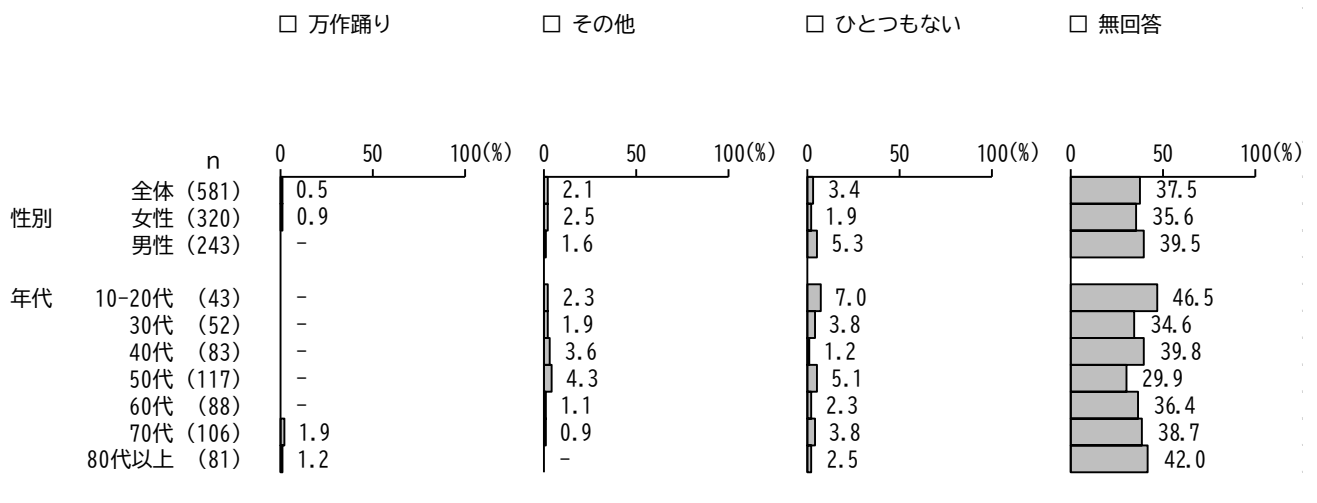
【自慢したい文化遺産×性別・年代】

● 市民調査

「戸定邸・戸定邸庭園」は、女性（45.3%）が男性（37.0%）を8.3ポイント上回っており、年代別では、年齢が高くなるにつれて回答率が上がる傾向にある。二番目に回答が多かった「本土寺」も、女性（31.6%）が男性（24.7%）を6.9ポイント上回っている。年代別では若い年齢層で回答率が比較的低い傾向である。

図表 2-32 自慢したい文化遺産（性・年代別）

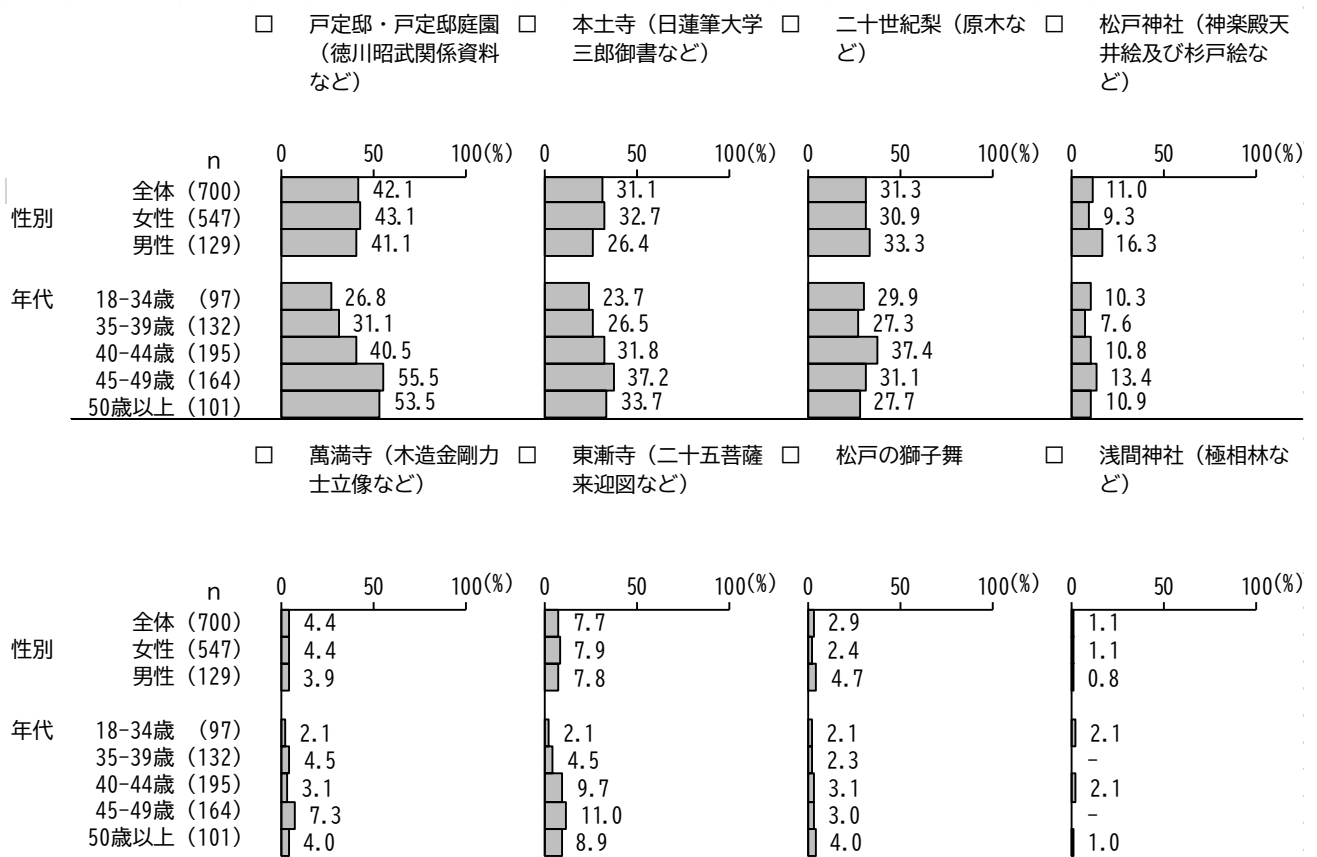




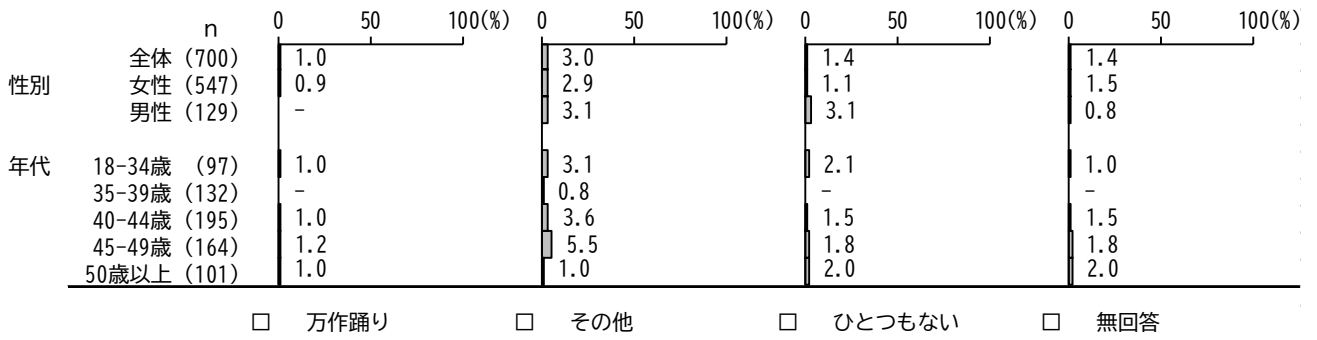
● 保護者調査

「戸定邸・戸定邸庭園」は、性別で顕著な差はないが、年代別では、年齢が高くなるにつれて回答率が高くなる傾向にある。

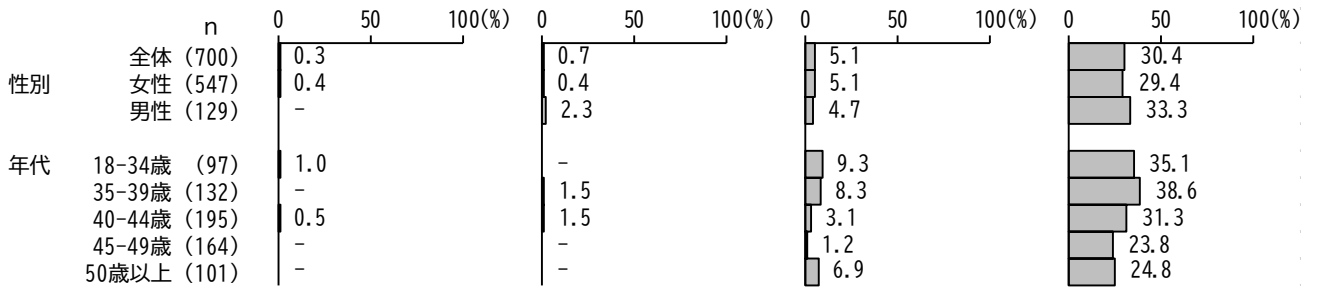
図表 2-33 自慢したい文化遺産（性・年代別）



栗山配水塔
 河原塚古墳
 幸田貝塚
 旧齋藤邸



万作踊り
 その他
 ひとつもない
 無回答



3 松戸市の教育について

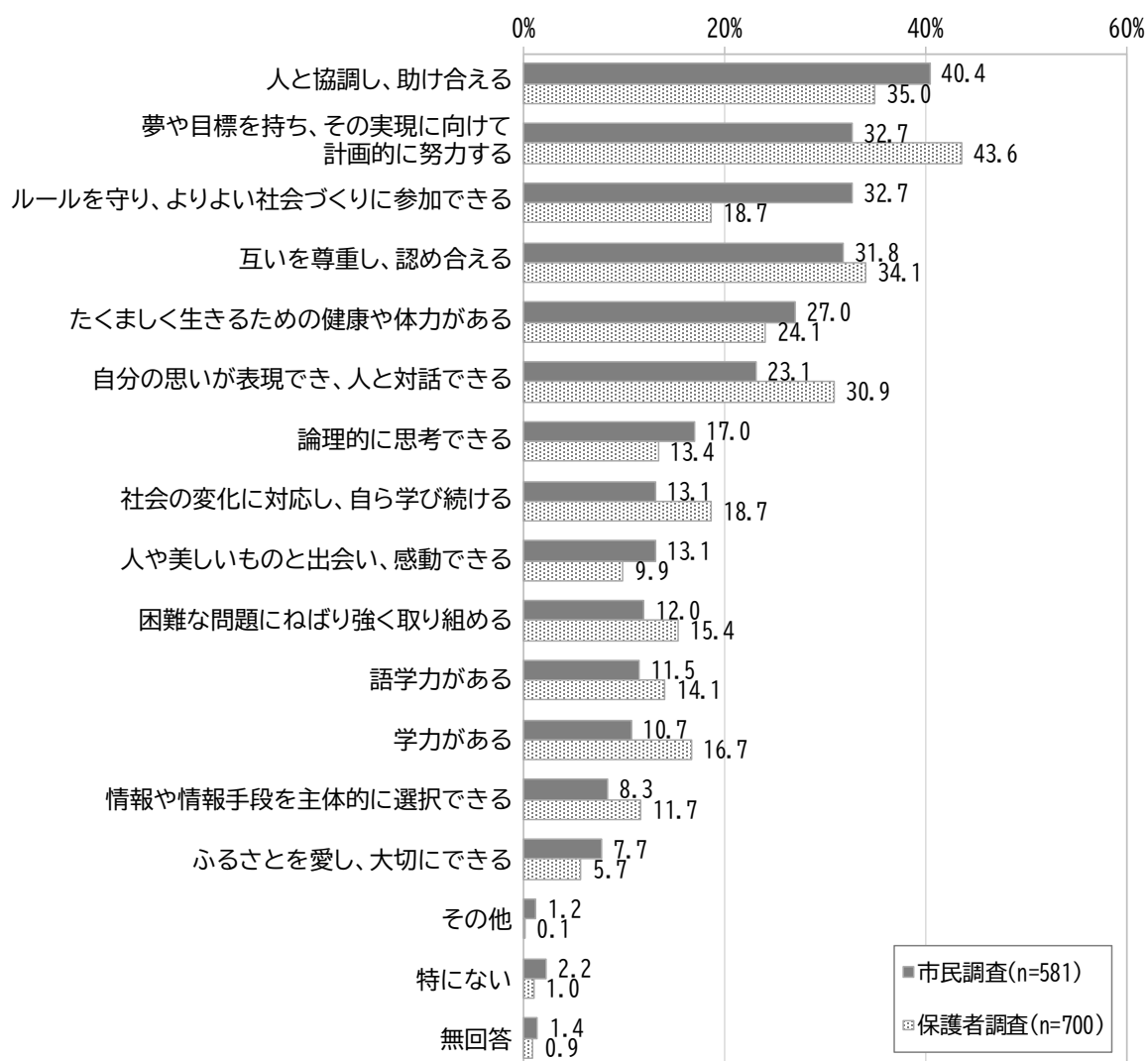
(9) 松戸市の子供たちに望む姿

全員に、松戸市の子供たちにどのように育てほしいかたずねたところ、市民調査では「人と協調し、助け合える」(40.4%)、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する」(32.7%)となっている。保護者調査では、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する」(43.6%)、「人と協調し、助け合える」(35.0%)となっている。全体として「人との協調」や「ルールを守る」については市民調査のほうが高い回答率である一方で、「夢や目標を持つ」や「自分の思いを表現し人と対話する」については保護者調査のほうが高い傾向にある。

問9 あなたは、松戸市の子供たちにどのように育て欲しいと思いますか。お子さんがいる、いないに関わらず、松戸市の子供全体についてお答えください。

(あてはまる番号3つまでを回答欄に記入)

図表 3-1 松戸市の子供たちに望む姿

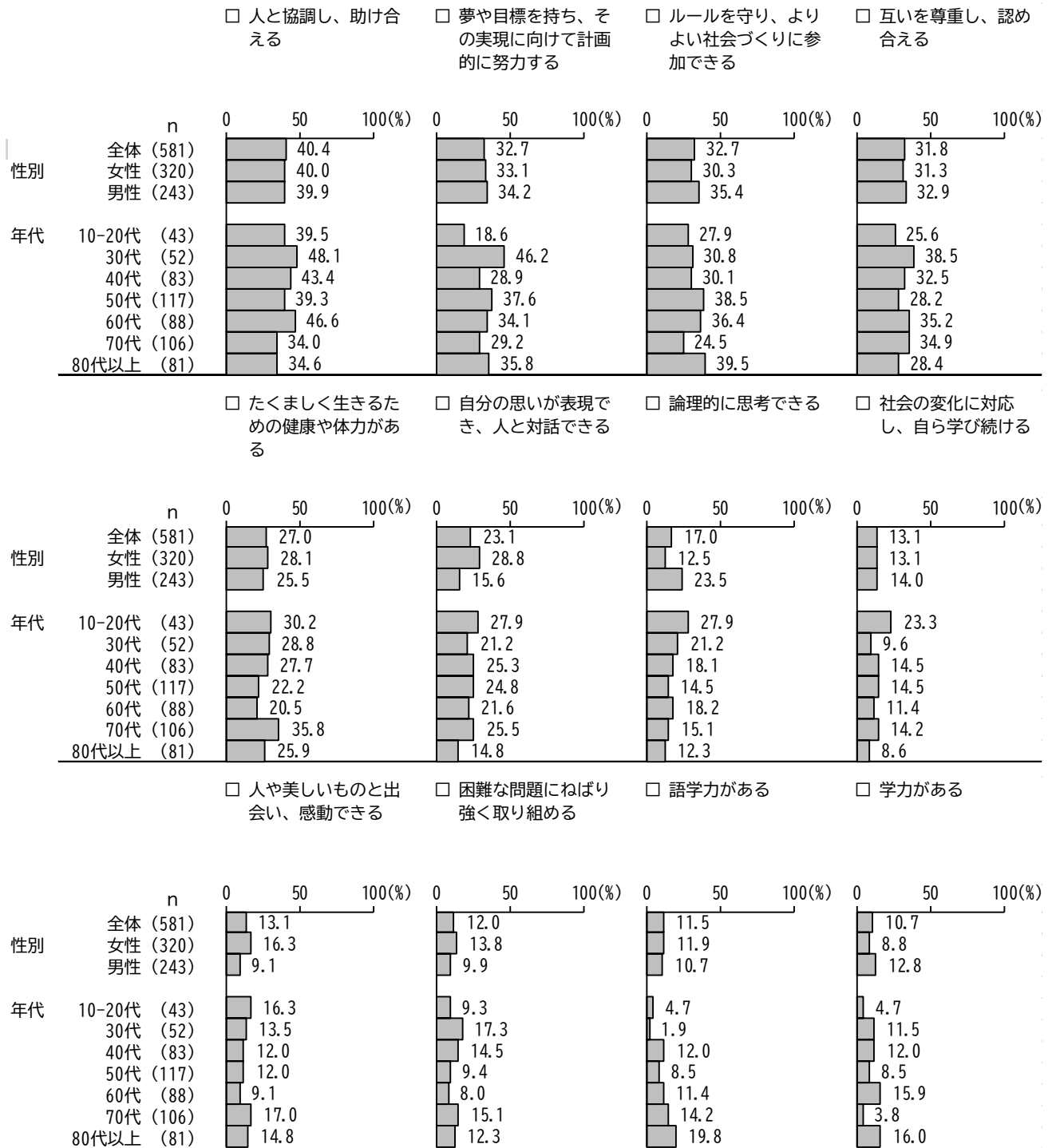


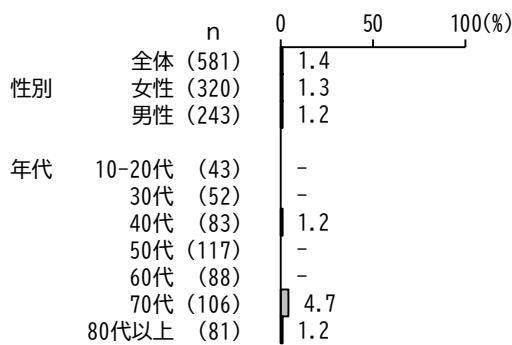
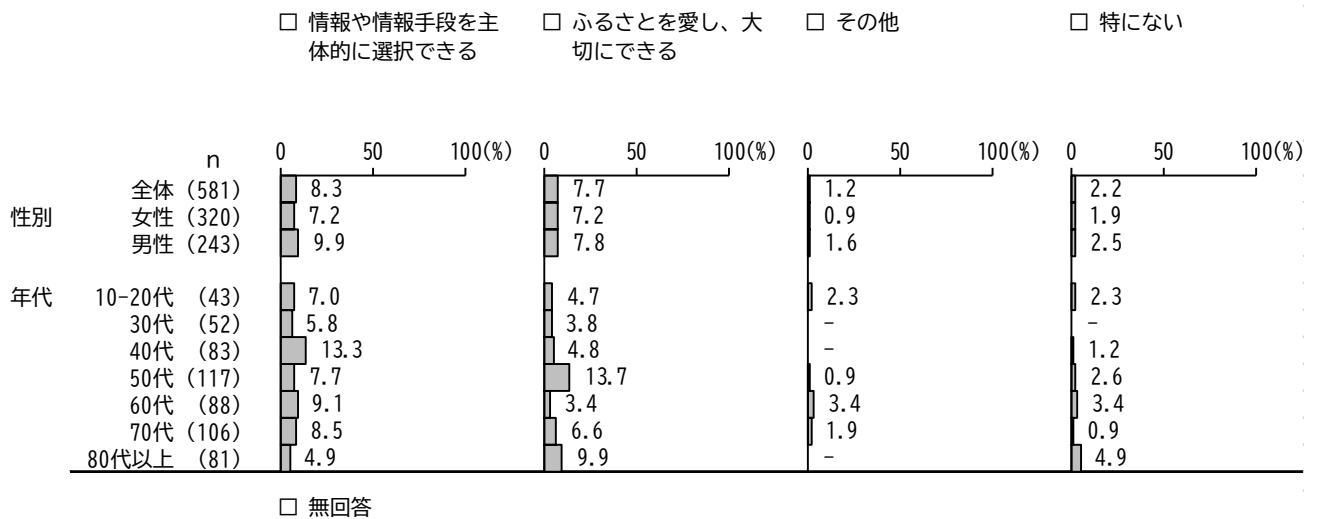
【松戸市の子供たちに望む姿×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「人と協調し、助け合える」、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する」とも、性別や年代で顕著な差は見られないが、30代の回答者において回答率が最も高くなっている。

図表 3-2 松戸市の子供たちに望む姿（性・年代別）

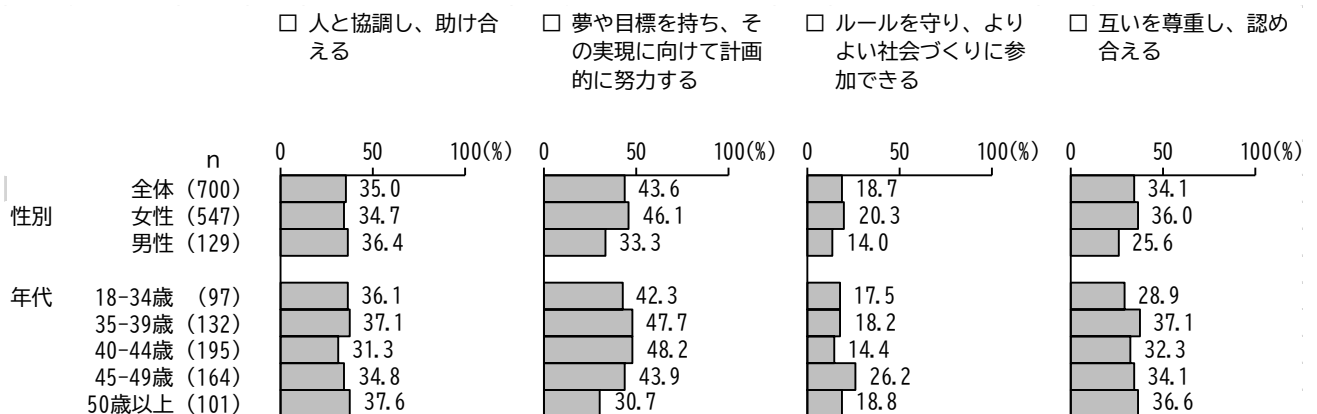




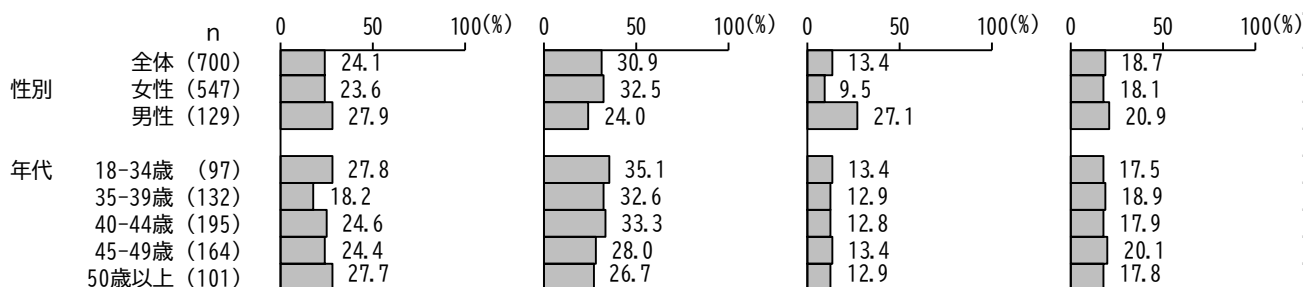
● 保護者調査

「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する」では、女性 (46.1%) が男性 (33.3%) を 12.8 ポイント上回っており、年代別に見ると 35 歳-49 歳の子育て年代で回答率が高くなっている。「人と協調し、助け合える」については、性別や年代で顕著な差は見られない。

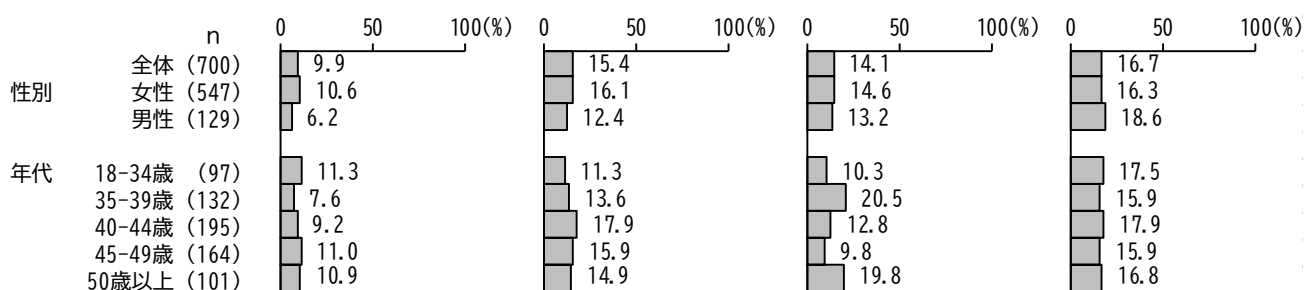
図表 3-3 松戸市の子供たちに望む姿 (性・年代別)



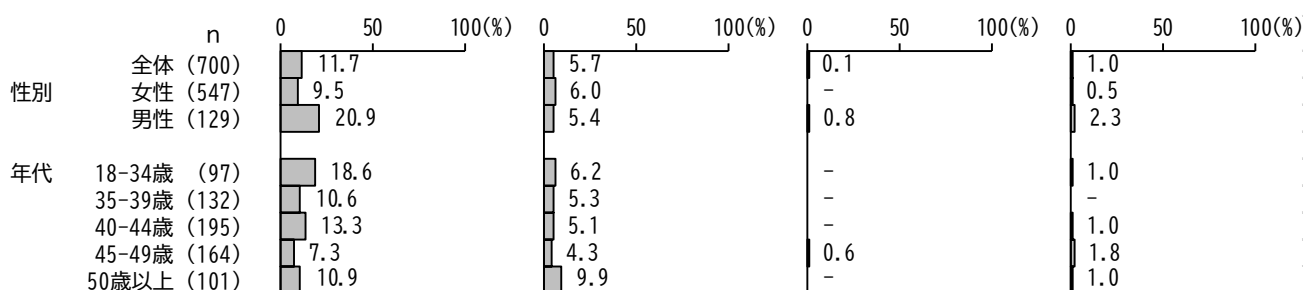
- たくましく生きるための健康や体力がある
- 自分の思いが表現でき、人と対話できる
- 論理的に思考できる
- 社会の変化に対応し、自ら学び続ける



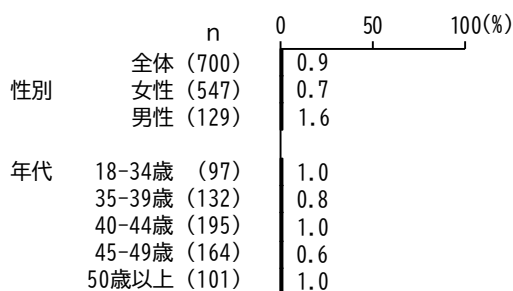
- 人や美しいものとの出会い、感動できる
- 困難な問題にねばり強く取り組める
- 語学力がある
- 学力がある



- 情報や情報手段を主体的に選択できる
- ふるさとを愛し、大切にできる
- その他
- 特にな



- 無回答



(10) 子供たちの成長において問題だと思うこと

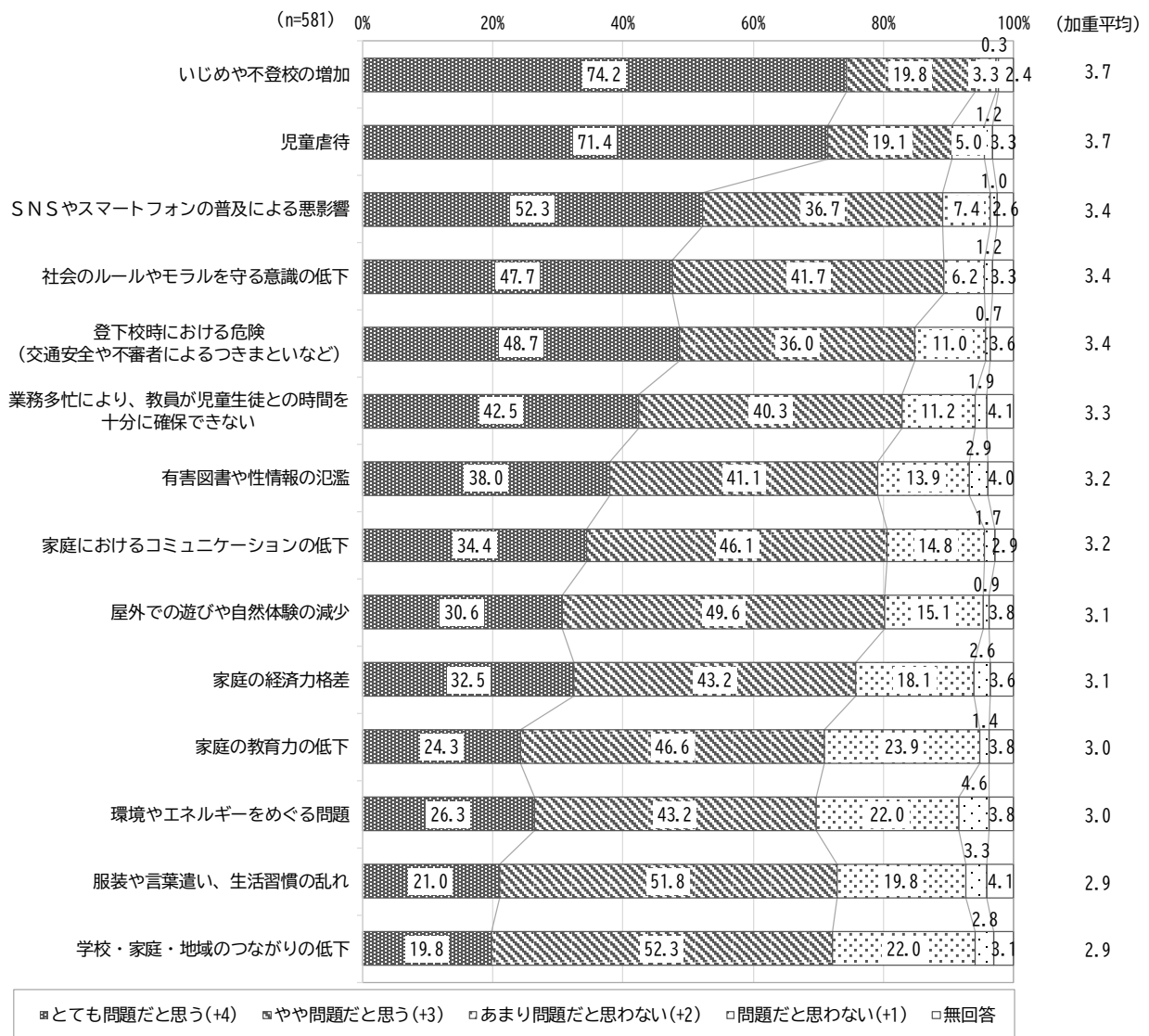
全員に、子供たちが成長する上での問題についてたずねたところ、市民調査では「いじめや不登校の増加」と「児童虐待」が最多の3.7ポイント、次いで「SNSやスマートフォンの普及による悪影響」「社会のルールやモラルを守る意識の低下」「登下校時における危険」が3.4ポイントとなっている（ここでは加重平均を用いて評価している）。

※右端の数値は加重平均を表す。加重平均は無回答を除く「とても問題だと思う(+4)」「やや問題だと思う(+3)」「問題だと思う(+2)」「問題だと思わない(+1)」で集計。

問 10 子供たちが成長する上で、ア)～セ)の事柄について、あなたはふだんの生活の中でどの程度問題だと感じていますか。

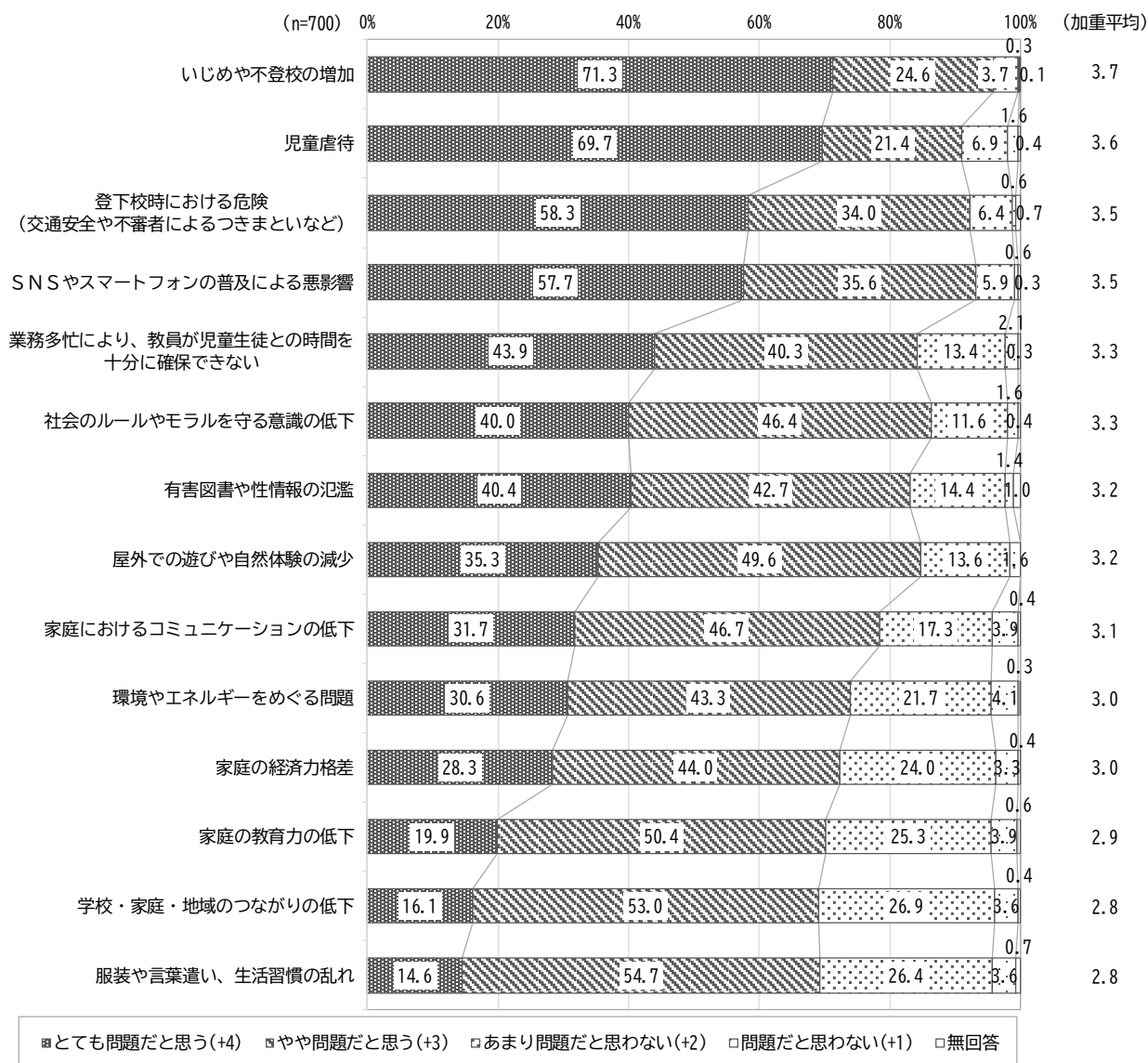
(それぞれあてはまる番号1つに○)

図表 3-4 子供の成長において問題だと思うこと（市民調査）



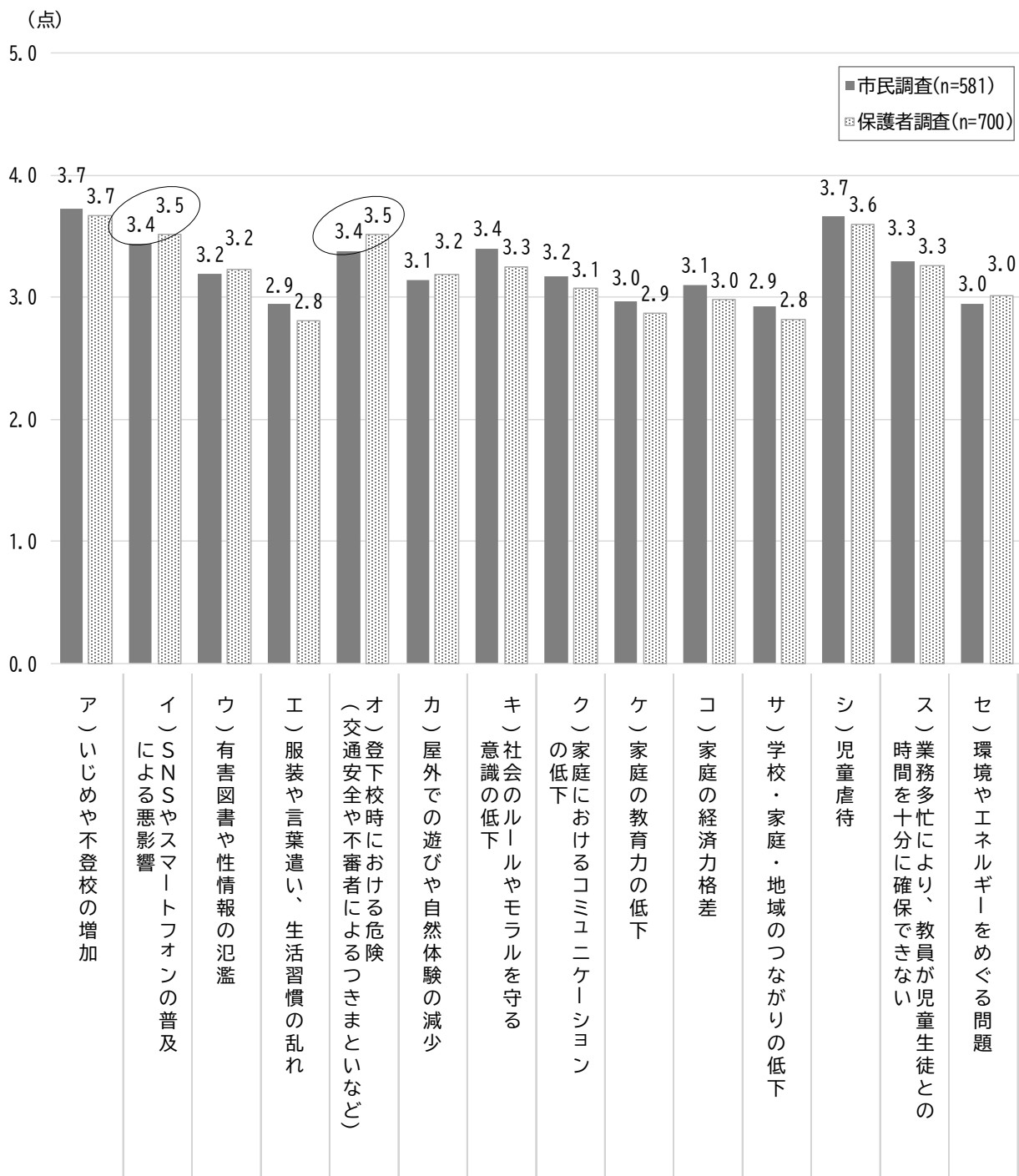
保護者調査では、「いじめや不登校の増加」が最多の3.7ポイント、次いで「児童虐待」の3.6ポイントとなっている。

図表 3-5 子供の成長において問題だと思うこと（保護者調査）



市民調査と保護者調査を加重平均値で比較したところ、顕著な差は見られない。全体的に市民調査のほうが保護者調査よりも「問題だ」と感じる項目が多く見られるが、「SNS やスマートフォンの普及による悪影響」、「登下校時における危険」においては、保護者調査のほうが「問題だ」と感じる度合いが高い。

図表 3-6 子供の成長において問題だと思うこと（市民調査・保護者調査 加重平均値比較）



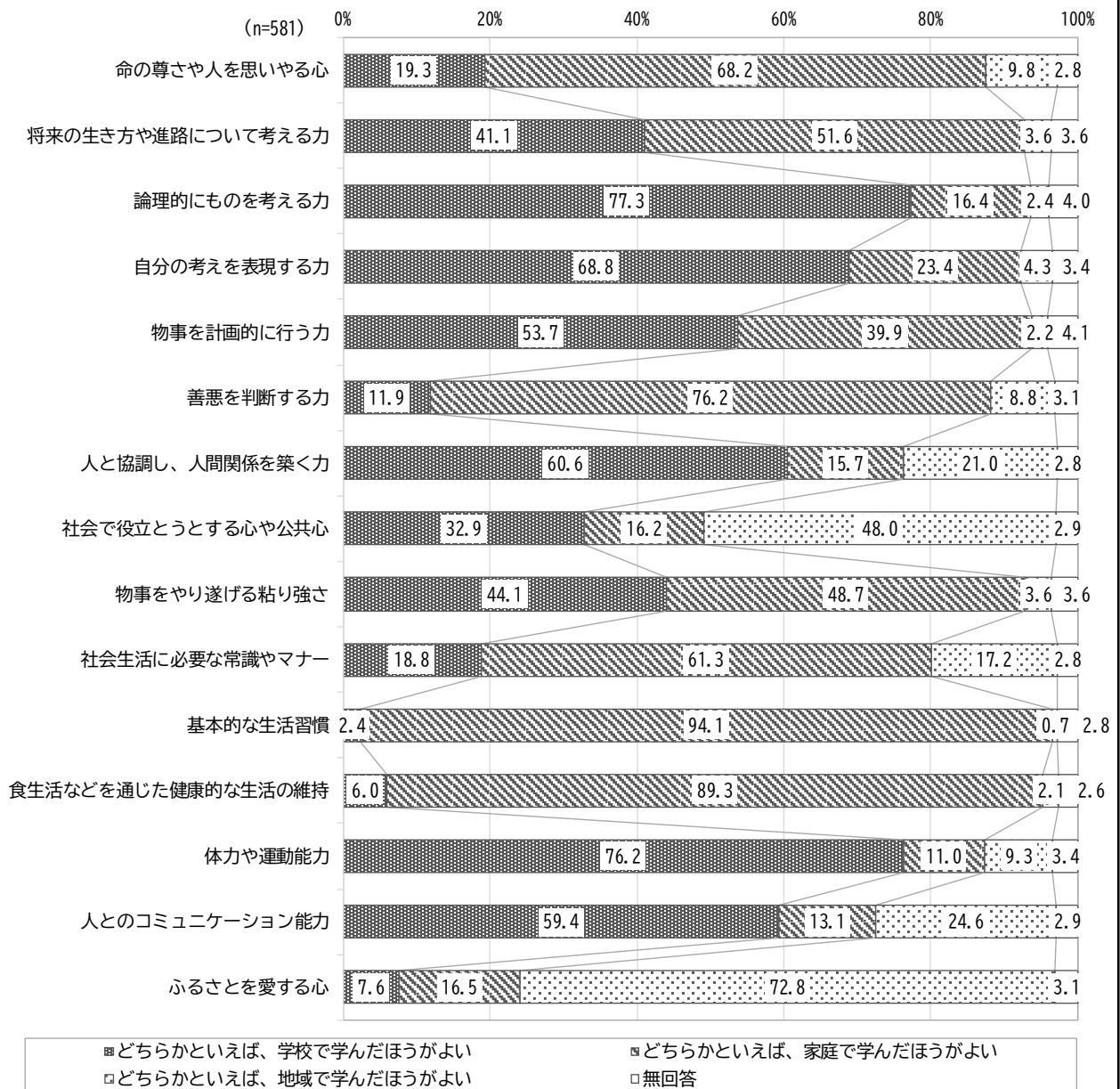
(11) 子供たちが身につける力や態度と学ぶべき場所

● 市民調査

全員に、子供たちが身につける力や態度について、学校・家庭・地域のいずれで学ぶべきかたずねたところ、「論理的にものを考える力」や「体力や運動能力」などは学校を（ともに70%台）、「基本的な生活習慣」や「食生活を通じた健康的な生活の維持」などは家庭を（80～90%台）、「ふるさとを愛する心」は地域を選択する傾向が強い（70%台）。

問 11 子供たちが以下のア)～ソ)のような力や態度を身につけるために、(1)学校、(2)家庭、(3)地域のいずれで学んだほうがよいと思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

図表 3-7 子供たちが身につける力や態度と学ぶべき場所（市民調査）

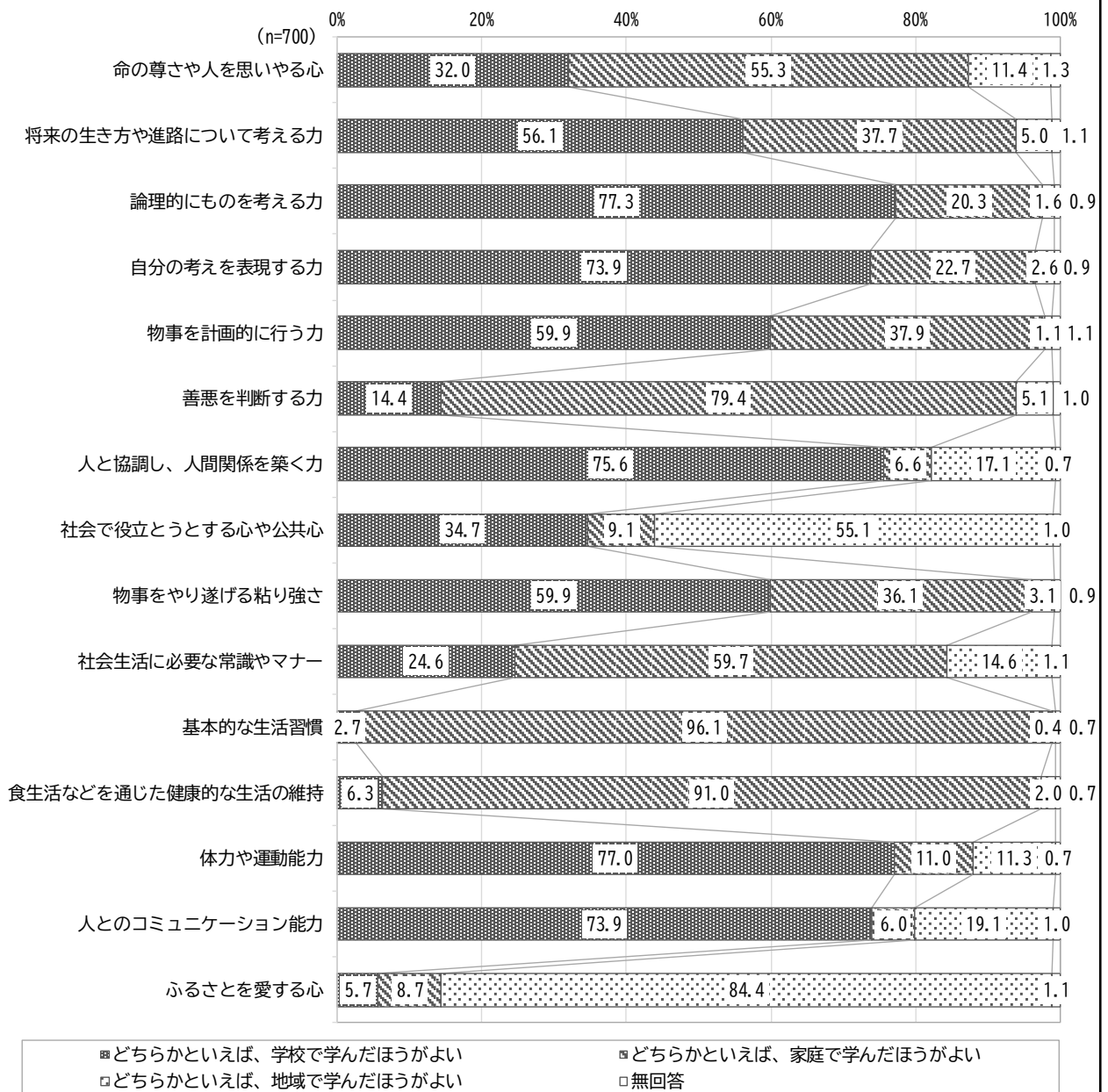


● 保護者調査

保護者調査も市民調査と同様、「論理的にものを考える力」や「人と協調し、人間関係を築く力」、また「体力や運動能力」や「人とのコミュニケーション能力」などは学校を（ともに 70%台）、「基本的な生活習慣」や「食生活を通じた健康的な生活の維持」などは家庭を（ともに 90%台）、「ふるさとを愛する心」は地域を選択する傾向が強くなっている（80%台）。

市民調査と比較すると、保護者調査ではすべての項目で、「学校で学ぶべき」と回答する率が高い傾向にある。

図表 3-8 子供たちが身につける力や態度と学ぶべき場所（保護者調査）

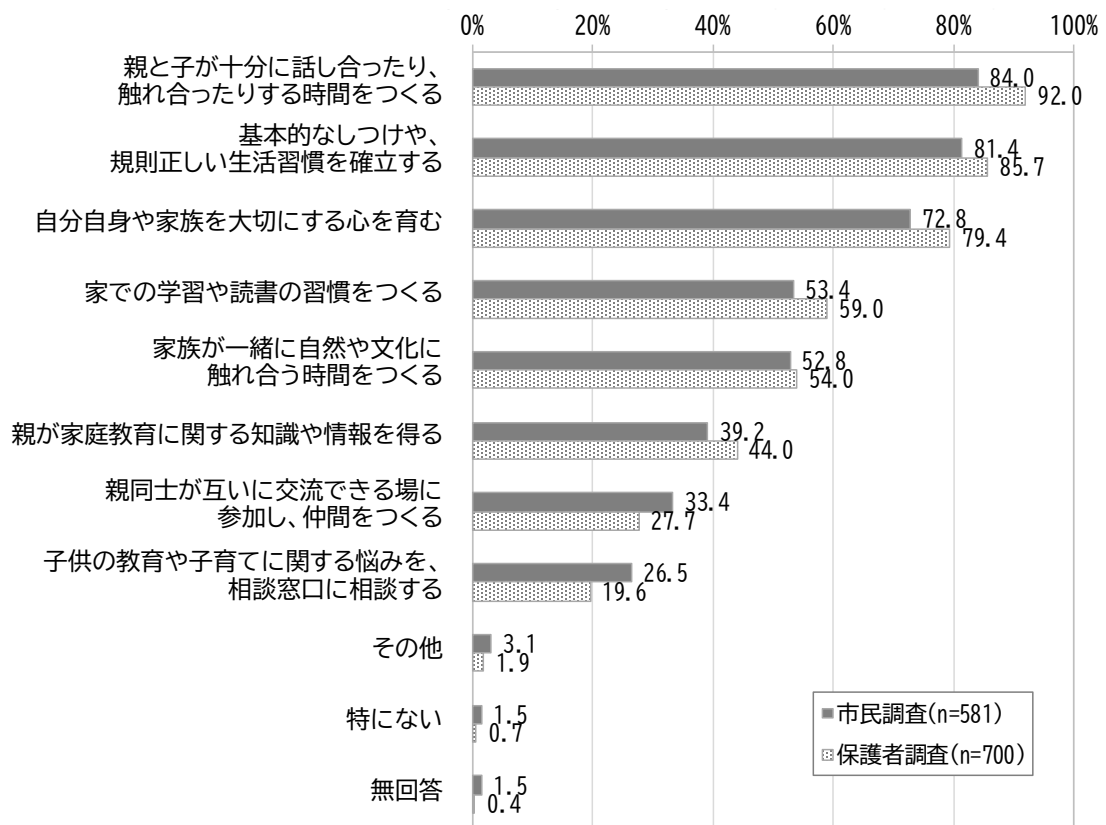


(12) 家庭が取り組むべき事柄

全員に、家庭の教育力を高めるために、家庭が取り組むべき事柄についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる」「基本的なしつけや規則正しい生活習慣を確立する」が80%以上と高い。また、保護者調査のほうが市民調査よりも、その回答率が高い傾向にある。

問 12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

図表 3-9 家庭が取り組むべき事柄

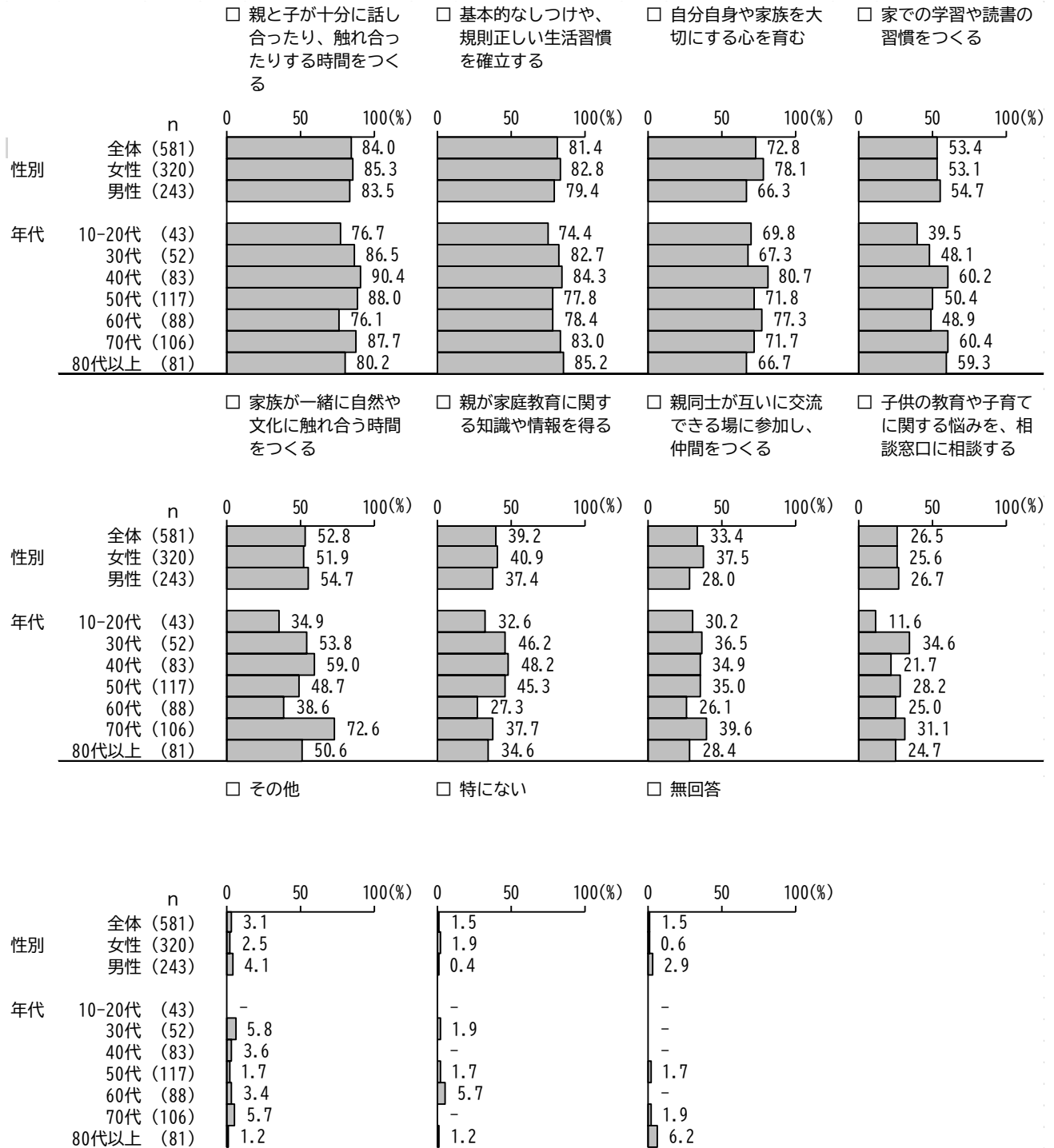


【家庭が取り組むべき事柄×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる」について、全性別や全年代通して、高い傾向にある。

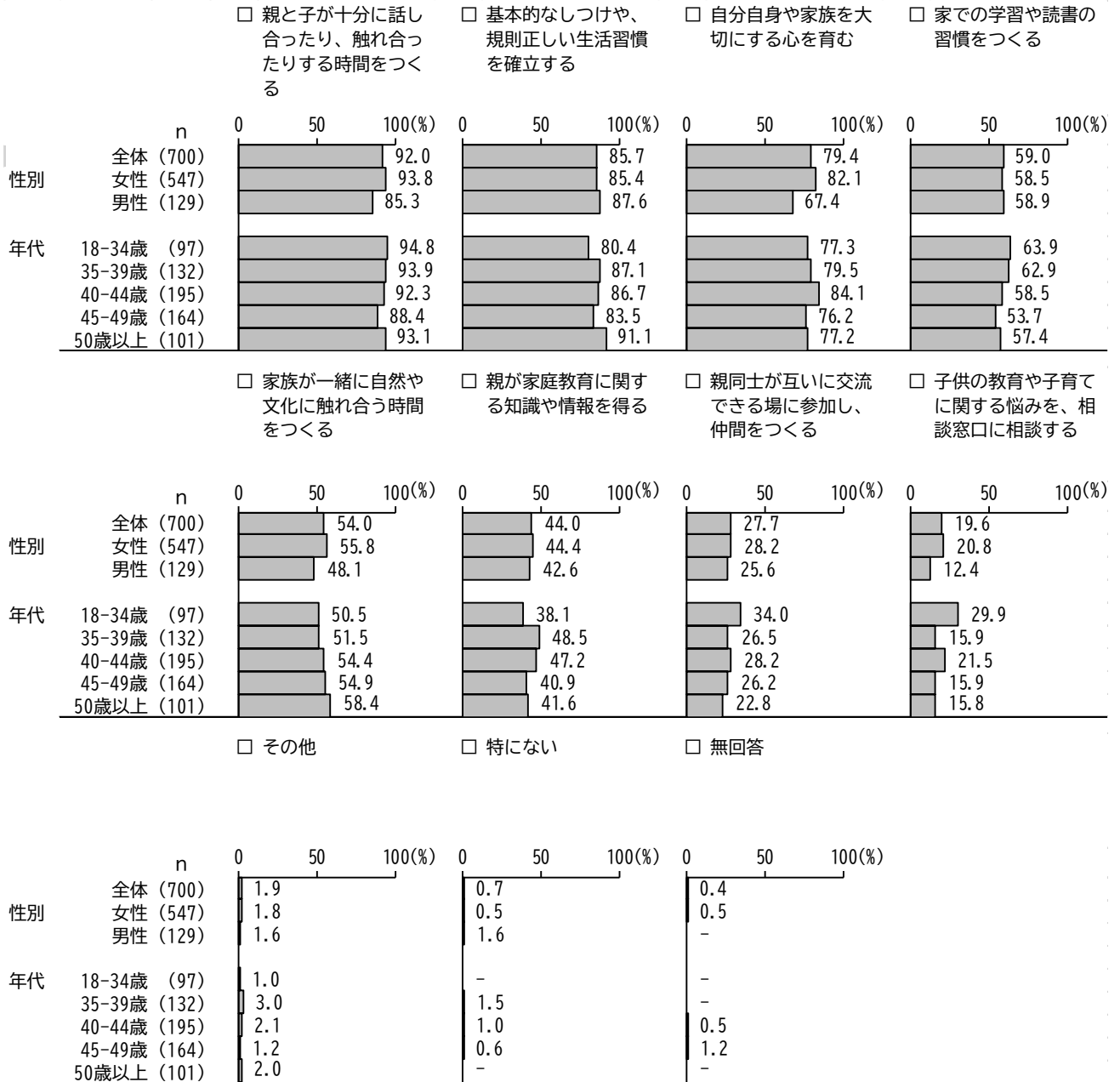
図表 3-10 家庭が取り組むべき事柄（性・年代別）



● 保護者調査

市民調査と同じく「親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる」について、全性別や全年代通して、高い傾向にある。

図表 3-11 家庭が取り組むべき事柄（性・年代別）

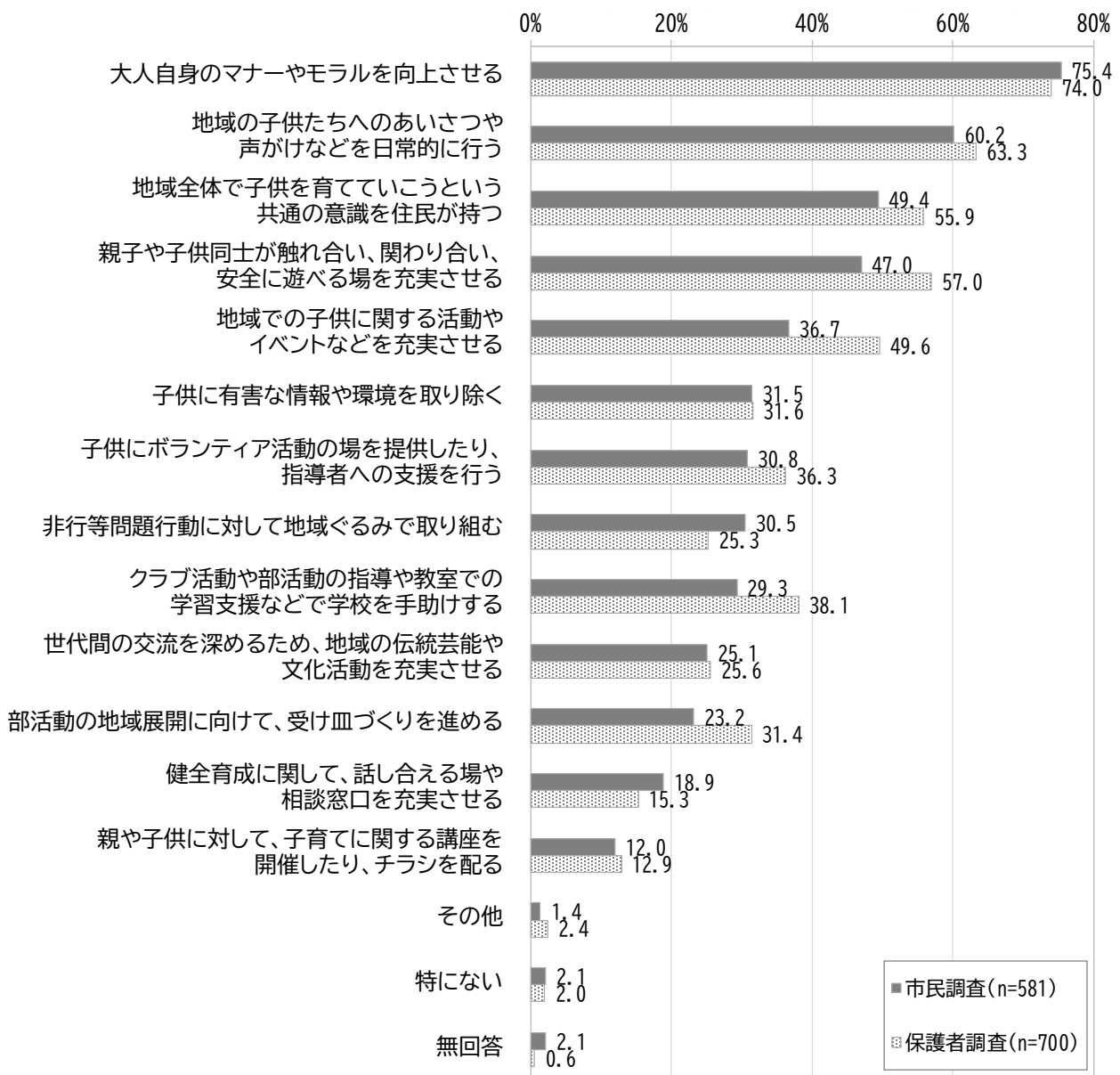


(13) 地域が取り組むべき事柄

全員に、地域の教育力を高めるために、地域が取り組むべき事柄についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「大人自身のマナーやモラルを向上させる」(70%以上)、「地域の子供たちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う」(60%以上)が高い。

問 13 地域の教育力を高めるために、地域ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

図表 3-12 地域が取り組むべき事柄

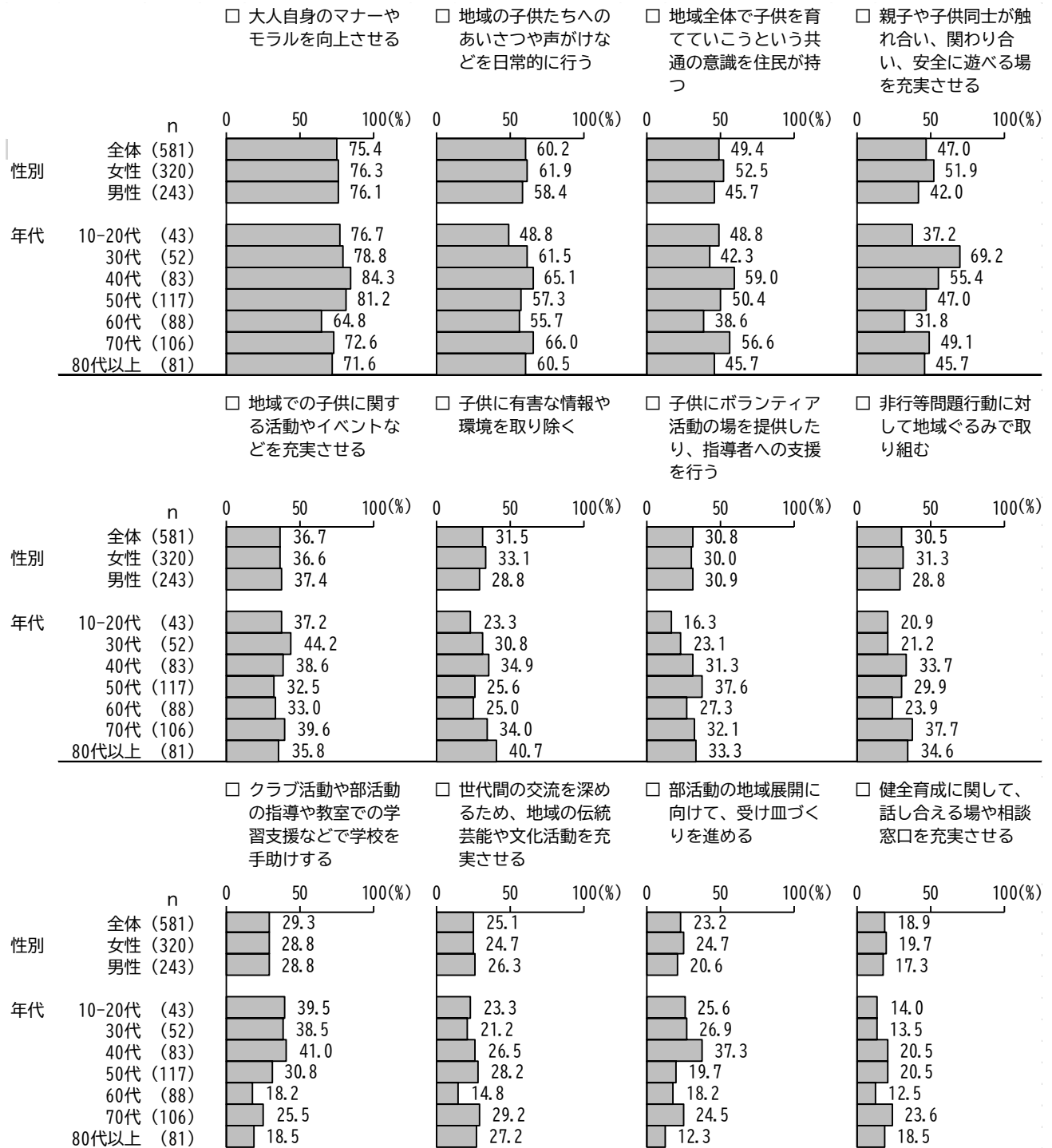


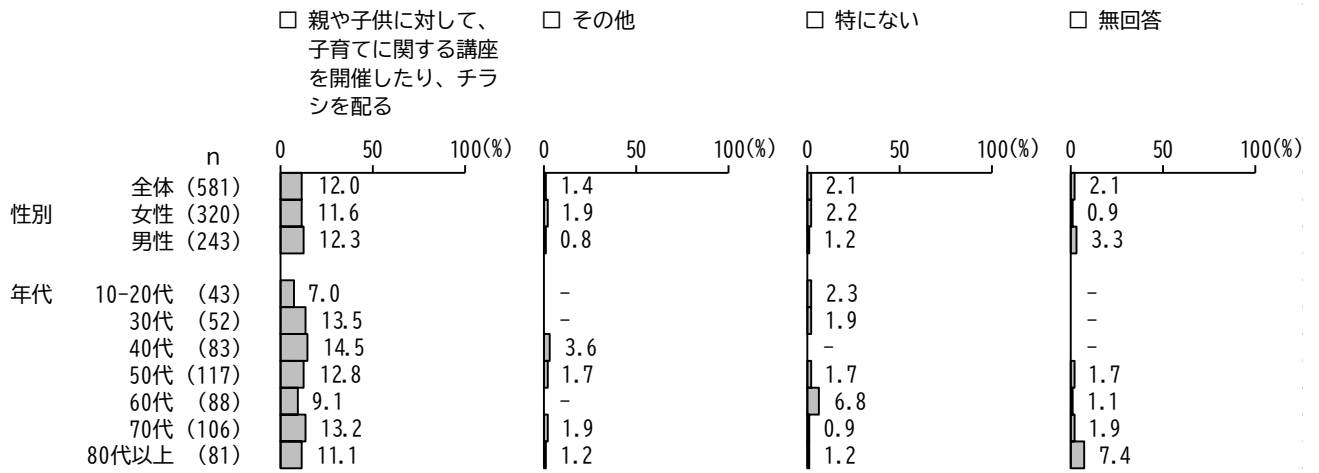
【地域が取り組むべき事柄×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「大人自身のマナーやモラルを向上させる」について、若い世代ほど回答率が高い傾向にある。

図表 3-13 地域が取り組むべき事柄（性・年代別）

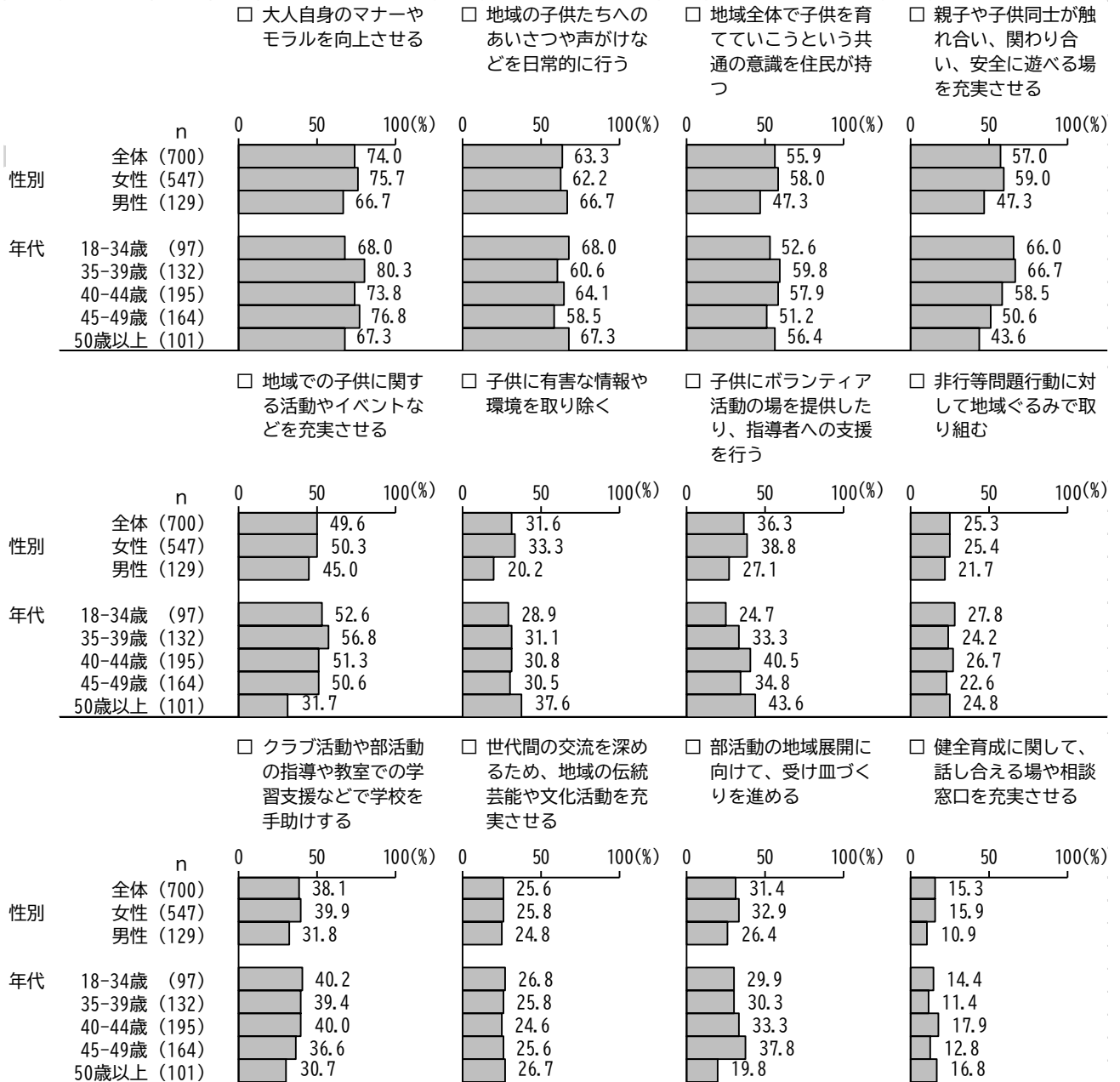


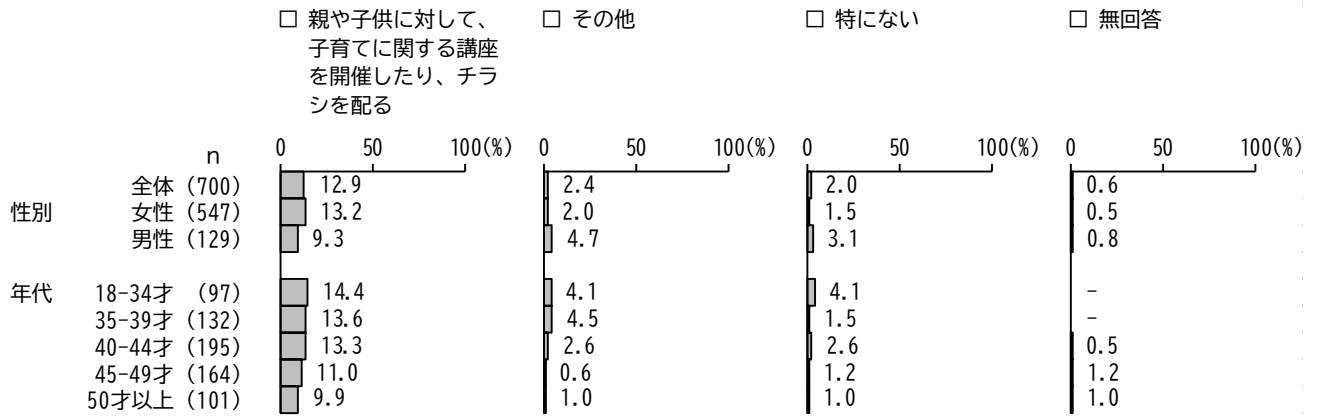


● 保護者調査

回答が多かった「大人自身のマナーやモラルを向上させる」について、女性の回答率が高い傾向にある。年代別では35-39歳の回答率が最も高い。

図表 3-14 地域が取り組むべき事柄（性・年代別）





4 学校での教育や指導について

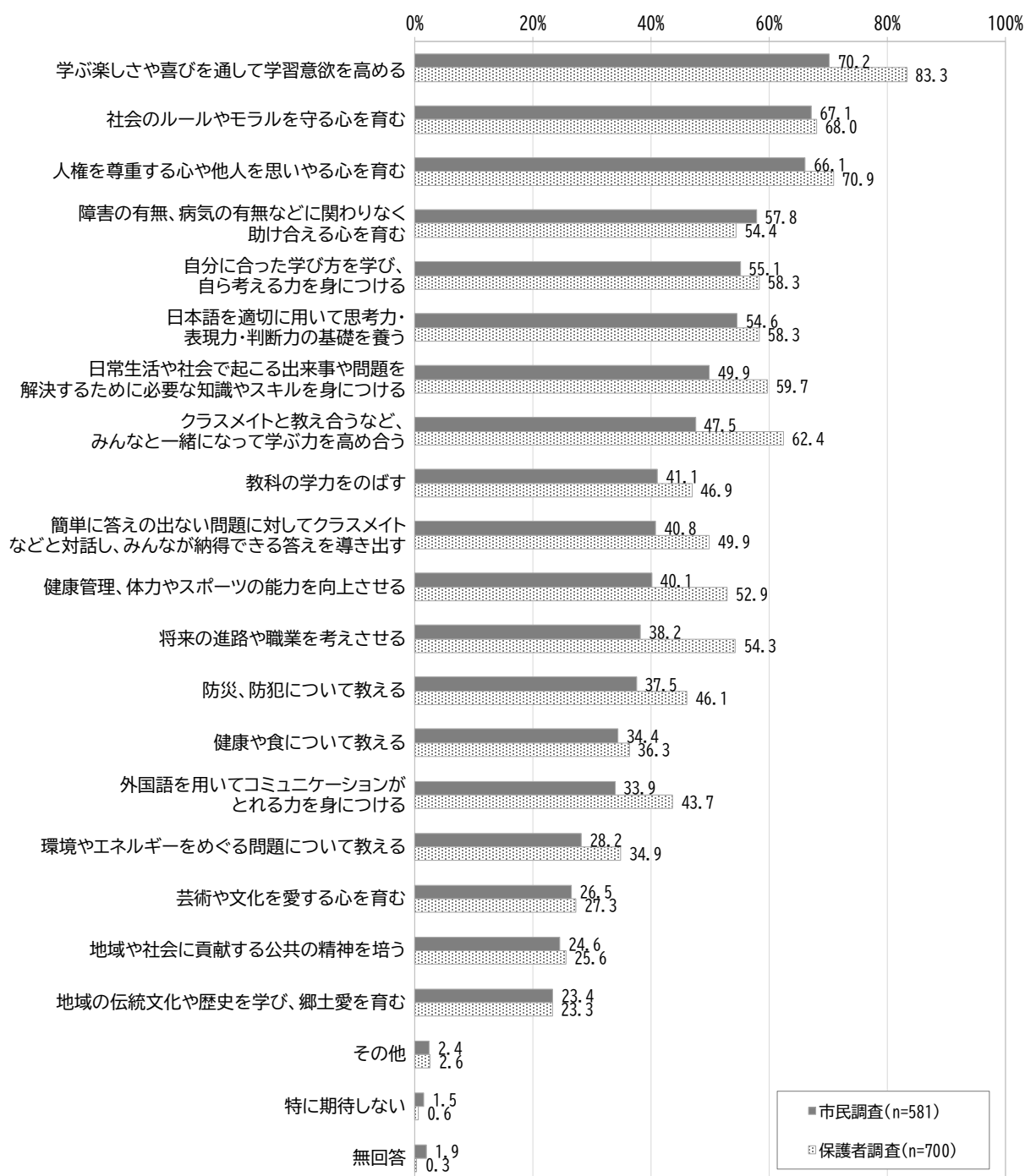
(14) 学校に期待する教育や指導

全員に、学校に期待する教育や指導をたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「学が楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」が、それぞれ 70.2%、83.3%と最も高い。

問 14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 4-1 学校に期待する教育や指導

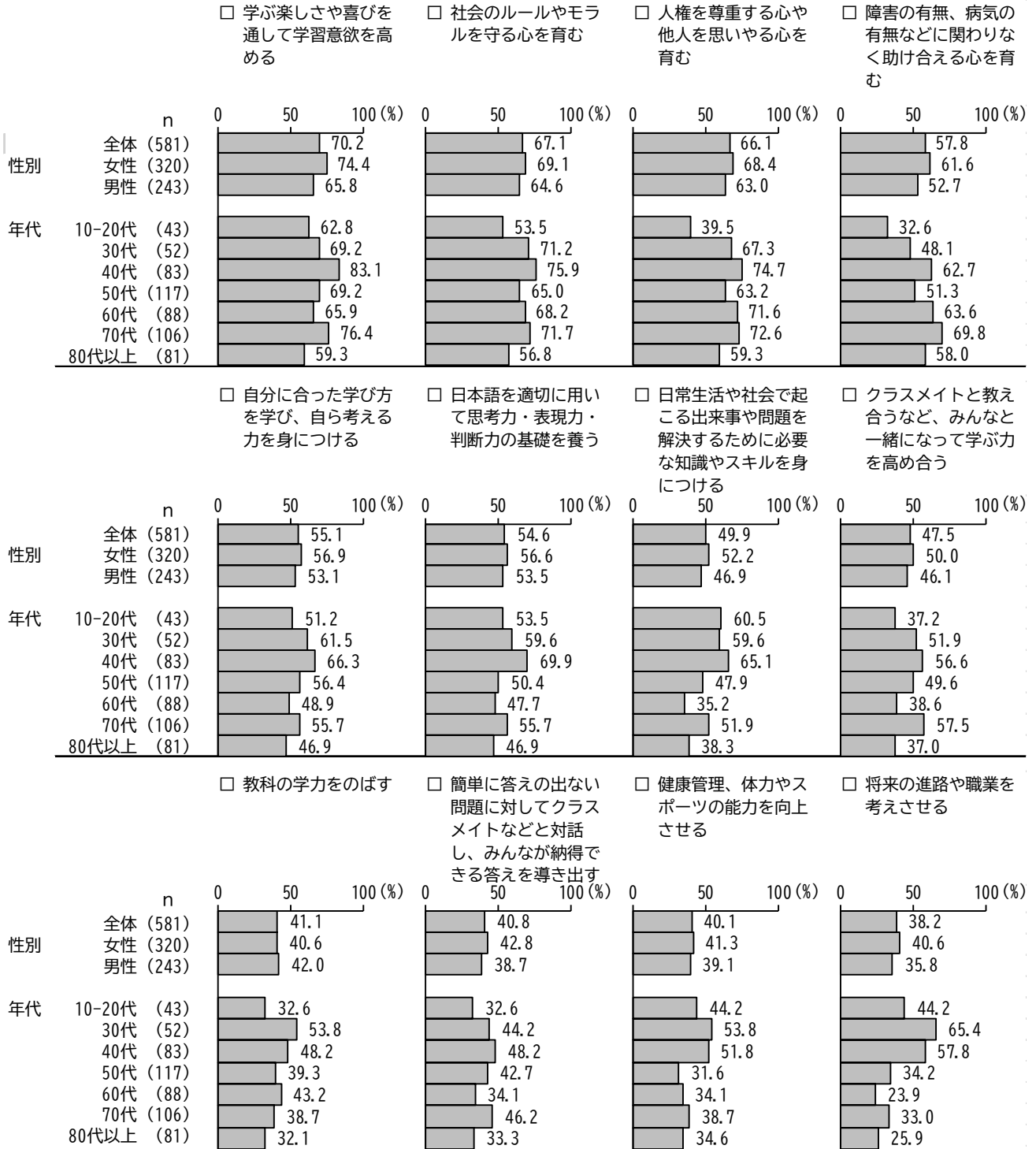


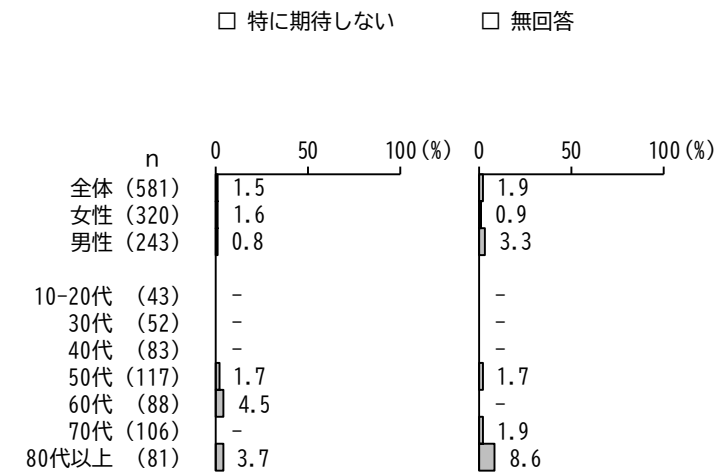
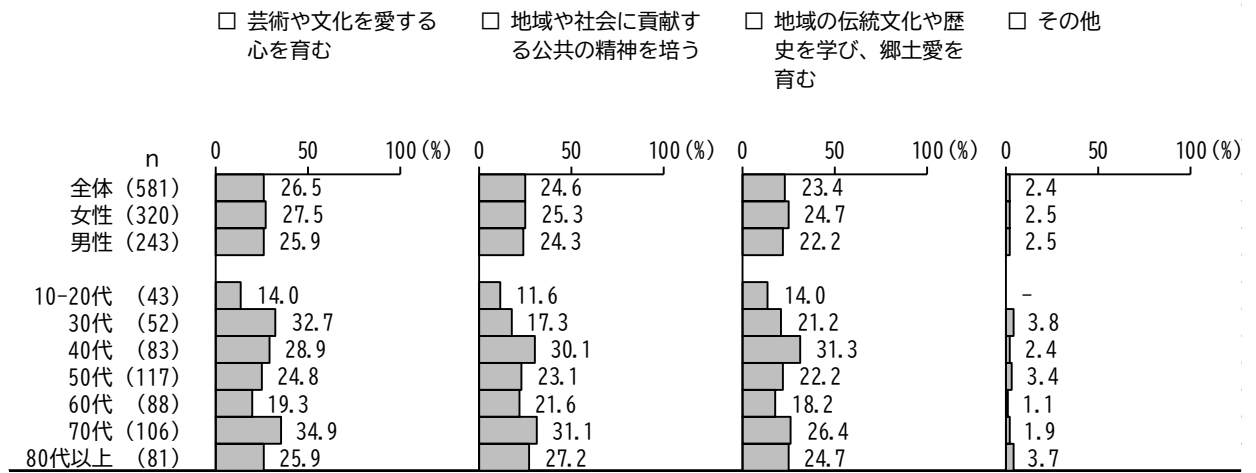
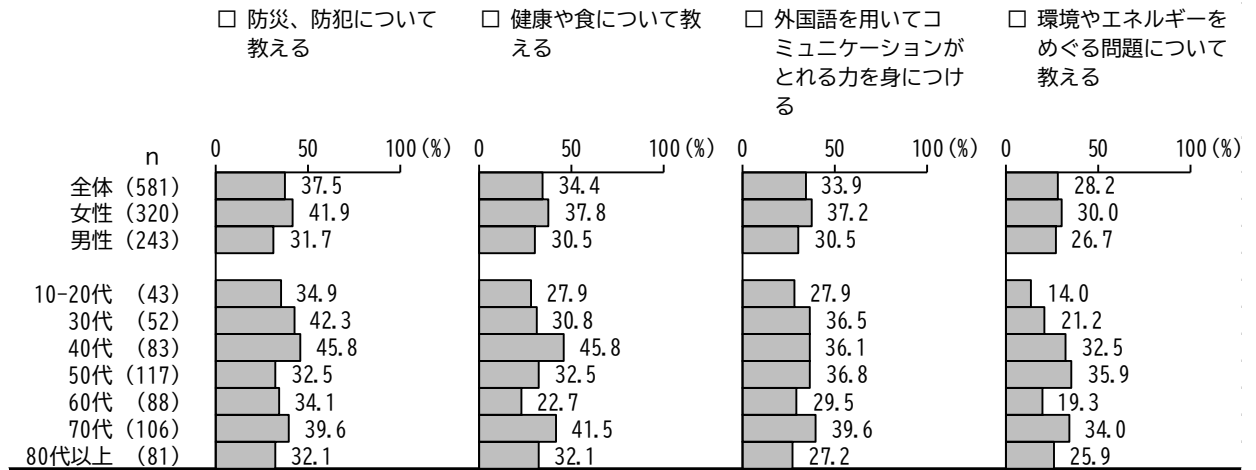
【学校に期待する教育や指導×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」について、女性の回答率が高い傾向にある。年代別では40代の回答率が最も高い。

図表 4-2 学校に期待する教育や指導（性・年代別）

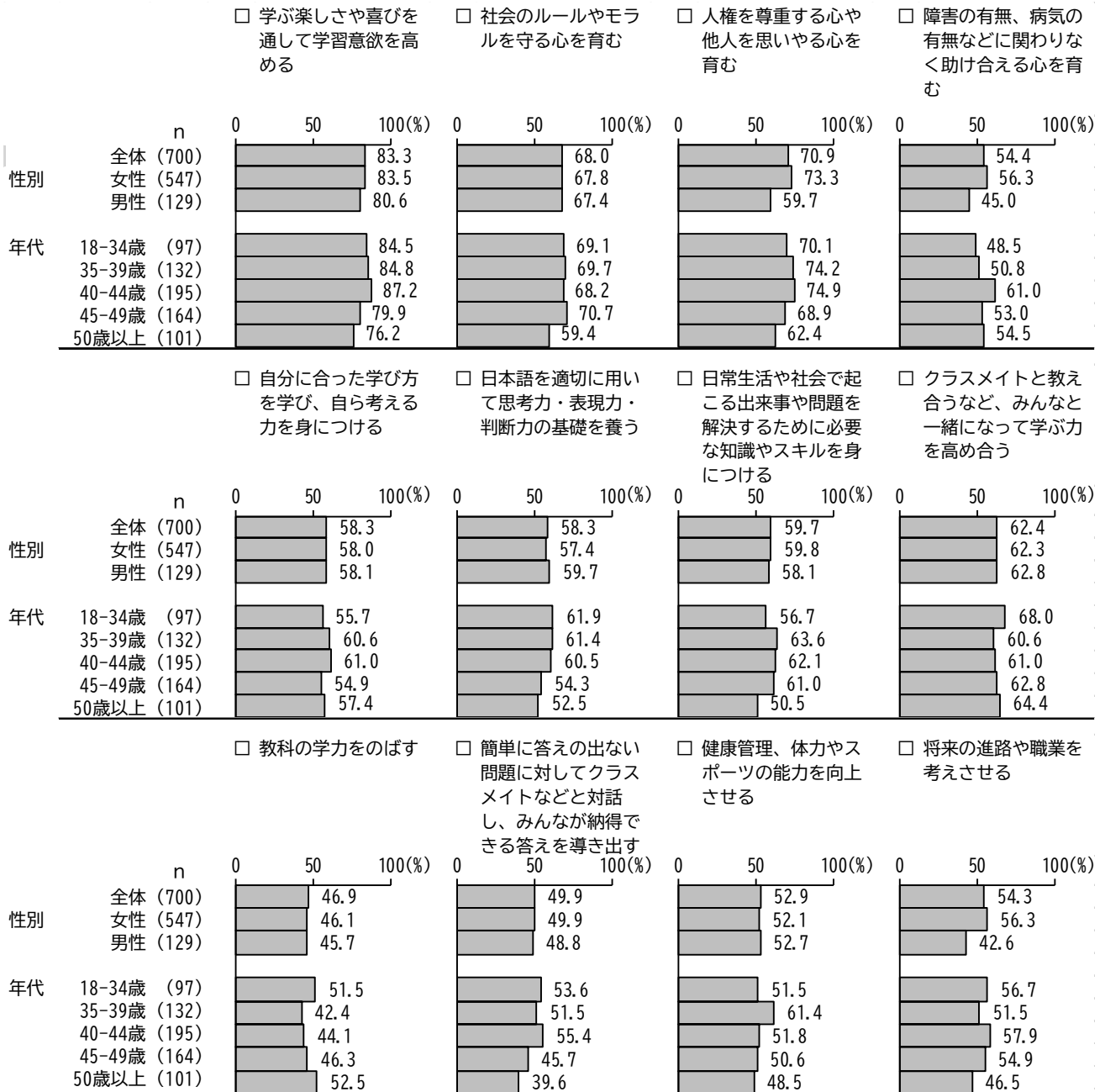


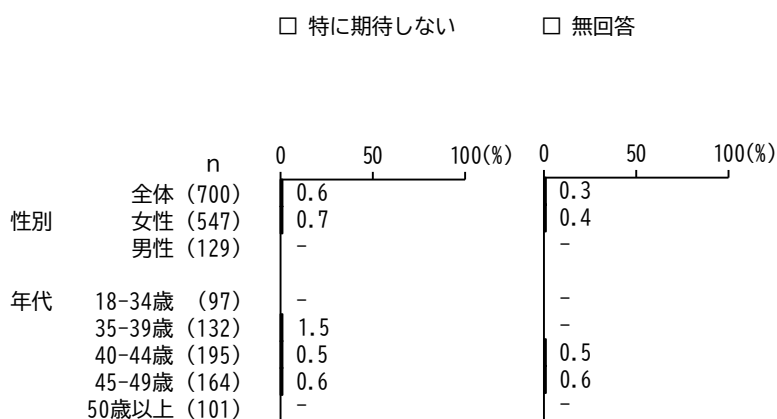
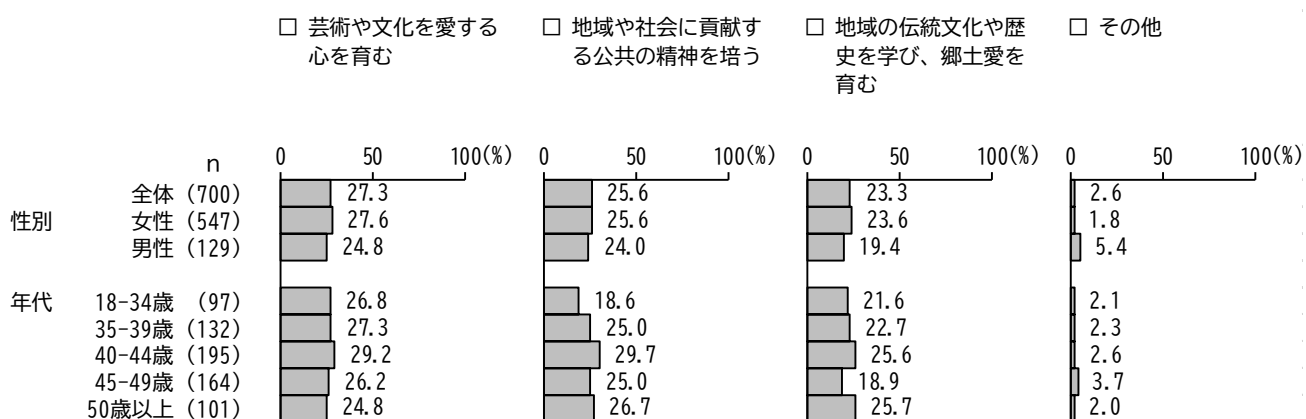
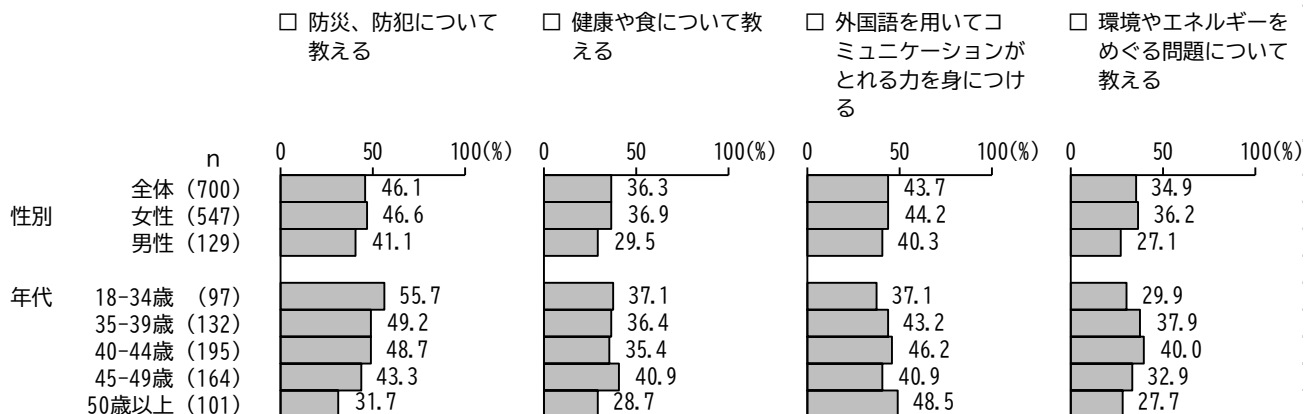


● 保護者調査

回答が多かった「学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」について、若い年代ほど回答率が高い傾向にある。

図表 4-3 学校に期待する教育や指導（性・年代別）





(15) 言語活用科について

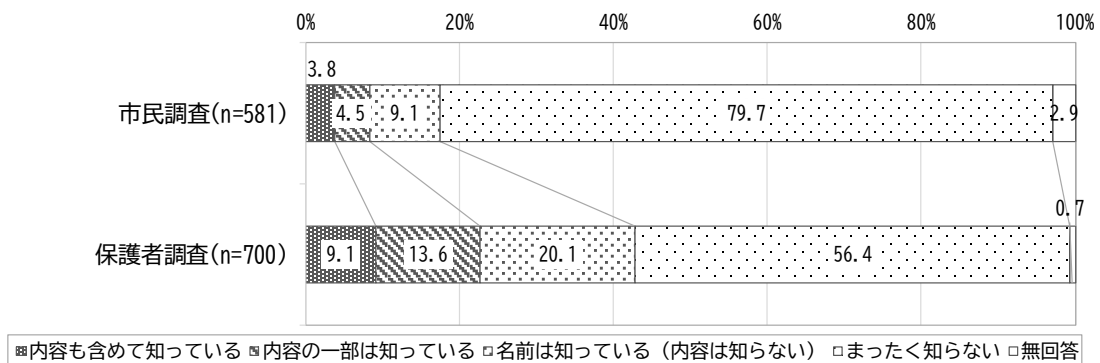
全員に、市立小中学校で実施されている「言語活用科」を知っているかたずねたところ、「知っている」（「内容も含めて知っている」+「内容の一部は知っている」+「名前は知っている（内容は知らない）」）と回答した回答率は、市民調査で17.4%、保護者調査で42.8%となっている。

※「言語活用科」とは、生きる力の基盤となる「ことばの力」を育むため、松戸市のすべての市立小中学校で独自で実施している授業です。英語学習の基礎的な力を身につける「英語分野」と、思考・表現の基礎を学ぶ「日本語分野」から構成されています。

問 15 市立小中学校で実施されている「言語活用科」という科目をご存じですか。

(あてはまる番号1つに○)

図表 4-4 「言語活用科」の認知状況



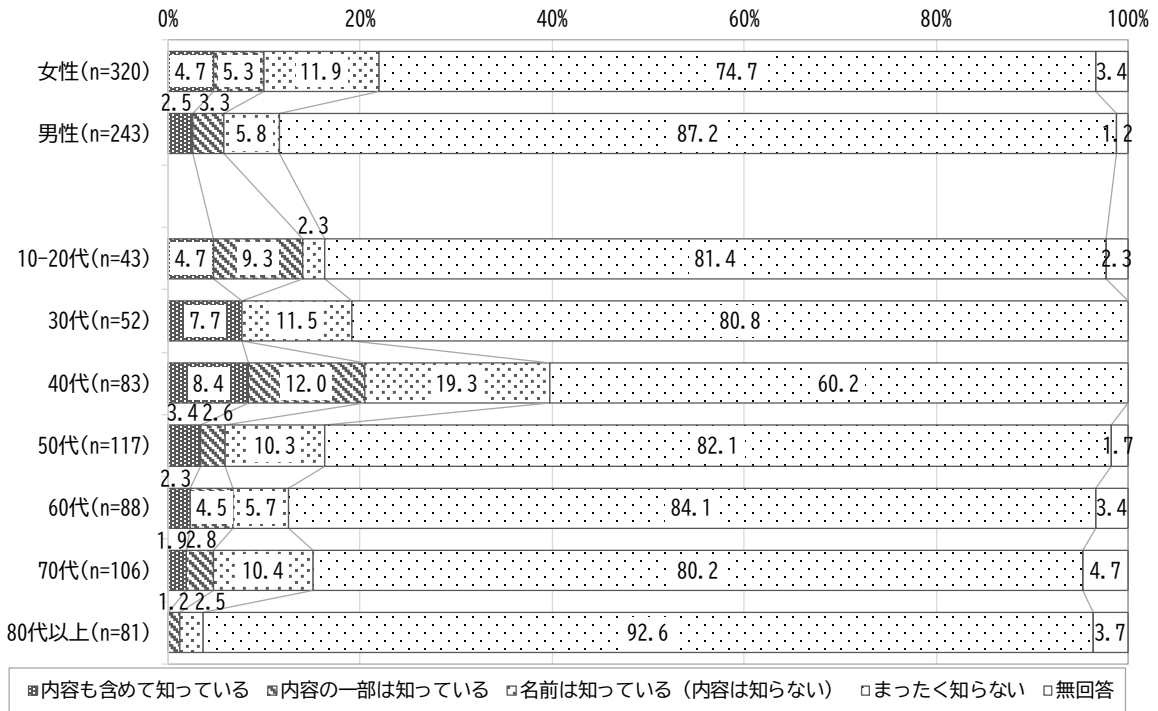
【「言語活用科」の認知状況×性別・年代】

● 市民調査

性別で見ると、「知っている」（「内容も含めて知っている」+「内容の一部は知っている」+「名前は知っている（内容は知らない）」）と回答したのは、女性（21.9%）、男性（11.6%）と、女性の方が10.3ポイント高い。

年代別で見ると最も高いのは40代で、39.7%となっている。

図表 4-5 「言語活用科」の認知状況（性・年代別）

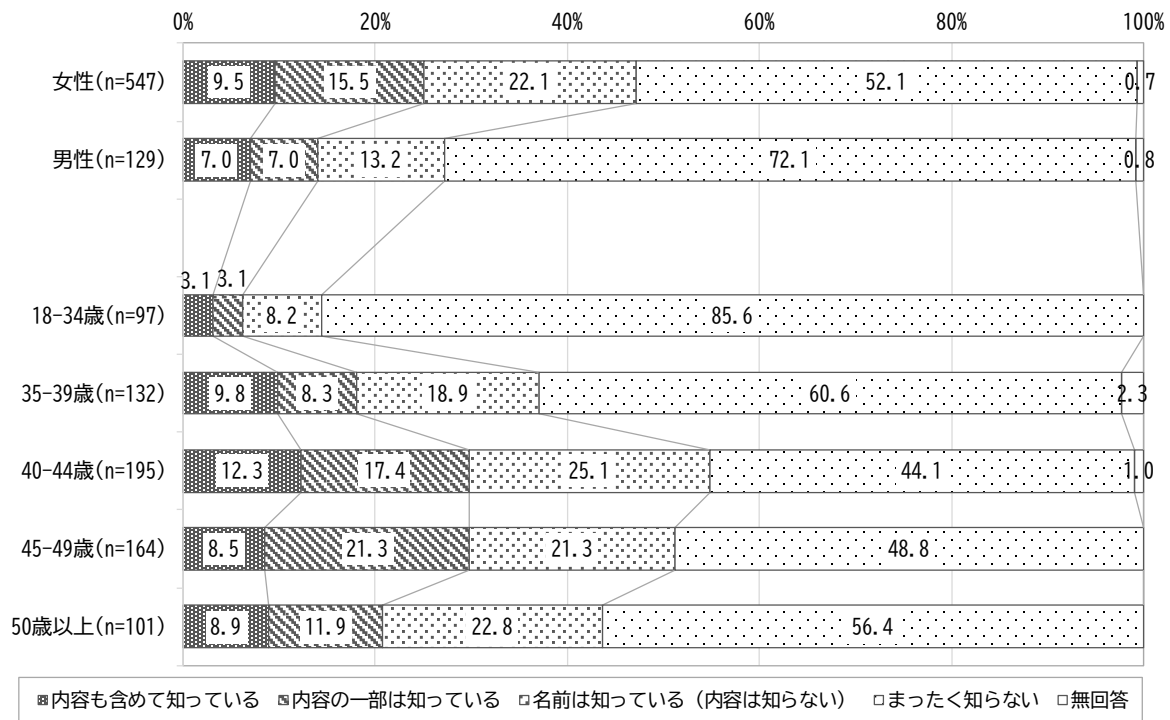


● 保護者調査

性別で見ると、「知っている」と回答したのは、女性（47.1%）、男性（27.2%）と、女性の方が約 20 ポイント高い。

年代別で見ると最も高いのは 40-44 歳で、54.8%となっている。

図表 4-6 「言語活用科」の認知状況（性・年代別）



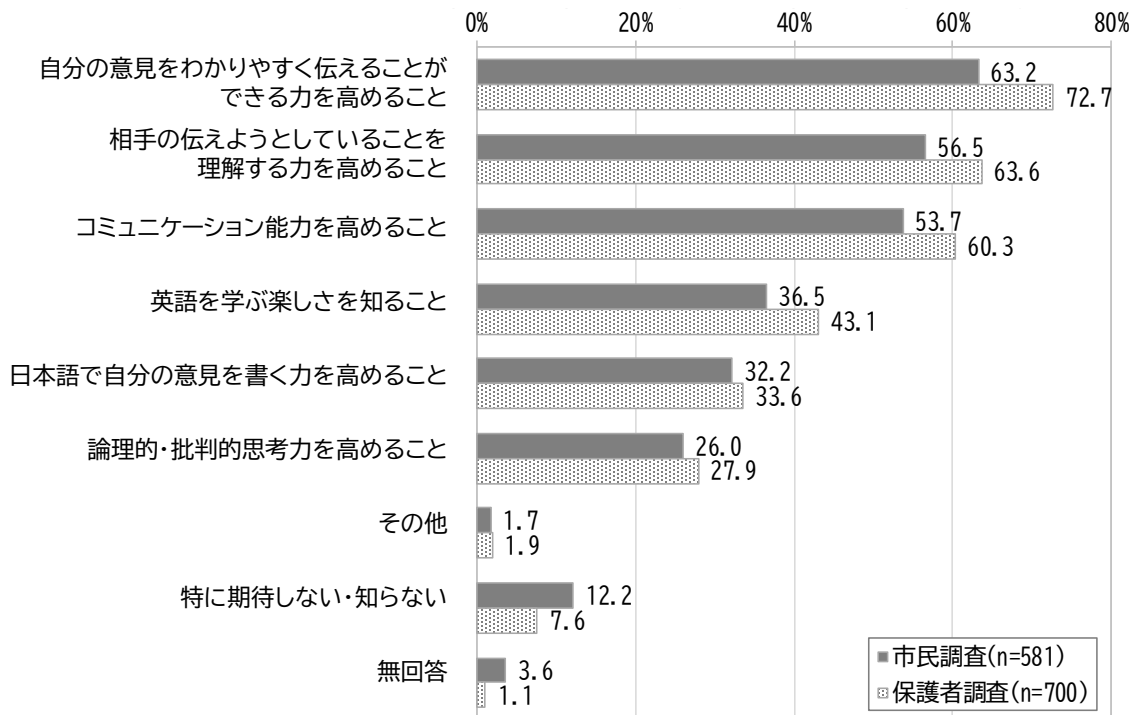
(16) 言語活用科に期待すること

全員に、言語活用科に期待することをたずねたところ、市民調査・保護者調査とも最も多かったのは「自分の意見をわかりやすく伝えることができる力を高めること」で、それぞれ 63.2%、72.7%となっている。

問 16 あなたは、「言語活用科」の取り組みに、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 4-7 「言語活用科」に期待すること

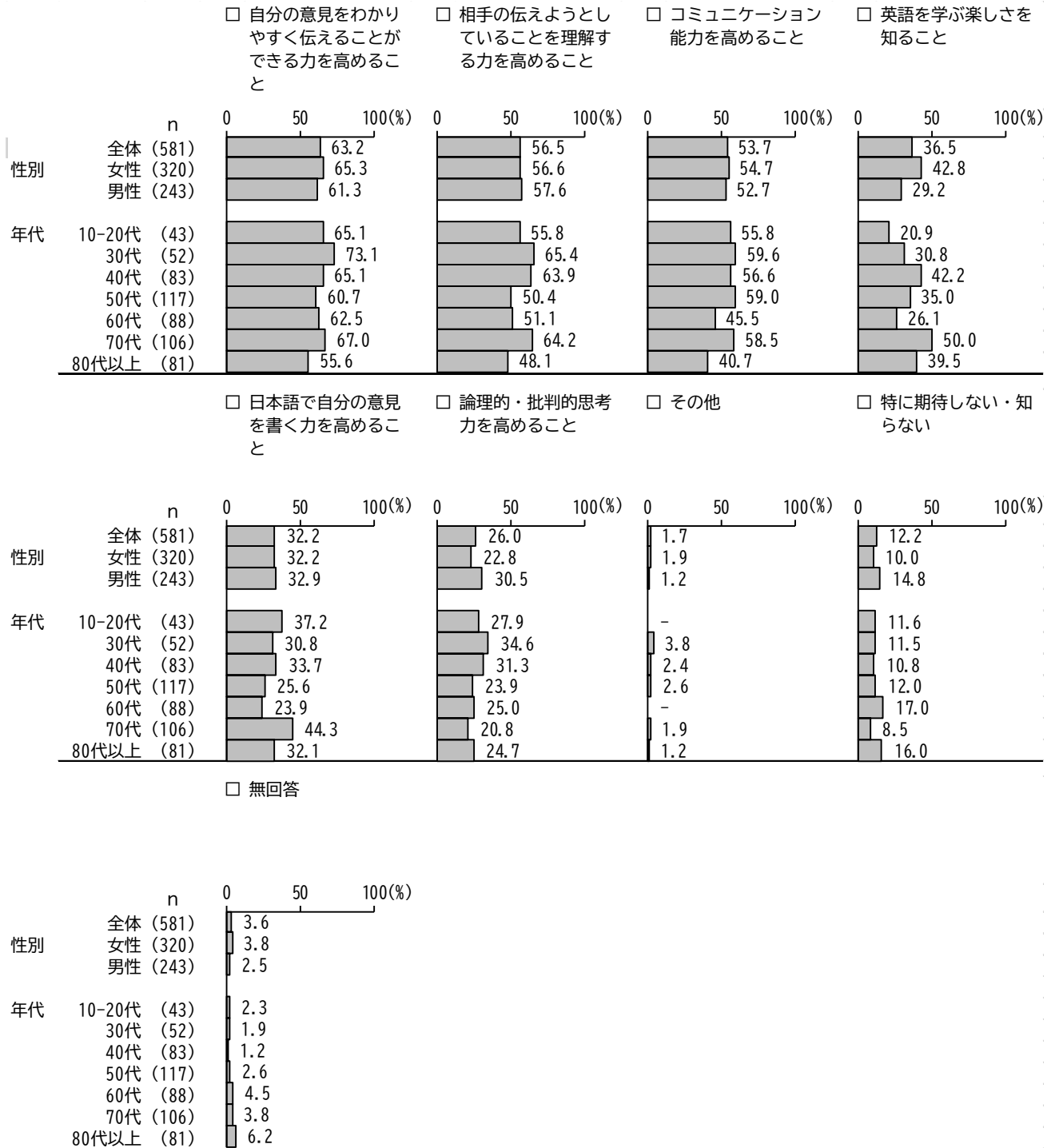


【言語活用科に期待すること×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「自分の意見をわかりやすく伝えることができる力を高めること」について、性別や年代で顕著な差は見られない。

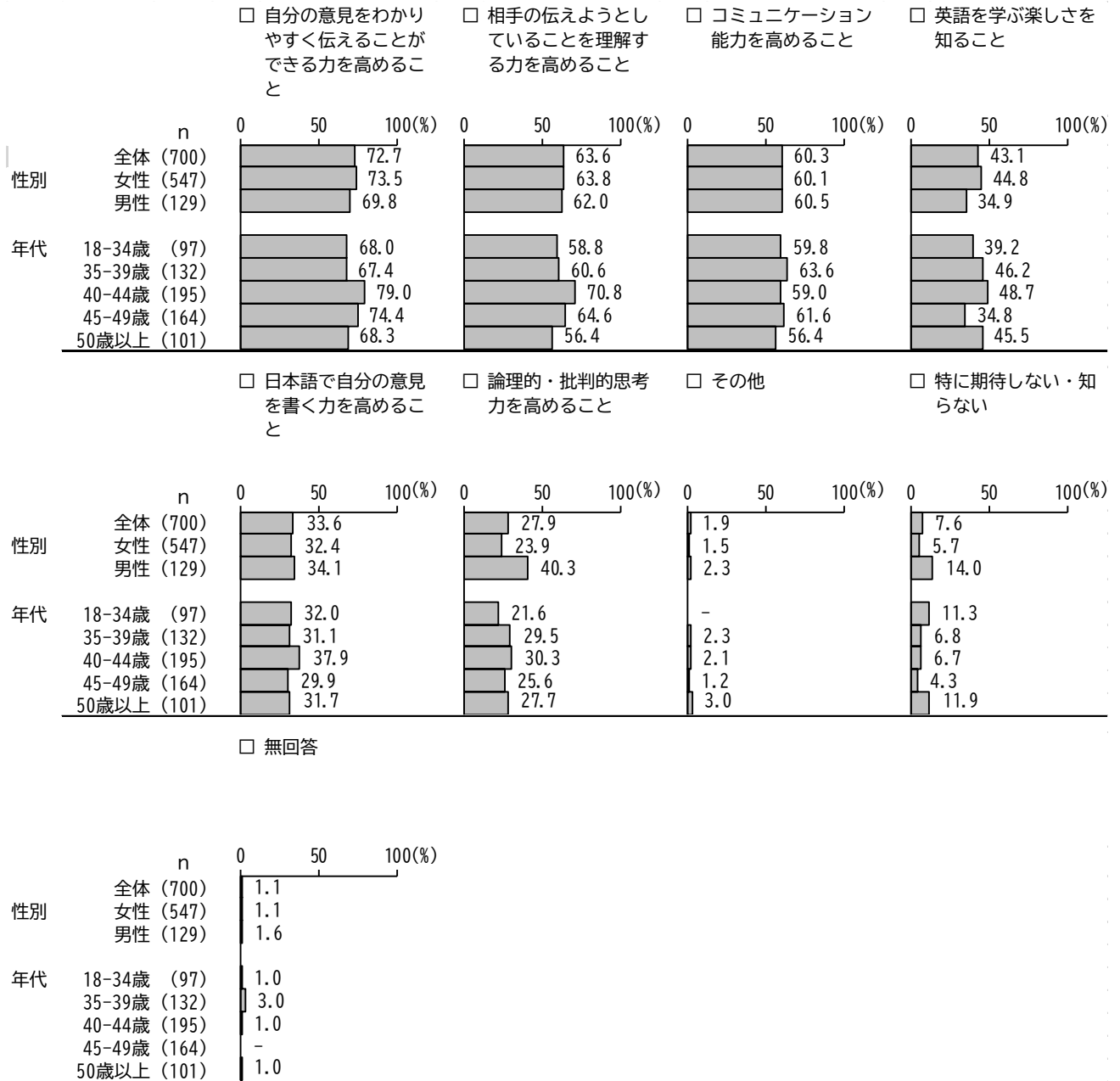
図表 4-8 「言語活用科」に期待すること（性・年代別）



● 保護者調査

回答が多かった「自分の意見をわかりやすく伝えることができる力を高めること」について、性別や年代で顕著な差は見られないが、40代の回答率が比較的高い傾向にある。

図表 4-9 「言語活用科」に期待すること（性・年代別）



(17) ICT（情報通信技術）教育について

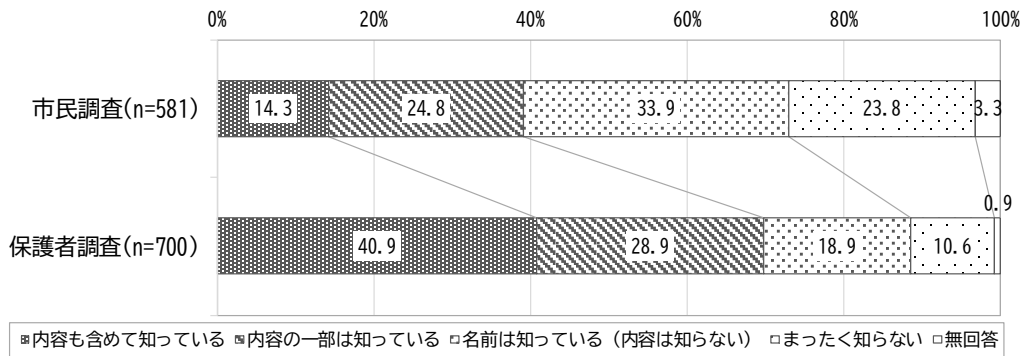
全員に、ICT（情報通信技術）教育を知っているかたずねたところ、知っている（「内容も含めて知っている」+「内容の一部は知っている」+「名前は知っている（内容は知らない）」）と回答したのは、市民調査で73.0%、保護者調査で88.7%となっている。

※文部科学省では、子供たちがそれぞれの進度に合わせて学びを進められ、子供たち同士で教え合えるような授業の実現に向け、1人1台のタブレット端末を整備しています。松戸市でも1人1台端末を活用した授業に取り組んでいます。

問17 あなたは、タブレットを活用したICT（情報通信技術）教育をご存じですか。

（あてはまる番号1つに○）

図表 4-10 ICT（情報通信技術）教育の認知状況

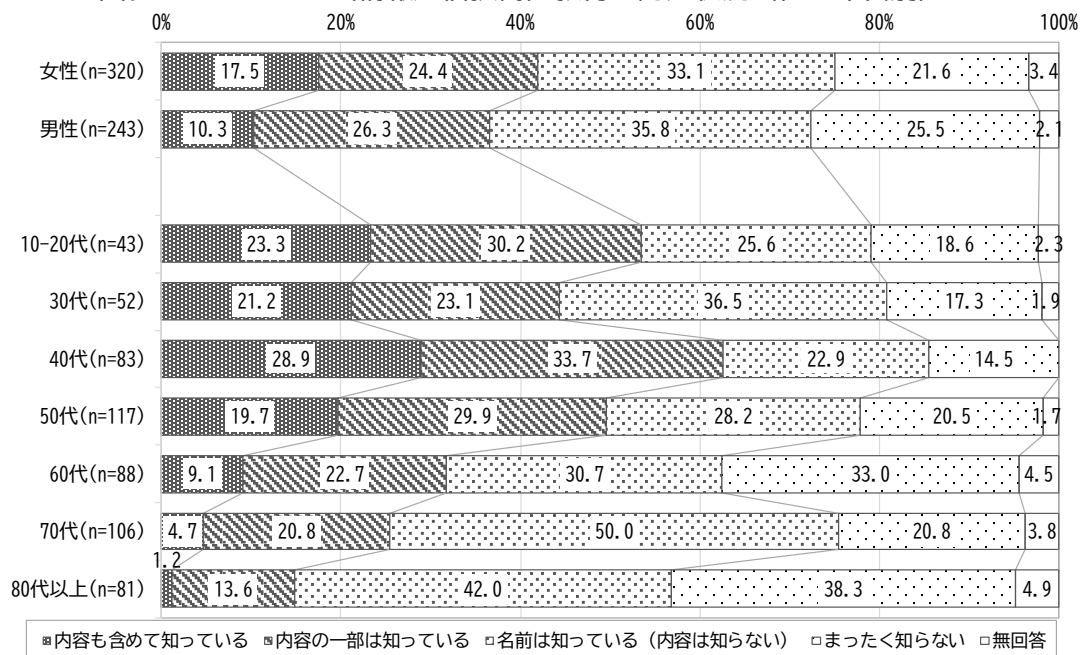


【ICT（情報通信技術）教育の認知状況×性別・年代】

● 市民調査

性別で見たところ、「知っている」（「内容・名前を知っている」含む）の回答率が、女性（75.0%）、男性（72.4%）とほぼ同率となっている。年代別では40代が最も高い85.5%、次いで30代の80.8%となっている。

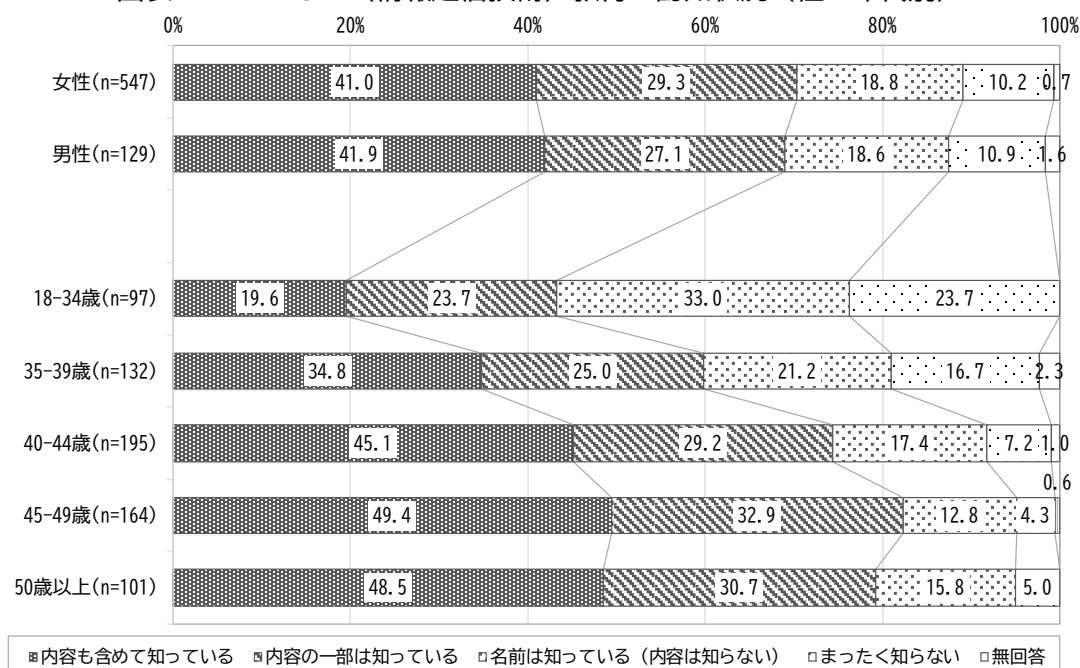
図表 4-11 ICT（情報通信技術）教育の認知状況（性・年代別）



● 保護者調査

性別で見たところ、女性（89.1%）が、男性（87.6%）とほぼ同率となっている。また、年齢が高くなるほど、「知っている」と回答する回答率が高くなる傾向にある。

図表 4-12 ICT（情報通信技術）教育の認知状況（性・年代別）



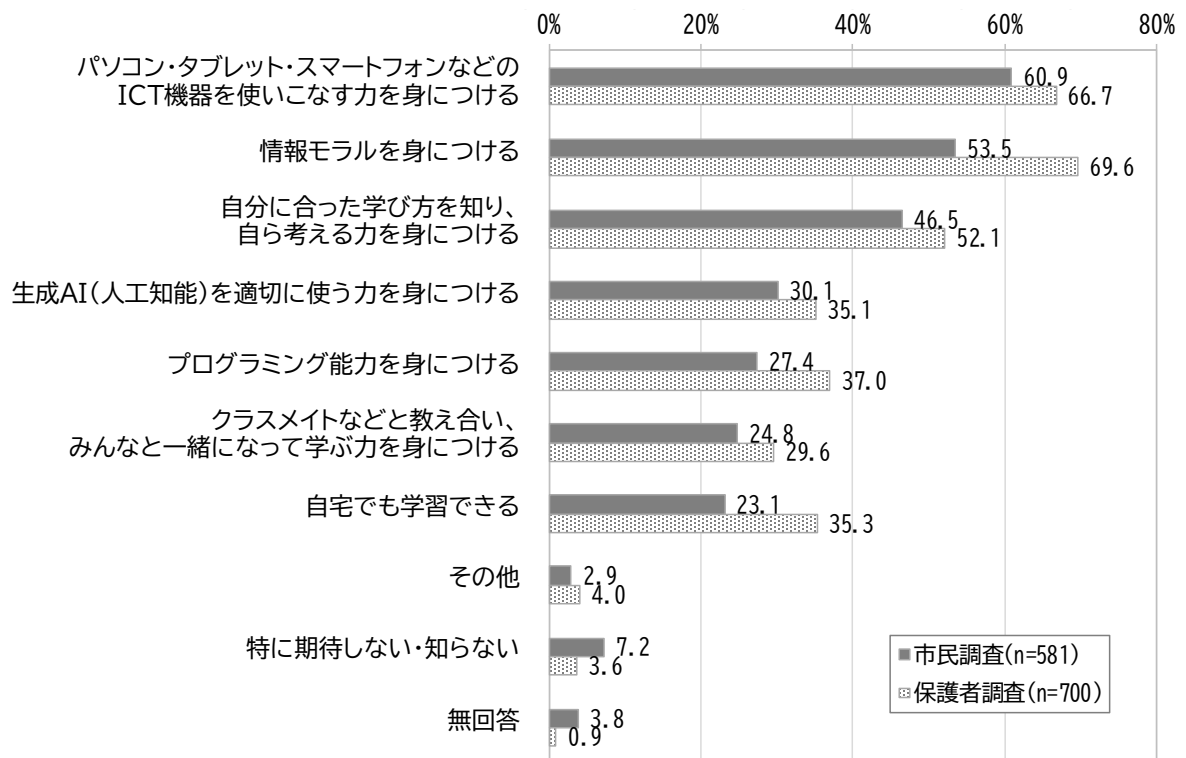
(18) ICT（情報通信技術）教育に期待すること

全員に、ICT（情報通信技術）教育に期待することをたずねたところ、市民調査では「パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICT機器を使いこなす力を身につける」が最多の60.9%、保護者調査では「情報モラルを身につける」が最多の69.6%となっている。

問18 あなたは、ICT（情報通信技術）教育に、どのようなことを期待しますか。

（あてはまる番号すべてに○）

図表 4-13 ICT（情報通信技術）教育に期待すること

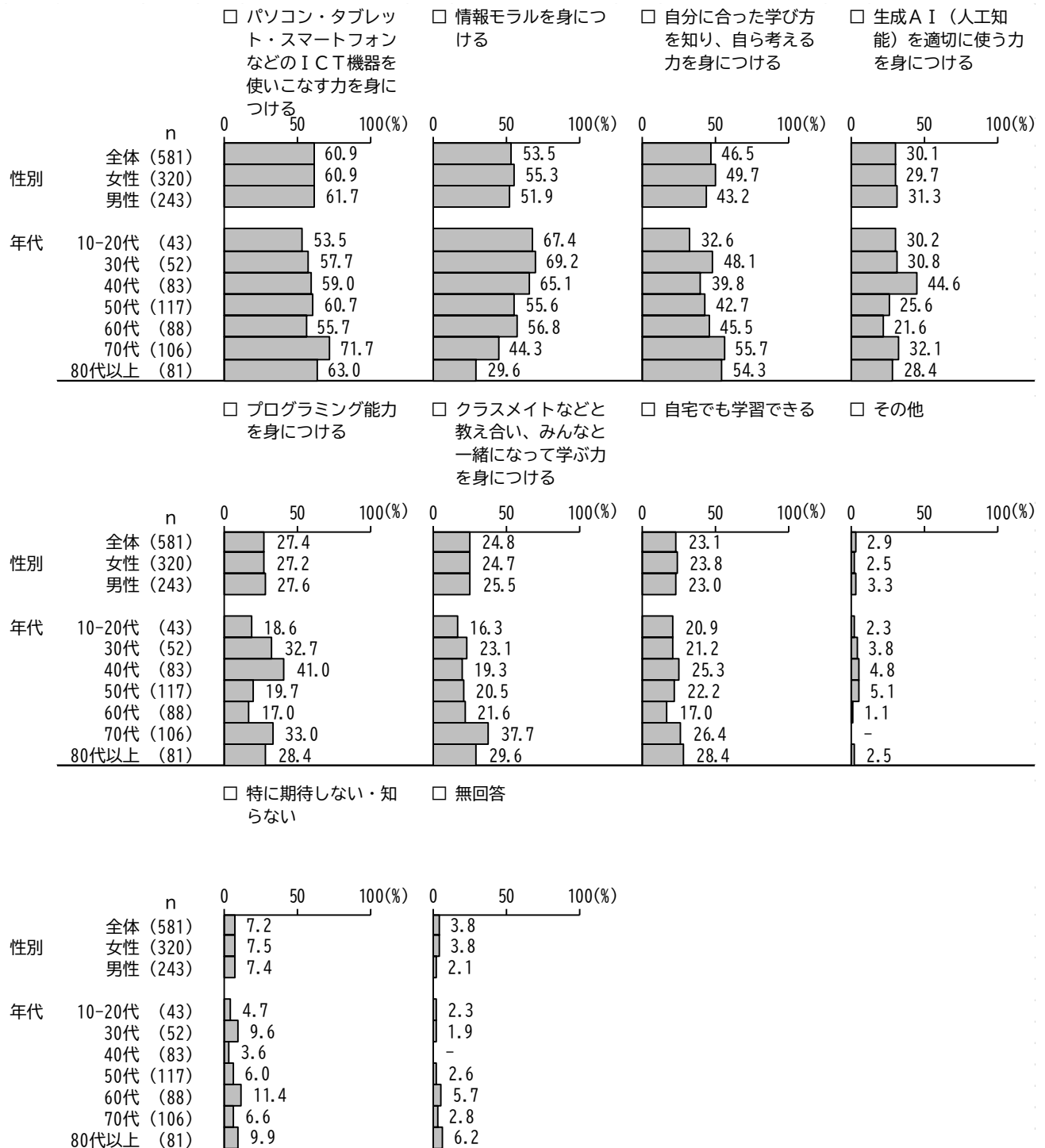


【ICT（情報通信技術）教育に期待すること×性別・年代】

● 市民調査

年代別にみると、「パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICT機器を使いこなす力を身につける」の回答率は、年齢が高いほど高くなっている。

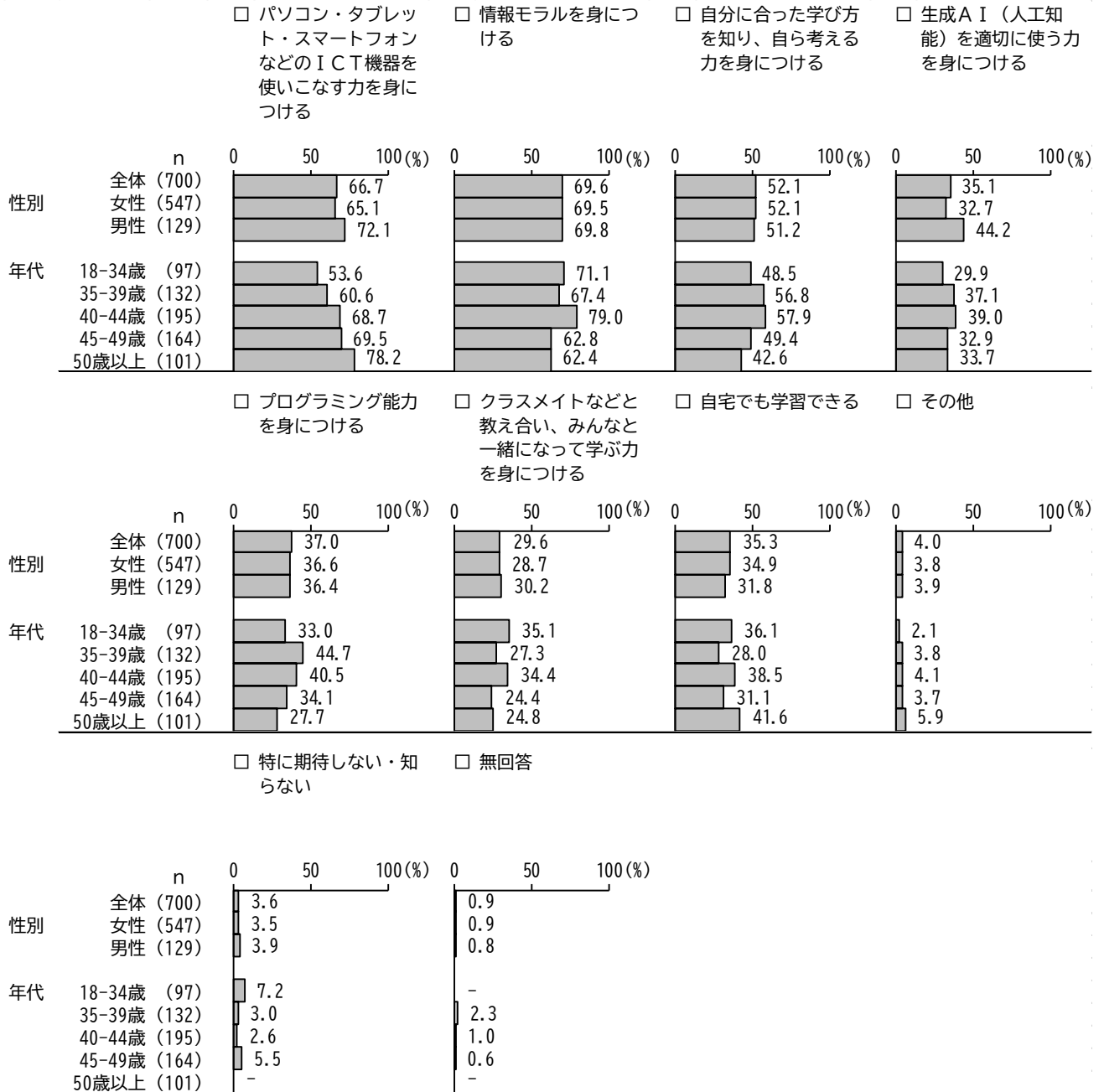
図表 4-14 ICT（情報通信技術）教育に期待すること（性・年代別）



● 保護者調査

「パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICT機器を使いこなす力を身につける」の回答率は、市民調査同様、年齢が高いほど高くなっている。「情報モラルを身につける」の回答率は、40-44歳で最も高く、約80%となっている。

図表 4-15 ICT（情報通信技術）教育に期待すること（性・年代別）

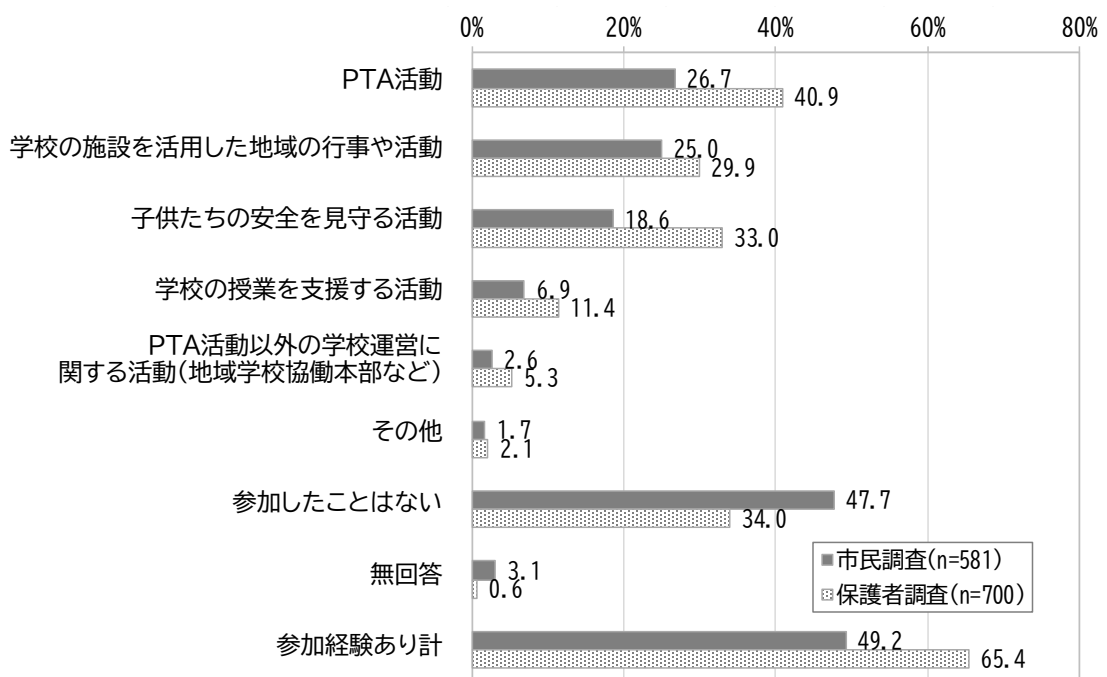


(19) 参加したことのある学校・地域等の行事や活動

全員に、参加したことのある学校・地域等の行事や活動についてたずねたところ、市民調査・保護者調査とも「PTA活動」が最も高く、それぞれで26.7%、40.9%となっているが、保護者は市民よりも14.2ポイント高くなっている。

問19 「学校に関係する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。
現在参加しているものも含めてお答えください。 (あてはまる番号すべてに○)

図表 4-16 参加したことのある学校・地域等の行事や活動

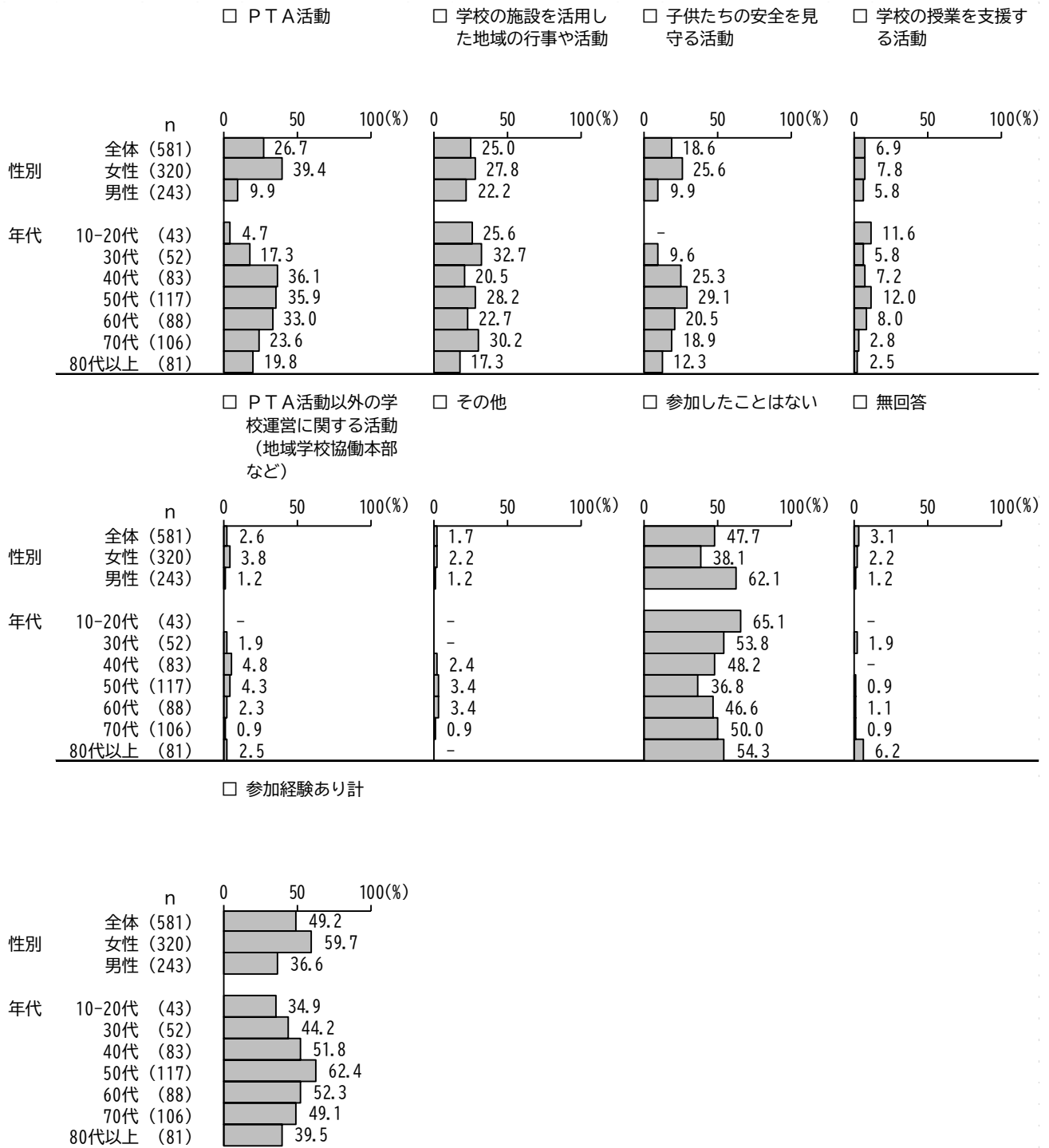


【参加したことがある学校・地域等の行事や活動×性別・年代】

● 市民調査

P T A活動において、女性の参加率が顕著に高くなっている。年代では、40～50代の参加率が高いが、60代も30%台と、40～50代の回答率に近い。

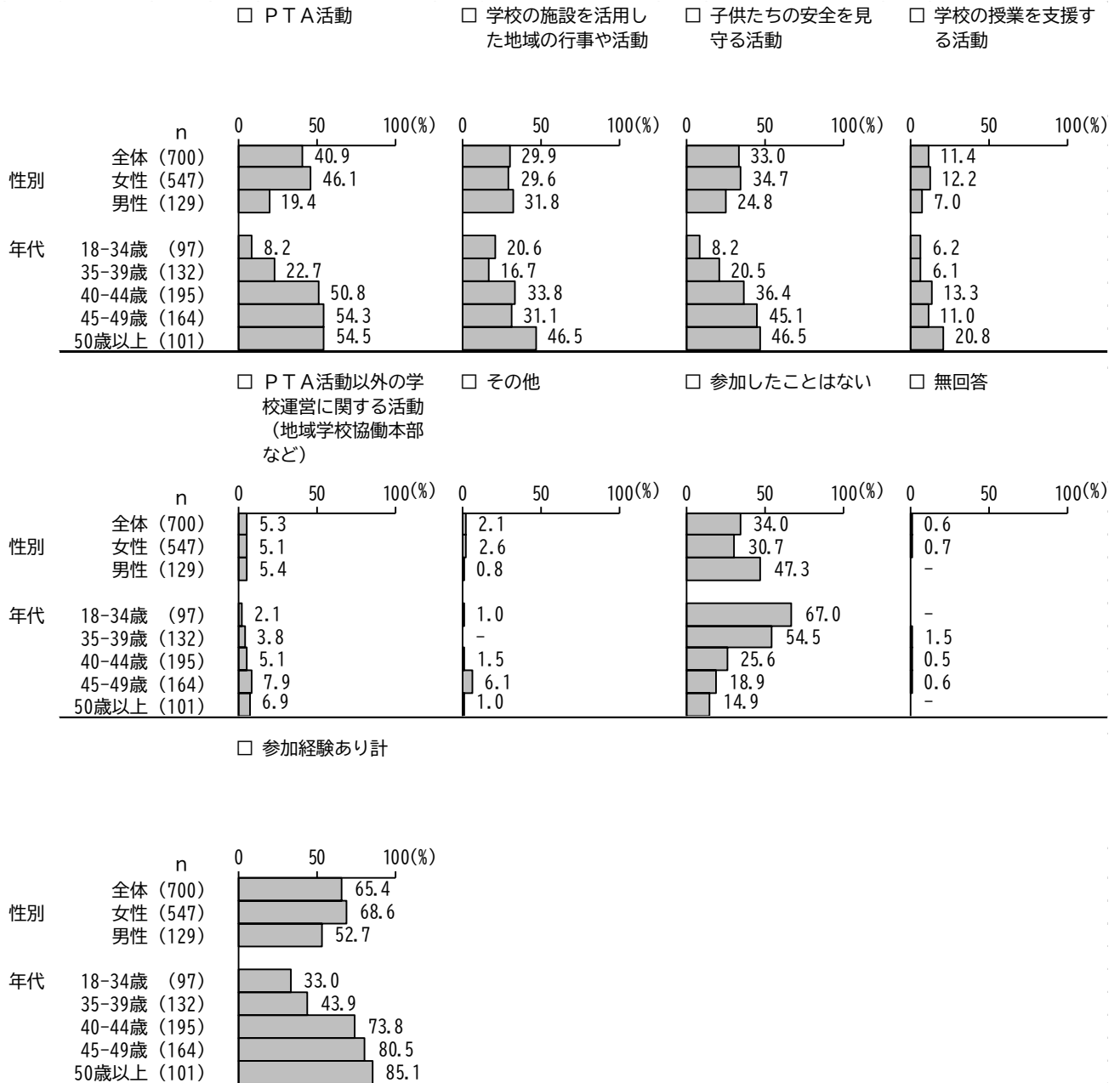
図表 4-17 参加したことがある学校・地域等の行事や活動（性・年代別）



● 保護者調査

市民調査同様、PTA活動における女性の参加率が顕著に高くなっている。年代では、40～50代の参加率が最も高く、50%以上である。

図表 4-18 参加したことがある学校・地域等の行事や活動（性・年代別）



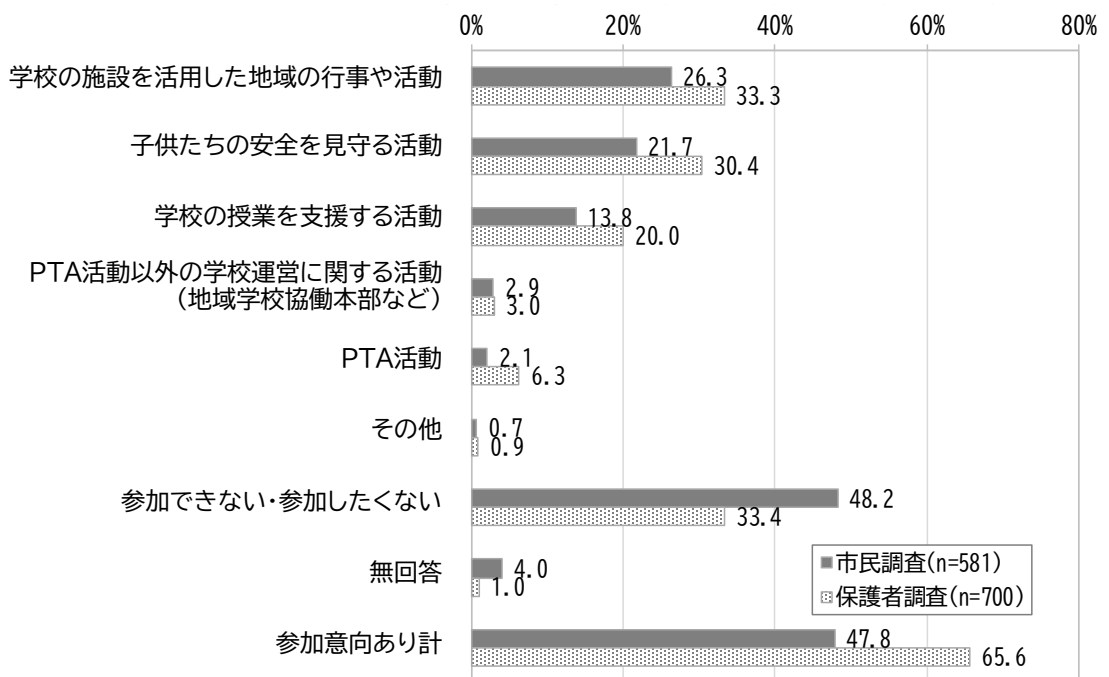
(20) 参加してみたい学校・地域等の行事や活動

全員に、参加してみたい学校・地域等の行事や活動についてたずねたところ、参加意向があると回答した率は、市民調査で47.8%、保護者調査で65.6%となっており、反対に、参加できない・参加したくないと回答した率は市民調査が48.2%、保護者調査が33.4%となっている。学校や地域への参加意欲は、保護者調査のほうが高い（グラフの下部参照）。

項目別で見ると、最も参加意欲が高いのは、「学校の施設を活用した地域の行事や活動」で、市民調査（26.3%）、保護者調査（33.3%）となっている。

問 20 「学校に關係する地域等の行事や活動」で、あなたが参加してみたいものは何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

図表 4-19 参加してみたい学校・地域等の行事や活動

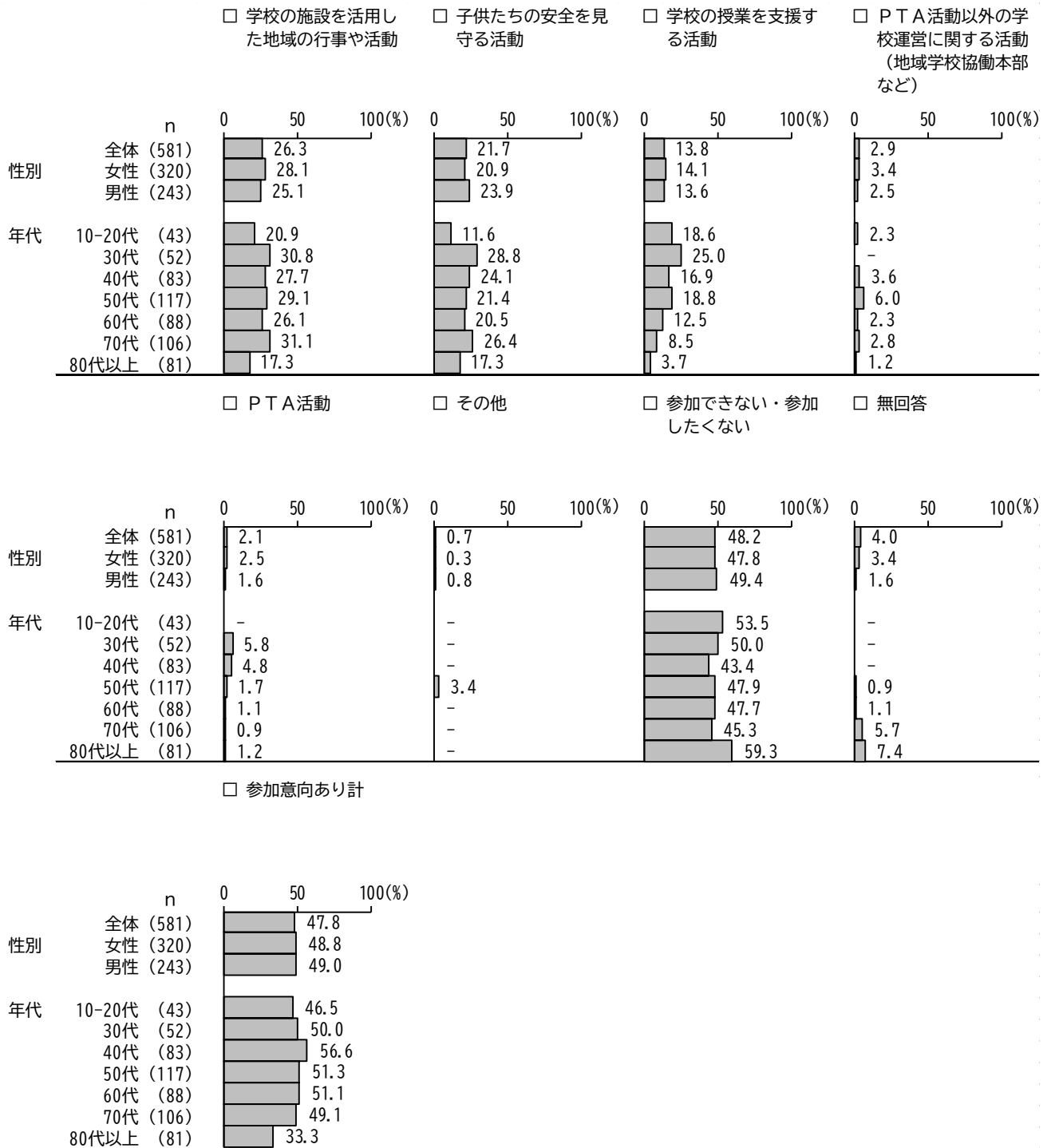


【参加してみたい学校・地域等の行事や活動×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「学校の施設を活用した地域の行事や活動」について、性別や年代で顕著な差は見られないが、30代と70代の回答率がやや高い傾向にある。

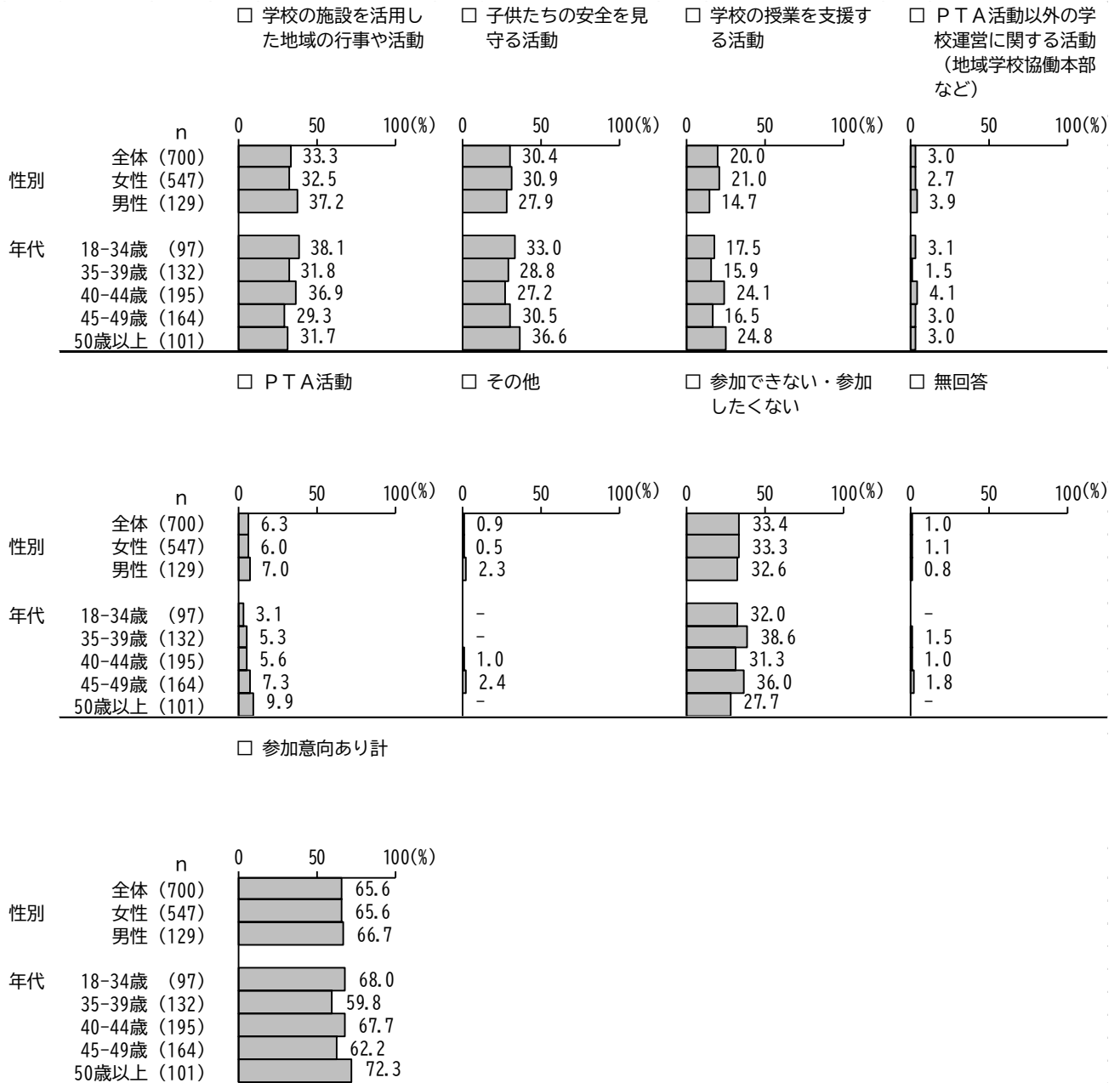
図表 4-20 参加してみたい学校・地域等の行事や活動（性・年代別）



● 保護者調査

「学校の施設を活用した地域の行事や活動」について、男性のほうが「参加してみたい」とする回答がやや多く、また年代別では18-34歳と40-44歳の回答率が36%超となるなど、比較的高い傾向にある。

図表 4-21 参加してみたい学校・地域等の行事や活動（性・年代別）



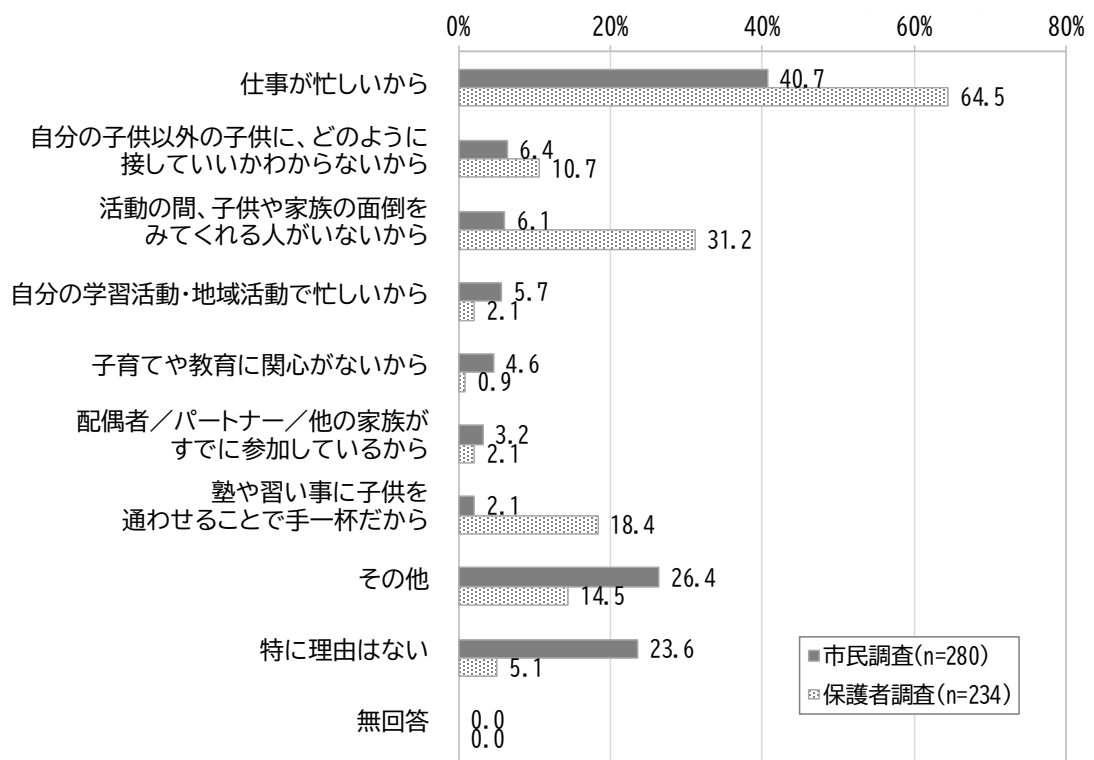
(21) 学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由

問 20 で、学校・地域等の行事や活動に「参加できない・参加したくない」と回答した回答者に、その理由についてたずねたところ、「仕事が忙しいから」が市民調査・保護者調査で最も高く、それぞれで 40.7%、64.5%となっている。保護者調査では、「子供や家族の面倒をみてくれる人がいないから」もやや高く、31.2%となっている。

問 21 あなたが「参加できない・参加したくない」と回答された理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図表 4-22 学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由

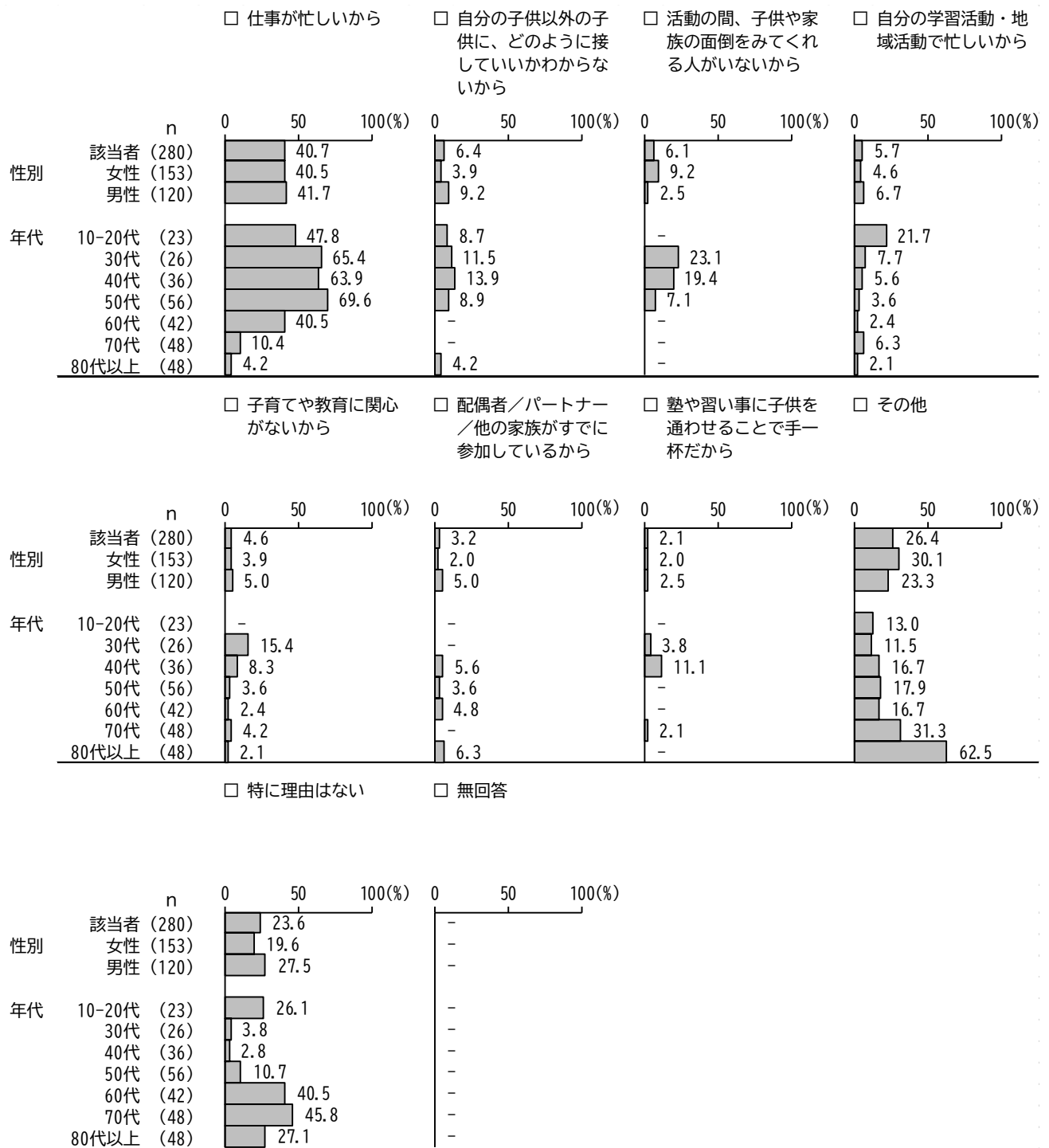


【学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由×性別・年代】

● 市民調査

回答が多かった「仕事が忙しいから」について、性別での顕著な差は見られない。年代別では、30代～50代の回答率が高い傾向にある。

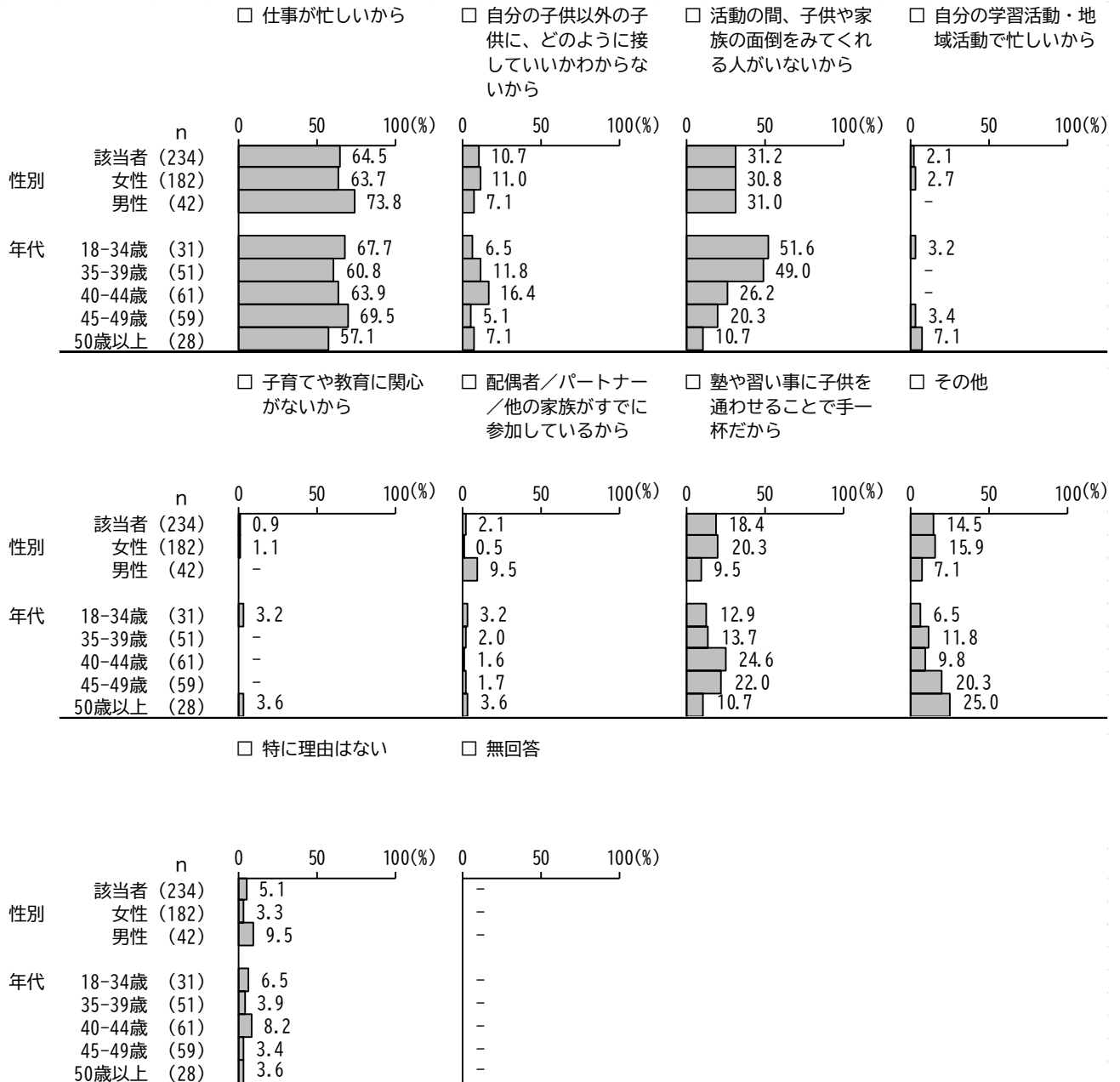
図表 4-23 学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由（性・年代別）



● 保護者調査

「仕事が忙しいから」について、市民調査と比較すると男性の回答率が高い傾向にある。年代別では、顕著な差は見られない。

図表 4-24 学校・地域等の行事や活動に参加できない、参加したくない理由（性・年代別）



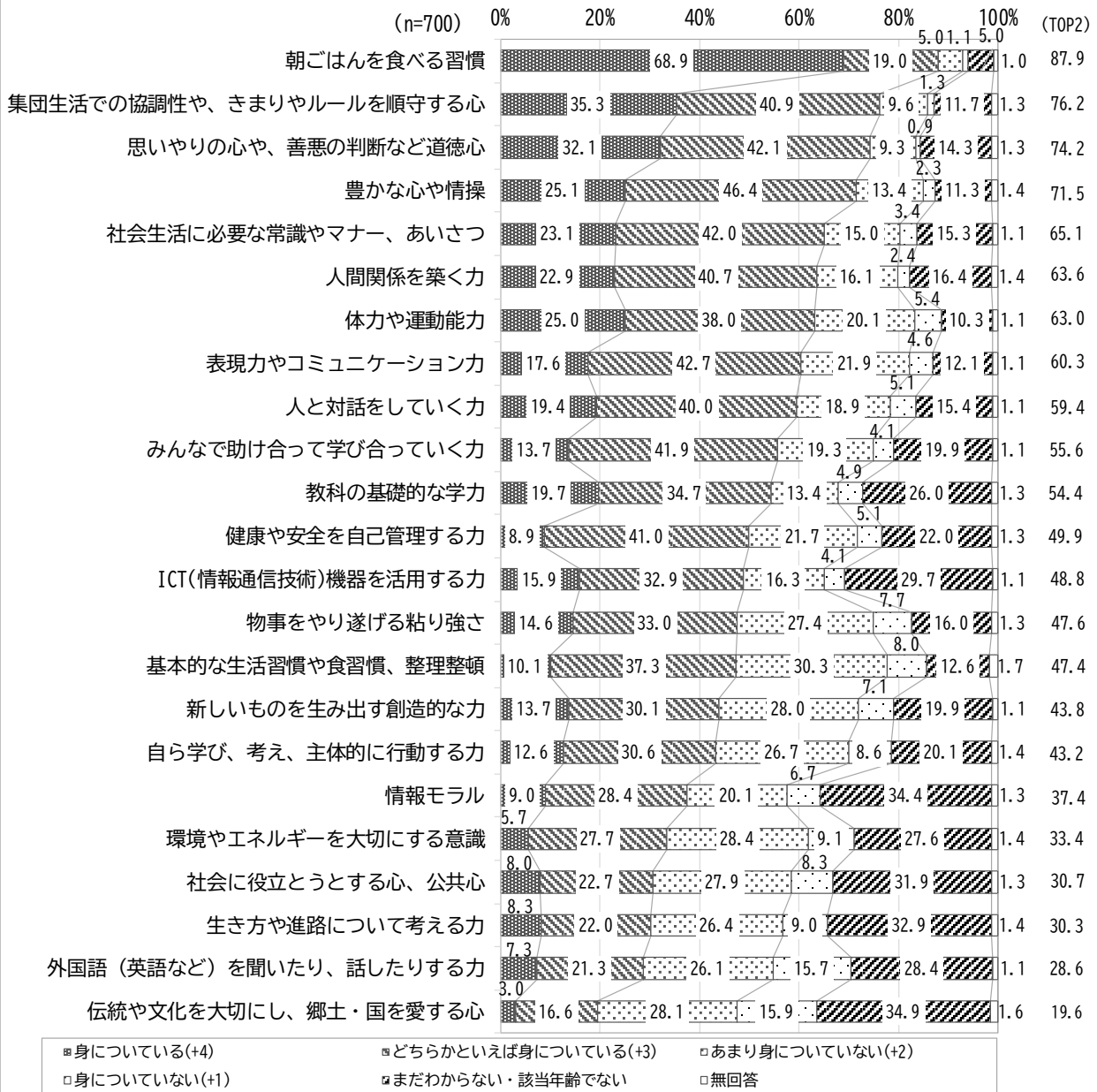
5 子供について（保護者調査のみの項目）

(22) 子供の能力や態度の程度

子供をもつ保護者に、身につけている能力や態度についてたずねたところ、「朝ごはんを食べる習慣」が87.9%と最も高くなっている。次いで、「集団生活での協調性や、きまりやルールを順守する力」で、76.2%となっている。

問 22 あなたのお子さんは、以下のア)～ヌ)のような能力や態度が、どの程度身につけていますか。
 お子さんが複数いらっしゃる場合は、封筒の宛名に記載のお子さんについてについてお答えください。
 （それぞれあてはまる番号1つに○）

図表 5-1 子供の能力や態度の程度



●小学校低学年・高学年・中学生における習得度（要素別）

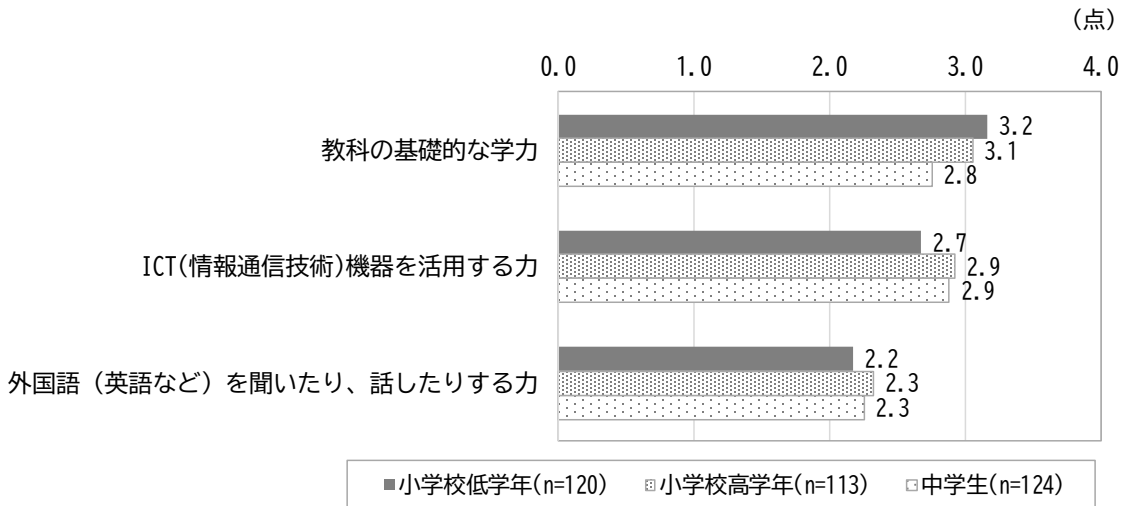
項目を5つの要素に区分し、それぞれの項目における子供の習得度を加重平均で比較している。

※ 分析対象は、調査で対象とした子供（調査票のF4-2で聴取した子供）である（p208参照）。

① 基礎的な知識と技能に関する習得度

（学習の土台となる具体的な知識や、それを活用するための基本的な技術・技能）

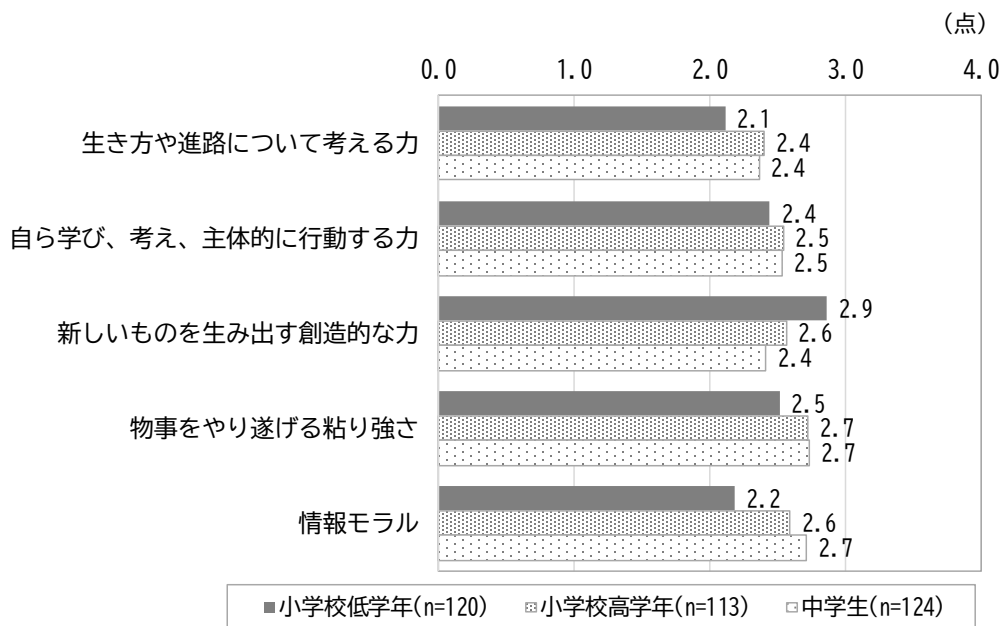
図表 5-2 基礎的な知識と技能の習得度



② 思考力・探究力・創造性に関する習得度

（内省、問題解決、創造といった、自ら考えを深め、行動を決定する力）

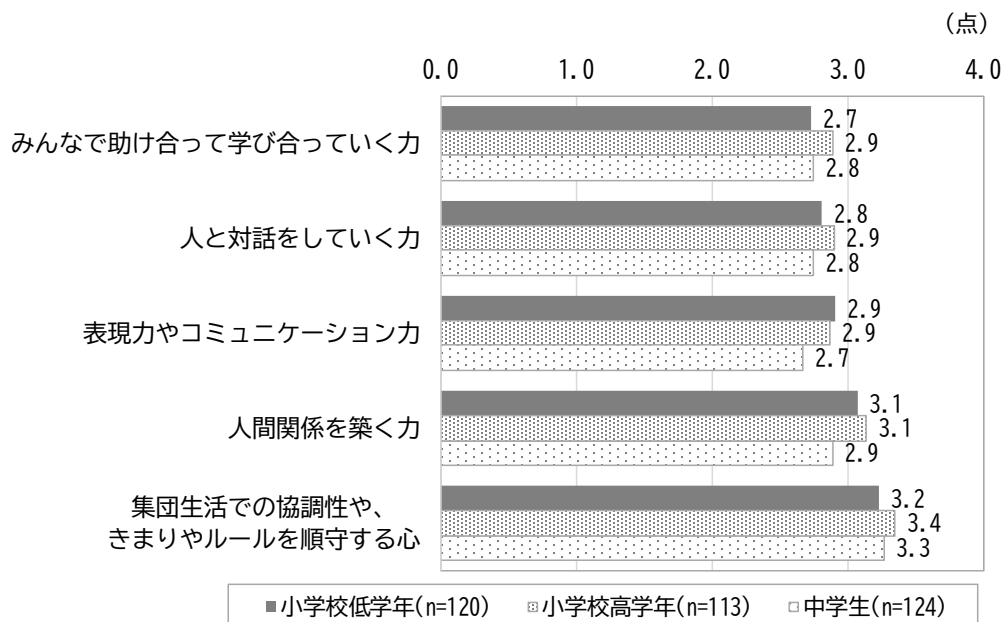
図表 5-3 思考力・探究力・創造性の習得度



③ 対人関係・コミュニケーション・協調性に関する習得度

(他者との交流、理解、集団への参加といった、社会生活を営む上で必要な対人スキル)

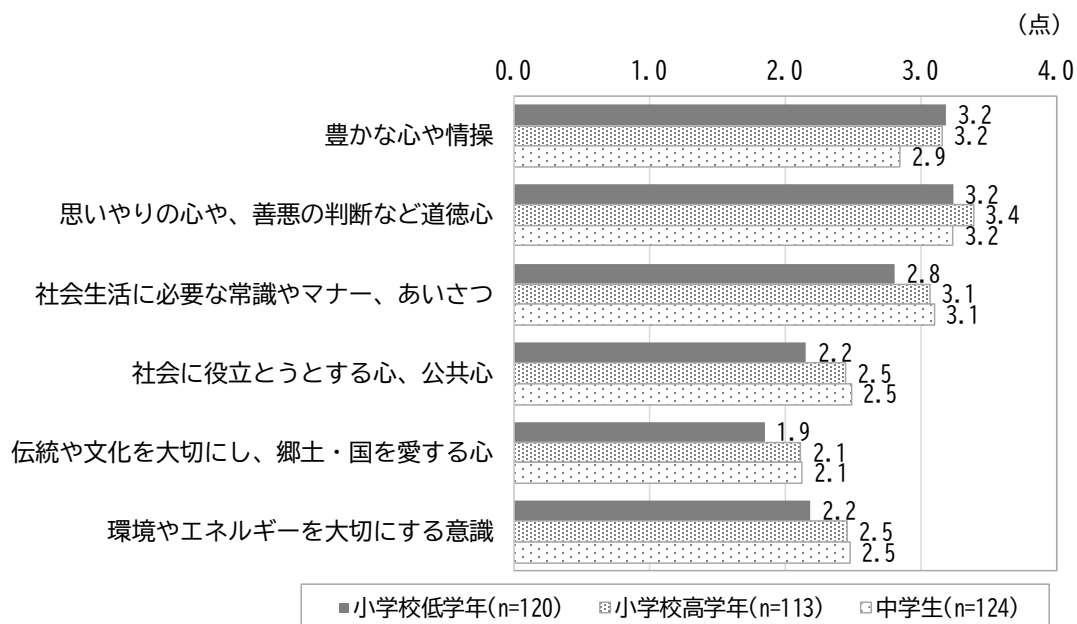
図表 5-4 対人関係・コミュニケーション・協調性の習得度



④ 道徳性・倫理観・公共性に関する習得度

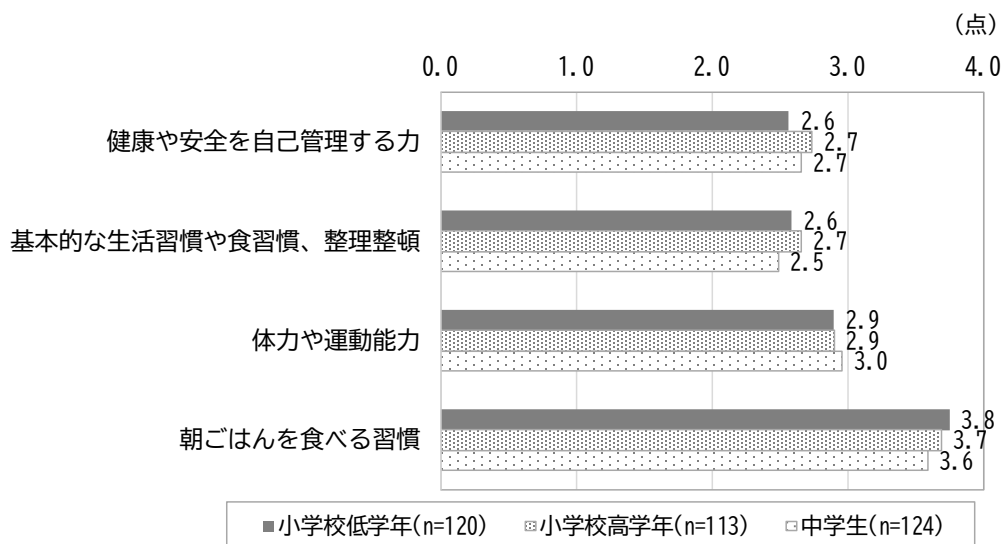
(心の豊かさ、社会に対する責任感、文化や環境を尊重する態度)

図表 5-5 道徳性・倫理観・公共性の習得度



⑤ 健康・生活習慣・自己管理能力に関する習得度
 (心身の健康、体力、基本的な生活習慣)

図表 5-6 健康・生活習慣・自己管理能力の習得度

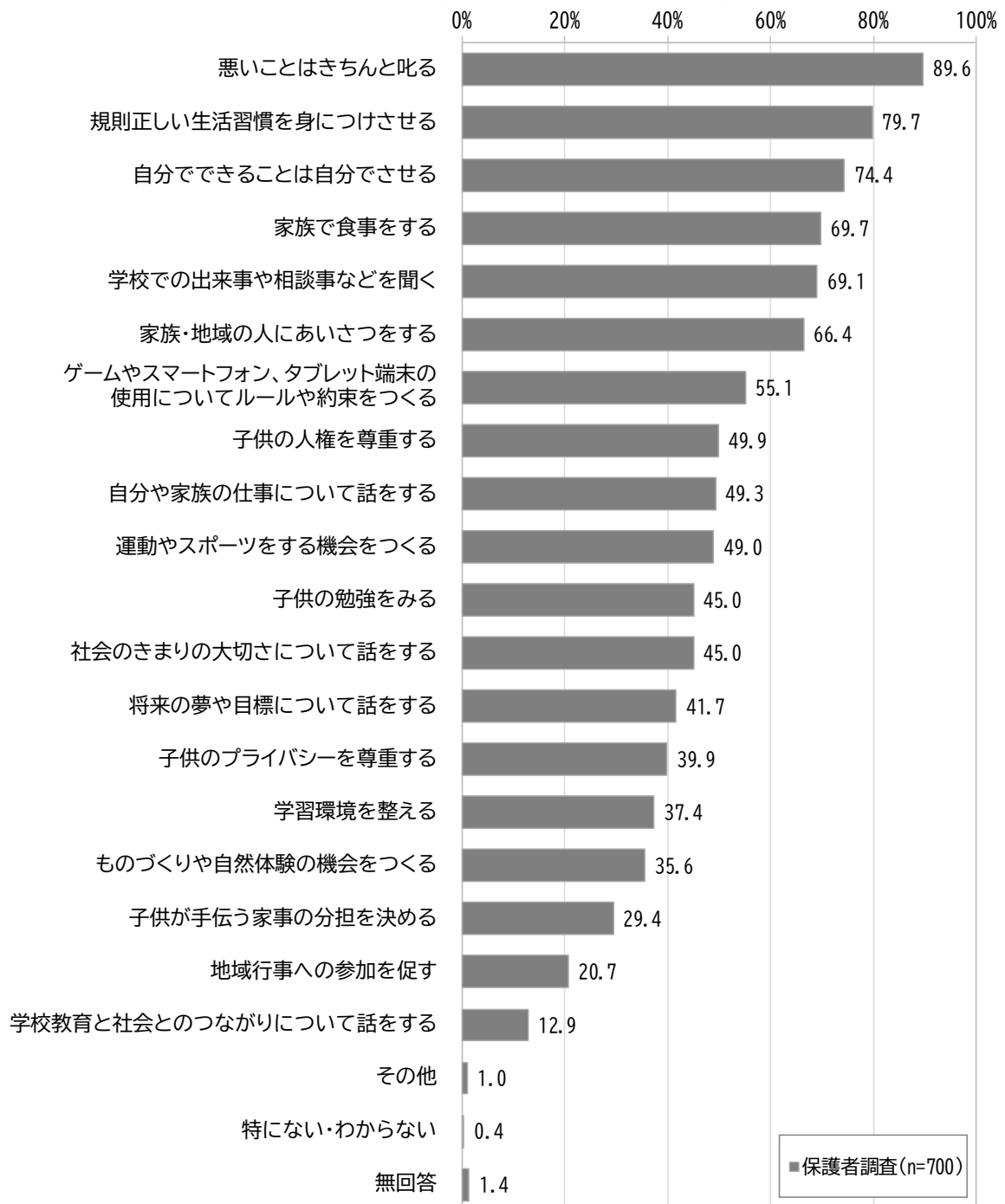


(23) 日頃家庭で心がけていること

子供とのかかわりの中で、日頃から心がけていることについてたずねたところ、「悪いことはきちんと叱る」が最多の89.6%、次いで「規則正しい生活習慣を身につけさせる」で、79.7%となっている。

問 23 あなたのご家庭では、お子さんとのかかわりの中で、以下の事柄について日頃から心がけていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

図表 5-7 日頃家庭で心がけていること

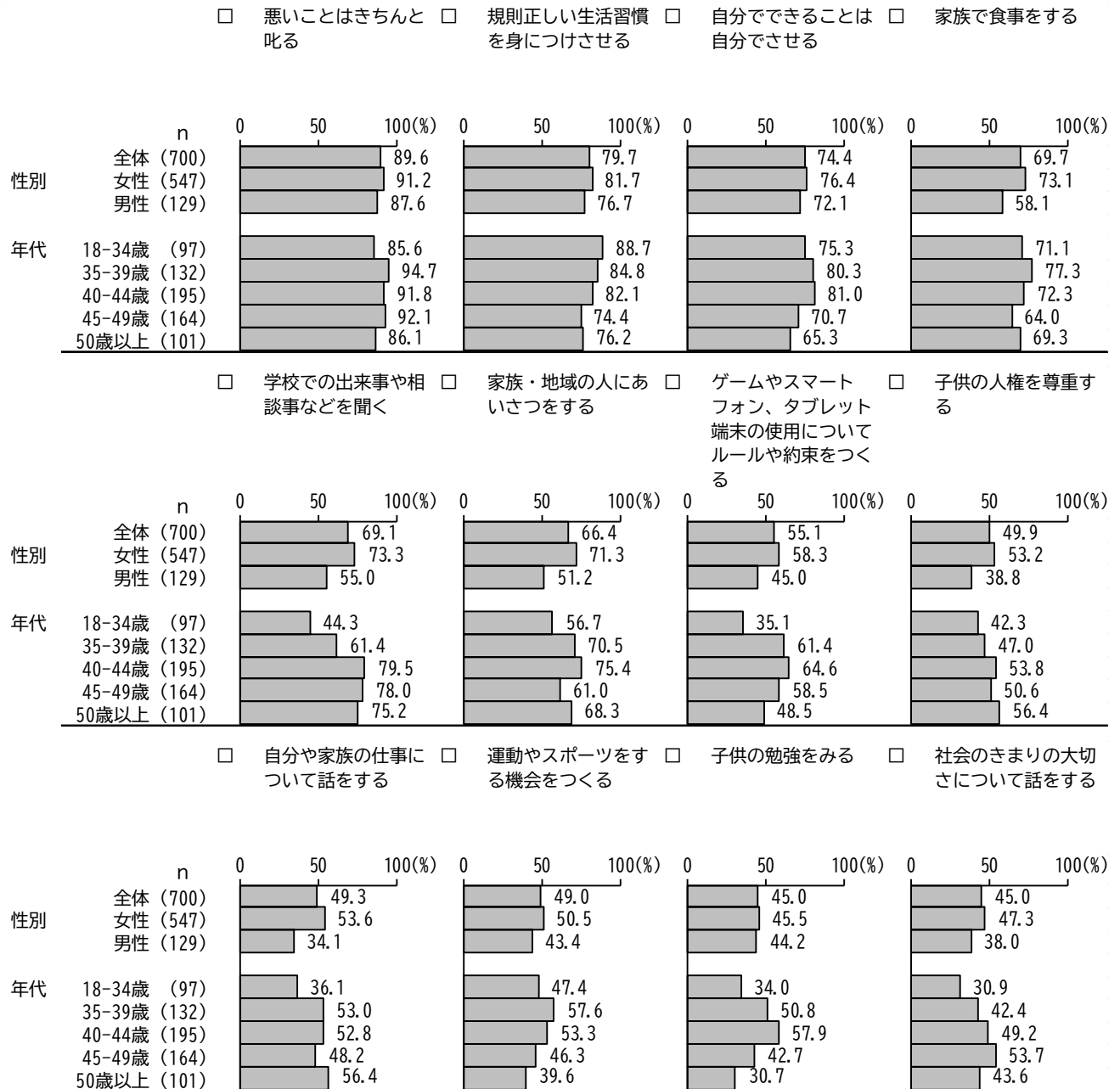


【保護者調査】

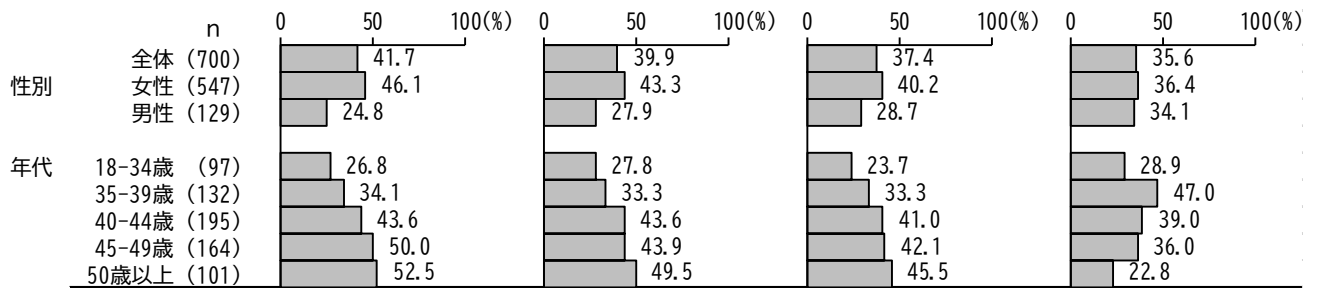
「日頃家庭で心がけていること」×性別・年代

回答が多かった「悪いことはきちんと叱る」について、性別での顕著な差は見られない。年代別では、30代～50代の回答率が高い傾向にある。

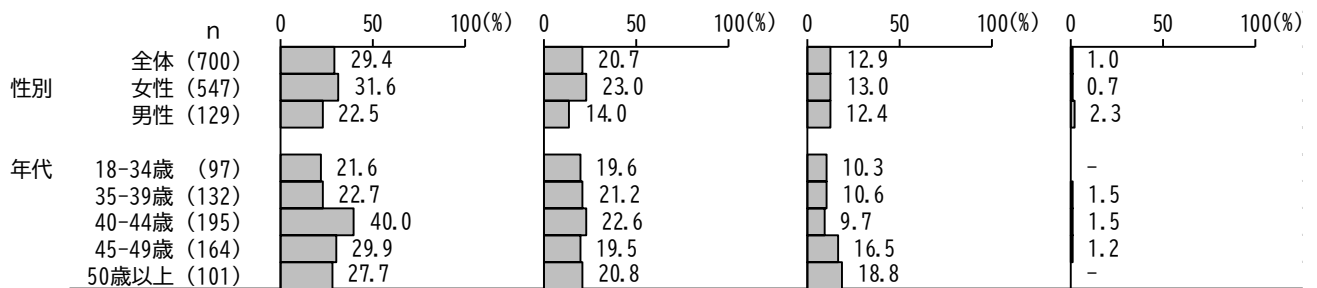
図表 5-8 日頃家庭で心がけていること（性・年代別）



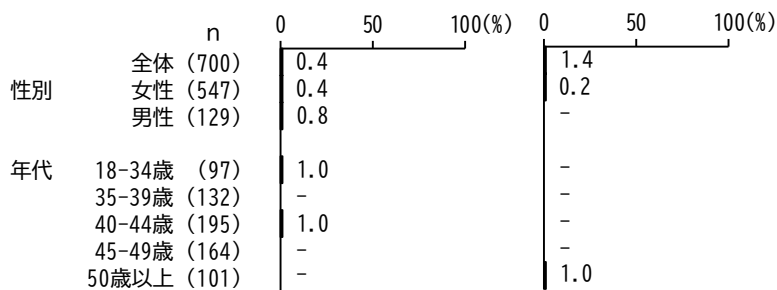
- 将来の夢や目標について話す
- 子供のプライバシーを尊重する
- 学習環境を整える
- ものづくりや自然体験の機会をつくる



- 子供が手伝う家事の分担を決める
- 地域行事への参加を促す
- 学校教育と社会とのつながりについて話す
- その他



- 特にない・わからない
- 無回答



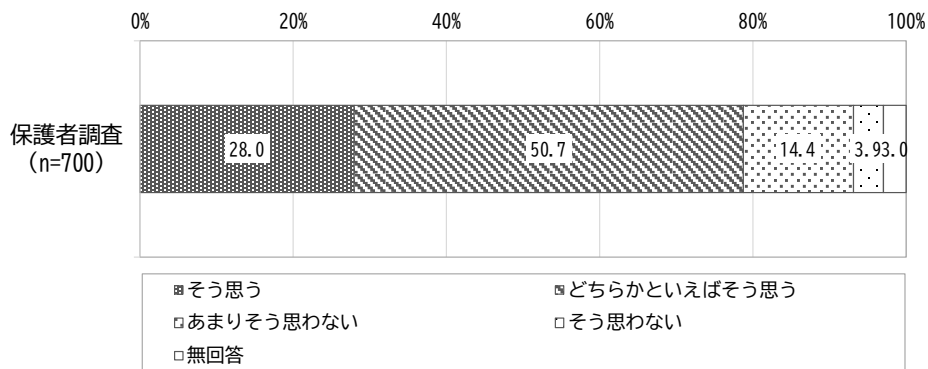
(24) 学校活動への参加、教師への協力への意思

学校や教師に協力したいかたずねたところ、そう思う（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）と回答したのは78.7%となっている。

問 24 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか。

（あてはまる番号1つに○）

図表 5-9 学校活動への参加、教師への協力への意思

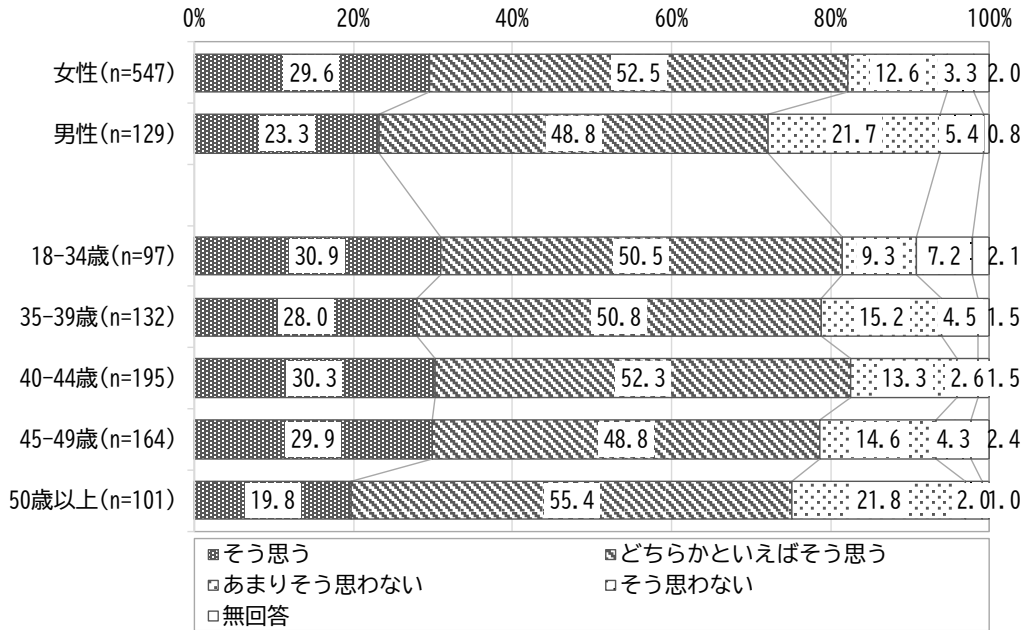


【保護者調査】

「学校活動や教師への協力意思」×性別・年代

性別では、「協力したい」（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）について、女性（82.1%）が、男性（72.1%）より10ポイント高くなっている。年代別では顕著な差はみられていない。

図表 5-10 学校活動や教師への協力意思（性・年代別）



6 設問間クロス集計

(1) 現在行っている学習活動（または行ったことのある活動）とその理由

● 市民調査

「健康を保つため」という目的で学習活動を行っている人は、「スポーツに関するもの」「健康に関するもの」「自然体験や生活体験などの体験活動」を学習活動として行っている傾向がある。「仕事や就職に役立てるため」という目的で自主的な学習活動を行っている人は、「仕事を続ける上で／就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの」「自然体験や生活体験などの体験活動」を行っている傾向がある。

「健康を保つため」という目的では市内で、「仕事や就職・転職に役立てるため」という目的では市外で活動する傾向にある。

※それぞれの項目で比較の数値が高かった箇所を網掛けで示している。

※図表中の「n」（整数）は各選択肢の回答数であり、それ以外の小数点の値は構成比（％）である（以降同様）。

図表 6-1 現在行っている学習活動（または行ったことのある活動）とその理由

表頭： 問3 あなたが自主的な学習活動を行っている （いた）目的は何ですか。	n	健康を保つため	生きがいを持つため	自由時間を有意義に過ごすため	仕事や就職・転職に役立てるため	教養を高めるため	友達づくり・仲間づくりのため	家庭での生活をよりよくするため	社会参加やボランティア活動に役立たせるため	地域や社会をよりよくするため	その他	特に目的はない	無回答
表側： 問2 あなたが現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動について、市内・市外別にお答えください。（市内・市外合算）													
全体	341	48.1	43.1	41.1	37.0	36.7	34.3	20.2	14.7	14.1	4.1	1.5	1.2
スポーツに関するもの （野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど）	144	64.6	47.9	47.9	33.3	32.6	44.4	20.1	12.5	11.1	4.2	1.4	0.7
文化・芸術に関するもの （音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）	128	48.4	50.8	50.8	40.6	48.4	39.8	27.3	16.4	17.2	4.7	0.8	1.6
教養的なもの（文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など）	106	50.9	48.1	43.4	48.1	74.5	32.1	27.4	17.0	14.2	6.6	0.9	0.9
健康に関するもの（健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など）	104	79.8	53.8	51.9	37.5	45.2	41.3	27.9	20.2	19.2	2.9	1.0	-
仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの （資格取得、リカレント教育など）	92	48.9	48.9	38.0	79.3	59.8	26.1	30.4	15.2	18.5	3.3	-	-
就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの （資格取得、リカレント教育など）	81	53.1	48.1	40.7	76.5	59.3	24.7	29.6	19.8	17.3	3.7	1.2	1.2
ICT（情報通信技術）に関するもの （スマートフォン・パソコン・インターネットなど）	80	62.5	56.3	55.0	53.8	61.3	31.3	36.3	21.3	18.8	3.8	1.3	1.3
子育てや教育に関するもの	64	43.8	35.9	43.8	53.1	54.7	29.7	46.9	23.4	28.1	6.3	1.6	1.6
ボランティア・地域づくり活動のために 必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）	56	55.4	55.4	50.0	41.1	41.1	48.2	39.3	51.8	39.3	7.1	-	-
家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）	51	60.8	66.7	58.8	58.8	58.8	45.1	56.9	21.6	19.6	5.9	-	-
自然体験や生活体験などの体験活動	48	66.7	60.4	58.3	60.4	60.4	41.7	47.9	20.8	22.9	8.3	-	-
社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	39	56.4	43.6	46.2	56.4	74.4	43.6	46.2	28.2	38.5	-	2.6	-
囲碁、将棋、麻雀などの趣味	38	50.0	50.0	50.0	28.9	36.8	50.0	21.1	13.2	10.5	2.6	5.3	-
まちづくりに関するもの （ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど）	18	55.6	44.4	27.8	55.6	72.2	50.0	38.9	33.3	38.9	-	5.6	-
その他	10	40.0	50.0	70.0	20.0	30.0	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-
無回答	8	37.5	25.0	-	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	-	-	12.5	-
市内のみ活動経験あり 計	133	52.6	42.1	41.4	19.5	24.8	36.8	18.8	19.5	17.3	4.5	2.3	1.5
市外のみ活動経験あり 計	91	28.6	37.4	33.0	48.4	29.7	27.5	12.1	8.8	8.8	4.4	1.1	2.2
市内・市外両方活動経験あり 計	109	59.6	50.5	50.5	48.6	57.8	38.5	28.4	13.8	15.6	3.7	-	-

● 保護者調査

「仕事や就職・転職に役立てるため」という目的では「仕事」「就職」「子育て」「家庭生活」「ICT（情報通信技術）」に関するもの、また「健康を保つため」という目的では「スポーツ」や「健康」に関するもの、「教養を高めるため」という目的では「文化・芸術」「教養」「自然体験」に関する活動を行っている傾向にある。

「健康を保つため」という目的では市内で活動し、「仕事や就職・転職に役立てるため」という目的では市外で活動する傾向にある。

図表 6-2 現在行っている学習活動（または行ったことのある活動）とその理由

表頭： 問3 あなたが自主的な学習活動を行っている（いた）目的は何ですか。	n	仕事や就職・転職に役立てるため	教養を高めるため	健康を保つため	自由時間を有意義に過ごすため	生きがいを持つため	友達づくり・仲間づくりのため	家庭での生活をよりよくするため	地域や社会をよりよくするため	社会参加やボランティア活動に役立たせるため	その他	特に目的はない	無回答
表側： 問2 あなたが現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動について、市内・市外別にお答えください。（市内・市外合算）													
活動経験あり	437	43.9	41.9	36.8	34.3	33.0	29.3	23.6	11.2	9.6	5.0	0.7	1.1
スポーツに関するもの （野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど）	173	32.9	40.5	54.3	46.2	37.0	37.6	19.7	11.6	9.2	6.4	1.2	-
文化・芸術に関するもの （音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）	151	45.7	58.9	31.1	45.7	43.0	32.5	24.5	14.6	14.6	4.0	0.7	0.7
仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの （資格取得、リカレント教育など）	147	85.7	60.5	31.3	30.6	38.1	23.1	37.4	10.9	12.2	2.7	0.7	-
子育てや教育に関するもの	143	55.2	54.5	32.2	37.8	32.9	34.3	52.4	19.6	11.2	6.3	1.4	1.4
教養的なもの（文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など）	135	52.6	63.7	35.6	41.5	39.3	34.1	26.7	11.9	16.3	3.0	0.7	3.0
健康に関するもの（健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など）	135	40.7	42.2	71.9	37.8	38.5	28.9	31.9	13.3	11.1	5.2	0.7	0.7
就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの （資格取得、リカレント教育など）	111	82.9	60.4	36.0	38.7	37.8	23.4	31.5	10.8	15.3	2.7	0.9	-
家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）	83	57.8	53.0	39.8	39.8	37.3	34.9	55.4	12.0	14.5	4.8	1.2	1.2
自然体験や生活体験などの体験活動	81	40.7	58.0	45.7	45.7	45.7	40.7	38.3	18.5	18.5	3.7	1.2	-
ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）	68	47.1	58.8	36.8	38.2	38.2	44.1	30.9	29.4	36.8	5.9	1.5	1.5
ICT（情報通信技術）に関するもの （スマートフォン・パソコン・インターネットなど）	55	65.5	61.8	41.8	36.4	49.1	32.7	45.5	21.8	21.8	3.6	1.8	-
社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	40	50.0	72.5	40.0	42.5	40.0	35.0	37.5	27.5	32.5	2.5	2.5	-
まちづくりに関するもの （ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど）	27	44.4	59.3	40.7	51.9	48.1	48.1	29.6	37.0	40.7	3.7	-	3.7
囲碁、将棋、麻雀などの趣味	20	45.0	55.0	55.0	65.0	50.0	60.0	50.0	25.0	15.0	-	-	-
その他	12	33.3	50.0	33.3	16.7	25.0	33.3	33.3	25.0	16.7	25.0	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市内のみ活動経験あり 計	172	32.0	32.6	37.8	25.6	28.5	31.4	20.9	11.6	4.7	7.6	0.6	1.7
市外のみ活動経験あり 計	94	43.6	37.2	26.6	33.0	31.9	28.7	8.5	5.3	8.5	1.1	1.1	-
市内・市外両方活動経験あり 計	170	56.5	54.1	41.2	44.1	38.2	27.6	34.7	14.1	15.3	4.7	0.6	1.2

(2) 生涯学習活動別 活動経験の有無と今後の活動意向（年代別）

生涯学習活動の分野別に、活動経験の有無と今後の活動意向について4つの層に分けて分析している。

- ① 活動経験ありで、今後も活動意向あり
- ② 活動経験ありで、今後の活動意向なし
- ③ 活動経験なしで、今後の活動意向あり
- ④ 活動経験なしで、今後も活動経験なし

【若い年代で比率が高い分野】

その中で、市民調査の「③ 活動経験なしで、今後の活動意向あり」（今まで活動したことはないが、今後やってみたいと希望している）層に注目すると、「文化・芸術に関するもの」「スポーツに関するもの」「健康に関するもの」「自然体験や生活体験に関するもの」などの分野が、特に若い年代で「今後やってみたい」とする比率が高い。

図表 6-3 文化・芸術に関するもの（音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	11.4	10.2	20.5	54.4	3.6
10-20代	43	18.6	20.9	14.0	44.2	2.3
30代	52	11.5	9.6	26.9	51.9	-
40代	83	7.2	10.8	33.7	45.8	2.4
50代	117	12.0	7.7	19.7	57.3	3.4
60代	88	11.4	4.5	18.2	65.9	-
70代	106	12.3	9.4	19.8	50.9	7.5
80代以上	81	8.6	16.0	12.3	58.0	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	12.3	9.0	24.7	53.4	0.6
18-34歳	97	13.4	10.3	23.7	52.6	-
35-39歳	132	13.6	7.6	24.2	53.8	0.8
40-44歳	195	10.8	8.2	25.6	54.4	1.0
45-49歳	164	9.1	11.0	23.2	56.1	0.6
50歳以上	101	17.8	7.9	25.7	48.5	-

図表 6-4 スポーツに関するもの（野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	10.3	14.1	10.3	61.6	3.6
10-20代	43	14.0	27.9	14.0	41.9	2.3
30代	52	7.7	11.5	17.3	63.5	-
40代	83	16.9	8.4	12.0	60.2	2.4
50代	117	13.7	15.4	11.1	56.4	3.4
60代	88	6.8	9.1	12.5	71.6	-
70代	106	7.5	14.2	7.5	63.2	7.5
80代以上	81	4.9	18.5	1.2	70.4	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	15.3	9.4	19.4	55.3	0.6
18-34歳	97	19.6	8.2	17.5	54.6	-
35-39歳	132	15.2	8.3	22.7	53.0	0.8
40-44歳	195	13.3	8.7	22.6	54.4	1.0
45-49歳	164	15.2	11.6	14.0	58.5	0.6
50歳以上	101	15.8	9.9	18.8	55.4	-

図表 6-5 健康に関するもの（健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	10.8	6.9	25.6	53.0	3.6
10-20代	43	7.0	16.3	20.9	53.5	2.3
30代	52	7.7	5.8	38.5	48.1	-
40代	83	10.8	3.6	31.3	51.8	2.4
50代	117	12.8	5.1	29.9	48.7	3.4
60代	88	9.1	4.5	20.5	65.9	-
70代	106	13.2	7.5	19.8	51.9	7.5
80代以上	81	8.6	11.1	19.8	55.6	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	12.1	7.1	31.7	48.4	0.6
18-34歳	97	8.2	8.2	25.8	57.7	-
35-39歳	132	12.9	3.8	27.3	55.3	0.8
40-44歳	195	11.3	6.7	40.0	41.0	1.0
45-49歳	164	10.4	9.8	32.3	47.0	0.6
50歳以上	101	20.8	7.9	26.7	44.6	-

図表 6-6 自然体験や生活体験などの体験活動

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	4.3	4.0	12.2	75.9	3.6
10-20代	43	4.7	7.0	16.3	69.8	2.3
30代	52	9.6	-	21.2	69.2	-
40代	83	7.2	7.2	20.5	62.7	2.4
50代	117	5.1	7.7	11.1	72.6	3.4
60代	88	2.3	1.1	10.2	86.4	-
70代	106	1.9	-	9.4	81.1	7.5
80代以上	81	1.2	3.7	3.7	86.4	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	7.3	4.3	16.9	71.0	0.6
18-34歳	97	7.2	2.1	13.4	77.3	-
35-39歳	132	8.3	3.0	25.0	62.9	0.8
40-44歳	195	8.2	3.6	21.5	65.6	1.0
45-49歳	164	6.1	7.3	10.4	75.6	0.6
50歳以上	101	6.9	5.0	9.9	78.2	-

【ミドルやシニアの年代で比率が高い分野】

ミドルやシニアの年代では、「社会問題に関するもの」「まちづくりに関するもの」「ボランティア・地域づくり活動に関するもの」などの比率が高い。

図表 6-7 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	3.3	3.4	9.1	80.6	3.6
10-20代	43	2.3	11.6	9.3	74.4	2.3
30代	52	1.9	1.9	7.7	88.5	-
40代	83	4.8	3.6	8.4	80.7	2.4
50代	117	6.0	3.4	9.4	77.8	3.4
60代	88	1.1	3.4	15.9	79.5	-
70代	106	2.8	0.9	6.6	82.1	7.5
80代以上	81	1.2	3.7	6.2	84.0	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	1.9	3.9	7.3	86.4	0.6
18-34歳	97	2.1	2.1	11.3	84.5	-
35-39歳	132	2.3	3.8	6.1	87.1	0.8
40-44歳	195	1.0	3.6	8.2	86.2	1.0
45-49歳	164	2.4	4.9	4.9	87.2	0.6
50歳以上	101	2.0	5.0	5.0	88.1	-

図表 6-8 まちづくりに関するもの（ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	1.2	1.9	7.1	86.2	3.6
10-20代	43	2.3	4.7	9.3	81.4	2.3
30代	52	1.9	3.8	3.8	90.4	-
40代	83	1.2	-	9.6	86.7	2.4
50代	117	3.4	1.7	10.3	81.2	3.4
60代	88	-	1.1	8.0	90.9	-
70代	106	-	0.9	4.7	86.8	7.5
80代以上	81	-	3.7	2.5	88.9	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	1.3	2.6	6.3	89.3	0.6
18-34歳	97	0.0	2.1	9.3	88.7	-
35-39歳	132	0.8	2.3	4.5	91.7	0.8
40-44歳	195	1.0	2.6	7.2	88.2	1.0
45-49歳	164	-	3.0	6.7	89.6	0.6
50歳以上	101	5.0	3.0	3.0	89.1	-

図表 6-9 ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災等）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	4.8	4.5	9.0	78.1	3.6
10-20代	43	-	7.0	4.7	86.0	2.3
30代	52	1.9	5.8	1.9	90.4	-
40代	83	6.0	3.6	12.0	75.9	2.4
50代	117	7.7	4.3	11.1	73.5	3.4
60代	88	1.1	2.3	12.5	84.1	-
70代	106	7.5	5.7	9.4	69.8	7.5
80代以上	81	1.2	4.9	6.2	82.7	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	3.0	6.7	10.1	79.6	0.6
18-34歳	97	6.2	2.1	6.2	85.6	-
35-39歳	132	1.5	4.5	8.3	84.8	0.8
40-44歳	195	2.1	6.2	12.8	77.9	1.0
45-49歳	164	2.4	6.7	7.9	82.3	0.6
50歳以上	101	5.0	15.8	12.9	66.3	-

【その他の分野】

図表 6-10 教養的なもの（文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	581	11.2	6.7	20.8	57.7	3.6
10-20代	43	9.3	20.9	30.2	37.2	2.3
30代	52	9.6	5.8	21.2	63.5	-
40代	83	12.0	2.4	30.1	53.0	2.4
50代	117	15.4	7.7	20.5	53.0	3.4
60代	88	8.0	6.8	27.3	58.0	-
70代	106	13.2	2.8	14.2	62.3	7.5
80代以上	81	6.2	7.4	8.6	72.8	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	700	11.9	7.4	21.7	58.4	0.6
18-34歳	97	9.3	10.3	16.5	63.9	-
35-39歳	132	14.4	3.8	25.0	56.1	0.8
40-44歳	195	13.8	7.7	22.1	55.4	1.0
45-49歳	164	8.5	9.1	22.0	59.8	0.6
50歳以上	101	13.9	6.9	19.8	59.4	-

図表 6-11 就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	3.4	10.3	8.4	74.2	3.6
10-20代	43	7.0	18.6	9.3	62.8	2.3
30代	52	7.7	17.3	15.4	59.6	-
40代	83	3.6	13.3	16.9	63.9	2.4
50代	117	5.1	5.1	13.7	72.6	3.4
60代	88	2.3	11.4	3.4	83.0	-
70代	106	0.9	10.4	3.8	77.4	7.5
80代以上	81	-	3.7	-	91.4	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	7.3	8.6	15.7	67.9	0.6
18-34歳	97	10.3	11.3	16.5	61.9	-
35-39歳	132	5.3	6.1	15.9	72.0	0.8
40-44歳	195	4.6	8.2	19.5	66.7	1.0
45-49歳	164	6.7	8.5	15.2	68.9	0.6
50歳以上	101	13.9	10.9	8.9	66.3	-

図表 6-12 仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）

● 市民調査

		①	②	③	④	
表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	581	5.5	10.2	8.6	72.1	3.6
10-20代	43	7.0	14.0	16.3	60.5	2.3
30代	52	7.7	13.5	17.3	61.5	-
40代	83	4.8	14.5	20.5	57.8	2.4
50代	117	12.8	11.1	8.5	64.1	3.4
60代	88	3.4	6.8	2.3	87.5	-
70代	106	1.9	8.5	4.7	77.4	7.5
80代以上	81	-	4.9	-	90.1	4.9

● 保護者調査

		①	②	③	④	
表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	700	8.7	12.1	15.4	63.1	0.6
18-34歳	97	11.3	10.3	13.4	64.9	-
35-39歳	132	12.1	12.1	12.1	62.9	0.8
40-44歳	195	7.2	10.8	20.5	60.5	1.0
45-49歳	164	4.3	12.8	16.5	65.9	0.6
50歳以上	101	12.9	15.8	8.9	62.4	-

図表 6-13 家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）

● 市民調査

		①	②	③	④	
表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	581	4.5	4.3	17.0	70.6	3.6
10-20代	43	4.7	11.6	18.6	62.8	2.3
30代	52	5.8	5.8	19.2	69.2	-
40代	83	7.2	3.6	19.3	67.5	2.4
50代	117	5.1	6.0	20.5	65.0	3.4
60代	88	1.1	2.3	19.3	77.3	-
70代	106	4.7	3.8	16.0	67.9	7.5
80代以上	81	2.5	1.2	7.4	84.0	4.9

● 保護者調査

		①	②	③	④	
表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	活動経験あり、 今後も活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後も活動意向なし	無回答
表側： 年代						
全体	700	5.7	6.0	22.1	65.6	0.6
18-34歳	97	5.2	6.2	21.6	67.0	-
35-39歳	132	7.6	3.0	23.5	65.2	0.8
40-44歳	195	5.6	6.2	23.1	64.1	1.0
45-49歳	164	2.4	4.9	21.3	70.7	0.6
50歳以上	101	9.9	10.9	20.8	58.4	-

図表 6-14 子育てや教育に関するもの

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	4.3	6.7	5.5	79.9	3.6
10-20代	43	9.3	2.3	14.0	72.1	2.3
30代	52	13.5	15.4	13.5	57.7	-
40代	83	10.8	7.2	14.5	65.1	2.4
50代	117	3.4	9.4	2.6	81.2	3.4
60代	88	-	5.7	1.1	93.2	-
70代	106	0.9	4.7	1.9	84.9	7.5
80代以上	81	-	2.5	-	92.6	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	11.9	8.4	21.7	57.4	0.6
18-34歳	97	15.5	6.2	28.9	49.5	-
35-39歳	132	17.4	6.1	31.8	43.9	0.8
40-44歳	195	14.4	5.6	21.5	57.4	1.0
45-49歳	164	4.3	10.4	14.0	70.7	0.6
50歳以上	101	9.9	15.8	9.9	64.4	-

図表 6-15 ICT（情報通信技術）に関するもの（スマートフォン・パソコン・インターネットなど）

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	5.9	7.6	10.8	72.1	3.6
10-20代	43	2.3	18.6	9.3	67.4	2.3
30代	52	5.8	3.8	9.6	80.8	-
40代	83	4.8	7.2	12.0	73.5	2.4
50代	117	6.8	5.1	12.8	71.8	3.4
60代	88	5.7	6.8	12.5	75.0	-
70代	106	5.7	10.4	7.5	68.9	7.5
80代以上	81	6.2	6.2	9.9	72.8	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	3.0	4.9	13.0	78.6	0.6
18-34歳	97	3.1	6.2	9.3	81.4	-
35-39歳	132	1.5	3.8	8.3	85.6	0.8
40-44歳	195	3.6	4.6	15.4	75.4	1.0
45-49歳	164	1.8	4.3	13.4	79.9	0.6
50歳以上	101	5.9	6.9	16.8	70.3	-

図表 6-16 囲碁、将棋、麻雀などの趣味

● 市民調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	581	2.6	4.0	7.7	82.1	3.6
10-20代	43	4.7	9.3	4.7	79.1	2.3
30代	52	1.9	3.8	7.7	86.5	-
40代	83	2.4	-	6.0	89.2	2.4
50代	117	-	2.6	7.7	86.3	3.4
60代	88	1.1	1.1	9.1	88.6	-
70代	106	4.7	6.6	10.4	70.8	7.5
80代以上	81	3.7	7.4	7.4	76.5	4.9

● 保護者調査

表頭： 問2 生涯学習活動経験の有無× 問5 今後の活動意向の有無	n	①	②	③	④	無回答
		活動経験あり、 今後とも活動意向あり	活動経験あり、 今後の活動意向なし	活動経験なし、 今後の活動意向あり	活動経験なし、 今後とも活動意向なし	
表側： 年代						
全体	700	0.4	2.4	4.6	92.0	0.6
18-34歳	97	1.0	1.0	4.1	93.8	-
35-39歳	132	0.8	1.5	3.8	93.2	0.8
40-44歳	195	0.0	3.6	3.6	91.8	1.0
45-49歳	164	0.6	0.6	6.1	92.1	0.6
50歳以上	101	-	5.9	5.0	89.1	-

(3) 今後やってみたい学習活動と活かしたいこと

● 市民調査

全体的に、生涯学習活動を通して「より豊かな人生を送りたい」と考えている傾向が強い一方で、「家庭生活に役立てたい」と考えている人は、「家庭での生活に役立つ技能(料理、日曜大工など)」「子育てや教育に関するもの」「就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの」を学習活動として行いたいと考える傾向がある。

※それぞれの項目で比較の数値が高かった箇所を網掛けで示している。

図表 6-17 今後やってみたい学習活動と活かしたいこと

表頭： 問6 学習活動で得た知識や技術は、 どのように活かしていきたいと思えますか。	n	より豊かな人生を送りたい	家庭生活に役立てたい	友達や仲間を増やしたい	仕事を続けたり、就職・転職に役立てたい	学ぶこと自体が楽しいので、特に何かに活かそうとは思っていない	誰かに身につけたことを教えたり、伝えたい	セカンドキャリアに役立てたい	社会参加やボランティア活動に役立てたい	地域や社会をよりよくしたい	学習成果の発表機会をつくりたい	その他	特になし・わからない	無回答
表例： 問5 あなたが今後やってみたい学習活動はありますか。														
全体	581	60.4	27.0	24.4	20.5	17.7	14.3	13.6	13.6	11.9	2.8	1.5	14.1	2.4
健康に関するもの(健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など)	215	82.3	44.2	36.7	25.1	20.9	20.0	16.7	20.0	14.9	3.7	0.9	1.9	0.5
教養的なもの(文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など)	191	83.8	35.6	30.9	32.5	24.6	18.3	24.6	20.9	17.8	3.1	1.6	1.0	-
文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など)	188	84.0	33.5	38.3	29.3	26.1	20.2	21.3	21.3	16.5	4.8	2.1	1.6	0.5
家庭での生活に役立つ技能(料理、日曜大工など)	127	74.0	68.5	34.6	29.1	19.7	21.3	22.0	21.3	19.7	2.4	1.6	-	1.6
スポーツに関するもの(野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど)	122	76.2	35.2	45.9	31.1	17.2	23.0	29.5	25.4	22.1	3.3	0.8	-	1.6
ICT(情報通信技術)に関するもの(スマートフォン・パソコン・インターネットなど)	100	79.0	35.0	31.0	39.0	25.0	27.0	26.0	26.0	23.0	4.0	3.0	-	1.0
自然体験や生活体験などの体験活動	99	82.8	44.4	43.4	33.3	24.2	26.3	28.3	36.4	33.3	9.1	2.0	-	1.0
仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)	84	81.0	42.9	32.1	70.2	15.5	31.0	40.5	21.4	19.0	3.6	1.2	-	-
ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの(環境、福祉、防災など)	80	73.8	33.8	42.5	28.8	22.5	31.3	28.8	65.0	50.0	5.0	2.5	1.3	1.3
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	74	85.1	41.9	39.2	33.8	21.6	35.1	33.8	43.2	44.6	8.1	1.4	1.4	-
就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)	71	80.3	50.7	40.8	69.0	11.3	33.8	45.1	26.8	21.1	5.6	2.8	-	-
囲碁、将棋、麻雀などの趣味	61	67.2	19.7	37.7	16.4	34.4	21.3	11.5	19.7	13.1	3.3	1.6	8.2	-
子育てや教育に関するもの	60	81.7	61.7	40.0	41.7	10.0	33.3	26.7	23.3	21.7	3.3	3.3	1.7	-
まちづくりに関するもの(ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど)	49	79.6	38.8	53.1	42.9	12.2	51.0	46.9	55.1	55.1	12.2	2.0	-	-
その他	15	60.0	46.7	20.0	33.3	33.3	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	6.7	6.7	-
今後やってみたい学習活動はない	87	11.5	3.4	3.4	2.3	4.6	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	-	78.2	3.4
無回答	10	20.0	-	-	-	10.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0	60.0

● 保護者調査

全体的に、生涯学習活動を通して「より豊かな人生を送りたい」と考えている傾向が強い一方で、「家庭生活に役立てたい」と考えている人は、「子育てや教育に関するもの」「家庭での生活に役立つ技能」を学習活動として行いたいと考える傾向にある。

図表 6-18 今後やってみたい学習活動と活かしたいこと

表頭： 問6 学習活動で得た知識や技術は、 どのように活かしていきたいと思えますか。	n	より豊かな人生を送りたい	家庭生活に役立てたい	仕事を続けたり、就職・転職に役立てたい	友達や仲間を増やしたい	誰かに身につけたことを教えたり、伝えたい	セカンドキャリアに役立てたい	地域や社会をよりよくしたい	学ぶこと自体が楽しいので、特に何かに活かそうとは思っていない	社会参加やボランティア活動に役立てたい	学習成果の発表機会をつくりたい	その他	特にない・わからない	無回答
表例： 問5 あなたが今後やってみたい学習活動はありますか。														
全体	700	66.9	43.3	34.1	29.4	19.9	18.6	13.1	11.0	10.4	2.3	1.6	4.9	0.1
健康に関するもの（健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など）	308	78.6	52.9	37.0	37.3	21.8	23.1	17.9	10.7	14.3	3.6	1.0	0.6	-
文化・芸術に関するもの（音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）	259	81.9	50.2	33.2	38.2	25.1	22.0	18.9	17.0	16.2	4.2	1.9	-	-
スポーツに関するもの（野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど）	244	79.5	41.8	34.8	44.3	23.0	21.7	13.5	11.9	11.1	2.0	1.6	0.8	-
教養的なもの（文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など）	236	80.9	48.7	41.9	33.5	24.6	25.4	22.9	15.7	17.4	2.5	0.8	-	-
子育てや教育に関するもの	236	72.5	72.5	42.4	35.2	25.8	28.0	21.2	7.2	15.7	2.5	0.8	0.4	0.4
家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）	196	76.0	78.6	38.3	37.2	28.1	29.1	21.4	8.2	17.3	3.6	0.5	-	-
自然体験や生活体験などの体験活動	169	79.9	59.2	36.7	38.5	31.4	26.6	27.2	11.8	20.1	4.1	2.4	1.2	-
仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）	169	73.4	55.6	72.2	30.2	23.1	39.6	19.5	10.1	16.0	2.4	-	-	-
就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）	161	68.9	51.6	72.0	30.4	24.2	36.6	16.8	10.6	14.3	2.5	0.6	-	-
I C T（情報通信技術）に関するもの（スマートフォン・パソコン・インターネットなど）	113	80.5	61.9	55.8	40.7	33.6	34.5	24.8	12.4	17.7	4.4	0.9	-	-
ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）	92	65.2	56.5	48.9	38.0	34.8	32.6	43.5	6.5	46.7	4.3	1.1	-	-
社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	64	85.9	62.5	54.7	40.6	40.6	40.6	43.8	10.9	31.3	7.8	1.6	-	-
まちづくりに関するもの（ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど）	53	81.1	56.6	45.3	54.7	41.5	39.6	54.7	9.4	37.7	5.7	1.9	-	-
囲碁、将棋、麻雀などの趣味	35	82.9	37.1	42.9	42.9	31.4	37.1	22.9	25.7	20.0	5.7	-	-	-
その他	10	60.0	80.0	20.0	20.0	50.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-
今後やってみたい学習活動はない	48	25.0	6.3	10.4	8.3	2.1	4.2	-	2.1	-	-	-	64.6	-
無回答	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-

(4) 学習活動の経験有無別 市が力を入れるべきこと

● 市民調査

活動経験の有無にかかわらず、「講座や講演会などの情報をわかりやすく提供すべき」と考えている傾向が強く、その中でも現在活動している人は「多様な時間帯の講座を充実させる」「多様な内容の講座や講演会などを開催する」「図書館を充実させる」「森のホール 21・市民会館・市民劇場・文化ホールを充実させる」「大学など教育機関と連携した講座を充実させる」を挙げる傾向が強い。

※それぞれの項目で全体よりも比較的数値が高かった箇所を網掛けで示している。

図表 6-19 学習活動の有無別 市が力を入れるべきこと

表頭： 問7 今後、市民の方が学びたい時に学べるようにするため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思います	n	講座や講演会などの情報をわかりやすく提供する	年齢、障害の有無、文化的背景などに関わらず、誰もが学びやすい環境や教材、学習方法を整備する	多様な時間帯の講座を充実させる (休日や夜間など)	多様な内容の講座や講演会などを開催する (仕事に役立つものなど)	図書館を充実させる	施設の利用手続きを簡素化させる	森のホール21・市民会館・市民劇場・文化ホールを充実させる (鑑賞や発表の場など)	大学など教育機関との連携した講座を充実させる	企業と連携した講座を充実させる	託児付きの講座を充実させる	施設の開館時間を延長する	地域団体の活動を支援する	指導者やリーダーを確保したり、育成したりする	博物館・戸定歴史館を充実させる	公民館・青少年会館などでの講座を充実させる	学校施設を開放する	学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる (受講後、講師として活躍するなど)	学習・活動に関する相談体制を充実させる	その他	特になし・わからない	無回答
全体	581	38.4	31.3	30.8	29.6	28.1	23.8	22.9	22.0	18.9	13.9	13.8	12.6	11.9	11.4	10.3	10.5	10.2	6.7	6.0	12.2	2.1
現在活動している	207	41.1	35.7	40.1	41.5	38.2	30.9	31.4	30.9	24.2	18.4	20.8	14.5	17.4	16.4	14.5	15.9	14.0	8.2	7.7	5.3	1.9
以前は活動していたが、今はしていない	134	41.8	31.3	29.9	29.9	28.4	24.6	19.4	18.7	14.9	14.9	9.7	17.9	11.9	8.2	11.2	11.2	10.4	2.2	5.2	6.7	3.0
今まで活動したことはない	234	34.2	28.2	23.5	19.2	18.8	17.5	17.5	16.2	17.1	9.4	10.3	8.1	7.3	9.0	6.4	5.1	6.4	7.7	5.1	21.4	0.9
無回答	6	33.3	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	16.7	16.7	-	16.7	33.3

表例：
問1 現在、あなたは生涯学習に関して自主的に活動していますか。または以前に活動していましたか。

● 保護者調査

活動経験の有無にかかわらず、「多様な時間帯の講座を充実させるべき」と考えている傾向が強く、その中でも現在活動している人は「誰もが学びやすい環境や教材、学習活動を整備する」「企業と連携した講座を充実させる」「大学など教育機関と連携した講座を充実させる」を挙げる傾向がある。一方で、以前活動していたが今はしていない人は「多様な内容の講座や講演会を開催する」を挙げる傾向にある。

図表 6-20 学習活動の有無別 市が力を入れるべきこと

表頭： 問7 今後、市民の方が学びたい時に学べるようにするため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。	n	多様な時間帯の講座を充実させる (休日や夜間など)	託児付きの講座を充実させる	講座や講演会などの情報を わかりやすく提供する	図書館を充実させる	多様な内容の講座や講演会などを 開催する(仕事に役立つものなど)	年齢、障害の有無、文化的背景などに 関わらず、誰もが学びやすい環境や 教材、学習方法を整備する	施設の利用手続きを簡素化させる	企業と連携した講座を充実させる	森のホール21・市民会館・市民劇場・文化 ホールを充実させる(鑑賞や発表の場など)	学校施設を開放する	大学など教育機関との連携した講座を 充実させる	施設の開館時間を延長する	公民館・青少年会館などでの講座を充実させる	地域団体の活動を支援する	指導者やリーダーを確保したり、 育成したりする	学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる (受講後、講師として活躍するなど)	博物館・戸定歴史館を充実させる	学習・活動に関する相談体制を充実させる	その他	特になし・わからない	無回答
全体	700	41.0	34.6	34.4	32.0	28.4	25.1	23.1	21.3	19.9	19.9	19.1	13.9	13.0	11.6	10.0	9.9	9.4	7.6	8.7	6.9	0.1
現在活動している	277	37.9	28.5	38.6	37.2	29.6	33.2	23.5	27.8	25.6	23.8	25.3	15.5	14.4	17.0	15.9	13.4	11.6	10.1	10.5	4.3	-
以前は活動していたが、 今はしていない	160	47.5	39.4	35.6	32.5	36.9	21.3	18.8	22.5	13.8	17.5	15.6	9.4	14.4	8.8	8.1	10.0	9.4	4.4	11.3	5.6	-
今まで活動したことはない	262	40.5	37.8	29.4	26.3	21.8	19.1	25.2	13.7	17.6	17.2	14.9	14.9	10.7	7.6	5.0	6.1	7.3	6.9	5.3	10.3	0.4
無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表例：
問1 現在、あなたは生涯学習
に関して自主的に活動してい
ますか。または以前に活動してい
ましたか。

(5) 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と家庭で力を入れるべき取り組み

● 市民調査

「学校の施設を活用した地域の行事や活動」に参加したことがある人は、家庭での取り組みとして「親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる」「自分自身や家族を大切にすることを育む」「家で学習や読書の習慣をつくる」「家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる」といった、家庭におけるコミュニケーションや教育に注力すべきと考える傾向にある。

※参加経験がある人と参加経験のない人との間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-21 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と家庭で力を入れるべき取り組み

表頭： 問12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	n	親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる	基本的なしつけや、規則正しい生活習慣を確立する	自分自身や家族を大切にすることを育む	家での学習や読書の習慣をつくる	家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる	親が家庭教育に関する知識や情報を得る	親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる	子供の教育や子育てに関する悩みを、相談窓口で相談する	その他	特になし	無回答
全体	581	84.0	81.4	72.8	53.4	52.8	39.2	33.4	26.5	3.1	1.5	1.5
P T A 活動	155	92.3	83.2	80.0	58.1	56.1	41.3	32.9	20.0	4.5	1.3	-
学校の施設を活用した地域の行事や活動	145	93.1	83.4	78.6	60.0	62.1	45.5	42.1	31.7	3.4	-	-
子供たちの安全を見守る活動	108	93.5	87.0	88.9	65.7	63.9	47.2	39.8	27.8	5.6	1.9	-
学校の授業を支援する活動	40	95.0	95.0	90.0	75.0	67.5	55.0	45.0	25.0	-	-	-
P T A 活動以外の学校運営に関する活動（地域学校協働本部など）	15	100.0	100.0	86.7	60.0	60.0	80.0	60.0	20.0	26.7	-	-
その他	10	90.0	60.0	90.0	60.0	50.0	40.0	30.0	20.0	-	10.0	-
参加したことはない	277	78.3	78.3	65.3	49.1	48.0	35.7	31.4	25.3	2.5	2.2	2.5
参加経験あり計	286	90.9	84.3	79.7	58.7	57.3	43.0	35.3	26.9	3.8	1.0	-
無回答	18	61.1	83.3	77.8	33.3	55.6	33.3	33.3	38.9	-	-	11.1

● 保護者調査

「学校の授業を支援する活動」に参加したことがある人は、家庭での取り組みとして「自分自身や家族を大切にすることを育む」「家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる」といった、家族の絆を強くすることに注力すべきと考える傾向にある。

※参加経験がある人と参加経験のない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-22 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と家庭で力を入れるべき取り組み

表頭： 問12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	n	親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる	基本的なしつけや、規則正しい生活習慣を確立する	自分自身や家族を大切にすることを育む	家での学習や読書の習慣をつくる	家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる	親が家庭教育に関する知識や情報を得る	親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる	子供の教育や子育てに関する悩みを、相談窓口に相談する	その他	特にない	無回答
全体	700	92.0	85.7	79.4	59.0	54.0	44.0	27.7	19.6	1.9	0.7	0.4
P T A 活動	286	91.6	88.5	80.1	58.0	57.7	44.4	26.6	17.1	1.7	-	0.7
子供たちの安全を見守る活動	231	92.6	86.1	79.2	58.4	58.9	44.6	28.1	16.9	1.7	-	0.9
学校の施設を活用した地域の行事や活動	209	91.4	87.1	81.8	58.9	56.9	45.0	30.1	17.2	1.9	0.5	1.0
学校の授業を支援する活動	80	91.3	83.8	90.0	66.3	62.5	46.3	27.5	21.3	-	-	-
P T A 活動以外の学校運営に関する活動（地域学校協働本部など）	37	100.0	81.1	81.1	54.1	43.2	24.3	27.0	10.8	5.4	-	-
その他	15	86.7	93.3	86.7	40.0	80.0	66.7	26.7	-	13.3	-	-
参加したことはない	238	90.8	82.8	79.0	57.6	49.2	45.0	28.6	21.8	2.1	1.7	0.4
参加経験あり計	458	92.6	87.1	79.5	59.4	56.1	43.2	27.1	18.1	1.5	0.2	0.4
無回答	4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	-

(6) 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と地域で力を入れるべき取り組み

● 市民調査

「子供たちの安全を見守る活動」に参加したことのある人は、「地域全体で子供を育てていこうという共通の意識を住民が持つ」「親子や子供同士が触れ合い、関わり合い、安全に遊べる場を充実させる」など、地域で子育てすることに注力するべきと考える傾向がある。

また、学校の授業を支援する活動やPTA活動以外の学校運営に関する活動に参加したことのある人は、「クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援など学校を手助けする」や「部活動の地域展開に向けて、受け皿づくりを進める」といった課外活動への支援が重要とする傾向がある。

※参加経験がある人と参加経験のない人の中で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-23 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と地域で力を入れるべき取り組み

表頭： 問13 地域の教育力を高めるために、地域ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	n	大人自身のマナーやモラルを向上させる	地域の子供たちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う	地域全体で子供を育てていこうという共通の意識を住民が持つ	親子や子供同士が触れ合い、関わり合い、安全に遊べる場を充実させる	地域での子供に関する活動やイベントなどを充実させる	子供に有害な情報や環境を取り除く	子供にボランティア活動の場を提供したり指導者への支援を行う	非行等問題行動に対して地域ぐるみで取り組む	クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする	世代間の交流を深めるため地域の伝統芸能や文化活動を充実させる	部活動の地域展開に向けて、受け皿づくりを進める	健全育成に関して、話し合える場や相談窓口を充実させる	親や子供に対して、子育てに関する講座を開催したり、チラシを配る	その他	特になし	無回答
全体	581	75.4	60.2	49.4	47.0	36.7	31.5	30.8	30.5	29.3	25.1	23.2	18.9	12.0	1.4	2.1	2.1
PTA活動	155	81.9	63.2	52.3	51.0	37.4	31.6	32.3	26.5	29.7	29.7	27.7	19.4	13.5	1.3	1.3	-
学校の施設を活用した地域の行事や活動	145	80.7	69.0	60.7	56.6	45.5	36.6	32.4	32.4	36.6	30.3	32.4	18.6	14.5	2.1	-	-
子供たちの安全を見守る活動	108	85.2	70.4	65.7	60.2	47.2	38.9	35.2	39.8	31.5	31.5	31.5	20.4	15.7	2.8	1.9	-
学校の授業を支援する活動	40	87.5	77.5	75.0	67.5	45.0	32.5	45.0	30.0	45.0	35.0	32.5	25.0	20.0	2.5	-	-
PTA活動以外の学校運営に関する活動（地域学校協働本部など）	15	80.0	60.0	73.3	86.7	46.7	40.0	40.0	40.0	46.7	33.3	40.0	6.7	13.3	6.7	-	-
その他	10	60.0	50.0	40.0	50.0	50.0	30.0	50.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	10.0	-	10.0	-
参加したことはない	277	71.5	57.4	43.3	42.2	33.9	30.3	30.0	27.8	24.9	19.9	17.7	19.1	10.1	1.4	3.2	2.9
参加経験あり計	286	80.1	63.3	55.6	52.8	40.2	32.2	31.5	32.2	33.6	30.1	28.3	18.5	14.3	1.4	1.0	-
無回答	18	61.1	55.6	44.4	27.8	22.2	38.9	33.3	44.4	27.8	27.8	27.8	22.2	5.6	-	-	22.2

表例：
問19 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。現在参加しているものも含めてお答えください。

● 保護者調査

学校の施設を活用した地域の行事や活動に参加したことがある人は、「クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする」や「子供にボランティア活動の場を提供したり指導者への支援を行う」など、課外活動への支援が重要とする傾向がある。

※参加経験がある人と参加経験のない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-24 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と地域で力を入れるべき取り組み

表頭： 問13 地域の教育力を高めるために、地域ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	n	大人自身のマナーやモラルを向上させる	地域の子どもたちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う	親子や子供同士が触れ合い、安全に遊べる場を充実させる	地域全体で子供を育てていこうという共通の意識を住民が持つ	地域での子供に関する活動やイベントなどを充実させる	クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする	子供にボランティア活動の場を提供したり指導者への支援を行う	子供に有害な情報や環境を取り除く	部活動の地域展開に向けて、受け皿づくりを進める	世代間の交流を深めるため、地域の伝統芸能や文化活動を充実させる	非行等問題行動に対して地域ぐるみで取り組む	健全育成に関して、話し合える場や相談窓口を充実させる	親や子供に対して、子育てに関する講座を開催したり、チラシを配る	その他	特になし	無回答
全体	700	74.0	63.3	57.0	55.9	49.6	38.1	36.3	31.6	31.4	25.6	25.3	15.3	12.9	2.4	2.0	0.6
P T A活動	286	75.9	61.9	51.7	59.4	47.9	40.6	39.9	35.3	35.7	26.6	22.4	18.5	10.8	2.1	0.7	0.7
子供たちの安全を見守る活動	231	78.8	64.9	55.4	58.4	50.2	41.1	39.0	35.5	34.2	25.5	27.7	15.2	14.7	3.0	0.9	0.9
学校の施設を活用した地域の行事や活動	209	73.2	67.0	61.2	60.3	53.6	45.5	45.5	32.5	36.4	33.0	26.8	16.3	12.9	2.9	0.5	1.0
学校の授業を支援する活動	80	76.3	67.5	62.5	61.3	47.5	37.5	42.5	33.8	36.3	31.3	28.8	21.3	17.5	1.3	1.3	-
P T A活動以外の学校運営に関する活動（地域学校協働本部など）	37	81.1	64.9	56.8	54.1	45.9	32.4	40.5	29.7	37.8	32.4	29.7	18.9	8.1	-	-	-
その他	15	73.3	40.0	33.3	66.7	40.0	46.7	40.0	20.0	33.3	40.0	33.3	-	6.7	-	-	-
参加したことはない	238	72.7	63.0	62.6	52.9	49.2	34.5	31.1	26.9	27.7	22.3	25.6	14.3	13.4	2.9	3.8	0.8
参加経験あり計	458	74.7	63.3	53.9	57.0	49.6	40.2	38.6	34.1	33.2	27.3	24.5	15.5	12.7	2.2	1.1	0.4
無回答	4	75.0	75.0	75.0	100.0	75.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0	100.0	50.0	-	-	-	-

表例：
問19 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。現在参加しているものも含めてお答えください。

(7) 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と学校に期待する教育や指導

● 市民調査

全体的に、子供の学習意欲や思考力に関する教育・指導を期待する傾向がある中で、学校の授業を支援する活動に参加したことがある人は、「日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける」「環境やエネルギーをめぐる問題について考える」といった、子供自身で問題を考えたり解決したりすることを手助けする教育を期待する傾向にある。

※参加経験がある人と参加経験のない人の中で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-25 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と学校に期待する教育や指導

表頭： 問14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。	n	学が楽しさや喜びを通して学習意欲を高める	社会のルールやモラルを守る心を育む	人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む	障害の有無、病気の有無などに関わりなく助け合える心を育む	自分に合った学び方を学び、自ら考える力を身につける	判断力の基礎を養う	日本語を適切に用いて思考力・表現力・日本語を身につける	日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける	クラスメイトと教え合うなど、みんなと一緒に学ぼうとする	健康や食について教える	防災、防犯について教える	将来の進路や職業を考えさせる	健康管理、体力やスポーツの能力を向上させる	簡単に答えのない問題に対してクラスメイトなど対話し、みんなが納得できる答えを導き出す	教科の学力をのばす	外国語を用いてコミュニケーションがとれる力を身につける	環境やエネルギーをめぐる問題について教える	芸術や文化を愛する心を育む	地域や社会に貢献する公共の精神を培う	地域の伝統文化や歴史を学び、郷土愛を育む	その他	特に期待しない	無回答
全体	581	70.2	67.1	66.1	57.8	55.1	54.6	49.9	47.5	41.1	40.8	40.1	38.2	37.5	34.4	33.9	28.2	26.5	24.6	23.4	2.4	1.5	1.9	
P T A活動	155	77.4	69.0	71.6	65.2	56.1	54.2	52.9	46.5	46.5	43.2	42.6	36.8	39.4	37.4	38.7	28.4	25.8	23.9	25.8	2.6	0.6	-	
学校の施設を活用した地域の行事や活動	145	80.0	71.7	74.5	62.8	64.1	63.4	56.6	51.7	43.4	42.1	47.6	40.7	43.4	40.7	42.1	35.2	31.7	29.7	24.8	1.4	-	-	
子供たちの安全を見守る活動	108	89.8	74.1	75.0	70.4	68.5	60.2	55.6	61.1	57.4	43.5	51.9	50.0	45.4	42.6	43.5	39.8	34.3	36.1	34.3	1.9	0.9	-	
学校の授業を支援する活動	40	87.5	75.0	80.0	62.5	72.5	77.5	80.0	47.5	50.0	57.5	57.5	52.5	55.0	47.5	40.0	50.0	35.0	32.5	40.0	2.5	-	-	
P T A活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)	15	66.7	80.0	80.0	60.0	73.3	73.3	53.3	53.3	53.3	46.7	60.0	60.0	40.0	60.0	40.0	40.0	33.3	26.7	40.0	-	-	-	
その他	10	70.0	50.0	60.0	40.0	50.0	50.0	40.0	20.0	30.0	60.0	50.0	40.0	60.0	40.0	40.0	30.0	30.0	30.0	30.0	-	10.0	-	
参加したことはない	277	62.5	65.0	60.6	53.1	49.1	50.5	48.0	47.7	36.8	40.1	35.4	36.5	33.9	30.3	29.6	26.0	24.2	21.7	20.6	3.2	2.2	2.9	
参加経験あり計	286	78.0	69.2	71.7	62.2	61.5	58.0	51.4	47.9	45.1	42.3	44.4	39.9	40.2	37.8	38.5	30.1	28.0	26.6	25.5	1.7	0.7	-	
無回答	18	66.7	66.7	61.1	61.1	44.4	61.1	55.6	38.9	44.4	27.8	44.4	38.9	50.0	44.4	27.8	33.3	38.9	38.9	33.3	-	5.6	16.7	

● 保護者調査

全体的に、子供の学習意欲や思考力に関する教育・指導を期待する傾向がある中で、PTA活動に参加したことがある人は、「将来の進路や職業を考えさせる」「教科の学力をのばす」といった、子供の能力や可能性を引き出す教育を期待する傾向にある。

一方で、学校の施設を活用した地域の行事や活動に参加したことがある人は、「日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける」「環境やエネルギーをめぐる問題について考える」といった、子供自身で問題を考えたり解決したりすることを手助けする教育を期待する傾向にある。

※参加経験がある人と参加経験のない人の中で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-26 参加経験のある学校や地域等の行事・活動と学校に期待する教育や指導

表頭： 問14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。	n	学が楽しさや喜びを通して学習意欲を高める	人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む	社会のルールやモラルを守る心を育む	クラスメイトと一緒に学ぼうとする意欲を高める	日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける	自ら考えた学び方を学び、自ら考える力を身につける	日本語を適切に用いて思考力・表現力・判断力の基礎を養う	障害の有無、病気の有無などに問わず助け合える心を育む	将来の進路や職業を考えさせる	健康管理、体力やスポーツの能力を向上させる	健康な生活や職業を考えさせる	簡単な答えの出ない問題に対してクラスメイトなどと対話し、みんなが納得できる答えを導き出す	教科の学力をのばす	防災、防犯について教える	外国語を用いてコミュニケーションがとれる力を身につける	健康や食について教える	環境やエネルギーをめぐる問題について教える	芸術や文化を愛する心を育む	地域や社会に貢献する公共の精神を培う	地域の伝統文化や歴史を学び、郷土愛を育む	その他	特に期待しない	無回答
全体	700	83.3	70.9	68.0	62.4	59.7	58.3	58.3	54.4	54.3	52.9	49.9	46.9	46.1	43.7	36.3	34.9	27.3	25.6	23.3	2.6	0.6	0.3	
PTA活動	286	83.2	69.6	67.5	62.6	61.9	60.1	57.7	57.0	59.1	54.2	44.4	51.4	42.0	44.1	38.1	38.8	29.4	28.0	24.5	2.4	0.3	0.7	
子供たちの安全を見守る活動	231	80.1	71.9	69.3	61.9	61.0	59.7	56.7	51.1	56.7	54.5	45.9	45.9	46.8	43.3	42.9	36.4	29.0	28.6	27.3	2.2	0.4	0.9	
学校の施設を活用した地域の行事や活動	209	78.9	74.2	67.0	63.6	64.6	60.8	62.7	58.4	60.3	56.0	49.8	53.6	45.5	47.4	39.2	42.1	33.0	28.7	26.3	3.8	0.5	1.0	
学校の授業を支援する活動	80	85.0	68.8	66.3	57.5	57.5	60.0	62.5	52.5	55.0	51.3	42.5	46.3	48.8	36.3	38.8	45.0	21.3	36.3	27.5	2.5	1.3	-	
PTA活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)	37	81.1	75.7	75.7	54.1	64.9	64.9	62.2	59.5	51.4	51.4	45.9	48.6	43.2	48.6	40.5	37.8	29.7	29.7	13.5	2.7	-	-	
その他	15	80.0	86.7	73.3	53.3	53.3	66.7	66.7	53.3	60.0	73.3	66.7	60.0	53.3	46.7	60.0	66.7	20.0	40.0	40.0	6.7	-	-	
参加したことはない	238	84.5	67.6	67.6	62.2	54.6	59.2	57.1	50.8	46.6	50.4	55.0	39.9	46.2	39.1	29.0	29.0	22.7	22.7	22.3	2.1	1.3	-	
参加経験あり計	458	82.8	72.3	68.1	62.4	62.2	57.9	58.7	55.9	58.3	53.9	46.7	50.0	46.1	46.3	40.2	37.8	29.7	26.6	23.8	2.8	0.2	0.4	
無回答	4	75.0	100.0	75.0	75.0	75.0	50.0	75.0	100.0	50.0	75.0	100.0	100.0	100.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-

表例：
問19 「学校に關係する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。現在参加しているものも含めてお答えください。

(8) 言語活用科の認知別 言語活用科に期待すること

● 市民調査

言語活用科を知っている度合いが高くなるほど「自分の意見をわかりやすく伝えること」「相手の伝えようとしていることを理解する力を高めること」「英語を学ぶ楽しさを知ること」「日本語で自分の意見を書く力を高めること」を期待する度合いが高くなる傾向にある。

※知っている人とまったく知らない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-27 言語活用科の認知別 言語活用科に期待すること

表頭： 問16 あなたは、「言語活用科」の 取り組みに、どのようなことを期待 しますか。	n	自分の意見をわかりやすく伝える ことができる力を高めること	相手の伝えようとしていることを 理解する力を高めること	論理的・批判的 思考力を高めること	コミュニケーション 能力を 高めること	英語を学ぶ楽しさを知ること	日本語で自分の 意見を書く力を 高めること	その他	特に期待しない・知らない	無回答
表側： 問15 市立小中学校で実施されて いる「言語活用科」という科目を ご存じですか。										
全体	581	63.2	56.5	26.0	53.7	36.5	32.2	1.7	12.2	3.6
内容も含めて知っている	22	90.9	72.7	31.8	59.1	54.5	59.1	-	-	-
内容の一部は知っている	26	88.5	76.9	34.6	65.4	50.0	34.6	-	3.8	-
名前は知っている（内容は知らない）	53	69.8	64.2	20.8	54.7	35.8	32.1	7.5	13.2	-
まったく知らない	463	61.6	55.3	26.6	54.4	35.9	31.3	1.3	13.6	1.5
無回答	17	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8	17.6	-	-	82.4

● 保護者調査

知っている度合いと期待の間に顕著な特徴は見られず、市民調査と比べると期待値は低めに推移している。

図表 6-28 言語活用科の認知別 言語活用科に期待すること

表頭： 問16 あなたは、「言語活用科」の 取り組みに、どのようなことを期待 しますか。	n	自分の意見をわかりやすく伝える ことができる力を高めること	相手の伝えようとしていることを 理解する力を高めること	コミュニケーション 能力を 高めること	英語を学ぶ楽しさを知ること	日本語で自分の 意見を書く力を 高めること	論理的・批判的 思考力を高めること	その他	特に期待しない・知らない	無回答
表側： 問15 市立小中学校で実施されて いる「言語活用科」という科目を ご存じですか。										
全体	700	72.7	63.6	60.3	43.1	33.6	27.9	1.9	7.6	1.1
内容も含めて知っている	64	71.9	62.5	53.1	40.6	35.9	31.3	6.3	3.1	-
内容の一部は知っている	95	82.1	69.5	67.4	55.8	45.3	31.6	2.1	-	-
名前は知っている（内容は知らない）	141	80.9	69.5	67.4	44.0	30.5	26.2	0.7	3.5	-
まったく知らない	395	68.6	61.0	58.0	40.8	31.9	27.3	1.5	11.6	0.8
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(9) ICT（情報通信技術）教育の認知別 ICT（情報通信技術）教育に期待すること

● 市民調査

ICT教育を知っている度合いが高くなるほど、「ICT機器や生成AIを使いこなす力」や「情報モラル」、「自宅でも学習できること」を期待する傾向にある。

※知っている人とまったく知らない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-29 ICT（情報通信技術）教育の認知別 ICT（情報通信技術）教育に期待すること

表頭： 問18 あなたは、ICT(情報通信技術)教育に、どのようなことを期待しますか。	n	パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICT機器を使いこなす力を身につける	情報モラルを身につける	自分に合った学び方を知り、自ら考える力を身につける	生成AI(人工知能)を適切に使う力を身につける	プログラミング能力を身につける	クラスメイトなどと教え合い、みんなと一緒に学んで学ぶ力を身につける	自宅でも学習できる	その他	特に期待しない・知らない	無回答
表側： 問17 あなたは、タブレットを活用したICT(情報通信技術)											
全体	581	60.9	53.5	46.5	30.1	27.4	24.8	23.1	2.9	7.2	3.8
内容も含めて知っている	83	67.5	69.9	57.8	38.6	30.1	20.5	34.9	6.0	2.4	-
内容の一部は知っている	144	61.1	61.1	45.8	33.3	27.8	26.4	22.2	3.5	4.2	-
名前は知っている(内容は知らない)	197	65.5	54.3	50.8	29.9	29.4	26.4	22.8	3.0	6.1	1.0
まったく知らない	138	57.2	41.3	39.1	25.4	25.4	26.8	20.3	0.7	15.2	2.9
無回答	19	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	-	-	-	5.3	84.2

● 保護者調査

ICT教育を知っている人は、「情報モラル」や「ICT機器を使いこなす力」を期待する傾向にある。

図表 6-30 ICT（情報通信技術）教育の認知別 ICT（情報通信技術）教育に期待すること

表頭： 問18 あなたは、ICT(情報通信技術)教育に、どのようなことを期待しますか。	n	情報モラルを身につける	パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICT機器を使いこなす力を身につける	自分に合った学び方を知り、自ら考える力を身につける	プログラミング能力を身につける	自宅でも学習できる	生成AI(人工知能)を適切に使う力を身につける	クラスメイトなどと教え合い、みんなと一緒に学んで学ぶ力を身につける	その他	特に期待しない・知らない	無回答
表側： 問17 あなたは、タブレットを活用したICT(情報通信技術)教育をご存じですか。											
全体	700	69.6	66.7	52.1	37.0	35.3	35.1	29.6	4.0	3.6	0.9
内容も含めて知っている	286	68.5	71.0	53.5	38.1	38.1	35.3	28.7	5.2	1.7	0.3
内容の一部は知っている	202	72.8	68.8	52.5	36.6	33.2	37.1	27.7	4.0	3.0	-
名前は知っている(内容は知らない)	132	75.8	68.2	53.8	40.9	37.1	34.8	35.6	3.0	2.3	-
まったく知らない	74	58.1	47.3	47.3	28.4	29.7	32.4	29.7	1.4	14.9	-
無回答	6	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	83.3

(10) 学校活動の参加・教師への協力意思別 松戸の子供に期待する姿（保護者調査のみ）

学校活動の参加・教師への協力意思がある人は、ない人に比べて「互いを尊重し、認め合える」「自分の思いが表現でき、人と対話できる」といった、他者と良い関係を構築することを期待する傾向にある。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-31 学校活動の参加・教師への協力意思別 松戸の子供に期待する姿

表頭： 問9 あなたは、松戸市の子供たちにどのように育て欲しいと思いますか。お子さんがいる、いないに関わらず、松戸市の子供全体についてお答えください。	n	夢や目標を 計画的に努力する	人と協調し、 助け合える	互いを尊重し、 認め合える	自分の思いが 表現でき、 人と対話できる	たくましく生きる ための健康や 体力がある	社会の変化に 対応し、自ら 学び続ける	ルールを守り、 よりよい社会 づくりに 参加できる	学力がある	困難な問題に ねばり強く 取り組める	語学力がある	論理的に 思考できる	情報や情報 手段を主体的 に選択できる	人や美しい ものと出会い、 感動できる	ふるさとを 愛し、大切に できる	その他	特 に な い	無 回 答
表側： 問24 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか。																		
全体	700	43.6	35.0	34.1	30.9	24.1	18.7	18.7	16.7	15.4	14.1	13.4	11.7	9.9	5.7	0.1	1.0	0.9
参加/協力したい	196	44.4	35.7	42.3	30.1	24.5	18.4	16.3	16.8	16.3	12.8	10.7	9.2	7.1	7.7	0.5	-	2.0
どちらかといえば参加/協力したい	355	43.1	37.2	33.5	35.5	22.8	17.5	21.4	14.1	15.8	12.4	13.0	12.7	10.4	5.4	-	0.8	0.3
あまり参加/協力したくない	101	44.6	28.7	27.7	22.8	25.7	21.8	13.9	22.8	11.9	19.8	17.8	10.9	12.9	4.0	-	3.0	1.0
参加/協力したくない	27	40.7	22.2	11.1	25.9	29.6	18.5	18.5	29.6	11.1	25.9	18.5	14.8	11.1	3.7	-	3.7	-
無回答	21	42.9	38.1	28.6	4.8	28.6	28.6	19.0	14.3	23.8	14.3	19.0	19.0	9.5	4.8	-	-	-
参加・協力したい計	551	43.6	36.7	36.7	33.6	23.4	17.8	19.6	15.1	16.0	12.5	12.2	11.4	9.3	6.2	0.2	0.5	0.9
参加・協力したくない計	128	43.8	27.3	24.2	23.4	26.6	21.1	14.8	24.2	11.7	21.1	18.0	11.7	12.5	3.9	-	3.1	0.8

(11) 学校活動の参加・教師への協力意思別 家庭で力を入れるべき取り組み（保護者調査のみ）

学校活動の参加・教師への協力意思がある人は、ない人に比べて、家庭では「家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる」など、家族の絆を強めることに力を入れるべきとする傾向が強い。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-32 学校活動の参加・教師への協力意思別 家庭で力を入れるべき取り組み

表頭： 問12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。	n	親と子が十分 に話し合ったり する時間をつくる	基本的な生活 習慣を確立する	自分自身や 家族を大切に する	家での学習や 読書の習慣を つくる	家族が一緒に 自然や文化に 触れ合う時間 をつくる	親が家庭教育 に関する知識 や	親同士が互 いに交流でき る場に	子供の教育 や子育てに 関する	その他	特 に な い	無 回 答
表側： 問24 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか。												
全体	700	92.0	85.7	79.4	59.0	54.0	44.0	27.7	19.6	1.9	0.7	0.4
参加/協力したい	196	90.8	83.7	81.1	64.8	58.7	51.0	38.3	18.9	3.6	0.5	0.5
どちらかといえば参加/協力したい	355	94.1	87.3	80.6	56.9	55.5	44.8	25.9	19.2	0.8	0.8	-
あまり参加/協力したくない	101	90.1	86.1	78.2	54.5	41.6	30.7	15.8	22.8	3.0	0.0	1.0
参加/協力したくない	27	81.5	77.8	66.7	55.6	37.0	25.9	14.8	11.1	-	3.7	3.7
無回答	21	90.5	85.7	66.7	66.7	66.7	52.4	33.3	28.6	-	-	-
参加・協力したい計	551	92.9	86.0	80.8	59.7	56.6	47.0	30.3	19.1	1.8	0.7	0.2
参加・協力したくない計	128	88.3	84.4	75.8	54.7	40.6	29.7	15.6	20.3	2.3	0.8	1.6

(12) 学校活動の参加・教師への協力意思別 地域で力を入れるべき取り組み（保護者調査のみ）

学校活動の参加・教師への協力意思がある人は、ない人に比べて「地域での子供に関する活動やイベントなどを充実させる」「クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする」「子供にボランティア活動の場を提供したり指導者への支援を行う」「年代間の交流を深めるため、地域の伝統芸能や文化活動を充実させる」など、地域と子供が一緒になって活動することに力を入れるべきとする傾向にある。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-33 学校活動の参加・教師への協力意思別 地域で力を入れるべき取り組み

表頭： 問13 地域の教育力を高めるために、 地域ではどのような取り組みに力を入 れるべきだと思いますか。	n	大人 自身のマナーやモラルを向上させる	地域の子供たちへのあいつや 声かけなどを日常的に行う	親子や子供同士が触れ合い、 安全に遊べる場を充実させる	地域全体で子供を育てていこうという 共通の意識を住民が持つ	地域での子供に関する活動や イベントなどを充実させる	クラブ活動や部活動の指導や教室での 学習支援などで学校を手助けする	子供にボランティア活動の場を提供したり 指導者への支援を行う	子供に有害な情報や環境を取り除く	部活動の地域展開に向けて、 受け皿づくりを進める	世代間の交流を深めるため、 地域の伝統芸能や文化活動を充実させる	非行等問題行動に対して地域ぐるみで 取り組む	健全育成に関して、話し合える場や 相談窓口を充実させる	親や子供に対して、子育てに関する 講座を開催したり、チラシを配る	その他	特 に な い	無 回 答
全体	700	74.0	63.3	57.0	55.9	49.6	38.1	36.3	31.6	31.4	25.6	25.3	15.3	12.9	2.4	2.0	0.6
参加／協力したい	196	70.4	69.9	59.2	64.3	54.1	48.5	49.5	31.1	40.8	33.2	32.1	15.8	18.4	3.1	1.0	0.5
どちらかといえば参加／協力したい	355	79.7	62.5	58.9	54.6	50.4	35.8	33.5	31.8	27.6	25.9	22.5	14.6	10.1	2.0	1.4	0.3
あまり参加／協力したくない	101	63.4	55.4	52.5	49.5	40.6	25.7	25.7	32.7	31.7	14.9	23.8	13.9	9.9	4.0	4.0	1.0
参加／協力したくない	27	74.1	55.6	48.1	33.3	29.6	25.9	14.8	29.6	14.8	3.7	14.8	11.1	7.4	-	11.1	3.7
無回答	21	61.9	61.9	38.1	57.1	61.9	57.1	38.1	28.6	28.6	28.6	28.6	33.3	28.6	-	-	-
参加・協力したい計	551	76.4	65.2	59.0	58.1	51.7	40.3	39.2	31.6	32.3	28.5	26.0	15.1	13.1	2.4	1.3	0.4
参加・協力したくない計	128	65.6	55.5	51.6	46.1	38.3	25.8	23.4	32.0	28.1	12.5	21.9	13.3	9.4	3.1	5.5	1.6

(13) 学校活動の参加・教師への協力意思別 学校に期待する教育や指導（保護者調査のみ）

学校活動の参加・教師への協力意思がある人は、ない人に比べて「人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む」「社会のルールやモラルを守る心を育む」「クラスメイトと教え合うなど、みんなと一緒に学んで学ぶ力を高め合う」など、他者への配慮や社会のルールを守るなど、社会性を培うような教育や指導を期待する傾向にある。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-34 学校活動の参加・教師への協力意思別 学校に期待する教育や指導

表頭： 問14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。	n	学が楽しさや喜びを通して学習意欲を高める	人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む	社会のルールやモラルを守る心を育む	クラスメイトと教え合うなど、みんなと一緒に学んで学ぶ力を高め合う	日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける	自分に合った学び方を学び、自ら考える力を身につける	日本語を適切に用いて思考力・表現力・判断力の基礎を養う	障害の有無、病気の有無などに関わりなく助け合える心を育む	将来の進路や職業を考えさせる	健康管理、体力やスポーツの能力を向上させる	簡単に答えの出ない問題に対してクラスメイトなどと対話し、みんなが納得できる答えを導き出す	教科の学力をのばす	防災、防犯について教える	外国語を用いてコミュニケーションがとれる力を身につける	健康や食について教える	環境やエネルギーをめぐる問題について教える	芸術や文化を愛する心を育む	地域や社会に貢献する公共の精神を培う	地域の伝統文化や歴史を学び、郷土愛を育む	その他	特に期待しない	無回答
全体	700	83.3	70.9	68.0	62.4	59.7	58.3	58.3	54.4	54.3	52.9	49.9	46.9	46.1	43.7	36.3	34.9	27.3	25.6	23.3	2.6	0.6	0.3
参加/協力したい	196	83.7	77.0	74.5	65.8	62.8	65.3	61.7	59.7	56.1	57.1	53.6	43.9	49.5	44.9	40.8	43.4	31.6	32.1	29.1	3.6	0.5	0.5
どちらかといえば参加/協力したい	355	82.3	71.5	68.2	65.1	60.8	56.6	55.8	54.1	52.4	47.3	50.1	46.8	44.2	41.1	34.4	31.8	25.4	24.8	22.5	2.0	0.6	-
あまり参加/協力したくない	101	85.1	55.4	55.4	53.5	53.5	52.5	57.4	48.5	55.4	59.4	42.6	51.5	44.6	47.5	33.7	29.7	30.7	16.8	14.9	1.0	-	1.0
参加/協力したくない	27	81.5	66.7	66.7	51.9	37.0	44.4	66.7	33.3	55.6	59.3	44.4	48.1	44.4	48.1	29.6	22.2	7.4	18.5	7.4	7.4	3.7	-
無回答	21	90.5	81.0	66.7	42.9	71.4	66.7	61.9	66.7	61.9	66.7	52.4	52.4	57.1	52.4	47.6	47.6	28.6	28.6	42.9	4.8	-	-
参加・協力したい計	551	82.8	73.5	70.4	65.3	61.5	59.7	57.9	56.1	53.7	50.8	51.4	45.7	46.1	42.5	36.7	35.9	27.6	27.4	24.9	2.5	0.5	0.2
参加・協力したくない計	128	84.4	57.8	57.8	53.1	50.0	50.8	59.4	45.3	55.5	59.4	43.0	50.8	44.5	47.7	32.8	28.1	25.8	17.2	13.3	2.3	0.8	0.8

(14) 学校活動の参加・教師への協力意思別 行事や活動に参加できない理由（保護者調査のみ）

学校活動への参加や教師への協力意思の度合いにかかわらず、行事や活動に参加できない理由は、「仕事が忙しいから」が最多となっている。

一方で、参加／協力意思がない人は、ある人に比べて「自分の子供以外の子供に、どのように接しているかわからないから」を理由として選択する傾向にある。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-35 学校活動の参加・教師への協力意思別 行事や活動に参加できない理由

表頭： 問21 あなたが「参加できない・参加したくない」と回答された理由は何ですか。	n	仕事が忙しいから	活動の間、子供や家族の面倒をみてくれる人がいないから	塾や習い事に子供を通わせることで手一杯だから	自分の子供以外の子供に、どのように接しているかわからないから	配偶者／パートナー／他の家族がすでに参加しているから	自分の学習活動・地域活動で忙しいから	子育てや教育に関心がないから	その他	特に理由はない	無回答
表例： 問24 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか。											
全体	234	64.5	31.2	18.4	10.7	2.1	2.1	0.9	14.5	5.1	-
参加／協力したい	42	69.0	31.0	14.3	4.8	4.8	-	-	11.9	2.4	-
どちらかといえば参加／協力したい	115	64.3	32.2	19.1	8.7	1.7	2.6	-	17.4	6.1	-
あまり参加／協力したくない	52	57.7	28.8	17.3	21.2	1.9	-	1.9	11.5	5.8	-
参加／協力したくない	20	70.0	35.0	20.0	5.0	-	10.0	5.0	15.0	5.0	-
無回答	5	80.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
参加・協力したい計	157	65.6	31.8	17.8	7.6	2.5	1.9	-	15.9	5.1	-
参加・協力したくない計	72	61.1	30.6	18.1	16.7	1.4	2.8	2.8	12.5	5.6	-

(15) 学校活動の参加・教師への協力意思別 子供の能力・態度の習得度 (問 24×問 22)

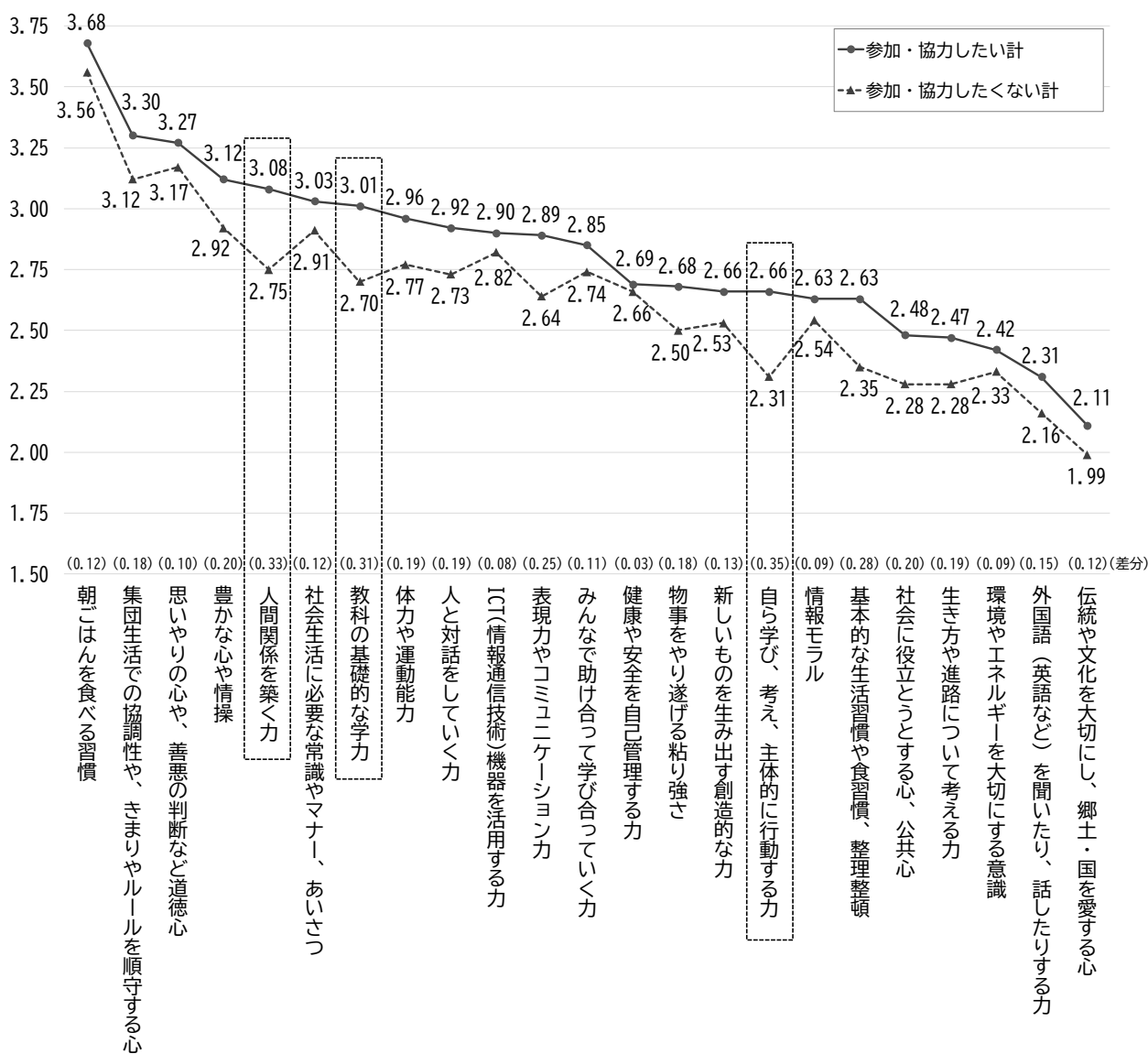
学校への参加や教師への協力意思の有無別に、子供の能力や態度の習得度をみたところ、「参加や協力意思がある保護者」において、全項目で子供の習得度が高い傾向がみられた（ここでは加重平均を用いて評価している）。

特に「人間関係を築く力」（差分：0.33 ポイント）、「教科の基礎的な学力」（差分：0.31 ポイント）、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」（差分：0.35 ポイント）において、「参加や協力意思がない保護者」との差が大きくなっている。

※数値はそれぞれの加重平均を表している。

※差分とは「参加・協力したい計」の数値から「参加・協力したくない」の計を差し引いた値である。

図表 6-36 学校活動の参加・教師への協力意思別 子供の能力・態度の習得度



(16) 学校活動の参加・教師への協力意思別 日頃から心がけていること（保護者調査のみ）

子供とのかかわりの中で心がけていることは、学校活動への参加や教師への協力意思の度合いにかかわらず、「悪いことはきちんと叱る」が最多となっている。

一方で、参加／協力意思のある人は、ない人に比べて、「学校での出来事や相談事などを聞く」「子供の勉強をみる」などの心理的・教育面でのサポート、「ゲームやスマートフォン、タブレット端末の使用についてルールや約束をつくる」といった自己管理能力を育てたり、「家族・地域の人にあいさつをするように促す」「地域行事への参加を促す」といった地域との関わりを持たせることに努めたりしている傾向がある。

※参加・協力したい人としたくない人の間で差が大きかった箇所を網掛けで示している。

図表 6-37 学校活動の参加・教師への協力意思別 日頃から心がけていること

表頭： 問23 あなたのご家庭では、 お子さんのかかわりの中で、 以下の事柄について日頃から 心がけていますか。	n	悪いことはきちんと叱る	規則正しい生活習慣を身につけさせる	自分でできることは自分でさせる	家族で食事をする	学校での出来事や相談事などを聞く	家族・地域の人にあいさつをする	ゲームやスマートフォン、タブレット端末の使用についてルールや約束をつくる	子供の人権を尊重する	自分や家族の仕事について話をする	運動やスポーツをする機会をつくる	社会のきまりの大切さについて話をする	子供の勉強をみる	将来の夢や目標について話をする	子供のプライバシーを尊重する	学習環境を整える	ものづくりや自然体験の機会をつくる	子供が手伝う家事の負担を決める	地域行事への参加を促す	学校教育と社会とのつながりについて話をする	その他	特にない・わからない	無回答
全体	700	89.6	79.7	74.4	69.7	69.1	66.4	55.1	49.9	49.3	49.0	45.0	45.0	41.7	39.9	37.4	35.6	29.4	20.7	12.9	1.0	0.4	1.4
参加／協力したい	196	93.9	80.6	77.0	74.5	74.0	77.0	60.7	60.7	62.2	57.1	55.1	49.5	48.0	48.0	46.4	42.3	35.7	31.6	17.3	-	0.5	-
どちらかといえば参加／協力したい	355	90.1	82.8	76.6	69.6	71.8	66.8	56.6	46.5	45.4	47.3	43.1	47.3	39.7	38.3	35.8	34.9	27.3	20.3	11.8	1.7	0.3	0.3
あまり参加／協力したくない	101	90.1	75.2	70.3	69.3	63.4	57.4	46.5	46.5	46.5	45.5	38.6	32.7	41.6	34.7	32.7	30.7	27.7	8.9	8.9	1.0	-	-
参加／協力したくない	27	81.5	77.8	63.0	66.7	51.9	55.6	48.1	44.4	37.0	44.4	40.7	44.4	33.3	33.3	25.9	25.9	22.2	-	11.1	-	3.7	-
無回答	21	47.6	42.9	47.6	33.3	28.6	19.0	28.6	28.6	23.8	23.8	19.0	23.8	28.6	23.8	19.0	19.0	23.8	9.5	9.5	-	-	42.9
参加・協力したい計	551	91.5	82.0	76.8	71.3	72.6	70.4	58.1	51.5	51.4	50.8	47.4	48.1	42.6	41.7	39.6	37.6	30.3	24.3	13.8	1.1	0.4	0.2
参加・協力したくない計	128	88.3	75.8	68.8	68.8	60.9	57.0	46.9	46.1	44.5	45.3	39.1	35.2	39.8	34.4	31.3	29.7	26.6	7.0	9.4	0.8	0.8	-

7 自由記述

(1) 生涯学習について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	私自身が生涯学習の必要性をとて感じているため、ぜひ多くの人を巻き込めるよう周知して行ってほしいと思います。市立学校だけではなく、他自治体の学校へ通っている子供や、県立学校の子どもも一緒になって、1つの地域として活動ができるようになれば、より市内での学習活動が活発化されていくのではないかなと思います。私は県教委の下で働いていますが、市教委のみなさまの活動を応援しております！ぜひ勉強させていただきたいです！	市民調査	女性	25～29歳	いない
2	働いている人や失業している人向けのリスキリング講座を充実してほしい。新しい仕事につきたいが、技術やスキルが不十分な人は多いと思う。	市民調査	男性	55～59歳	いない
3	文化、芸術の振興に力を入れてほしい。心の癒しは、現代のA I時代の疲れを取り除いて、平和の心を育てます。文化、科学、歴史を自然に学べます。一曲の楽曲には、それらの宝が心を放っています。松戸住民の心身が豊かになることを願っています。	市民調査	女性	70～74歳	いない
4	公園の遊具がどこも同じなので公園ごとに個性を出してほしい。(もくれん公園の築山すべり台がなくなったのはショックです)。図書館をもっと規模拡大してほしい。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
5	きちんとした図書館が無いと感じました。近所の図書館は分館で本数も少なく調べものの役に立たないと思いました。また、松戸の市立図書館はたくさんの男性が居て、正直臭くて居られません。集中して勉強したいと思ってもどこの図書館も学習スペースが不足しているので本当に困りました。親子や学校帰りの子供たち、一般人の学校の場としての立ち寄り易い図書館があったらと思います。	市民調査	女性	55～59歳	いない
6	子供たちのために日々お骨折りいただきありがとうございます。3人の子供は松戸市立の小・中学校でご指導いただきお陰様で健全に成長しています。50万人の市、子育てしやすい街と言われていますが、1つお願いが！！子供の学習スペースを作ってください。図書館本館の自習室に行ったことがありますか？狭いスペースに大人のおじいさんやおじさんが席をとり、子供は学習できません。近隣市町村の図書館に行ったことがありますか？松戸は私が子供の頃の昭和50年代のままの図書館ですよ。保育園には力を入れているようですが、その子供たちもすぐに大きくなり、学習スペースがほしくなると言います。中・高・大学生3人の子供はみんな学習スペースがほしいと言っています。金町のような新しいきれいな図書館を今すぐ作ってください、とは言いません。文化ホールのような学習スペースのような場所でもいいので、子供が電車に乗らず行けるスペースをぜひ確保して下さい。市のあいているスペースでいいと思います。ポップコーンは遊びによりすぎて勉強はできないと言っています。よろしく願います。投函が遅くなり大変申し訳ありません。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
7	サッカーをやっている子ども達が多いのに天然芝、人工芝のところ、柏、船橋よりも少なく、クラブチームを少ないため、高校はみんな他の市に流れてしまう。野球場だけでなく、人工芝のサッカー場も増やして欲しい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
8	ひがまつテラス(図書館)をよく活用させていただき大変助かっております。	保護者調査	男性	50～54歳	いる
9	個人的には学校・家庭・地域から学んだことも多いですが、同じくらい本から学んだこともたくさんあります。本とふれ合う機会の多い松戸であってほしいと思います。(今現在もかなり借りやすいですが、5時での閉館は早すぎると思います)。	市民調査	女性	60～64歳	いない
10	校外学習など、市内にて活動する場所があまりない為、市外での活動になってしまう為、郷土愛が生まれにくいのではないかと…図書館が分館で規模が小さいので身近に子供が、本をゆっくりかりて読める場所が少ない。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
11	新松戸の図書館を、東松戸のように充実させてほしいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
12	図書館が分館ばかりで狭い。他市のように充実させてほしい。児童館、プール、動物園など子どもが楽しめる施設を充実させてほしい。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
13	図書館などの学習施設の老朽化が目立つためリニューアルして欲しい。特に中央図書館はもっとキレイに、図書を充実してほしい。学習スペースも図書館に広くあってほしい。またほっとる一むは乳幼児にとっては充実した場所だが、年齢制限があって年の離れたきょうだいがいる人にとっては行きにくい場所である。おやこDE広場はもう少し営業時間を長くしてほしい。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
14	図書館の充実を望みます。今は市川市の図書館に通っています。子供が小さい時は柏の図書館に通っていました。どの支所の図書館も古く、設備が整っていません。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
15	図書館をキレイにして欲しい。自習室を作って欲しい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
16	図書館をもう少し充実させてほしい。小さい支館がたくさんあるのはありがたいのですが、小学生以上の子どもがすごしやすい広いものが市内に1つあると嬉しい。自習スペースがほしくて流山の図書館へ行っています。本も市内でもっと入れ替わりがあったら嬉しい。むずかしいと思います、あくまで希望です！	保護者調査	女性	40～44歳	いる
17	生涯学習、子供の教育の為にも、図書館の充実を希望します。また、柏市のリフレッシュプラザのようなスポーツ施設が増えれば、市民のスポーツ参加や高齢者のフレイル予防に大変役立つと思います。	市民調査	女性	55～59歳	いる
18	多くの松戸市民が利用できる図書館施設を求めます。ICT教育も重要ですが、幼児～小中学生には紙の本による教育の優位性が語られていますし、社会人の生涯学習熱の高まりを考えると、図書館のように本に囲まれ、学習の場ともなる施設は非常に重要です。松戸市の図書館はとても貧弱であり、教育意識の高い子育て世代から見ると「松戸は教育に力を入れていない自治体」と見られていると思います。市内には知名度の高い高等教育機関もないので、大学リードでの生涯学習活動も難しいと思います。図書館を中心として生涯学習の場を作るなど、幼児～社会人まで、幅広く利用できる施設（図書館）を求めます。	市民調査	男性	55～59歳	いる
19	東松戸に図書館が出来て、とても嬉しかったですが本を見ながら雑談ができるスペース、休息スペースがあればよかったのと思いました。学生達が過ごせる場所が出来てよかったです。このような場所をたくさん作ってほしいと思います。	市民調査	女性	60～64歳	いる
20	東部地区に図書館や子供達が勉強をしたりできる場所や（勉強できる）無料の施設がほぼないためそのような場所がふえると良いと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
21	美術（アートクラス）のようなものを学ぶ場を作ってほしいです。あとは体験型の遊び場（よくあるボールプールなどがあるだけのものではなくて）を作ってほしい。立川にあるplay!という施設のようなもの。五感を刺激できる施設にふれる事が、成長に繋がると思います。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
22	青少年への教育が基本だと承知はしているが、親の世代への学び、教育が必要となっていると感じる。陰謀論の流布の危険性やネットリテラシーの、ある意味、格差など、子育て世代の親に対して、不安をおおる様な情報への打ち消しの様な教育が急務ではないかと思われる。（ホメオパシー、オーガニック、地球が平坦であるという言説など）。	市民調査	女性	55～59歳	いない

(2) 言語活用科・英語教育について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	英語と日本語教育はこれからも続けてほしいと思いました。自宅でもやるが幼稚園に行っているとなかなか進まない。英語は基礎的な力とは何か少し基準がよく分かりませんでした。PTA活動は子が小学校へ入ればあるが、働きに出たいと考えている。パートで働いたとしてPTAができる時間はあっても預け先もない、頼れる人も身近にいない状況。PTA、仕事、家庭までやったら自身がつぶれてしまう。昔からやっているから…ではなく今の時代に合わせた選択（外部へ頼む、廃止など）をしてほしい。	市民調査	女性	30～34歳	いる
2	英語など外国語に力を入れるばかりでなく日本語（読み・書く・話す）学習に力を入れて教育してもらいたい。	市民調査	男性	60～64歳	いる
3	英語を幼い時からどんどん取り入れてほしい。21世紀の森のイベント（夜の森たんけん）とても良かったです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
4	言語活用科の授業の内容について、学校からの情報がなさすぎだと思います。先生方はお忙しいので保護者からはききづらいので、学校側から積極的に子どもたちの学校での様子なども発信してほしいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
5	言語活用科を授業参観で行うのはどうかと思う。本来15分のモジュールで1つやるようものを授業1コマ使うのはどうかと思います。MIMをやるなら研修等をしっかりしてほしい。タブレット学習で小学校で差があると、中学校でその差を埋めるのは非常に難しいです。まわりの市が小学校部活をどんどん止めているのに未だにやる必要はあるのか。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
6	大学に入るにあたり、英語がますます重要になってきた気がします。小、中、高の授業内容はよく分かりませんが子供達の英語力は身に付いていないように感じます。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
7	さいたま市、等英語に力を入れている市のように、松戸も英語を充実させて欲しい。英語が出来るか出来ないかで、全く違う人生になると思う。	市民調査	女性	40～44歳	いる
8	英語、会話能力を高めるよう指導して下さい。外国人教師を利用して、発音になれさせて下さい。（「聞く、」「話す」の能力を高めて下さい）。	市民調査	女性	80歳以上	いない
9	高校生の娘は、中学から都内私立に通っていますが、小学校からもう少し英語学習に興味が増す内容や、時間があると良いかと思います。	市民調査	女性	50～54歳	いる
10	小・中学校で増加している外国にルーツのある子供への日本語支援を充実した方がよい。多文化共生の意義を子供たちに理解してほしい。	市民調査	女性	70～74歳	いない

(3) ICT教育について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	1人1台のタブレット学習を行なっているのは知っているが、各教科をどのように活用しているのか分からない。自宅に持ち帰るのでネット環境を整えて欲しいと言われたが、ほとんど持ち帰って来ない。ICT化することに反対はしないが、タブレットを使用して、どのように学習をしているのかを分かるようにして欲しい。(子どもに言われた時に、使いたいものが入っていなかったりしたら不便だし本当に勉強のためなのか、遊びで使いたいのか疑うのも申し訳ないの)。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
2	ICT機器に対する“教員側”のスキルアップをしてほしい。部活動を民間委託し、教員の方々が生徒と向き合う時間が確保できる様にしてほしい。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
3	ICT教育について、1人1台の端末は、良いことなのですが、家にもちかえて勉強中に不具合やトラブルがあった時のサポート(学校で使用中の時も)を、もう少し考えて欲しい。家族も、あまりくわしくないの、すぐに相談できる窓口などを設けて欲しい。	保護者調査	女性	60～64歳	いる
4	ICT教育をしていて、1人1台タブレット端末で学習出来ることは良いと思います。家でもタブレットを見て勉強を教えたりできれば良いと思いました。また、授業で自然にふれあえる機会が多かったら子供も喜ぶと思います。図書館、特に本館を、大人も心地よく利用できる、施設にしてほしいです。現在の図書館はとても狭く、ゆっくり読書したり、学習できません。子供と一緒に快適に楽しく利用できる図書館をつくってほしいです。となりの市川市の中央図書館のような立派な施設があったら良いです。このアンケートも紙ではなく、QRコードを利用してWebで登録出来たら便利だと思います。宜しくお願いします。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
5	タブレット・ICT教育は見直した方がいいと思う。(友人の子は小1で視力が0.2！目によくない。もっと外あそびとかした方がいい。海外はタブレット教育をやめる国がふえている)。子供にデジタルデトックスを！！	市民調査	女性	30～34歳	いない
6	タブレット学習とうたっているが、実際は使っていないとのこと。活用した方がいい。先生曰く、パスワード入力だけで授業が終わってしまうので活用できないとのこと。学校での配付物が紙ではなく、アプリになったのは良い。個人面談や学校行事のお知らせが遅い。3日前に連絡をもらっても対応できないので、事前にお知らせするよう統一してほしい。	保護者調査	男性	30～34歳	いる
7	タブレット学習において、市内でもだいが差があると感じています。船橋市と柏市の方の話と我が子の学校では、使っている回数や使用方法も違いました。差がでないか心配しています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
8	タブレット学習について。子供達が使用しているタブレットが古すぎて、学校でドリルプラネットの反応が悪くて、料金を払っているのに、やるたびに子供がイライラしています(とくに漢字)。タブレットを新しくしてほしいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
9	タブレット学習は効果があるのか疑問。自宅で、デジタルとの付き合い方を、決めているのに、学校で、チャットGPTやYoutubeなどを覚えてくる。紙ベースの学習方法で、自分の考えや気持ちを書いたり、話したりすることに力を入れていってほしい。デジタルの普及は、便利な分、子どもにとって、のばすべき力を妨げる、怖いものだと、日々、子どもたちと接していて感じる。どうにか対策をしていってほしい。	保護者調査	女性	35～39歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
10	タブレット教育には反対です。画面が割れて一部入力できない教科がありますが、修理には出さず、高学年の為、そのまま卒業まで、利用するそうです。手書きで紙を利用して間に合わせている状態です。諸外国でもタブレットから紙に書くという方法に戻す国が増えていきます。なかなか修理にも出せず、使いがっても悪いので、(そういう困っている生徒が何人もいる) 予後(学習の成果等)を調査して、本当にタブレットが必要なのか、考え直して欲しいです。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
11	できるかどうかではなく希望として記入いたします!! タブレットの性能があまりよくない→家庭で今現在使用されているようなスペックのICTで学習を進めてほしい。先生方の負担が多いように感じる→家庭に対する個別対応(クレームや要望など)で消耗しているように感じる。どうすればよいかかわからないが、負担軽減をするための方策を考えてほしい。松戸市の教育に対して不満等はありません。よくやっていただき感謝しています。関係各所の方々の日々のご尽力のおかげだと思えます。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
12	学校で使用しているタブレットが使いにくく、勉強しにくいと言っています。機種の変換を強く求めます。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
13	学校によって学習面の格差が大きすぎると思う。評定平均が同じくらいになるように格差を少なくできるような方法はないのか。学校によって、コロナ禍や病気・怪我等で登校できない時に、タブレットの持ち帰りをさせるのであれば、遠隔授業をしてほしい。(してくれる学校としていない校学がある)。タブレットの使い方や使用方法(勉強に関係のないことは見られないように制限をかける等)を徹底してほしい。	市民調査	女性	45～49歳	いる
14	学校の長期休みの時にタブレットの持ち帰りは、個人の自由にしてほしい。学校のタブレットで、ユーチューブや、ゲームができないようにしてほしい。小、中の体育館にエアコン導入してほしい。熱中症になり、中3の総体は出れませんでした。全校集会等はりモートにするように市から学校へ指導してほしい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
15	小学校でタブレットを使った授業を見ました。先生が操作出来ない子を見ている時間があったりでなかなか授業が進まず、意味があるのかな?とギモンに思いました。通学路の整備、見直しもお願いしたいです!!公園に日陰になる木や緑を!!子どもたちのためによりしくお願いいたします。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
16	小学校におけるタブレットの使用に関しては、慎重に検討して頂けたらと思います。先生方の負担を減らす意味ではやむを得ないとも思いますが、タブレット中心の授業に関しては減らして頂きたいです。また、タブレットの重量がかなりあり、画面も小さいので、視力など健康面においても心配しています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
17	松戸市だけではなく、タブレット導入の授業は中学生からでもいいのでは?と思う。小学生の見守り(黄色のはた)他の小さい子をかかえていても行うのは何を考えているのか。そもそもあの活動はいらぬ。道路の渡り方は親が教える、それでも心配ならその親が我が子につけばいい。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
18	問18でも記入しましたが、他の生徒さんはタブレットを使用しているのに、たまたま自分の分が故障で使えないので不便と息子は話しています。約1年も修理から戻らないのであれば学校に予備のタブレットを準備するなど対応すべきではないでしょうか。	保護者調査	女性	50～54歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
19	スマホ、YouTubeなどデジタル機器の影響による愛着形式不全の子どもが増えている。「スマホでは愛情は育たない」ということが広く理解されないと、この先の社会は大変になると感じている。国益を生む子どもたちを育てることが子どもの福祉の目的であることから、難しい問題だが、深刻な課題として取り組む必要があると考えている。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
20	緑や景観を大切にしたい町づくりを行ってほしいです。二十一世紀の森と広場は、子育てしていて本当に素晴らしいと思いますし、年を取ってからも通いたい場所です。そんな場が増えたらいいと思います。子どもへのタブレット教育は不要だと思います。紙ベース、手書きでの学習をぜひ、推進してほしいです。スマホ・SNSの子どもの利用も、百害あって一利なしだと思います。デジタル業界の波に押されず、本当に子どものために良い施策を検討してほしいです。	保護者調査	女性	30～34歳	いる

(4) 道徳教育・人権教育について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	4人の男子の大学費用のため、(食事召め)4000万の借金をし、夫は働かず、子供は塾にも行かず、なるべく、自分の事は自分でやらせ、私は、3つの仕事を、かけもちし、3時間しか寝ない毎日だった。それでも、子供達は、真面目に生きてくれた。今の子供は、手をかけすぎ、幸せすぎると思う。もっと道徳を教えてやってほしい。	市民調査	女性	80歳以上	いない
2	あいさつ：道など、ゆずる、おれい、頭さげる。昔は、皆、普通に出ていたと思う。今の子ども大人も、あいさつが、足りない。心持がかけているようである。さびしい最近、みんな、なにか忘れている。あいさつは、気持ちいいと思います。	市民調査	女性	70～74歳	いる
3	イジメや差別の無い、心の清らかな人間が育つ環境を作って下さい。以前、岐阜に住んでましたが、岐阜の子供達は車に道を譲ってもらった際、全員が深く頭を下げ、お礼をします。見ていて心が本当に穏やかになりました。	市民調査	男性	55～59歳	いない
4	いつもありがとうございます。差別なく学べる学校だと良いですね！	市民調査	無回答	無回答	無回答
5	ゴミ問題の重視(義務教育中は毎年「ゴミ問題」の現状のビデオを視聴させる。モラル、ルールを守る大切さを教える。政治への興味を持たせる。大人への学習活動やボランティア活動などをSNSや著名人を使ってしっかり認知させる。外国人が増えてきたので、外国人向けの活動をする。(日本のルールと文化を考える)。	市民調査	男性	50～54歳	いない
6	学力より、生きる力、社会の中での自分の役割を感じられるような、生きがいを見つけられるような教育環境であって欲しいと思っています。いじめなどなく、子どもたち1人ひとりの人権が尊重されますように。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
7	松戸市に限らず、近年は老若男女を問わずマナー・モラルの低下が日増しに悪化していると感じます。幼少期から、マナー・モラルについてしっかりと教育を行い、松戸で育った子供が大人になったときには、他者を思いやり、他者のことを考えて行動ができる人間になれるような教育が出来ればと思います。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
8	親や学校が特定の考えを「正しい」ものとして教えるのはあまり良くないと思います。何が正しいかを自分で考えることができるような教育や助けがあれば良いと思います。	市民調査	男性	40～44歳	いない

(5) 特別支援教育・多文化共生について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	私は、学習障害を抱えるお子さんの保護者の方々と日頃から情報交換をしています。その中で共通して挙がる声が「松戸市は学習障害に対する認識や支援体制が、他の自治体に比べて大きく遅れている」という現状です。特に、読み書き障害を持つ子ども達へのICTの活用は、学びを保障するうえで欠かせないにもかかわらず、松戸市の対応は不十分です。ICTを適切に使えば、本来の力を発揮できるお子さんたちが、支援の不足により学びから取りこぼされてしまっている現状があります。学習環境を見直す際には、こうした子ども達が安心して学べるためのICT活用を積極的に進めていただきたいです。いくつかの企業では読み書き障害を対象とした使い勝手のよいアプリ開発が進んでいます。今、まさに困っている子ども達を一人でも多く救うために、早急な対応を切にお願い申し上げます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
2	It should be easy for a foreign child to learn about Japanese culture and traditions. Thank you. (外国人の子供が日本の文化や伝統を学べる機会が増えたらいいなと思います。有難うございます。)	保護者調査	男性	35～39歳	いる
3	外国人の生徒が多く、言葉が通じない為、授業の進みが学校によって差があると感じています。明らかに支援学級に行くような子が、普通のクラスにいて、クラスの内が大変な事になっています。面倒見が良いからと隣の席にいつもされ、学力が低下しました。	保護者調査	男性	50～54歳	いる
4	外国籍の子どもにも十分に日本語を教えるべき。学校（先生たち）の負担が大きすぎるので減らすべき。良い教育につながらない。授業をすることに専念させてほしい。保護者対応や部活のめんどろをみるのは、先生以外の人がやるべき。	市民調査	男性	70～74歳	いる
5	市内で特別支援学級補助教員をしています。毎日充実した日を送ることができています。この仕事をもっと多くの市民の方に知ってもらって参加してほしいです。特別支援教育は、これから先、もっと広がっていくと思います。	市民調査	-	-	-
6	支援級に在籍しているのですが、他校でやっていることばの教室へ参加させたいと思っていたら、支援級の子は他校へ行けず、支援級の先生がやってくれることになりました。先生のご負担を考えると、特別にやってもらう時間を作るより、ことばの教室への参加が望ましく思うので、その辺の決まり事を少し柔軟に考えていただけると助かります。よろしくお願い致します。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
7	私の家には、障害を持つ子、発達グレーの子がいます。障害者に対する配りよや支援は松戸市は素晴らしく日頃助かっております。ありがとうございます。ただ、グレーの子たちに対する受け皿が少ないこと。相談窓口の少なさ、担当者の情報量の少なさが気になります。集団健診であぶり出すだけ出して、その後は知らんぷりという印象を受けました。我が子が健常ではないかもしれないという心配は、量りしれないものです。せめてもっと気軽に相談できるところがあれば…と何年たっても思います。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
8	長男（5）の就学相談で、支援級の見学に伺いました。教職員の皆様全員というわけではありませんが、障害や、特性のある児童への知識、声かけのHow toなど、もう少し研修などをして、見立てをして欲しいなと思いました。人員不足の中、教育現場に身を置いて下さってるだけでも感謝ですが、支援学校との差がありすぎて、少し驚いてしまいました。これは教職員の皆様に向けてでなくても、日頃の子育ての中でも有用になる事もあるかもしれないので、そういった学べる場があったら良いなと思いました。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
9	発達障害やグレーゾーンな子どもを理解する為の研修をするなどして、理解されずに悲しい思いをしている子どもを助けてあげてほしいです（教員向けの）。	保護者調査	女性	55～59歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
10	親の介護をしている子供（小学生、中学生）のことをもっと知るべきだと思う。	市民調査	女性	75～79歳	いる
11	幼児・乳幼児を育てている母です。他の市から松戸市に引っ越しをしてきました。松戸市は発達検査に厳しいのでは？と思う所が多いです。我が子も発達検査の対象になり発達グレーで療育に通っていますが、幼稚園で年中の面談で先生に「年長にあがれない」と言われ、実際に年長にあがれなかった子話を聞いたことがありビックリしました。早期発見で就学前に知れ、対応できるのは助かりますが、過剰では・と思う所があります。友人の子どもは不登校になり、家庭訪問はあったものの担任と直接会話できず、本心を話せないまま余計に行きづらくなってしまいました。現在は週1回の電話も本人とは話さず、信頼関係が築けていない状況です。こうした場合、担任以外の教職員や第三者との関わりも必要だと思います。また、男子特有のやんちゃな一時的な行動傾向でも、すぐ「発達障害の疑い」をかけられる現状に違和感を感じます。安易な判断ではなく、成長過程や環境面もふまえた慎重な対応をのぞみます。	保護者調査	女性	25～29歳	いる

(6) 体験活動・課外活動について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	「夢を持つ」をテーマに週に1度取り組むなどしてほしい。「夢」について絵を描く。が夏休みの宿題にありましたが、自分の夢について想像をふくらませ、わくわくしている子はどれくらいいるでしょう？無限の可能性を秘めた小中学生時代に、夢を持つこと、夢に向かって努力すること、と向き合える時間があつたらいいなあと思います。夢を叶えている方と呼んでお話を聴かせるでもいい、叶えた人達の動画を見せるでもいい、子供達には大なり小なり夢を持って、日々過ごしてほしいと願っています。	市民調査	女性	40～44歳	いる
2	いつも子ども達、市民のためにご尽力頂き本当にありがとうございます。我が子達は東松戸小に通っているのですが、今年度より「運動会は体育発表会になったから」との名目のもとついに徒競走までもが廃止されてしまいました。徒競走は唯一、子どもが自分自身の力を出しきり、1人きりで真剣勝負をする競技でした。“1つの競技がなくなっただけのこと”ではなく、“唯一、真剣勝負をする貴重な機会を失わせたこと”だと感じています。先生方のお忙がしさはごもっともですが、何が大切か、それは失わせてよいものか、慎重な議論をお願いしたく存じます。	市民調査	女性	40～44歳	いる
3	行事の運動会など、簡略化され子供たちからも物足りなさがあるという声が上がっています。マラソン大会もなくなってしまったりと、運動をする機会も減りつつ、体力面なども気になります。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
4	マラソン大会やりましょうよ。小学校。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
5	近年、私自身（30代半ば）が子供だった頃よりも校外学習の機会が少なくなっていると感じます。現代は何でも映像で詳しく学ぶことができ便利だと思いますが、やはり直接行く工場見学などは迫力もあり子どもの記憶に残ると思います。家庭ではなかなか出来ない見学や体験の機会を多く作って頂きたいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
6	講座とかはいらない。子どもの“体験”を重視してほしい。家庭では、連れていきづらい場所、施設もある。交通交園・防災施設や職業体験などを希望。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
7	子供が打ちこめる環境作りをしてほしい。例えばクラブ活動、夏休みのプール、e t c、圧倒的に“個”で過ごす時間が多い。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
8	紙の本にふれる機会を持ったほうが良いと思う。校外学習でもいいので広い図書館に行き、たくさんの紙の本が存在することを、五感で体験したほうが良いと思う。例：角川武蔵野ミュージアム（所沢市）	市民調査	男性	40～44歳	いない
9	小学校のプールの回数が4回しかなく天気によって減ってしまう事もあるので、これでは水泳の授業の教育が身につかないと思う。回数を増やすか、近所りのスポーツ教室と協力などして通わせてほしいと思います。授業参観の回数が少ないので増やしてほしい。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
10	相模台小学校のグラウンド縮小、並びに学童の児童の大きさにより、外で身体を動かす機会が減っていると感じています。もっと自由に外で遊べる様、改善して欲しいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
11	年に4回しか水泳の授業がないので身につかない（生きる力）。浜松（地元）は、水泳に力を入れている（小5に30分間泳がある。）スイミングに通うしかないのか？学校で教えられないならスイミングの助成があると良いと思う。（松戸市オリジナル）。	保護者調査	無回答	40～44歳	いる
12	年齢に身合った体験の場の提供や、学びの場を増やしてほしい。家族参加型の研修や体験の場を増やしてほしい。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
13	修学旅行など、学校によって行く場所等差がある気がして残念。土曜日や夏休みも学校へ行してほしい。休みは家でタブレットやTVばかり見ているので（両親共に働いている為）夏はプールを開放するか、勉強だけではなく遊びを取り入れた授業を増やすとか。レクやるとか、学童とかは行きたがらないので、登校日作って！！特に夏休みは長すぎ。遊びに行くきっかけを作らせてほしい。リーダーキャンプとか、もっと開催してほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
14	現在子どもは中学生ですが、幼少の頃から幕張メッセなどで行われる子ども向けの体験イベントや、千葉県夢チャレンジや企業、大学が主催している講座などに積極的に参加し、将来の夢や目標を見つけるきっかけや判断材料になれば、と思い行動してきました。中学生ともなると、ニーズが少ないのかそのような体験ができる企画が少ないように感じます。今年の夏休みには埼玉の大学が主催する講座に参加してきましたが、松戸市内の大学や企業と市が一緒になって企画する将来の職業探しのきっかけになるような講座や職業体験があればぜひ参加したいと思いますし、近場でそのような場を作っていただけるとありがたいです。個人だけでなく学校の授業でもそのような企画があるといいと思います。中、高校生版キッズニアみたいなイベントがあったら最高です！（地元企業のPRにもなりますね）。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

(7) 部活動について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	中学校の部活動の時間について。平日は、よい子のチャイムで終わりですが土曜日は、朝から夕方までだったり日曜日と同じです。長期休み（夏休み）は、毎年、暑くなっており熱中症けいかいアラートが出てる中、朝～夕方まで、とても子供達が心配です！！特に野球部。暑さで気分が悪い中、練習しているそうです、子供達にスポーツをさせないではなく、年々、殺人的な暑さの中のスポーツは松戸市全体で考えていただきたいです！朝早く集合して昼までには終わる、夕方からなど時間をずらしての活動になればいいと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
2	部活動が縮小される中、元々ある部活はいいが、新たにダンス部を作りたいと入学式の日に学校へ伝えたが考えもしてもらえず、「今は考えていません」と言われた。考えて欲しいと言っているのに考えませんというのは腹たしい。年代が変われば色々変わるのだから、ちゃんと考えて欲しい。今はオリンピックでもダンスがあるのになぜ公立でダンス部は作れないのか。学生生活でしか経験できない事を味あわせたい。今しかできない事です。クラスの先生に話した時は生徒総会などをやって皆の承認を得られればできるかもと言われたけど教頭はダンスって何するんですか？とバカにしたような言い方で対応された。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
3	たとえばサッカーでは部活動とクラブチームの差が歴然と現われています。娘がバレー部に所属していますが、顧問の先生のレベルに左右される部分が大きく、無駄でキビシイ時間を労費しているように感じます。もっと外部のボランティアを活用するなど、オープンにしてほしい。部活は授業の次に時間を費やすもので、子供の成長に大きく影響するものなので不幸だと思う。	市民調査	男性	45～49歳	いる
4	対戦高や知人が通う等で市立松戸高校について見聞きするが、顧問の態度が高圧的であり、怒鳴る様子があり現代的でないと感じる。コーチング等の新しい知識を取り入れ、実践してほしい。部活動に参加させる圧となる入試の際の加点を縮小し、やりたい部活動ができる環境であると良い。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
5	子ども達がいつもお世話になりありがとうございます。中学校での部活動ですが、特に夏場の猛暑が親として心配です。練習時間や取り組み方等、先生方の負担も考慮し、市全体で考えていただきたいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
6	子供達の貧困により、勉強できる環境に差ができてきていると感じます。親が自分を優先して子供を放っている又は自分の思いどおりにあやつる等部活をとおして見てきました。部活は、先生と生徒のコミュニケーションを、とれる場でもあります。地域に移行すれば生徒と先生の距離は空いて生徒は問題を打ちあける機会も減るのではないのでしょうか？同じ学校内で活動するにはたくさんの意味があるのです。今一度地域移行する事は考え直して欲しいです。余裕のない家庭は部活をあきらめるしかなくなります。	市民調査	女性	50～54歳	いる
7	部活動や水泳は外部へ委託した方が良い。（教員の負担↓）。部活動の大会は必要ない。（教員の負担↓）。タブレットが重すぎる。軽くしてほしい（毎日持ち帰るのに）。給食調理は外部委託にした方が人件費が節約になると思う。学校の施設（体育館に冷暖房がないなど）を改善した方が良い。常一小や高木小は廃校にして地域や事業者へ借しだした方が設備費などの予算が浮くのでは。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
8	市立高校野球練習をよくしている。是非勝たせて甲子園へ！！松戸市民が応援できるものがほしい。施設に入ると全く外へ出られな不服！！施設内のデイサービスにも通いたい！元気な人だけにかたよっている。訪問する人によりサービスを受けたい。	市民調査	女性	80歳以上	いない

(8) いじめ・不登校について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	いじめの対策が学校によって違うのか分かりませんが、担任で止められてしまってなかなか状況が変わらず子供の状況がどんどん悪くなり親が直接相手の家に行きどうにか落ちついたことがあり、そのままにしていたら不登校になってしまったと思うと、学校にまかせてはダメだったと思いました。もっと言葉とか形だけではなく、いじめてる子やいじめられてる子に寄りそって、本質を見きわめてほしいです。(なぜいじめめるのか?)、本来は学校でもっと、いじめている子にカウンセリングをしてほしい。同じ子供が何度も別の子供をいじめても何も変っていない様です。	保護者調査	女性	50~54歳	いる
2	いじめを許さない姿勢を学校で生徒にしっかり示して欲しい。教員と生徒の距離が近く、怒られないから大丈夫という子供達がいる。小学校でいじめをしていた子供達が中学校でもいじめをしていると噂で聞く。	市民調査	無回答	無回答	いる
3	いじめ問題に関して学校での教育の充実をお願いしたいです。また、親がいじめに関して相談しやすい環境作り。英語学習の充実。昨今、教師の不祥事が増えているため、採用時のチェック体制の充実。	保護者調査	女性	35~39歳	いる
4	何年も前のことですが、小学校のPTA役員代表として校長と一緒に中学校の卒業式に出席した際、呼名の返事がない(=不登校などでの欠席)人数の多さにおどろきました(学年で20人以上)。数年後、わが子も教員からの不適切な対応や学校への違和感などに不応となり中2・3と2年間不登校になりました。(現在は元気に高校に通っています。)。中学校は閉鎖的で外部の目が届かず風通しが悪いととても感じました。先生方のプライドなのか力関係からなのか、連携もよくない。不登校の2年間で失ったものは多くありますが、学校生活から完全に離れたことで守られたこと…大人からの心ないひと言や理不尽で現代にそぐわない価値感からの言動によってじわじわと疲弊し削られていく自尊心等々、そういうことから“免れた”と、そこはプラスに思っています。不登校に関しては、例えばフリースクール利用の支援補助(←ないよりマシですが)など不登校状態になってしまったからの支援ではなく、そもそも不登校を選ばざるをえない状況にならないような…それ以前の学校環境の改善が大前提です。先生方にとってはほんの数年だけ関わる無数の生徒ですが、生徒にしてみれば“その先生”なのです。影響が大きい。生徒の人格や人権をもっと大切にしてほしいです。長文失礼しました。	保護者調査	女性	45~49歳	いる
5	親や学校等にも言えずに悩んでいる子を救い上げ、自殺やいじめが減らせるように何らかの方法を考えてみたい。子供が明るく育ち人に思いやりを持てる社会を作りたいと思う。	市民調査	女性	70~74歳	いない
6	誰でも得意なもの、不得手なものがあります。他人を思いやる心、人のいやがることをしない、人間性が勉強と同じくらい人として大切なことを小学生から教育してほしい。いじめや、不登校ができるのは教師の責任が大です。教師を教育指導が必要で校長の教師管理を強く希望します。	市民調査	男性	80歳以上	いる
7	中学生への自主休暇制度の導入。年間数日間でも自分で設定して休める日があれば、ギリギリまで追い詰められて不登校や自己否定・自己嫌悪に陥る子供が減るのではないかと思います。スマートフォン(SNS)の規制。義務教育間のスマートフォン(SNS)禁止を学校側から厳しめに提示してほしい。親子間の連絡はキッズ携帯で充分なはず。子供同士のクラスLINEなどのやり取りが無くなるだけでトラブルが減り学校生活の過ごし易さも変わると思います。不登校支援。不登校支援については松戸市は配慮工夫されていると思います。今後や他地域にも同じように整備され、学校に適応出来なかった子供達が取り残されない事を願います。また、行き渋りや五月雨登校時点で、学校側からどのような方法や進路があるか説明や提示されると親の見通しも立ちやすいかと思えます。授業のオンライン化については、教育委員会の考えと現場の先生達(負担増)との齟齬があると感じます。	保護者調査	女性	40~44歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
8	不登校の子が学べる場所をもっと作ってほしい。外に出れない子の場合は自宅にて学べるような事をふやしてほしい。または外に出れるよう対応と一緒に考えてほしい。運動の療育を長い時間の所や送迎を増やしてほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
9	不登校生徒への対応、受け皿が少ない（場所が遠くて通えなかった）。学びの意志があっても金銭的な理由、場所によって通えない子もいるのでは？学校に通えない理由は、人それぞれありますが、皆が平等に教育を受けられるチャンスがあるといいと思います。（子供が不登校になった時にそれをひしひしと感じました。病気の子、不登校の子ほどお金がかかります。）。コロナ禍で不登校がとて増えていると聞きます。色々心配です。長々とすみません。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
10	高校の時の先生が相手に意見が言えるのは相手より上でなくてはならない。たたくのであれば、自分をたたいてから相手をたたくと、言われました。いじめがあったとしたら、解決しないと、先に事件になるような事になりかねないから、きちんとした方が良いと思う。人によって残る人残らない人がそれぞれですから。一番は、お互いよく話し合う事だと思います。宜しくお願いします。有難うございました。	市民調査	女性	70～74歳	いない
11	教員や生徒へのイジメをもっと厳罪化し、イジメを受けた側が不利益を被ることのないようにする。転校に関してもイジメが原因の場合は柔軟に対処し命を落とす前に救って欲しい。イジメをした側には、すぐにペナルティを与えてほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

(9) 通学について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	せまい歩道を朝の通学時に小学生が2列にも3列にもなって歩き、人とすれ違ってもどかないので仕方なく大人が車道に降りて通してあげてありがとうの一言もない。その人々が小学生だけならまだしも、親も一緒に3列になって歩いて、一列になるように子供に指導もせず“子供なんだから仕方ない、あたりまえ”のような在り様。子供も親も、しっかり教育しろ！教育委員会！！	市民調査	女性	45～49歳	いない
2	登下校のマナーがとても悪いと感じます。マンションに住んでいますがエレベーターで悪ふざけする、マンション付近で走り回って住民に迷惑をかけるなど学校外の面での教育指導をしっかりしてほしいです。	市民調査	女性	40～44歳	いない
3	日頃からさまざまな事案等の対応など、ありがとうございます。そして、ありがとうございます。日常、常に車を運転して思います。＜自転車＞保育園、幼稚園～集団で自転車にふれてなれる、ルールを簡単に小学生低学年～正しい乗り方、ルール、高学年、中学生～交通ルール、街乗りの方法、高校生～車の免許（自動車学校）並みの学習等地元警察等と連携して年間で勉強の時間を作っては？免許証みたいな、どんどん更新されていくしくみや、親子で参加型を組み立てるとか。松戸市発祥、発信になる位に、取り組んでほしいです。事故をなくすために。	市民調査	女性	50～54歳	いる
4	安全に通学できるように歩道（通学路）の整備をお願いします。学区としては幸谷小学校になるのですが、交通量に対して歩道が狭かったりと危険なように感じます。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
5	教科書が多く、とても重いのでこのままでは子供の体の負担が心配です。図書館の開館時間を延ばしてほしいです（長期休暇のとき）。	保護者調査	女性	35～39歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
6	五香西に住んでいます。この辺りは道がすごく悪くて子供達の通学中もとても危険です。ガードレールをつけたり、スクールゾーンにして時間で規制する等対策が必要だと思います。ぬけ道でスピードを出している車もたくさんいます。また、公園も少ないし、子供が安全に楽しく遊べるようもっと対応してほしい。子供は楽しく遊ぶことからたくさんのことを学びます。地域の大人からうるさいと言われたりボールはするなと言われたり……。もう少し子供に対する理解も増えるといいなと思う。みんなで協力して子育てしないと少子化はすすむばかり。子供がいる人が肩身の狭い思いをしてはならない。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
7	子育てで支援に力を入れていて有難いですが、まだ実現していない部分があるように感じます。特に交通と施設です。交通は通学路ですら設備されず、車も通るには狭い道が多すぎます。施設は大きい公園、小児科が少なく不便に感じます。早急に対応して頂けると幸いです。よろしく願い致します。	市民調査	女性	30～34歳	いる
8	通学路（新松戸5丁目、すぐ近くに横須賀小があるのに学区は西小、我が子は南小に通っている）防犯・安全面を考慮してグレーゾーンを設定すべき。学校が遠いと交友関係でこりつしがち。流山市にある様な児童館があると良いと思う。校庭を開放しているが猛暑の中、屋外で遊ばせるのは危険。先生がいるので何か（トラブル）あった時や防犯面でも安心。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
9	教育に関してではないのですが、以前稲台に住んでいた時、近くに小学校があり、毎日のように下校時に防犯ブザーを鳴らしながら歩いている小学生がたくさんいました。道いっぱいになって後ろ歩きをしたりする子もいたので、最近の学校や家庭はまともに教育とかけないんだな、と思っていたので、このようなアンケート用紙が届いてびっくりしました。	市民調査	女性	30～34歳	いる
10	大人も子どもも安心して暮らせる街になるよう登下校時の見守りの強化や子どもたちが安心安全に遊べる環境づくりをしてほしい。犯罪、事件、事故、不審者情報がたたない毎日に不安ばかり。外国人も増え、子どもたちも学校で色々な関わりや性犯罪についてもっと学ぶ機会をもうけてほしい。	保護者調査	無回答	40～44歳	いる
11	本土寺参道では、日常的に、車の右側に出る、小学生、中学生高校生、大人をよく見る。教育として、何とかならぬものか。	市民調査	男性	60～64歳	いない
12	誘拐や殺人など事件が多い中、松戸市の小学校での登下校は家庭それぞれで自由な事を知り驚きました。私の子供時代は学年ごとの班、1～6年生までの班、などがそれぞれ決まっていた朝も集合してから並んで学校へ向かっていました。通学班がある事で登下校中の事件もすくなくできるのではないかと考えています。今は同じ学校でも連絡先を知らない方が多い体制だと思います。地域全体で子どもを守るためにもPTA活動や登下校の見守りなど進んで行う家庭を増やしていくための策を一緒に考えていきたいです。	保護者調査	女性	25～29歳	いる

(10) 家庭教育について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	学校で教えることも多様化している中、先生方も大変だと思います。家庭でもどこまで教えるべきか非常に迷うところではありますので、教育現場と家庭とでしっかりと対話する必要があるかと思います。	保護者調査	男性	30～34歳	いる
2	共働きが主流となり子どもたちが保育所や学童で過ごす時間が増えていく。生活のためにやむを得ないことだと理解はしているがこの状況が良いのかと思う。子どもは親と一緒にいる時間を通してさまざまなことを学び親から愛情を知って成長していくものだと思う。子どもがなるべく親と一緒にいられる時間を作り、たくさんの愛情を注いであげられるような環境を整えていけたらと思う。	市民調査	女性	55～59歳	いる
3	参加しやすい学習活動ふえてほしい。仕事以外の時間を有効活用できる。子供と一緒に参加できる活動（絵画、読書など）よろしくお願いします。	市民調査	女性	40～44歳	いる
4	松戸市だけでなく日本全体に言えることですが、近年の教育は、家庭でのしつけや教育力が低下していると思います。学校教育の前に、まず、家庭で学習の基礎を身につけさせるようにすべきです。妊娠中の母親学級の際にそのことについてもふれるべきと考えます。子どもは産んで、ごはんを食べさせていけばいいわけではありません。人として産んだなら、しつけ教育しなければなりません。ただし、虐待するほど教育熱心では困るので、そのさじ加減が上手な母親がたくさんいる松戸市であってくれたらよいと思っています。	保護者調査	無回答	45～49歳	いる
5	問11では、全て家庭で学んだほうが良いと解答しました。自身が教育者の親族にかり回され、親として自立できていなかった為、子供達には苦勞をかけたと、約20年前を思い出すと反省しています。子育てはまず家庭の土台ありきです。子供達は見ぬいていました。周囲に助けられながらも、まず親がゆとりを持って生きていなければダメです。親が他力本願ではダメ。	市民調査	女性	45～49歳	いない
6	問11の回答について、学校が家庭が迷ってしまう項目が多かったです。（子どもたちの置かれている状況や家庭環境の違いがあるため）。多様な問題を抱えていても、全ての子どもたちが夢や希望をもって成長出来る環境づくりのためには、学校、家庭、地域、が連携して取り組みが不可欠かつ重要です。市民の意識や機運が高まる仕組みづくりにもご尽力いただき、市民も参加しやすく、考えるきっかけとなるような環境が拡充することを期待しています。	保護者調査	女性	55～59歳	いる
7	夏休みの学校のプール開放（親の交代制見守り）遊ぶ場所がなく親がつきそわないとプールで遊べないので夏休みは大変だった。先生方は大変なのでPTAや親が協力し見守る。	市民調査	女性	50～54歳	いる
8	子供の教育には親の影響が大きい。配布物や、親が集まる機会等での啓蒙を行う事が必要に思えます。あいさつや、お礼の言葉すら言えなかったり、電車の座席を自宅のソファのように勘違いしている小学生が増えた。	市民調査	男性	45～49歳	いない

(11) 地域での教育について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	自分には子供がないので松戸の教育事業は全く知らない。教員資格があり、子供の教育にも興味があるので自分にも何かできることがあればやってみたくと思った。	市民調査	女性	60～64歳	いない
2	一人一人が大切な高価で尊い存在である事を互いに認め合って、助け合える社会、地域になっていけるように、心を育てる事ができるように、皆で考え助け合って育んでいきたいです。	市民調査	男性	50～54歳	いない
3	共働きが主な時代です。個人と地域を結ぶより、学校や保育園など施設と市が協力して関わる場が増えれば、必然的に子どもや親と地域の結びつきが生まれ、やがて地域で子どもの成長を、見守ることや、今の子ども達を知ったり、地域の人のことを知ることが増え、市全体の関わり、つながりになる気がします。これからの子ども達が誰に対しても気にかけることが当たり前な日が来たらいいなと思います。そうなるように私たち大人も頑張らないとなと思います。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
4	子どもたちがそれぞれの個性や興味に応じて学べる環境がさらに広がると良いと思います。計画を通して子どもたちが松戸で学んでよかったと思える教育環境が実現されるよう地域住民として協力できる場があれば積極的に関わりたいです。	市民調査	女性	40～44歳	いない
5	子供達の見守りはできる時間になっているが、地域の安全対策は皆さんと一緒に考えて、今後活動できたら良いと思う。	市民調査	男性	55～59歳	いる
6	授業についていけない子どもたちへのフォローが必要と感じています。学校内で難しければ、地域で学習フォローの場があるとありがたいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
7	教員の負担を軽減するために地域住民が手伝える方策をとり入れてほしい。子どもたちに読解力を身につけさせることで、AIに負けない人間づくりをしてほしい。	市民調査	女性	60～64歳	いない
8	子供に社会のマナーを学ばせる為、地域の教育力を高める為に“大人自身がマナーを向上させる”という選択技がありましたが市内全体的に見ていてタバコのポイ捨て等マナー悪い大人がとても多いなと思っているので、市を挙げて改善していく必要があるなと思っています。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
9	引越してきたので松戸市への郷土愛がまだあまりないので、私と同じ市外から引越してきた人を対象にした松戸の紹介イベントなどあれば子供と一緒に参加してみたいと思いました。社会のルールやモラルを守る意識ですが子供よりも松戸に住む大人の方が低く感じます。路上喫煙、たばこのポイ捨て、自転車の乗り方、歩行者の道路の横断、車の路駐の多さなど大人が子供の見本になれるよう注意していきたいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
10	気軽に始めやすい地域ボランティアがあるといいと思いました。	市民調査	男性	18～19歳	いない
11	仕事を辞めてから長くなり、子供も自立、夫婦で現在の健康維持に努めているが、私達でも役に立つ事があるのであれば教育への参加はおしまないと思っている。前職業から救急医療等への協力は出来る。	市民調査	女性	75～79歳	いない
12	時代とともに、他人の子供に声をかけられない状況となり、地域とのつながりがあればと思う日々ですが、親も子もいそがしく、無理と言われる日常を、もう少し改善できたらいいなと思います。	市民調査	女性	65～69歳	いる
13	いつもお世話になりありがとうございます。子育てにやさしい街となっている実感は得にくいと感じています。アンケートを知って、どのようなカタチで改善しようかとしている姿勢がうかがえました。子どもが大きくなり地域に関わる機会が減ったので何か関わられる機会があったら嬉しいです。	市民調査	女性	50～54歳	いる

(12) 学校施設について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	ゆとり教育という理由で本来習得すべき事柄が満足できていない部分もあると思います。さらに、学校、施設を地域に開放してほしいです。今後、体育館に空調設備がつくと聞きました。屋外だと熱中症のリスクが高まるため、多世代が居場所となるような、学校、施設になってほしいと願っています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
2	要望なのですが、学校の校庭に夜でもサッカーが出来るように照明を付けて欲しいです。生徒だけではなく地域の大人同士のコミュニケーションを作ることも出来るため、必要だと思います。また、先生方もいつも大変かもしれませんが、もう少し部活動にも力を注いで欲しいと親としては思うところありますので。先生でなくとも、外部委託でも良いです。	市民調査	男性	50～54歳	いる
3	学校に赴く度に感じるが校舎の老朽化が目立ちます。校舎、校庭、遊具、教室の設備にぜひ予算を使っていただきたいと感じます。新しい環境や設備で皆の士気を高めることもできると思います。外国の小学校・小学生と対話できる機会があればいいなと思います。（既にある場合はすみません）（リモートや協力関係を学び、定期的に交流できるように）。データの流出の件など、松戸市教育委員会について自慢できない残念なニュースがよく目にしたり耳にしたりするので無くしていただきたいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
4	教育施設（学校など）の老朽化がかなり気になります。安心して過ごせる学べる環境作りを早急に進めてほしいです！！	保護者調査	女性	35～39歳	いる
5	教室のエアコン設置を100%に。洋式トイレを100%に。英語学習の内容について。ネイティブティーチャーによる発音の導入。実際に使える英語を学ぶ。	市民調査	女性	70～74歳	いない
6	校庭に人工芝を導入するようだが、（報道によれば）マイクロプラスチックの影響が気になる。もっと議論すべき事象ではなかろうか。温暖化対策に力を入れなければ今後の生活も心配だ。待ったなしだ。	市民調査	女性	無回答	無回答
7	高齢者は、遠くに出かける事が、困難になりますが、将来をになう子供達の役に立ちたいと願っています。そこで、近くの小学校を整備していただいて、子供達と高齢者が、ふれあいながら成長することができるような、松戸市になってほしいと願っています。	市民調査	女性	75～79歳	いない
8	小中学校の教室、体育館にエアコンを設置。	市民調査	男性	65～69歳	いない
9	地域で活動しているが、会場の確保が難しい。学校施設を開放してもらえると有難い。	市民調査	男性	75～79歳	いない
10	和式トイレを全て洋式トイレにしてほしい（小学校）。小学校のプールの授業を民間のスイミング教室で行ってほしい。学童と連れいしてほしい（学校が）。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

(13) 教職員について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	中学校の教育に力を入れてほしい。具体的に教師の質を高めるような施策を打ってほしい。給与を上げる、研修等に力を入れる等。難しい年頃の子どもたちに向き合っている先生方には敬意をもっているが、以前中学校に通う子どもがいたときに、保護者との対話を拒まれている印象を持った。ロボットの世界大会で成果をあげた実績をもっている小金中の科学部の活動に目を向けるべき。「科学と芸術の丘」等のイベントにも力を入れている松戸の魅力としてこのPRポイントだと思う。代々つづいていることが部活動の強みであり、それを地域として引き継いでいけないか。これまで活動に関わってきたOBや先生方の知見等も生かしながら。青少年教室や教育委員会主催のイベント等には何度か参加させていただき子どもと一緒に、いつも楽しく学ばせてもらっています！ありがとうございます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
2	自分も教員ですが、教職の家族、子どもに対する助けが欲しいです。全力で教職へ向き合えるよう保育・通学にも自分の子どもも大切にできるようにって欲しいと思います。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
3	2年連続で教育委員会に苦情や相談が寄せられた教師がいるが、他の学校への異動や配置転換が行われずに現職にとどまっているが、そのような教師への対応が不十分ではないか。	市民調査	男性	45～49歳	いる
4	教員の質の低下が気になります。人数確保よりも、子どもの成長に携わる自覚・責任能力を持つ人材を採用すべき。中でも管理職の立場の方に対して一番の不信感がある。しっかりと子どもに寄り添い、子どもを育てることができる人を選ぶべきだと思う。	保護者調査	無回答	30～34歳	いる
5	ニュースで最近多い男性教師の生徒をどうさつしたり画像をグループで共有したりと、性へき犯罪の教師が多いので、自分の子供を通わせている学校は大丈夫だろうかと不安になる。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
6	まずは、“あいさつ”、家での教育はもちろんですが、学校内での強化（むりやりさせる事は望んでいません。）集団の中で自然とあいさつがかわせるよう、大人が見本となるべきだと思う。教師の人としての態度の向上。部活動の外部委託。先生は教科に専念してほしい。外部委託することによって、子どもたの選択肢が増え、その学校にはない部会やりたかったけど、あきらめざるをえなかったスポーツに参加できる、地域の格差をなくしてほしい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
7	何度も教育委員会へ申し出が（苦情）あがる教員が、いつまでも変わらず教育現場にいる、もしくは、現場におかず、出世という形で委員会から県庁へ異動し、立場が上になって現場に戻ってくる現状が理解できません。特に後者。本人が「自分は正しいことをして出世している。」と認識が強く、他者の意見に全く耳を傾けないのは、いかななものかと思えます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
8	学校の授業やクラブ活動においては、必要に応じて外部講師を採用することで、質が高まる。運動会等の活動が縮小し過ぎかと思う。教育及び学習全般が家庭任せすぎる。せめて学習面は先生の方でやるようにして欲しい。最低限の仕事ではないか。	市民調査	男性	35～39歳	いる
9	学校の先生がやりがいをもって働けるように給料upと残業減を宜しくお願いします。	保護者調査	男性	50～54歳	いる
10	学校の先生方の多忙さを想像すると頭が下がる思いです。先生方の負担を減らしたいと思っておりますが、どのようにしたら負担が減るのかまでは分からずにいます。教職員を志す人が減らない為にも、現教職員が疲弊しない為にも、先生方の声を聞いて改善できることはしていかなければ、と思えます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
11	学校教育の中で、将来の仕事に関する事、文字にしたり、実際に、色々な職業の方のお話を聞く機会等、ぼんやりした遠い将来を自分事として、考えさせて下さるのは、とても有難いです。先生の質が、本当にまちまちで、子供たちの家族以外の一番身近な大人で、多感な子供たちに大きく影響を与えるので、我が子達も、良くも悪くも色々経験をしているので、先生方をフォロー、研修する体制があると良いと思う。すべての先生が、我が子同然に子供たちを愛情をもってご指導して欲しい。数名の先生方には、感謝しきれない。本当に素晴らしい先生方もいらっしゃいます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
12	学校生活において、子供に対して行き過ぎた暴力や暴言が発生した際は、教員に対して厳重な処罰をして欲しいと思います。教員不足とは言え、然るべき対応は必要ですし、松戸市の教員の信用にもかかわって来ていると思っています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
13	教育って、学力かマナーか個性育生か、その他社会で生きて行くため集団生活知識が絶対必要と考えるが、教師の上司がふがいない、(保身)。サラリーマン化して一番かんじんな「心」もしくはやさしさや思いやり、いたみを教えてない気がする。子供だからと言ってもやってはいけない事、やらなければいけない事がきちんと伝えているのかガモン。モンスターペアレンツもいるが、モンスターチャイルドはもっと多いと感じる。それは学校ではなく、家庭の仕事と思う。⇒いじめがなくならないのが実情ではないか？ ⇒教師(学校)は見えて見ぬふり、(知ってたらなくなるはず)。言いたい事は山程ある。先生をもっと楽にしてあげて下さい。TVの番組を見ると、サラリーマン以上にキツイですね。子供の成績を上げるのが目的ってある種ノルマではないですか？	市民調査	男性	60～64歳	いない
14	教育機関で働く職員の質の維持・向上、処遇改善。スマホの適正利用に関するルールづくり(条例など)。幼児期における家庭教育の重要性の周知、取組支援。	市民調査	男性	40～44歳	いない
15	教員が子供を性的な対象として見ている案件を知り(盗撮をして共有する)驚きを隠せません。どうしたらその様な教員を排除することができるのでしょうか。本当に世も末です。子供を産みたくなくなります。自分の子供にも産まないでほしいくらいです。松戸と言えば、六実の事件、防ぐことはできなかったのでしょうか。残念でなりません。	市民調査	男性	50～54歳	いる
16	教員の質について疑問を感じています。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
17	教員の数を増やして教育の質を高めてほしい。いじめをする側は家庭環境に問題がありかわいそうな子だという教育をしてほしい。自分がかわいそうな子供であると認めたくないのならいじめはなくなると思うので。問題の解き方が教えたものでなかったとしても×にするような教育はしないでほしい。学校のカウンセラーの守秘義務は徹底してほしい。「誰にも言わない」と子供に言ったのなら担任にも報告してはいけないと思うので。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
18	今回のアンケートに関係ないかもしれませんが小学校に関してあまり親身に相談にのってもらえない(担任)若い方なので仕方ないかもしれませんが、子供が悩んだり学校いきたがらないこともありすぐスクールカウンセラーへと言われるが少し親身な先生がほしい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
19	最近ニュースで問題になっている教職員の性加害問題について松戸市内の学校でも同様な事が起こらないよう対応を考えてほしいです。いじめも含め子供が安心して通える学校生活の環境にしてほしいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
20	最近のニュースで…教育者の性犯罪が多く、すごく悲しい気持ちです。子供達には、学校は楽しい所と教えているので、それを怖い所と思わせないようにして欲しいです。	市民調査	女性	60～64歳	いる
21	子どもがお世話になった先生方は良い方ばかりでした。先生方が、書類作成やクレーム対応に追われず、子ども達と向き合う時間をしっかりとってもらいたい。先生方には笑顔でいてほしい、というのが願いです。若く情熱のある先生が、ベテラン先生の良いご指導の下、伸び伸びと教育現場で活躍できる松戸市になってほしいです。	保護者調査	女性	50～54歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
22	子供が中学生の時いじめ・先生の暴力に悩みました。	市民調査	女性	75～79歳	いる
23	市立小・中学校のスタッフを充実してほしいです。特に特別支援教育補助教員・補助員や近年役割りへの期待が高まっているスクールソーシャルワーカーの増員を期待したいです。児童、生徒や家庭が抱える様々な問題や教育的ニーズに迅速に適確に応えられる学校教育環境作りを是非期待したいです。「教育、子育てに力を入れている市」「未来を担う子供達を市をあげて育てる町」としての松戸市となるよう、期待したいです。そのための予算・人材・方策を含め、今後充実させてほしいと願っています。（文京都市・子育て教育の町「松戸」を目指して）。	市民調査	男性	50～54歳	いない
24	小・中学校の先生の質の向上をお願いします。	保護者調査	無回答	無回答	無回答
25	松戸市だけではなく、あまりにも子どもに使う予算が少ない。特に教員の方々をもっと余裕ある毎日を送れるようにしてほしい。保護者から見ても教員の疲弊が見てとれる状況では良い教育など出来るわけがない。それから中学にはいまだ怒声で生徒をコントロールしようとする教員がいることも疑問。あまりにも昭和な環境と感じる事がある。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
26	松戸市の教育向上のために教員の手が回らないのであれば、市立小学校の運営補助員という形で人員を確保してほしいと思った。本来はPTAの範囲でそういった活動ができればいいが、なかなか声を上げられづらい状況がある。教員の負担を軽減させ、教育活動の質の向上に集中してほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
27	先生が多忙なのか、子どものことを良く見てくれないと感じることがあった。トラブルがあった事を教えてくれない等。先生により当たり外れがあるのか、今年度は子どもは「学校に何も期待しない」と言って意欲が下がり、モチベーションを上げるのが大変だった。ただ、とても良い先生も多いので、先生がたくさん子どもと向き合えるように、働き方改革をどんどん進めてほしい。大変な事も多いと思うが、子どもは宝なので、豊かな教育の機会を与えて欲しい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
28	先生が大変な職業であるのは理解できますが、大変な先生とそうでもない先生がいるのも事実だと思います。実態はどうなのか、そういった先生たちを一律に考えてしまってよいものか。家庭事情等で定時でしか働けない先生たちにも出来ることはあるのではないかなど、考えてあげてください。	市民調査	男性	60～64歳	いる
29	先生へのリスペクトが昔に比べて減っていて、それが子どもに伝わってしまうと、学校でも影響が出ないか心配です。親のモラルも大きな問題だと思っています。そこへのアプローチは難しいのでしょうか。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
30	先生達の負担が軽減されるとよいと思います。知的の支援学級を増やしてほしいです。	市民調査	女性	40～44歳	いる
31	先生方の負担が少しでも少なくなりますように……。他県から引っ越してきましたが、松戸の小学校の先生方は大変忙しそうです。他県では部活は外部委託、電話も17時まででした。	市民調査	女性	45～49歳	いる
32	息子たちが通っていた小学校では、一部の教員の言葉遣いや対応に不信感を抱くことがありました。特に令和2、3年度は、暴言や子どもの話を信じない姿勢、卒業式前日に廊下に立たせ最後のレクレーションに参加させない等の対応に疑問を感じました。一方で、中学校では子どもの声にしっかり耳を傾けてくれる先生方に出会い、息子たちも安心して学校生活を送っています。小学校でも教員が穏やかに子どもと向き合える環境整備を今後さらに進めていただきたいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
33	中学校など、一部のところでは担任制がなくなり、生徒への対応が手薄になっているので、人員確保を早急にして下さい。市立松戸高校の教育の質を向上して下さい。大学（キャンパス）を誘致して、教育特区のような場所を設定するなどの検討をお願いします。	市民調査	男性	35～39歳	いない
34	特に小学校低学年は手厚い指導が必要となり、みていて担任の先生が大変そうです。1、2年生（小学校）だけでも1クラス30名までになるとよいと思います。それと、採用の段階で色んな方がいらっしやと思うのですが…子どもたちが使ってほしくないような言葉づかいを平気でする方がいます（先生の中に）。そんな方がいくら子どもたちに注意してもきくわけがありません。簡単にその方の言葉づかいはわからないと思いますが、先生の質の向上も願っています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
35	松戸の子どもたちを育てるための大切な計画づくりだと思います。ぜひ、「生きる力」をもった子どもたちと多くの時間を共にする教員の声も聴いてもらえればと思います。市民や保護者の理想を実現していくための施策が、現場にとって負担になってしまうと、子どもにも影響はないのだろうかとの疑問に思えます。家族や地域よりも教員、学校は子どもと共に過ごします。松戸の子どもを親ではありませんが、育てているという認識で働いております。ぜひ、教員の声を、現場の声を聴いて頂きたいと思えます。	市民調査	女性	25～29歳	いない
36	松戸市の施策については良いものが進んでいると感じています。今後は、運用の面、特に人的・環境的な余裕を確保していただきたいです。学校教育においては、教員の心理的・生活面の安全を確保することで昭和的な押し付けや決めつけではない、柔軟な教育が実現できると期待しています。	市民調査	男性	45～49歳	いない
37	教職員の方が多忙と聞きますので間13が必要だと思います。	市民調査	女性	75～79歳	いる

(14) 学校教育全般について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	千葉県「小規模特認校」が松戸市には1校もないので松戸市にもこの制度の学校を作ってほしい。他の市町村のように、タブレットを日々活用した授業をお願いしたい。学習障害（LD）の子供であっても、タブレットで黒板をカメラで撮って、ノートとするなど、困り事がかかっている子どもも学ぶ事をあきらめないでいい学校であってほしいと感じています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
2	こうするべきだと全て同じ方向をむいてしまうのは危ないと思う。また、小中学校で子どもたちに任せる、と自主性云々といって色々な事を決めさせると、立場の強い子らが、自分たちの都合の良い様にするのを多々見てきた。社会の縮図のようですごく嫌でした。子どもは未熟であることを忘れてるし、教育者側の怠慢だと思う。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
3	英語やPCの技術を身につけられるような教育に力を入れて頂きたい。良き人間関係（いじめのない）の環境を構築。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
4	夏休みの科学工作は動力が無いと認められないのは意味がわからない。染め物の作品など化学による工作なども考えて欲しい。また自主学習も必ずノートにやらせる運用は自主的に問題集やドリルをしている子への負担でしかない。学力を上げたいのであれば学校でドリルを配って欲しい。	市民調査	女性	45～49歳	いる
5	夏休みの宿題の有無など、学校によってバラつきがある。ある程度そろえた方がよいのでは。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
6	学びたい子が学ぶチャンスに恵まれること。助け合い理解し合い認め合うことは大切だが、強要しないこと。できることもできないこともあると認めてあげること。でも、努力は必要であること。なにより、その子のことを認めてあげること。そんな教育をして、できる子はもっとできるようにのびさせてあげること。	市民調査	無回答	55～59歳	いない
7	学校では「子どもの意見を大切にすると」言われますが、実際には少しの「嫌だ」という声だけで、「〇〇は禁止」や「近隣の学校でもそうだから」など全ての子ども意見も聞かず全てがダメになることがあります。そのせいで、多くの子の「やりたい」「楽しみにしていた」という気持ちは無視されている様に感じます。少数の声も大切ですが、多くの意見を無視していい理由にはなりません。どんな意見も平等に聞いたうえで、みんなが納得できる方法を考えるのが本当の話し合いだと思いますが、最近の学校はこれが出来ていないと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
8	学力の向上を目指すことは将来を見据えた上で励ますべきことです。ただ、少子化された現状で子どもは家庭でも学校でも（習い事先でも）大人から大切にされることに慣れきっており、本来の思いやりや協調性・能動的意欲など個々の感性・社会性が十分に育っていないように感じております。共働きや心身共に未成熟な大人が子の親になってしまったケースも見受けられます。子・親ともにまずは精神的自立・対人感覚の研さんを常時修める習慣や関わりが必要のように感じております。学力は整ったあるいは整おうと常に意識する者の上に身につけていきます。大学の名や偏差値の高さなどの情報に躍らされ、自分のために勉強することのないよう、（勉強の意味を吐き捨てることのないよう。）自学教育の必要性や平和教育とのつながりをもたせることが大切になっていくはずと考えられる人間教育が必要です。	市民調査	女性	40～44歳	いない
9	今後、AIの発達により、自分で考える力が低下していくような気がしています。これからも自分で考える力を養えるような教育を続けていただきたいです。	市民調査	女性	50～54歳	いない
10	今年の夏休みは、学校（小学校）のカリキュラムなどが変わろうとしているのか、ドリルや日記などの宿題がありませんでした。結局家庭でドリルを購入し、復習をしましたが、最低限の宿題は必要だと思います。毎日規則正しく過ごすためにも、日記は書いた方がよいなと思いましたし、ドリルなどの宿題がないと、結局、それをやる、やらないで、学力の差が出てしまうと思います。すべての人が学習塾などに行っているわけではないので、ドリルがない事で、全く勉強しない子供もいると思います。また、夏休みではないですが、音読の宿題も最近では、なくなる傾向にありますが、特に低学年では、記憶力も良く、ストーリーを全部憶える位の能力もあるので、必要な物は残して欲しいと思います。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
11	子どもが安心・安全・健康に学べる様、これからもよろしく願います。〇〇ハラメント、モンスター〇〇、etc大変ですが、頑張ってください。	市民調査	無回答	無回答	無回答
12	子供の教育は、大変重要です。学校、家庭、地域が担う部分がありますが、御検討宜しくお願い致します。	市民調査	男性	50～54歳	いる
13	子供の個性を活かせる方向への教育。	市民調査	男性	70～74歳	いない
14	子供達が、自分で考え、生きていく力を身につけられるよう、サポートしてほしい。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
15	児童生徒がそれぞれに合った教育を受けることが出来る事。	市民調査	女性	65～69歳	いない

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
16	宿題をやらなくても許される、授業についていけなくても学校の先生が把握していない、塾に行くのがあたり前で塾に行かないと勉強ができる様にならない、勉強の場が学校よりも家庭まかせになっていることが学力低下の原因でもあると思う。先生の負担軽減ばかりで家庭と学校が協力し合っていない。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
17	小学生のうちから夢や目標に対し夢中になれるように学校内で展開してほしい。勉強だけでなく、楽しく自分が活かせる方法を伝えてほしい。自己肯定感を高める指導や教育をお願いしたい。	市民調査	男性	55～59歳	いる
18	松戸市に限っての事ではないのですが、障がい、介護に関しての教育をもっと取り入れていくべきだと感じます。誰しもが老いてゆくのに関わらず、認知症や介護に関して知らない人が多すぎると思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
19	松戸市の小学校に子どもが通っています。小学校の先生方は皆とても素晴らしく、子どものことよく見て下さり、たくさんほめて下さいます。親としては、家庭では見れない部分を教えて下さり、大変ありがたいと思っています。ですが、宿題や忘れ物など、本来、家庭で見なければならぬこともできていない状況で、先生は、親に対して厳しく言えない所があるのでは？と思います。また、宿題の丸つけなど雑用が多く、勤務時間も長くなっている状況と思います。先生方には、少しでも長く続けて頂きたいと思いますので、家庭での手助けが明確にあるといいかなと思いました。	市民調査	女性	45～49歳	いる
20	人とのつながりや個性を尊重する大切さを理解することのできる環境を提供できるよう努力してほしい。	市民調査	男性	50～54歳	いる
21	性教育について小学校高学年男女一緒に考える授業を数回ではなく何回もしてほしい。外部から講師を呼んでもよい。お金の動きや投資などが頭でイメージできる授業をとり入れるとさぎに合わず、自分で考える力も得て、自分を守る。不登校児童にももっと行き場を与え、フォローできるシステムが必要。ひきこもりや学歴もなく将来犯罪の道に走る芽をつむために、受け皿がほしい。教師は日々忙殺されているだろうから地域のバックアップできるシステムはないか。	市民調査	女性	45～49歳	いない
22	生活に直結する金融リテラシーの向上をはかる教育が必要だと思う。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
23	先月、夏休み前の終業式の後、低学年の生徒が朝顔の鉢植を持ち帰る様子を見てこの猛暑に可哀想になった。未だに（60年以上前から）このようなことを継続しているのかと驚くと同時に大変疑問に思った。又、プール授業も必要ないと思う。学校の授業内容も時代と共に変えていくことは大変大事だと思う。それには教育委員会の方々が今の時代に合う考え方を取り入れ変えていくべきだと思う。	市民調査	男性	80歳以上	いない
24	全ての子供（貧しくても外国人でも）等しく学びの機会を得られるシステムを望みます。	市民調査	女性	80歳以上	いる
25	長期休みに、学校を開放して週に何回か、昼食、遊びの場を作ってほしい。長期休みの宿題をなくしてほしい、仕事をしていると、宿題をみるのが大変だし、子供が何人もいると大変です。心だんの宿題も多い学年と少ない学年があるのはなぜでしょうか？統一してください。学校によっても違うみたいです。	市民調査	女性	35～39歳	いる
26	部活動にとっても熱心だが、学習時間を削って行っている（定期テスト前など）のはどうかと思う。チーム競技だと自分だけ練習に参加しないというのが決めにくい。タブレットの利用場所を制限しないと、関係ないことに使ってしまう子がいる。経済的な問題で修学旅行に参加しない子がいると聞き、もっと近場で安いホテルにするなど工夫できると思う。学校の到達度テストは、受験者内の順位が出るものの方が、志望校を目指す参考になると思う。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
27	毎年小学校で行われている学力テストの平均点がわからないので知りたい（結果シートはもらえますが、具体的な点数も知りたいです）。それにより、本人のモチベーションや親も学校以外での取り組みの必要性があるのか等検討できるので。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
28	私は私立の無償化は必要ないと思います。私立を無償化するよりも、公立学校の設備を整えるべきだと思います。最近、先生による事件が多いと思います。先生の質を上げてほしいです。	保護者調査	女性	18～19歳	いる
29	幼～小～中学校の連携をもっとしっかりしてほしい。それぞれの先生方が他の施設で研修するなどもっと現場を知ってほしい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
30	給食の量が少ない。おかわりしたくてもできない。体が大きく、よく食べるから。でも給食はおいしいらしくて、よかったです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
31	給食の量がたりないため、子供がお腹いっぱい食べられる量にしてほしい。毎日給食が足りなかった、お腹がすいたと学校から帰ってきます。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
32	宿題や翌日の予定をタブレットではなく連絡帳に戻してほしいです。書いたものならすぐに見返せるけど、HWを確認するのにPCをわざわざ立ち上げたり（←それに時間がかかる）、立ち上げて情報もupされていなかったり、返って不便です。ツールを効率的に使う力を身につけさせてほしい。（←PCがあるからムリにそれを使うのではなく適する用途で使ってほしいです）。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

(15) 情報発信について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	いつもお世話になっています。小学校の連絡等、ICT化が進んでおり迅速な連絡が出来、たすかります。幼稚園は私立のみで松戸市立がなく、幼稚園→小学校へ進級する際の情報が少ないように感じます。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
2	まだ子供が保育園・幼稚園なのですが、今のところ共働きでなんとかやれるくらいには、充実していると思っている。小学校の学童など、今の所全く情報が入ってこないのので、どこで情報を仕入れられるのかくらいは、あらかじめ知っておきたいと思った。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
3	言語活用科を知っているかとの設問があったが、知らないと回答した。知ってほしいとするならば、どこで知れるのかとか、学校教育の現状・課題解決への取り組みとか、〇〇をぜひご覧下さいとかの広報をも併せてされては？と思いました。システムへの転記作業おつかれさまです。	市民調査	男性	60～64歳	いない
4	市外の学校へ通学しているが想定以上に松戸、千葉県の情報が入ってこない状況と感じる。小学校の同級生の保護者から聞いた情報も正しい情報を教育委員会のページで探すことも難しく感じた。Webのページが分かりやすいと良いと思う。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
5	市民センターに貼ってあるイベントポスターと同じ内容の一覧をSNSやHPで見やすくお知らせしてほしい。情報を探さなくても、自然と目に入るよう、あちこちで宣伝してほしい。地域愛を高め、子どもが安全に外で遊べるよう、ハトの糞害に本気で取り込んでほしい。感染症の心配、公共衛生や地域環境への意識の低下、無責任なエサやりに対する個体数の増加（昨今のヒグマ問題にも通じる）による地域への弊害などを放置してほしくない。	保護者調査	女性	35～39歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
6	自転車の乗り方のマナーも教育の1つだと思いますので、書きます。車の運転は教習所で勉強しますが、自転は学校等で特別勉強しません。きちんとしたルールを知りたいので広報にきちんとした交通ルールをのせてほしいと思います。	市民調査	女性	70～74歳	いない
7	小学校での活動の発信について、メールやアプリだけでなく、Line等身近なSNSでもお知らせいただけると良いと思う。又、小学校ごとのサイトは誰でも見ることができ、行事などがいつ開催されるかわかってしまう、顔が見えてしまうなど少しセキュリティに問題があると感じるため、在校生のみがえつらんできるようID・Pwでの管理が必要と感じています。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
8	小学校等の学校行事を知らせてほしい（地域の者が見るor参加できるもの）。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
9	定期的に情報が入手できておらず。回覧板に広報まつどを狭んだりするとよい。部活動の地域移こうをしたいなら、コストをかけずに行おうとはしないでほしい。保護者が先生の補助に入ったりしてもいいように「部活に顧問の代わりに地域の人が立ち合う時間」の設定や、セキュリティの問題があるなら、コストをかけて校内をそのように成り立つ物理的な改装もするべき。子供たちは、エネルギーを部活に注げる、ほんの数年しかないのに、練習してはいけない、時間を短くしないといけない、等、大人の都合優先の時代で、いい人間が育っていく訳ないと思う。やりたくないのではなく、子が活動したいのにさせない今の流れは、甚だ疑問。部活にせよ、何にせよ、たった1つの小さな問題を大きな問題にして、子供や、顧問に「学校」「管理職」が責めるような心理的なものを、とても感じる。本来、の子の育っていく過程での失敗等、あってあたり前なのだから、現場は、その尻ぬぐいをして当たり前だと思うが、何かあっては困る（管理職や学校が）から、何もしないでくれという風潮（学校側の）が、一番、子の芽をつぶしていると思う。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
10	未就学児に対する子育て支援の手厚さには大変感謝しており現在自身の親など近くに住んでいない状況ですが、公的サポート等を利用して頂き、日々子育てをしております。上の子は今、年中で、小学校を見据えている時期であります。小学校に入ってから情報というのが近所の同年代の子のいる方からのお話くらいしか情報を得る手段がなく、各小学校の特色や教育レベル等を知ることが困難で学校をどのように選ぶべきか、迷っている状況です。小学校についても幼稚園のように情報を得ることができたら良いなと思っております。又、松戸市内に教育水準の高い公立の中高一貫校などがあつたらより子育てに関して魅力的な地域だったなと思ったりしました。	保護者調査	女性	35～39歳	いる

(16) 教育施策全般について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	人材育成・教育は日本や地域にとって極めて重要な課題。基礎学力はもちろん、主体的に学び、考える能力を身に付けさせることが重要。また他者を思いやり・尊重する心を育むことも必要。児童・生徒のみならず、生涯教育にも力を入れるべき。ウェブ等も活用し、場合によっては他の市等とも連携し、一流の専門家から学べる機会を増やしてはどうか。	市民調査	女性	55～59歳	いない
2	いつもありがとうございます。昨年松戸へ引越してきたのでまだ知らないことも多いですが“子育てしやすい街”と言われていると聞き、期待しています。今後ともよろしくお願い致します。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
3	これからの子供たちは、グローバル化が進むなかで、自ら考え、自分の意見を相手に伝えられる、人間になって欲しいと思っています。(社会人になってこのスキルの無さを痛感しました…)。家庭での教育もそうですが、学校等でも、発言したり表現をする環境があると嬉しく思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
4	松戸市の保育園・小学校へ通っていた子供の様子を見ていた時(小学校通学時2年～5年前)は、学校にもよると思いますが、割と悪い印象はなく、色々な経験が出来て良かったと思っていました。中学は、受験をしたため分かりませんが、松戸市内でも中高一貫校や大学(千葉大や流経専松)など教育やスポーツで活躍しているところをアピールして(地元愛をもう少し)松戸市の価値、教育もスポーツもできる松戸市。緑も多く体験ができる町。など松戸市は都市化が進んでいないので、都市の外れで住みやすい所というイメージをもう少し良い方向に進めてほしい。柏や流山に負けてしまっているように思う。教育は環境が大事だと思うので、大学などと連携して話しが聞けたり公演や子供が参加できるイベントなどの機会があると、良いのではと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
5	いじめの対策が学校によって違うの分かりませんが、担任で止められてしまってなかなか状況が変わらず子供の状況がどんどん悪くなり親が直接相手の家に行きどうにか落ちついたことがあり、そのままにしていたら不登行になってしまったと思うと、学校にまかせてはダメだったと思いました。もっと言葉とか形だけではなく、いじめてる子やいじめられてる子に寄りそって、本質を見きわめてほしいです。(なぜいじめめるのか?)、本来は学校でもっと、いじめてる子にカウンセリングをしたり、してほしい。同じ子供が何度も別の子供をいじめても何も変っていない様です。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
6	保育士です。近年ますます親や家庭でのしつけレベルが低下していると感じていて、そのしわ寄せが学校に向けられているのだと思っています。学校の機能以上のことを求められていて、大変だと思います。ですが、親のレベルは生活レベルと比例していて、高収入家庭の多い地域ではおかしなクレームは来ないし、申し訳ないけど下町の親は時間や提出物、持ち物の記名等、大変ルーズです。収入格差の是正は本人達には出来ないの、市としては学力の是正(底上げ)の他、生活習慣、自分と友だちを大事に思う心等々、本来なら家庭で教えるべきことを伝えて、より良く生きられる人間を育てて頂きたいです。(特に治安の悪い地域で)。生涯学習は音楽(楽器)や語学など、独学が難しいものを催して下さるととても有難いです。言語活用科(すごく良いですね!!)、ICT教育、知りませんでした。子どもが家にいないと知らないままだと思うので、広く市民に伝えることができるとよいですね!!	市民調査	女性	50～54歳	いない
7	教育とは違うかもしれませんが、給食の無償化は本当に有難いですし、無償なのに内容は素晴らしいので感謝しています。子供のために使っていただけるのならばもう少し税金を払っても良いと個人的には考えています。後は、イジメや不登校の問題も、給食無償化位のインパクトのある対策があればと思います。学校の先生は日々大変過ぎるので、直接イジメ対応する(介入できる)組織を作るとか…。松戸市が更に子育てしやすい街になります事を期待しております。職員の皆様、いつもありがとうございます。	保護者調査	無回答	50～54歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
8	ひとり親の子どもの塾費用の補助。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
9	もっと習い事などの費用が安ければみんなが一つでも多くの習い事をやれたり学力などが向上すると思う。学力低下などは費用面を考え高いから無理というご家庭が多いと思います。子育てしやすい街と言っているわりにはまだまだ子供に対しての力が足りていないし、ただ選ばれただけにしか思えない。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
10	習い事をさせたいが、時間・費用・場所の面で都合が悪く、させられないので例えば小学校内で曜日ごとに様々な習い事を1回1000円くらいで子供だけをあずける形でやっていただけるととても良いと思う。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
11	松戸市に越して来て4ヶ月弱のため、松戸市については知らないことばかりです。しかし“子育てしやすい街”という点に、転居先に松戸市を選んだとも言えますので、子育て・教育面では非常に期待しています。自然豊かな環境を生かした教育を家庭以外でも行っていただくと嬉しそうです。また、仕事をしている両親の姿を自信を持って見せたいので、学童も充実していただけるとありがたいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
12	せっかく近くにある小学校に行かないのはもったいない！学校によって、生徒数が違い過ぎるのは、もったいない！小学校のすぐ近くに大きな公園がありますが最近、子供達のグループが余り利用していません。もったいない！夕方、犬を放しているグループがあるので残念です。	市民調査	女性	75～79歳	いない
13	周辺の自治体に比べ、タブレットや学校施設、教員の人数（スタッフ等含む）、部活動のあり方やプール指導（清掃含む）など全ての面において、お金をかけていないということを強く感じます。図書館の整備も古く、子どもたちが「使いたい」と思える施設は東松戸くらいでは。子どもは未来の日本をつくる財産で、子どもたちにこそお金をかけて守り、育てるべき。ぜひ柏市や流山市の教育界のあり方から良いところを学び、人的・物的資産にお金をかけて欲しいです。	市民調査	女性	35～39歳	いない
14	①松戸市の令和5年度一般会計における教育費（小中学校施設維持・ICT推進・体育館整備のみ）は約40億円（総歳出の約2.2%）にとどまっており、隣接する柏市の約176億円（約11.6%）と比べて低い比率です。この差は学びの環境やICT推進など政策に影響するため、松戸市でも教育費の増額と構成比率の引き上げを強く要望致します。②現在、小学校で使用しているタブレットPCについて、動作が遅く、立ち上げやアプリの起動に時間がかかるため、授業時間や家庭学習の貴重な時間が削られてしまっています。子ども達からも「遅くて使いづらい」「途中で固まることもある」と言った声があり、学習意欲の低下にもつながっています。今後のICT教育を効果的に進めるためにも、より処理能力の高い機種を導入や更新サイクルの短縮など、パフォーマンス改善に向けた施策を要望致します。	市民調査	女性	45～49歳	いる
15	この先、子ども達が世の中を動かしていくので、その力を大切にしたいと思っています。市の活動は（子ども関係）タイミングが合えば参加させていただく事が多いのですが、もっとその機会（市外含）を増やしていただき、「松戸」に愛を持ってもらえる様市としても体制を整えていただきたいです。将来地元好きな子が増える様、私達大人も松戸の魅力を増やし、伝えていきたいと日々過ごしています。今後よろしくお願いいたします。	市民調査	女性	40～44歳	いる
16	コロナ以降、人とのコミュニケーションが希薄になっている様に思う。簡素化が進み、いい面もちろんあるが、子供や地域との関係性が薄くなっているのがさみしいなとも思う。核家族化が進むなか、子供とお年寄りがふれ合えるような、たとえば、老人ホームや施設に園児が遊びに行ったり、昔の遊びや、昔の話をしてもらったりして、ふれ合うとか…又、母親の子育ての悩みなどを、お年寄りに聞いてもらう機会をつくるのか…もっと地域で子育てを支えたり、お年寄りのやりがいやいやしにもなるのではと思う。	保護者調査	女性	45～49歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
17	東京都のように、教育費を今以上に補助していただくと子どもとの将来への不安が少しでも軽減します。期待しています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
18	プールの業務委託や一人一台タブレットの機能向上、学校の施設の改修や拡充、先生を増やす（担任の先生がいないので教務の先生がかわりに入る等は、子供達も先生も大変だと思います）等、もっと教育にお金をかけてほしいと思っております。また、松戸市は地域資源が豊富なのに使いこなせていないように思えるので、もっと市全体で松戸市の良さを生かすともっと魅力的な町になると思っています。今後の市の取り組みに期待しています。	市民調査	女性	30～34歳	いる
19	学校選択ができる事によって、少人数制の学校は先生が少ない、部活動が少ない、地域で差がうまれている事についてどうお考えですか？通っている子ども達は楽しそうにしているので、よかったですと思いますが、学区が守られていればあと2クラスくらい増えたのでは？と思ってしまいます。各学校に受け入れ人数（他学区から）があります守られていない学校があるのは分かっていますか？いじめ等で学区変更ができるのはとてもいい事だと思います。部活が強いのをうりにしている学校、それは寄せ集めだからでは？なんだかかわいそうです。松戸市全体で子ども達を平等に見てあげてほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
20	給食費無償をつづけてほしい。	保護者調査	無回答	無回答	無回答
21	給食費無償化等の取り組み、ありがとうございます。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
22	教育評議員制度で活動されている方がいますが昇進的に何をされているのでしょうか？存在さえ知らない方が多い。事件（教員）について広報でわびもなく、それも知らない（守秘ぎむのための）方がいる様です。それでは公開性にかける。（改善して下さい。それなりの事情はあるでしょうが）追加、不登校児対策は十分ですか？（もっと頑張ってください）長年不登校児から給食等をとっておられた学校がありました。	市民調査	男性	75～79歳	いない
23	教員数を増やして、子供達に接する時間を増やして欲しい。地域の人々が、交流し易いよう学校、市民センター等を交流の場にしていけないか？様々な世代が同じ場所に自然に集れる場ができれば、いいのではないかと思う。	市民調査	男性	55～59歳	いる
24	教員不足や、教育現場の予算の無さが見立ちます。まずは教育現場にきちんと予算をかけ、費用対効果の大きなものから改善してあげてほしいです。例えば市内学校での導入例の多いスクリレは、年数万円の追加費用でアンケート機能や個別連絡機能など、学校にも保護者にも有用な機能を付すことができます。また、保護者からの教育現場へのクレームも、市が一括して窓口を設け、一次的な窓口をつくるべき。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
25	公立の学校も私立に負けない良い部分があると思います。それを生かせたら、もっと子供達や次世代の親が公立を選ぶと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
26	子どもたちがのびのびと自分の力を伸ばしていける環境作りを期待しています。また、共働き、仕事をしながら無理のない範囲で親が学校の活動に参加できるようにしてほしいです。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
27	子育て・共働きに手厚い町として、評価をうけていることが、移住の決め手になりました。今後もかわらず注力していただけることを期待しています。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
28	子育てしやすい市だと思います。これからも期待しています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
29	子供たちがのびのびと学び生活出来る環境作りにこれからも力を入れてほしいです。“子育てしやすい街”さらなる発展を願っています。	市民調査	女性	35～39歳	いる
30	子供たちには、お金のことを気にせずに学校選びをさせてやりたい。させてあげられる、格差のない社会になってほしいです。子供支援の拡充をよろしく願います。	市民調査	女性	45～49歳	いる
31	私は、20代の頃に東京から松戸へ移り住みました。結婚して子どもも出来色々変化してくなかで、松戸市は生活しやすい所だと思っています。まだ子どもも小さいので、これからも老若男女みんなが生活しやすい松戸市であることを期待しています。子どもを守る＝親を守るだと思います。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
32	小学校で人気の格差がでていと認識しております。公立や私立で差がでることには理解できますが、公立は、差が出るべきではないと思います。(学区の問題もあり、基本的には選べない)人気の格差は不明ですが原因を追求頂き、施設の美化優秀な教育の配置をよろしく願います。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
33	少子化対策に取り組んでいるのであれば、子どもの学習などにかかる、すべてを無償化してほしい。今の時代、高校に行くのはあたりまえ、高校まで義務教育でいいと思います。どの家庭でも、受けれる権利であるべきです。子育てに苦労しない社会になってほしい。生活きつつです。	市民調査	女性	35～39歳	いる
34	少子化等により人口減少にならぬ様子子供に予算をかける事を望みます。	市民調査	女性	70～74歳	いる
35	松戸市でも、東京都のように、高校までの教育費を無償にして頂けたらありがたいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
36	松戸市独自の教育を期待しています。魅力ある教育で、他地域から松戸市に移住してくれるような、そして元から住んでいる私たちが自信を持って誇れる教育を、子供たちにしていただきたいです。	市民調査	女性	60～64歳	いない
37	他市の教育内容を見たりし、良いものは松戸市でも取りいれてほしい。	保護者調査	女性	55～59歳	いる
38	物価高の影響もあり、今習い事等にかかる費用が高騰しています。子供達には、小さい頃になるべく多くの事や人にふれ、体験させてあげたいと思いますが、月謝が高すぎるため断念することが多々あります。子供が多いとなおさらです。一部地域では、かなり抑えた月謝で教えている所もあり、魅力的です。松戸市でもそういった活動をしているのですが、もう少し範囲を広げて行って下さると嬉しいです。	市民調査	女性	40～44歳	いる
39	流山、柏と隣接し、子育てに力を入れているイメージがあります。今後もポテンシャルがある地(人が集まる)ですので、さらなる発展を願います。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
40	これからも住みやすい安全な街づくりをお願いします。MADシティと呼ばれないようにしたいです。	市民調査	男性	55～59歳	いる
41	もっと子ども達に松戸市から財源をまわして頂きたいです！松戸には県内でも数少ない、P I C Uを持っていて、小児の病院もとてもいい先生達がたくさんいます！これは他の市より、とてもすごい事です！なのに松戸は高れいの方、生活保護の方々へが優先されている気がします！というかしてます！あと！あと！ 東松戸→河原塚中学校まで！街灯が少ない！あれでは、子どもや女性が夜の通行が怖くて、自分でどこかに行く選択が失なわれます。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
42	教育というか、このままだまって見ていると子供がいなくなる。子育てしやすい地盤の整備を。それと、埼玉県川口市のように、外国人(不法滞在、不法移民)を増やさない事、子供達が狙われる。	市民調査	男性	50～54歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
43	教育は民間に任せた方がよいと思うので、民間に通う金額をサポートしていただけたらうれしいです。	保護者調査	男性	30～34歳	いる
44	子供が安心してすごせる町づくりを引き継ぎお願いします。	市民調査	男性	35～39歳	いる
45	松戸市で教育関連のお仕事をしている方々に感謝しています。子育てを松戸市で出来て、本当にありがとうございましたの一言です。登下校の見守り、小中校での先生方の部活御指導本当に頭が下がります。うちの子が、お友達、そして、先生方と、楽しい子ども時間を過ごせて、育ちました。本当に、“感謝”しています。そして、教育関係にたずさわる皆様、お身体御自愛下さいませ。感謝の言葉を添えられる機会をいただきありがとうございました。	市民調査	女性	60～64歳	いない
46	松戸市は医療施設が充実していると思うので、それをもっと充実させるような教育ができたと思います。登下校などをみていると、安全が確保されているので、トータルなマネジメントはよいと思います。	市民調査	男性	65～69歳	いない

(17) 幼稚園・保育所・放課後児童クラブ・児童館などについて

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	市立の保育所に通っていますが、通常の保育の他に特別な授業（体操や英語）があるとうれしい。習い事を検討しているが、地域の情報が少ないと感じる。（六実・五香）。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
2	学童で、トラブルなどがあった時に適切に指導がされずに、安全に過ごせないことがあった。学童の先生への研修（生徒指導の方法・遊びの教え方など）を充実させたり、人数を増やしたりして、子どもが安心・安全に過ごせるようにしてほしいです。	市民調査	女性	40～44歳	いる
3	「おやかで広場小金原」にいつも行き、大変お世話になっております。いつもさまざまなイベントを開き下さり、大変ありがたいと思っております。こどもの発達に不安があり（先生には見てもらっている）同じような悩みを持つママ達と、ざだん会など、おはなしが出来る機会があるとありがたいなと思っています。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
4	0歳から1人目保育料無料にしてください。月3万5千円は大きいです。あと1年以上払い続けるかと思うと、働いている意味を考えてしまいます。栗ヶ沢に住んでいますが、徒歩圏内に保育園が1つしかありません。現在2歳ですが、学童の枠は充分にあるのか等不安です。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
5	2歳半の子を育てていますが、障害（自閉症・恐らく知的障害）があり辛い時期がありました。その時期を乗り越える上で保健センターや地域の子育て広場（特に親子DE広場八ヶ崎）、発達センターの方等、本当に沢山の人の支えて頂きました。今後が不安ではありますが、住む場所を松戸に決めて良かったです。療育先がとても多く、選べる点もとてもありがたかったです。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
6	3歳児検診し5歳児検診を事前に幼稚園や保育園と連携して行ってほしい！	市民調査	女性	20～24歳	いる
7	保育園費用等、他市と比べお金がかかる事が多い。子育てのしやすさをうたっているがあまりそうは思わない。明石市の市長の政策等、子育て世帯に手厚ければ市に活気もでるのではないかと。また、食に力を入れてほしい。無農薬給食を希望している。子供の食生活がその後の発達障害や犯罪にまでつながってしまう情報、環境をもっと作ってほしい。	保護者調査	女性	35～39歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
8	私は今専業主婦ですが、小学校の学童の終わりが16時と聞いて留守番できる様になる中高学年は良いですが、働かされている方は小学校低学年のうちはどうされているのだろうなと思いました。保育園は充実してるように感じますが、最近あまり入れないという話も聞きました。私は立場上は違うので詳しいことはわからないので的外れなことを書いているかもしれませんが、疑問と周りの声をかかせていただきました。	保護者調査	無回答	無回答	無回答
9	一時保育施設の拡充、病時保育施設の拡充、これらの手続の簡易化(困ったときにすぐに使えるように)。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
10	学童の預け時間が長期休みが8時からでは仕事に支障が出る。7時からの預りを検討してほしい。キッズルームは更に8:30スタートで、長期休み中の環境(地域の人との交流、世代間交流、地域の人の見守り)など地域と教育が連携できたらよいと感じる。家庭だけでは、体験など環境をつくれなため、よりよい環境づくりを家庭、学校、地域でできるとよい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
11	学童保育が混ざつすぎていて、設備や職員、サービス等充実をはかってほしい。21世紀の森はすばらしいが、他の地域の公園の遊具も、充実させてほしい。みんな子どもがよいこで松戸の教育はすばらしいです。いつもありがとうございました。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
12	仕事をフルタイムでやりながら、家事、育児もできる環境が欲しい。英語教育がもう少しあるとよい。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
13	児童館、公民館などの放課後、や休日の子どもの居場所を整備してほしい(松戸地区)。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
14	保育園の入園状況が昨年よりあまり良くない為、入園率を上げて欲しい。また、申し込み方法や、入園に関する問い合わせをしても「たらい回し」の様な、回答ばかりで入園希望の人にやさしくないで更に改善を希望する。	保護者調査	無回答	無回答	無回答
15	幼稚園の助成について。他の市に通園した場合でも補助が出るようにしていただきたいです。松戸市の外れに住んでいると、他市に通園する方もたくさんいます。連携をとっていただきたいです。(送迎バス・補助金)。自動販売機に描かれている少女ですが、引越してきて10年たちますが、未だに慣れません。防犯になるような絵ではないと思います。松戸市の図書のキャラクターも苦手です。子供の目にふれるもの、公共の場所にあるものは、アニメのキャラクターの様なものではなく、万人に受け入れられるような普通のものがよいです。そういったものをかえていくのも、イメージアップになり、人口増加にもつながっていき、よりよい教育を受けられるようになると思います。	市民調査	女性	40～44歳	いる
16	流山市と松戸市の市境に居住しています。流山市と境の新松戸地域の保育園が少ないように感じました。すぐ近くに保育園があるのに流山市のために入れず、1ヶ月ではありましたが待機することになりました。近所に小さいお子さんが多くいるため流山市と協力し、市境の住民は流山市(南流山駅利用の方も多くいるため)の保育園も利用できたらいいなと勝手ながら思っています。ご検討の程よろしくお願ひ致します。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
17	夏の暑い時期や雨の日でも子供が過ごせる場所(児童館など)を増やしてほしいです。	保護者調査	無回答	45～49歳	いる
18	学童で働いています。100人をはるかに超える児童が長時間すごすところなのに、エアコンやトイレなど基本的な設備もととのっておらず、児童がイライラからトラブルに発展したり職員がケガをするようなこともあります。民間に委託しておわり、ではなく、積極的な視察や設備投資をお願いします。	保護者調査	女性	50～54歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
19	学童の環境を改善してほしい。民間学童もないので誘致してほしい。公園を管理してほしい（ゴミがあふれ、治安が悪いと感じる公園がある）。通学路にガードレールをつけてほしい。歩道にある溝蓋がベビーカーのタイヤがはまる向きに設置されている所が多いので改善してほしい。治安を良くしてほしい。市役所で（2022年にあった冊子）、保育園を下に見ているような冊子を配布するのはやめてほしい（保育園から幼稚園にうつって挨拶ができるようになったという表現は遺憾に思います）。6号を渡る陸橋（通学路）に子どもがはまるような穴ができており、直してもらってもすぐ別の穴があいて危ないので根本的な修繕してほしい。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
20	児童館（単体）が少なすぎる。これから親になる人たちは、今より更に独立すると思う。子育てがしやすい環境が必要。共働きの支援をしすぎると、保育園・幼稚園のふたんが増え、保育士の質が下がり、ますます人手不足になると思う。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
21	小学生や中学生になったら近所のどこで友達と遊んだり、勉強したりするのだろうと最近子どもの将来が不安です。去年引っ越して松戸市に住み始めましたが、学校終わりに勉強したりするスペースが少ない。新しい施設が欲しい。できれば0歳から遊べる施設だと嬉しいです。児童館も数は多いですが、古い所ばかりで足を運ぶ気にもならない。公園もほとんど同じ遊具で複合遊具がほとんどない。遊具も古く危険。子育てしやすい街だと知り引っ越してきたのにとても残念。歩道も狭く今から通学が心配です。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
22	小金原地区に児童館などなく、子供達が集まれる場所がない。松戸・新松戸・東松戸などは青少年会館や、図書館（大きくて新しい）どんどん出来ていてイベントも多いと思う。小金原地区からいくには、結局、親が車を出す必要があり。地域かく差が大きすぎる。	保護者調査	女性	35～39歳	いる
23	保育園周りの横断歩道、信号の整備を働きかけてほしい。	保護者調査	男性	30～34歳	いる
24	共働きが主流な今、幼稚園より保育園を増やした方がいいのでは？と思っています。小規模園に通っていると保育園が人気すぎて幼稚園に入る選択肢しかありません…。幼稚園も平日の行事などを少なくし保育園に合わせてもニーズがあると思っていますがいかがでしょうか？	保護者調査	女性	30～34歳	いる
25	教育の機会などよく考えられていて、今後もっと良くなる事を期待しています。しいて言えば保育園代が高いので補助していただくと助かります。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
26	子育て応援しているのであれば、昭和～変わらない、しくみを変えてほしい。学童の運営時間が8-19じでは共働き世代は大変。保育園は7-20時までやっているのに、主婦で1人っ子しかできないような毎日の宿題など見直すことをして下さい。	市民調査	女性	30～34歳	いる
27	私立幼稚園の活動を自由にさせすぎ。例、障害児を入園させない。手のかかる子をやめさせようとする。	保護者調査	男性	45～49歳	いる

(18) 公園・その他公共施設について

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	子どもの習い事の施設を充実させてほしい。	市民調査	女性	25～29歳	いる
2	21世紀の森と広場でものづくりイベントを充実して、子供のものづくりに対する意欲を地域も協力して、次世代につなげてほしい。21世紀の森と広場の付近に駅をつくることで、交通の便がよくなり、より自然を感じさせやすくなる。	保護者調査	男性	30～34歳	いる
3	ひとり親世帯が多いと思います。地域や学校関係等で無償で子供が学習できる場所や、土、日に使用できる施設で、運動の活動や、学習をできる場を増して利用できる用になると助かると思います。働く人が増えているので、子供の預け先、居場所の関係で働ける時間も変わって来ます。市で、貧困層でも子供の育成に差が出ない町づくりを行ってほしいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
4	六高台のクリーンセンターのプールの復活希望です。それができないようでしたら、遊具などを新しくしてほしいです。鎌ヶ谷の市制公園のようにしたらとてもいいと思います。よろしくお願いします。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
5	屋外遊びが難しい時期に、小学生が体をめいっぱい動かして遊べる所があると良いと感じます。	市民調査	女性	40～44歳	いる
6	柿の木台体育館の駐車場が満車の時隣接の西部防災センターの駐車場を、開放してほしいです。	市民調査	女性	50～54歳	いない
7	公園での禁止事項が多くて、楽しめません。子供から、外遊びの楽しみをうばわないでください。お願いします。	市民調査	女性	30～34歳	いる
8	公園で子供達がボールを使うと苦情が出る為か学校へTELが入り先生がボール遊びを辞める様伝えに来ている事を何回か見た事がある。公園で自由に遊べないと遊ぶ所がなく結局土手等水場の危険な所で遊ぶ様になるので公園周辺に自宅を講入する方には買う前に注意を促して欲しい。子供達のボール遊びで危険、うるさい等はある程度理解して家を買って欲しい。公園内なら大きな心で見守って頂けたらお互いに嫌な思いをしないのに…と思っています。	市民調査	女性	50～54歳	いる
9	公園の整備をして欲しいです。公園の柵からボールが道路に出てしまったり、民家の車に当たってしまったりして危なかったり、苦情が出てボール遊びが禁止になってしまい遊ぶ場所がなくなってしまっています。柵をしっかり作り直してもらいたいです。スポーツ施設などを作って欲しいです。ジムなど体を動かせる、気軽に健康作りができる場所が欲しいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
10	子供の運動能力の低下…と議論する割に、運動、とくにボールスポーツの可能な近所の公園がない、又は整備されていない。周りの子供たちで言うと、テニス（かべ打ち）や野球（キャッチボール程度）を手軽に楽しめ、周りの住民も安心してあそばせられる場所がないと思っている。子供たちの未来を考えると決して十分ではないと思っている。高齢者のお散歩とも分けて考えてあげられるとなお良い。別で道路の歩きタバコも気になっている。ポイ捨ても減ってきているとは思うけど、それは喫煙者の数が減っているだけで、道にはタバコの吸い殻は落ちていることが多い。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
11	子供達が安全に遊べる場所を作ってほしいです。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
12	市内の公園でバスケットゴールを設置してほしい。下校後の小学校の校庭を開放してほしい。プールの授業を増やして、泳げる力を身につけてほしい。	保護者調査	女性	40～44歳	いる

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
13	車がとめてある近くでボールをけったりして遊んでいることをよくみかける。車にひかれる可能性も、車にボールが当たる可能性もあり、危ないと感じる。家の扉にボールをぶつけられたこともあり、子どもたちの遊び場が減少しているから遊ぶ場所が住宅近くの危ない場所になるのかと感じた。安全で広い遊び場が増えるといいなと思いました。（小さい子用と小学生用と分けられたら尚よい）。	市民調査	女性	30～34歳	いない
14	周辺の市（柏、船橋、市川他）に比べて財政難なのは分かりますが、公園の設備、トイレが古く汚い、そもそも公園や子供達が遊べる（勉強できる）公共施設が少ないです。（今ある所も不便な立地が多い）なので市外の施設を利用しています。空き地や古い建物があった場所にはマンションや老人介護施設ばかり建ち若い人、子供達には魅力のない街の様に思います。元気な高齢者の方をもっと活用したら良いと思います。（子供達への理解も）。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
15	暑い日や雨の日等外で遊べない日に子どもの遊べる室内を開放（遊具なくてもスペースだけでも）してほしい。放課後（休日）の校庭の開放。同じ子どもでも2～3歳と小学校では遊ぶレベルも違うので広いスペースがあると良い。地域の繋がりが少ない。挨拶運動とかを企画してほしい。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
16	小金原地区に、子供が勉強したり、集まる場所がない。ひがまつテラスのような場を提供いただきたいです。松戸市の中でも地域格差があるように思います。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
17	松戸市独自の給付金額がもう少し増えるといいです。公共の建物が古いところが多いので修繕してもらえると嬉しいです。（平潟公園が新しい遊具になりとてもよかった。雑草？等草が多いのでどうにかできないでしょうか…？）。せめて遊ぶ広場のところ、真ん中らへん。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
18	他の地域は分かりませんが、松戸駅周辺にもっと子どもが遊びやすい公園等を増やしてほしいです。子どもが遊びやすい明るいイメージがある場所が少ないように感じます。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
19	放課後や休日に、子供たちだけで遊べる場がもっとあってほしいです。学童保育→私が専業主婦なので利用できない。公園→雨の日、暑い、寒い。公共の、「ニンジャパーク」のような施設があればいいと思います。ありがとうございます。	保護者調査	女性	50～54歳	いる
20	問7に関連して、1点要望です。市内の施設を借りた時に、ある施設はネット予約で当日払いだったので、他の施設もそうだろうと思っていたら、市民劇場の会議室はネット予約から1週間以内に支払いに来なかったので自動キャンセルしましたと当日言われ、とても困りました。同じ市内の施設であれば、予約方法は統一してほしいです。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
21	問7の「施設利用手続きの簡素化」について、ぜひ実現してほしいです。特に、支払手続きが「現地支払い」だけではない、振込などの様々な手続きがとれる様になったら嬉しいです。	市民調査	女性	35～39歳	いない
22	現在、私の暮している八ヶ崎地域は1ヶ建住居が多く、子供達が自由に遊べる環境が少ない。	市民調査	男性	75～79歳	いない

(19) アンケートについて

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	突然送られてきたアンケートだったので、主旨を良く理解していませんが、何歳になっても学び続けることは大切だと思っています。「学ぶ」楽しさを知ることができる計画であると良いなと思います。こういった活動から市政にも良い影響を及ぼせると良いと思います。今後の活動に期待しています。	市民調査	女性	55～59歳	いない
2	Webアンケートにすれば郵送費の削減になりませんか？公園へのトイレの設置や子供達が一日中遊んでいられる公園の整備、提携している千葉ジェッツ等のプロスポーツチームと協力してスポーツ環境の整備をお願いしたいです。	市民調査	男性	40～44歳	いる
3	アンケートの回答内容が活用されることを期待します。	保護者調査	女性	30～34歳	いる
4	アンケートはネットでお願いします。	市民調査	男性	60～64歳	いる
5	このアンケートは高齢者にはあまりわからないし必要性がなくてももう少し若い人に出して下さいね。	市民調査	無回答	無回答	無回答
6	このアンケートを学校経由で保護者宛てアプリでの回答求めた方がスムーズでお金を掛けずに出来ると思います。Googleで簡単に作れますよ。	保護者調査	男性	50～54歳	いる
7	このアンケートを無作為に行っている時点でおかしい。市内の教育に反映させたいのなら現在の子育て世帯を対象として行うべき。義務教育を終えてから随分と経つ高齢者が回答した所で今後の学生の為にはならないと考える。現在、そしてこれから学んでいく子どもが主体的な学びを得られるようアンケートをとるならターゲットを絞って有意義なものにすべき。現在大学で教育や保育を学んでいる身として、子どもの学びの軸を大人が判断するようなアンケートの内容がありえないと思った。	市民調査	女性	18～19歳	いない
8	このようなアンケートはデジタル化してほしい。	保護者調査	男性	35～39歳	いる
9	基本計画の策定に当って、広く意見を聞くことは、大変良いことだと思います。世情は複雑化しており、多様化する中で、ご苦労様です。	市民調査	男性	80歳以上	いない
10	子どもなのか保護者なのか質問がわかりにくい。子どもの回答欄保護者の回答欄は分けた方がよい。※ここから保護者への質問です。など…。	保護者調査	男性	45～49歳	いる
11	市民アンケートの企画ありがとうございます。松戸市が良くなっていく取組みだと感じ、期待しております。	市民調査	男性	30～34歳	いる
12	若い方にアンケートを調査実施して下さいをお願いしたいと思います。私は78才の女性です。	市民調査	女性	75～79歳	いない
13	大変ですが集計よろしくをお願いします！	市民調査	男性	50～54歳	いない
14	担当の勉強不足、責任のがれ。無ダ使い。設問→実行期待薄。設問→意図、内容よく解らない。	市民調査	男性	80歳以上	いる
15	予定調和な質問が多く、何を見つけようとするのか明確でない。自分たち役所の仕事をつくる正当化するためのアンケートにしか見えない。「すぐやる課」で名をとどろかした松戸市とは思えない。何を改革しようとするのか進化と創造の息吹が感じられない並の役所に成り下がったのでは？	市民調査	男性	65～69歳	いる
16	私の様に90才になる人に、このような問題はよく分かりません。間違っているかも知れませんが、よくお考え下さい。	市民調査	無回答	無回答	無回答

(20) その他

No.	記述内容	調査の種類	性別	年齢	同居の子供
1	女性が働ける（男性と同じ位の給与）、場所が欲しい。情報、チャンスを与える場。塾などの助成金。（お金が無いと塾で受験対策もできない）。	保護者調査	女性	45～49歳	いる
2	新松戸駅前の再開発に伴い、治安向上に務めてほしい。これから開発が進む中、不法移民と思われる外国人が毎日のようにたむろし、酒盛りをして騒いでおり治安が悪い！ 駅前ではJASRACにお金を払っていないと思われる店から音楽が鳴り響いている。とても子供だけで塾に通わせられない。松戸市と警察が連携して取り締まりを強化してほしい。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
3	地域交流や学校行事において治安の悪化した状態では何もできない。原因は有害外国人であり、その排除をして治安の維持向上を実施しなければ、教育に進めない。	保護者調査	男性	40～44歳	いる
4	電車やバスの中で大声でしゃべる中国人、公園の近くの路上で酒をのみながらたむろする中東系の外国人、集団で民族衣装をきて、強い香水をつけてるインド系の外国人が公園でBBQ（普通のその辺の公園）子供たちだけで遊んでおいでといえない状況になっています。松戸市50万人突破でお祝いとか頭がおかしいのかと、いわざるをえないです。幼稚園時、療育所は、外国人だらけ、しかもルールを守らない。（少額でもいいので）無料はせめて払わせてください（ただの託児所になっているので）。	保護者調査	女性	40～44歳	いる
5	東京都の様に大人が得する事も考えてほしい。長年住んでますが都心がうらやましいです。子供だけでなく60才以上の事も考えて下さい。	市民調査	女性	80歳以上	いる

Ⅲ 調査票

【市民調査】

〈松戸市教育振興基本計画策定のための市民アンケート調査〉

● アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市教育委員会では、今後の本市教育政策の方向性等を定めるため、「(仮) 学びの松戸モデル (松戸市教育振興基本計画・第1期)」の策定を進めています。

そこで、市民の皆様の教育に関する活動状況や意識などを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

なお、今回の調査では、住民基本台帳から、18歳以上の市民を無作為に1,500人選ぶとともに、18歳未満のお子さんをお持ちの保護者を無作為に1,500人選び、計3,000人の方に、ご協力をお願いしております(年齢は令和7年3月末日現在を基準としています)。

アンケートの結果は統計的に処理し、回答された方が特定されるようなことは一切ございません。また、調査の目的以外には使用いたしませんので、皆様の率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和7年8月

松戸市教育委員会 教育長 波田 寿一

ご記入にあたって

1. 質問には、必ず本人(封筒に「〇〇〇〇様」と記載されている場合は封筒の宛名の方、「〇〇〇〇様 保護者様」と記載されている場合は封筒の宛名の保護者の方)がお答えください。
2. この調査にお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、日頃ご自身が考えていること、または行っていることをお答えください。
3. 回答は、質問により、1つだけを選ぶもの、または複数選ぶものがあります。当てはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、次の質問につながるものがありますので、ご注意ください。
5. 回答が「その他」の場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

令和7年8月25日(月)までにポストにご投函ください

この調査に関するご質問やご意見などがございましたら、下記にお問合せ下さい。

〒271-8588 松戸市根本356番地 京葉ガスF松戸ビル5階

松戸市教育委員会 生涯学習部 教育政策研究課

電話：(047)703-9811

土日・休日を除く 8時30分～17時

1. 「生涯学習」についてお伺いします

※「生涯学習」とは、人々が生涯に行うあらゆる学習（学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など）を、さまざまな場や機会において行う学習のことを指します。

問1 現在、あなたは生涯学習に関して自主的に活動していますか。または以前に活動していましたか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---|--------------------|-------------------|
| 1 | 現在活動している | (⇒問2、3にお答えください) |
| 2 | 以前は活動していたが、今はしていない | (⇒問2、3、4にお答えください) |
| 3 | 今まで活動したことはない | (⇒問4にお答えください) |

▶(「現在活動している」、または「以前活動していた」方)

問2 あなたが現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動について、
市内・市外別にお答えください。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

		市内で 活動	市外で 活動
1	教養的なもの(文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など)	1	1
2	文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など)	2	2
3	社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	3	3
4	まちづくりに関するもの(ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど)	4	4
5	スポーツに関するもの(野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど)	5	5
6	健康に関するもの(健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など)	6	6
7	就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)	7	7
8	仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)	8	8
9	家庭での生活に役立つ技能(料理、日曜大工など)	9	9
10	子育てや教育に関するもの	10	10
11	ICT(情報通信技術)に関するもの (スマートフォン・パソコン・インターネットなど)	11	11
12	ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの(環境、福祉、防災など)	12	12
13	自然体験や生活体験などの体験活動	13	13
14	囲碁、将棋、麻雀などの趣味	14	14
15	その他(具体的に：)	15	15
16	活動したことはない	16	16

(引き続き「現在活動している」、または「以前活動していた」方)

問3 あなたが自主的な学習活動を行っている(いた)目的は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 生きがいを持つため
- 2 教養を高めるため
- 3 自由時間を有意義に過ごすため
- 4 健康を保つため
- 5 家庭での生活をよりよくするため
- 6 友達づくり・仲間づくりのため
- 7 仕事や就職・転職に役立てるため
- 8 社会参加やボランティア活動に役立たせるため
- 9 地域や社会をよりよくするため
- 10 その他(具体的に：)
- 11 特に目的はない

(「以前活動していた」、または「活動したことはない」方)

問4 あなたが現在、自主的な学習活動を行っていない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 学びたい学習活動が近くにない
- 2 学習活動に関する情報がない、または入手の方法がわからない
- 3 学習活動について相談できる相手がいない
- 4 時間的に余裕がない
- 5 学びたい学習活動の時間と、自分のスケジュールが合わない
- 6 体力・健康に自信がない
- 7 費用が高い
- 8 適切な講師・指導者がいない
- 9 一緒に活動できる仲間がいない
- 10 自分の求める内容が見つからない
- 11 人間関係がわずらわしい
- 12 学習活動を行う必要性を感じない
- 13 学習活動以外にやりたいことがある
- 14 その他(具体的に：)
- 15 特に理由はない

(すべての方)

問5 あなたが今後やってみたい学習活動はありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 教養的なもの(文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など)
- 2 文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など)
- 3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)
- 4 まちづくりに関するもの(ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど)
- 5 スポーツに関するもの(野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど)
- 6 健康に関するもの(健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など)
- 7 就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)
- 8 仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)
- 9 家庭での生活に役立つ技能(料理、日曜大工など)
- 10 子育てや教育に関するもの
- 11 ICT(情報通信技術)に関するもの(スマートフォン・パソコン・インターネットなど)
- 12 ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの(環境、福祉、防災など)
- 13 自然体験や生活体験などの体験活動
- 14 囲碁、将棋、麻雀などの趣味
- 15 その他(具体的に：)
- 16 今後やってみたい学習活動はない

問6 学習活動で得た知識や技術は、どのように活かしていきたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 より豊かな人生を送りたい
- 2 誰かに身につけたことを教えたり、伝えたりしたい
- 3 家庭生活に役立てたい
- 4 友達や仲間を増やしたい
- 5 仕事を続けたり、就職・転職に役立てたりしたい
- 6 セカンドキャリアに役立てたい
- 7 社会参加やボランティア活動に役立てたい
- 8 地域や社会をよりよくしたい
- 9 学習成果の発表機会をつくりたい
- 10 学ぶこと自体が楽しいので、特に何かに活かそうとは思っていない
- 11 その他(具体的に：)
- 12 特にない・わからない

問7 今後、市民の方が学びたい時に学べるようにするため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 多様な内容の講座や講演会などを開催する（仕事に役立つものなど）
- 2 多様な時間帯の講座を充実させる（休日や夜間など）
- 3 託児付きの講座を充実させる
- 4 講座や講演会などの情報をわかりやすく提供する
- 5 指導者やリーダーを確保したり、育成したりする
- 6 施設の開館時間を延長する
- 7 施設の利用手続きを簡素化させる
- 8 学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる（受講後、講師として活躍するなど）
- 9 学習・活動に関する相談体制を充実させる
- 10 地域団体の活動を支援する
- 11 学校施設を開放する
- 12 図書館を充実させる
- 13 博物館・戸定歴史館を充実させる
- 14 森のホール21・市民会館・市民劇場・文化ホールを充実させる（鑑賞や発表の場など）
- 15 公民館・青少年会館などでの講座を充実させる
- 16 大学など教育機関との連携した講座を充実させる
- 17 企業と連携した講座を充実させる
- 18 年齢、障害の有無、文化的背景などに関わらず、誰もが学びやすい環境や教材、学習方法を整備する
- 19 その他（具体的に： _____)
- 20 特にない・わからない

2.ここからは、松戸市の子供への教育全般についてお伺いします

問9 あなたは、松戸市の子供たちにどのように育て欲しいと思いますか。お子さんがいる、いないに関わらず、松戸市の子供全体についてお答えください。

(あてはまる番号3つまでを回答欄に記入)

- 1 学力がある
- 2 論理的に思考できる
- 3 情報や情報手段を主体的に選択できる
- 4 語学力がある
- 5 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する
- 6 互いを尊重し、認め合える
- 7 たくましく生きるための健康や体力がある
- 8 ふるさとを愛し、大切にできる
- 9 人と協調し、助け合える
- 10 社会の変化に対応し、自ら学び続ける
- 11 困難な問題にねばり強く取り組める
- 12 自分の思いが表現でき、人と対話できる
- 13 人や美しいものと出会い、感動できる
- 14 ルールを守り、よりよい社会づくりに参加できる
- 15 その他（具体的に： _____)
- 16 特にない

(回答欄)

--	--	--

問 10 子供たちが成長する上で、ア)～セ)の事柄について、あなたはふだんの生活の中でどの程度問題だと感じていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

		とても問題だ と思う	やや問題 だと思う	あまり 問題だ と思わない	問題だ と思わない
ア)	いじめや不登校の増加	1	2	3	4
イ)	SNSやスマートフォンの普及による悪影響	1	2	3	4
ウ)	有害図書や性情報の氾濫	1	2	3	4
エ)	服装や言葉遣い、生活習慣の乱れ	1	2	3	4
オ)	登下校時における危険（交通安全や不審者によるつきまといなど）	1	2	3	4
カ)	屋外での遊びや自然体験の減少	1	2	3	4
キ)	社会のルールやモラルを守る意識の低下	1	2	3	4
ク)	家庭におけるコミュニケーションの低下	1	2	3	4
ケ)	家庭の教育力の低下	1	2	3	4
コ)	家庭の経済力格差	1	2	3	4
サ)	学校・家庭・地域のつながりの低下	1	2	3	4
シ)	児童虐待	1	2	3	4
ス)	業務多忙により、教員が児童生徒との時間を十分に確保できない	1	2	3	4
セ)	環境やエネルギーをめぐる問題	1	2	3	4

問11 子供たちが以下のア)～ソ)のような力や態度を身につけるために、(1)学校、(2)家庭、(3)地域のいずれで学んだ方がよいと思いますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)
		どちらかと いえば、 学校 で学んだほ うがよい	どちらかと いえば、 家庭 で学んだほ うがよい	どちらかと いえば、 地域 で学んだほ うがよい
ア)	命の尊さや人を思いやる心	1	2	3
イ)	将来の生き方や進路について考える力	1	2	3
ウ)	論理的にものを考える力	1	2	3
エ)	自分の考えを表現する力	1	2	3
オ)	物事を計画的に行う力	1	2	3
カ)	善悪を判断する力	1	2	3
キ)	人と協調し、人間関係を築く力	1	2	3
ク)	社会で役立つ心や公共心	1	2	3
ケ)	物事をやり遂げる粘り強さ	1	2	3
コ)	社会生活に必要な常識やマナー	1	2	3
サ)	基本的な生活習慣	1	2	3
シ)	食生活などを通じた健康的な生活の維持	1	2	3
ス)	体力や運動能力	1	2	3
セ)	人とのコミュニケーション能力	1	2	3
ソ)	ふるさとを愛する心	1	2	3

問 12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 基本的なしつけや、規則正しい生活習慣を確立する
- 2 親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる
- 3 家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる
- 4 親が家庭教育に関する知識や情報を得る
- 5 親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる
- 6 子供の教育や子育てに関する悩みを、相談窓口相談する
- 7 家での学習や読書の習慣をつくる
- 8 自分自身や家族を大切にすることを育む
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特になし

問 13 地域の教育力を高めるために、地域ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 地域の子供たちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う
- 2 地域全体で子供を育てていこうという共通の意識を住民が持つ
- 3 大人自身のマナーやモラルを向上させる
- 4 クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする
- 5 非行等問題行動に対して地域ぐるみで取り組む
- 6 年代間の交流を深めるため、地域の伝統芸能や文化活動を充実させる
- 7 地域での子供に関する活動やイベントなどを充実させる
- 8 親や子供に対して、子育てに関する講座を開催したり、チラシを配る
- 9 子供にボランティア活動の場を提供したり、指導者への支援を行う
- 10 親子や子供同士が触れ合い、関わり合い、安全に遊べる場を充実させる
- 11 健全育成に関して、話し合える場や相談窓口を充実させる
- 12 子供に有害な情報や環境を取り除く
- 13 部活動の地域展開に向けて、受け皿づくりを進める
- 14 その他（具体的に： _____)
- 15 特になし

3. ここからは、学校での教育や指導についてお伺いします

問 14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 教科の学力をのばす
- 2 学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める
- 3 自分に合った学び方を学び、自ら考える力を身につける
- 4 クラスメイトと教え合うなど、みんなと一緒に学んで学ぶ力を高め合う
- 5 簡単に答えの出ない問題に対してクラスメイトなどと対話し、みんなが納得できる答えを導き出す
- 6 日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける
- 7 外国語を用いてコミュニケーションがとれる力を身につける
- 8 日本語を適切に用いて思考力・表現力・判断力の基礎を養う
- 9 社会のルールやモラルを守る心を育む
- 10 人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む
- 11 芸術や文化を愛する心を育む
- 12 地域の伝統文化や歴史を学び、郷土愛を育む
- 13 地域や社会に貢献する公共の精神を培う
- 14 障害の有無、病気の有無などに関わりなく助け合える心を育む
- 15 将来の進路や職業を考えさせる
- 16 防災、防犯について教える
- 17 環境やエネルギーをめぐる問題について教える
- 18 健康や食について教える
- 19 健康管理、体力やスポーツの能力を向上させる
- 20 その他（具体的に： _____)
- 21 特に期待しない

問 15 市立小中学校で実施されている「言語活用科」という科目をご存じですか。

※「言語活用科」とは、生きる力の基盤となる「ことばの力」を育むため、松戸市のすべての市立小中学校で独自で実施している授業です。英語学習の基礎的な力を身につける「英語分野」と、思考・表現の基礎を学ぶ「日本語分野」から構成されています。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 内容も含めて知っている | 3 名前は知っている (内容は知らない) |
| 2 内容の一部は知っている | 4 まったく知らない |

問 16 あなたは、「言語活用科」の取り組みに、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 論理的・批判的思考力を高めること | |
| 2 コミュニケーション能力を高めること | |
| 3 自分の意見をわかりやすく伝えることができる力を高めること | |
| 4 相手の伝えようとしていることを理解する力を高めること | |
| 5 日本語で自分の意見を書く力を高めること | |
| 6 英語を学ぶ楽しさを知ること | |
| 7 その他 (具体的に： _____) | |
| 8 特に期待しない・知らない | |

問 17 あなたは、タブレットを活用した I C T (情報通信技術)教育をご存じですか。

※文部科学省では、子供たちがそれぞれの進度に合わせて学びを進められ、子供たち同士で教え合えるような授業の実現に向け、1人1台のタブレット端末を整備しています。松戸市でも1人1台端末を活用した授業に取り組んでいます。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 内容も含めて知っている | 3 名前は知っている (内容は知らない) |
| 2 内容の一部は知っている | 4 まったく知らない |

問 18 あなたは、I C T (情報通信技術)教育に、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------------------|---|
| 1 パソコン・タブレット・スマートフォンなどの I C T 機器を使いこなす力を身につける | |
| 2 プログラミング能力を身につける | |
| 3 生成 A I (人工知能) を適切に使う力を身につける | |
| 4 自分に合った学び方を知り、自ら考える力を身につける | |
| 5 クラスメイトなどと教え合い、みんなと一緒に学べる力を身につける | |
| 6 情報モラルを身につける | |
| 7 自宅でも学習できる | |
| 8 その他 (具体的に : |) |
| 9 特に期待しない・知らない | |

問 19 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。
現在参加しているものも含めてお答えください。 (あてはまる番号すべてに○)

- 1 学校の施設を活用した地域の行事や活動
- 2 子供たちの安全を見守る活動
- 3 学校の授業を支援する活動
- 4 P T A活動
- 5 P T A活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)
- 6 その他 (具体的に：)
- 7 参加したことはない

問 20 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加してみたいものは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 学校の施設を活用した地域の行事や活動
- 2 子供たちの安全を見守る活動
- 3 学校の授業を支援する活動
- 4 P T A活動
- 5 P T A活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)
- 6 その他 (具体的に：)
- 7 参加できない・参加したくない

→(「参加できない・参加したくない」と回答した方)

問 21 あなたが「参加できない・参加したくない」と回答された理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 仕事が忙しいから
- 2 活動の間、子供や家族の面倒をみてくれる人がいないから
- 3 配偶者／パートナー／他の家族がすでに参加しているから
- 4 自分の学習活動・地域活動で忙しいから
- 5 塾や習い事に子供を通わせることで手一杯だから
- 6 自分の子供以外の子供に、どのように接していいかわからないから
- 7 子育てや教育に関心がないから
- 8 その他 (具体的に：)
- 9 特に理由はない

最後に、あなたご自身についてお伺いします

F 1 あなたの性別をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1 女性	2 男性	3 回答しない
------	------	---------

F 2 あなたの年齢をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1 18～19歳	6 40～44歳	11 65～69歳
2 20～24歳	7 45～49歳	12 70～74歳
3 25～29歳	8 50～54歳	13 75～79歳
4 30～34歳	9 55～59歳	14 80歳以上
5 35～39歳	10 60～64歳	

F 3 あなたと同居されているお子さんはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

<input checked="" type="radio"/> 1 いる	2 いない
---------------------------------------	-------

→(お子さんが「いる」方)

F 4 あなたご自身のお子さんについて、あてはまるものをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1 乳幼児(保育園等に通園していない)	6 高校生・高等専門学校生
2 保育園・認定こども園・幼稚園	7 短大生・専門学校生
3 小学校低学年	8 大学生・大学院生
4 小学校高学年	9 社会人
5 中学生	10 その他

F 5 あなたの世帯構成をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1 ひとり世帯 |
| 2 夫婦のみ世帯 |
| 3 親と子供世帯 |
| 4 親と子供と孫の3年代以上の世帯 |
| 5 その他(具体的に:) |

F 6 あなたの職業をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 会社員 | 6 学生 |
| 2 公務員(教員、団体職員などを含む) | 7 専業主婦(夫) |
| 3 自営業(農業を含む) | 8 無職 |
| 4 アルバイトやパートなどの臨時雇用 | |
| 5 その他の職業 | |

F 7 あなたの居住地区はどこですか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 松戸(本庁)地区 | 6 東部(東松戸)地区 |
| 2 矢切地区 | 7 新松戸地区 |
| 3 小金地区 | 8 馬橋地区 |
| 4 常盤平地区 | 9 小金原地区 |
| 5 六実地区 | 10 わからない |

F 8 あなたは、松戸市教育委員会からの教育情報や市立学校からの情報を、主に何によって入手しているかお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------------------------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 7 市公式SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)(LINE・X・Facebook) |
| 2 新聞・雑誌 | 8 市教育委員会からのパンフレット類 |
| 3 広報誌(広報まつど) | 9 市立学校からのお知らせ |
| 4 広報誌(教育広報「みらいドア」) | 10 その他() |
| 5 市教育委員会のホームページ | 11 特にない |
| 6 市立学校(小・中・高)のホームページ | |

自由記入欄

(松戸市の教育に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記入してください。)

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和7年8月25日(月)までにポストにご投函ください

【保護者調査】

〈松戸市教育振興基本計画策定のための市民アンケート調査〉

● アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市教育委員会では、今後の本市教育政策の方向性等を定めるため、「(仮) 学びの松戸モデル (松戸市教育振興基本計画・第1期)」の策定を進めています。

そこで、市民の皆様の教育に関する活動状況や意識などを把握するため、アンケート調査を実施することといたしました。

なお、今回の調査では、住民基本台帳から、18歳以上の市民を無作為に1,500人選ぶとともに、18歳未満のお子さんをお持ちの保護者を無作為に1,500人選び、計3,000人の方に、ご協力をお願いしております(年齢は令和7年3月末日現在を基準としています)。

アンケートの結果は統計的に処理し、回答された方が特定されるようなことは一切ございません。また、調査の目的以外には使用いたしませんので、皆様の率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和7年8月

松戸市教育委員会 教育長 波田 寿一

ご記入にあたって

1. 質問には、必ず本人(封筒に「〇〇〇〇様」と記載されている場合は封筒の宛名の方、「〇〇〇〇様 保護者様」と記載されている場合は封筒の宛名の保護者の方)がお答えください。
2. この調査にお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、日頃ご自身が考えていること、または行っていることをお答えください。
3. 回答は、質問により、1つだけを選ぶもの、または複数選ぶものがあります。当てはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、次の質問につながるものがありますので、ご注意ください。
5. 回答が「その他」の場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

令和7年8月25日(月)までにポストにご投函ください

この調査に関するご質問やご意見などがございましたら、下記にお問合せ下さい。

〒271-8588 松戸市根本356番地 京葉ガスF松戸ビル5階

松戸市教育委員会 生涯学習部 教育政策研究課

電話：(047)703-9811

土日・休日を除く 8時30分～17時

1. 「生涯学習」についてお伺いします

※「生涯学習」とは、人々が生涯に行うあらゆる学習（学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など）を、さまざまな場や機会において行う学習のことを指します。

問1 現在、あなたは生涯学習に関して自主的に活動していますか。または以前に活動していましたか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---|--------------------|-------------------|
| 1 | 現在活動している | (⇒問2、3にお答えください) |
| 2 | 以前は活動していたが、今はしていない | (⇒問2、3、4にお答えください) |
| 3 | 今まで活動したことはない | (⇒問4にお答えください) |

▶(「現在活動している」、または「以前活動していた」方)

問2 あなたが現在行っている、または今までに行ったことのある学習活動について、
市内・市外別にお答えください。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

		市内で 活動	市外で 活動
1	教養的なもの（文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など）	1	1
2	文化・芸術に関するもの（音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など）	2	2
3	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	3	3
4	まちづくりに関するもの（ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど）	4	4
5	スポーツに関するもの（野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど）	5	5
6	健康に関するもの（健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など）	6	6
7	就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）	7	7
8	仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの（資格取得、リカレント教育など）	8	8
9	家庭での生活に役立つ技能（料理、日曜大工など）	9	9
10	子育てや教育に関するもの	10	10
11	ICT(情報通信技術)に関するもの (スマートフォン・パソコン・インターネットなど)	11	11
12	ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの（環境、福祉、防災など）	12	12
13	自然体験や生活体験などの体験活動	13	13
14	囲碁、将棋、麻雀などの趣味	14	14
15	その他（具体的に：)	15	15
16	活動したことはない	16	16

(引き続き「現在活動している」、または「以前活動していた」方)

問3 あなたが自主的な学習活動を行っている(いた)目的は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 生きがいを持つため | |
| 2 | 教養を高めるため | |
| 3 | 自由時間を有意義に過ごすため | |
| 4 | 健康を保つため | |
| 5 | 家庭での生活をよりよくするため | |
| 6 | 友達づくり・仲間づくりのため | |
| 7 | 仕事や就職・転職に役立てるため | |
| 8 | 社会参加やボランティア活動に役立たせるため | |
| 9 | 地域や社会をよりよくするため | |
| 10 | その他(具体的に: |) |
| 11 | 特に目的はない | |

(「以前活動していた」、または「活動したことはない」方)

問4 あなたが現在、自主的な学習活動を行っていない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 学びたい学習活動が近くにない | |
| 2 | 学習活動に関する情報がない、または入手の方法がわからない | |
| 3 | 学習活動について相談できる相手がいない | |
| 4 | 時間的に余裕がない | |
| 5 | 学びたい学習活動の時間と、自分のスケジュールが合わない | |
| 6 | 体力・健康に自信がない | |
| 7 | 費用が高い | |
| 8 | 適切な講師・指導者がいない | |
| 9 | 一緒に活動できる仲間がいない | |
| 10 | 自分の求める内容が見つからない | |
| 11 | 人間関係がわずらわしい | |
| 12 | 学習活動を行う必要性を感じない | |
| 13 | 学習活動以外にやりたいことがある | |
| 14 | その他(具体的に: |) |
| 15 | 特に理由はない | |

(すべての方)

問5 あなたが今後やってみたい学習活動はありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 教養的なもの(文学、歴史、文化財、哲学、科学、語学など)
- 2 文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道など)
- 3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)
- 4 まちづくりに関するもの(ファシリテーション、コミュニティ・デザインなど)
- 5 スポーツに関するもの(野球、サッカー、バスケットボール、テニス、ダンスなど)
- 6 健康に関するもの(健康法、食事・栄養、ヨガ、瞑想など)
- 7 就職や転職の上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)
- 8 仕事を続ける上で必要な知識や技能に関するもの(資格取得、リカレント教育など)
- 9 家庭での生活に役立つ技能(料理、日曜大工など)
- 10 子育てや教育に関するもの
- 11 ICT(情報通信技術)に関するもの(スマートフォン・パソコン・インターネットなど)
- 12 ボランティア・地域づくり活動のために必要な知識・技能に関するもの(環境、福祉、防災など)
- 13 自然体験や生活体験などの体験活動
- 14 囲碁、将棋、麻雀などの趣味
- 15 その他(具体的に：)
- 16 今後やってみたい学習活動はない

問6 学習活動で得た知識や技術は、どのように活かしていきたいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 より豊かな人生を送りたい
- 2 誰かに身につけたことを教えたり、伝えたりしたい
- 3 家庭生活に役立てたい
- 4 友達や仲間を増やしたい
- 5 仕事を続けたり、就職・転職に役立てたりしたい
- 6 セカンドキャリアに役立てたい
- 7 社会参加やボランティア活動に役立てたい
- 8 地域や社会をよりよくしたい
- 9 学習成果の発表機会をつくりたい
- 10 学ぶこと自体が楽しいので、特に何かに活かそうとは思っていない
- 11 その他(具体的に：)
- 12 特にない・わからない

問7 今後、市民の方が学びたい時に学べるようにするため、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 多様な内容の講座や講演会などを開催する（仕事に役立つものなど）
- 2 多様な時間帯の講座を充実させる（休日や夜間など）
- 3 託児付きの講座を充実させる
- 4 講座や講演会などの情報をわかりやすく提供する
- 5 指導者やリーダーを確保したり、育成したりする
- 6 施設の開館時間を延長する
- 7 施設の利用手続きを簡素化させる
- 8 学習・活動成果が活かせる場や機会をつくる（受講後、講師として活躍するなど）
- 9 学習・活動に関する相談体制を充実させる
- 10 地域団体の活動を支援する
- 11 学校施設を開放する
- 12 図書館を充実させる
- 13 博物館・戸定歴史館を充実させる
- 14 森のホール21・市民会館・市民劇場・文化ホールを充実させる（鑑賞や発表の場など）
- 15 公民館・青少年会館などでの講座を充実させる
- 16 大学など教育機関との連携した講座を充実させる
- 17 企業と連携した講座を充実させる
- 18 年齢、障害の有無、文化的背景などに関わらず、誰もが学びやすい環境や教材、学習方法を整備する
- 19 その他（具体的に： _____)
- 20 特にない・わからない

2.ここからは、松戸市の子供への教育全般についてお伺いします

問9 あなたは、松戸市の子供たちにどのように育て欲しいと思いますか。お子さんがいる、いないに関わらず、松戸市の子供全体についてお答えください。

(あてはまる番号3つまでを回答欄に記入)

- 1 学力がある
- 2 論理的に思考できる
- 3 情報や情報手段を主体的に選択できる
- 4 語学力がある
- 5 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する
- 6 互いを尊重し、認め合える
- 7 たくましく生きるための健康や体力がある
- 8 ふるさとを愛し、大切にできる
- 9 人と協調し、助け合える
- 10 社会の変化に対応し、自ら学び続ける
- 11 困難な問題にねばり強く取り組める
- 12 自分の思いが表現でき、人と対話できる
- 13 人や美しいものと出会い、感動できる
- 14 ルールを守り、よりよい社会づくりに参加できる
- 15 その他（具体的に： _____)
- 16 特にない

(回答欄)

--	--	--

問 10 子供たちが成長する上で、ア)～セ)の事柄について、あなたはふだんの生活の中でどの程度問題だと感じていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

		とても問題だ と思う	やや問題 だと思う	あまり 問題だ と思わない	問題だ と思わない
ア)	いじめや不登校の増加	1	2	3	4
イ)	SNSやスマートフォンの普及による悪影響	1	2	3	4
ウ)	有害図書や性情報の氾濫	1	2	3	4
エ)	服装や言葉遣い、生活習慣の乱れ	1	2	3	4
オ)	登下校時における危険（交通安全や不審者によるつきまといなど）	1	2	3	4
カ)	屋外での遊びや自然体験の減少	1	2	3	4
キ)	社会のルールやモラルを守る意識の低下	1	2	3	4
ク)	家庭におけるコミュニケーションの低下	1	2	3	4
ケ)	家庭の教育力の低下	1	2	3	4
コ)	家庭の経済力格差	1	2	3	4
サ)	学校・家庭・地域のつながりの低下	1	2	3	4
シ)	児童虐待	1	2	3	4
ス)	業務多忙により、教員が児童生徒との時間を十分に確保できない	1	2	3	4
セ)	環境やエネルギーをめぐる問題	1	2	3	4

問11 子供たちが以下のア)～ソ)のような力や態度を身につけるために、(1)学校、(2)家庭、(3)地域のいずれで学んだ方がよいと思いますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)
		どちらかと いえば、 学校 で学んだほ うがよい	どちらかと いえば、 家庭 で学んだほ うがよい	どちらかと いえば、 地域 で学んだほ うがよい
ア)	命の尊さや人を思いやる心	1	2	3
イ)	将来の生き方や進路について考える力	1	2	3
ウ)	論理的にものを考える力	1	2	3
エ)	自分の考えを表現する力	1	2	3
オ)	物事を計画的に行う力	1	2	3
カ)	善悪を判断する力	1	2	3
キ)	人と協調し、人間関係を築く力	1	2	3
ク)	社会で役立つ心や公共心	1	2	3
ケ)	物事をやり遂げる粘り強さ	1	2	3
コ)	社会生活に必要な常識やマナー	1	2	3
サ)	基本的な生活習慣	1	2	3
シ)	食生活などを通じた健康的な生活の維持	1	2	3
ス)	体力や運動能力	1	2	3
セ)	人とのコミュニケーション能力	1	2	3
ソ)	ふるさとを愛する心	1	2	3

問 12 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 基本的なしつけや、規則正しい生活習慣を確立する
- 2 親と子が十分に話し合ったり、触れ合ったりする時間をつくる
- 3 家族と一緒に自然や文化に触れ合う時間をつくる
- 4 親が家庭教育に関する知識や情報を得る
- 5 親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる
- 6 子供の教育や子育てに関する悩みを、相談窓口相談する
- 7 家での学習や読書の習慣をつくる
- 8 自分自身や家族を大切にすることを育む
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 特にない

問 13 地域の教育力を高めるために、地域ではどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 地域の子供たちへのあいさつや声かけなどを日常的に行う
- 2 地域全体で子供を育てていこうという共通の意識を住民が持つ
- 3 大人自身のマナーやモラルを向上させる
- 4 クラブ活動や部活動の指導や教室での学習支援などで学校を手助けする
- 5 非行等問題行動に対して地域ぐるみで取り組む
- 6 年代間の交流を深めるため、地域の伝統芸能や文化活動を充実させる
- 7 地域での子供に関する活動やイベントなどを充実させる
- 8 親や子供に対して、子育てに関する講座を開催したり、チラシを配る
- 9 子供にボランティア活動の場を提供したり、指導者への支援を行う
- 10 親子や子供同士が触れ合い、関わり合い、安全に遊べる場を充実させる
- 11 健全育成に関して、話し合える場や相談窓口を充実させる
- 12 子供に有害な情報や環境を取り除く
- 13 部活動の地域展開に向けて、受け皿づくりを進める
- 14 その他（具体的に： _____)
- 15 特にない

3. ここからは、学校での教育や指導についてお伺いします

問 14 あなたは、学校での教育や指導に、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- 1 教科の学力をのばす
- 2 学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める
- 3 自分に合った学び方を学び、自ら考える力を身につける
- 4 クラスメイトと教え合うなど、みんなと一緒に学んで学ぶ力を高め合う
- 5 簡単に答えの出ない問題に対してクラスメイトなどと対話し、
みんなが納得できる答えを導き出す
- 6 日常生活や社会で起こる出来事や問題を解決するために必要な知識やスキルを身につける
- 7 外国語を用いてコミュニケーションがとれる力を身につける
- 8 日本語を適切に用いて思考力・表現力・判断力の基礎を養う
- 9 社会のルールやモラルを守る心を育む
- 10 人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む
- 11 芸術や文化を愛する心を育む
- 12 地域の伝統文化や歴史を学び、郷土愛を育む
- 13 地域や社会に貢献する公共の精神を培う
- 14 障害の有無、病気の有無などに関わりなく助け合える心を育む
- 15 将来の進路や職業を考えさせる
- 16 防災、防犯について教える
- 17 環境やエネルギーをめぐる問題について教える
- 18 健康や食について教える
- 19 健康管理、体力やスポーツの能力を向上させる
- 20 その他（具体的に： _____)
- 21 特に期待しない

問 15 市立小中学校で実施されている「言語活用科」という科目をご存じですか。

※「言語活用科」とは、生きる力の基盤となる「ことばの力」を育むため、松戸市のすべての市立小中学校で独自で実施している授業です。英語学習の基礎的な力を身につける「英語分野」と、思考・表現の基礎を学ぶ「日本語分野」から構成されています。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 内容も含めて知っている | 3 名前は知っている (内容は知らない) |
| 2 内容の一部は知っている | 4 まったく知らない |

問 16 あなたは、「言語活用科」の取り組みに、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 論理的・批判的思考力を高めること | |
| 2 コミュニケーション能力を高めること | |
| 3 自分の意見をわかりやすく伝えることができる力を高めること | |
| 4 相手の伝えようとしていることを理解する力を高めること | |
| 5 日本語で自分の意見を書く力を高めること | |
| 6 英語を学ぶ楽しさを知ること | |
| 7 その他 (具体的に： _____) | |
| 8 特に期待しない・知らない | |

問 17 あなたは、タブレットを活用した I C T (情報通信技術)教育をご存じですか。

※文部科学省では、子供たちがそれぞれの進度に合わせて学びを進められ、子供たち同士で教え合えるような授業の実現に向け、1人1台のタブレット端末を整備しています。松戸市でも1人1台端末を活用した授業に取り組んでいます。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 内容も含めて知っている | 3 名前は知っている (内容は知らない) |
| 2 内容の一部は知っている | 4 まったく知らない |

問 18 あなたは、I C T (情報通信技術)教育に、どのようなことを期待しますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------------------|---|
| 1 パソコン・タブレット・スマートフォンなどの I C T 機器を使いこなす力を身につける | |
| 2 プログラミング能力を身につける | |
| 3 生成 A I (人工知能) を適切に使う力を身につける | |
| 4 自分に合った学び方を知り、自ら考える力を身につける | |
| 5 クラスメイトなどと教え合い、みんなと一緒に学べる力を身につける | |
| 6 情報モラルを身につける | |
| 7 自宅でも学習できる | |
| 8 その他 (具体的に : |) |
| 9 特に期待しない・知らない | |

問 19 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加したことがあるものは何ですか。
現在参加しているものも含めてお答えください。 (あてはまる番号すべてに○)

- 1 学校の施設を活用した地域の行事や活動
- 2 子供たちの安全を見守る活動
- 3 学校の授業を支援する活動
- 4 P T A活動
- 5 P T A活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)
- 6 その他 (具体的に：)
- 7 参加したことはない

問 20 「学校に関する地域等の行事や活動」で、あなたが参加してみたいものは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 学校の施設を活用した地域の行事や活動
- 2 子供たちの安全を見守る活動
- 3 学校の授業を支援する活動
- 4 P T A活動
- 5 P T A活動以外の学校運営に関する活動 (地域学校協働本部など)
- 6 その他 (具体的に：)
- 7 参加できない・参加したくない

→(「参加できない・参加したくない」と回答した方)

問 21 あなたが「参加できない・参加したくない」と回答された理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 1 仕事が忙しいから
- 2 活動の間、子供や家族の面倒をみてくれる人がいないから
- 3 配偶者／パートナー／他の家族がすでに参加しているから
- 4 自分の学習活動・地域活動で忙しいから
- 5 塾や習い事に子供を通わせることで手一杯だから
- 6 自分の子供以外の子供に、どのように接していいかわからないから
- 7 子育てや教育に関心がないから
- 8 その他 (具体的に：)
- 9 特に理由はない

4. あなたのお子さんについてお伺いします。

問 22 あなたのお子さんは、以下のア)～ヌ)のような能力や態度が、どの程度身についていますか。
 お子さんが複数いらっしゃる場合は、封筒の宛名に記載のお子さんについてについてお答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

		身に ついて いる	どちらか といえば 身につ ている	あまり 身に ついて いない	身に ついて いない	まだわか らない・ 該当年齢 でない
ア)	環境やエネルギーを大切にす意識	1	2	3	4	5
イ)	健康や安全を自己管理する力	1	2	3	4	5
ウ)	基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓	1	2	3	4	5
エ)	生き方や進路について考える力	1	2	3	4	5
オ)	自ら学び、考え、主体的に行動する力	1	2	3	4	5
カ)	みんなで助け合って学び合っっていく力	1	2	3	4	5
キ)	人と対話をししていく力	1	2	3	4	5
ク)	新しいものを生み出す創造的な力	1	2	3	4	5
ケ)	表現力やコミュニケーション力	1	2	3	4	5
コ)	豊かな心や情操	1	2	3	4	5
サ)	思いやりの心や、善悪の判断など道徳心	1	2	3	4	5
シ)	物事をやり遂げる粘り強さ	1	2	3	4	5
ス)	社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ	1	2	3	4	5
セ)	社会に役立つととする心、公共心	1	2	3	4	5
ソ)	伝統や文化を大切にし、郷土・国を愛する心	1	2	3	4	5
タ)	体力や運動能力	1	2	3	4	5
チ)	朝ごはんを食べる習慣	1	2	3	4	5
ツ)	人間関係を築く力	1	2	3	4	5
テ)	集団生活での協調性や、きまりやルールを順守する心	1	2	3	4	5
ト)	教科の基礎的な学力	1	2	3	4	5
ナ)	ICT(情報通信技術)機器を活用する力	1	2	3	4	5
ニ)	情報モラル	1	2	3	4	5
ヌ)	外国語(英語など)を聞いたり、話したりする力	1	2	3	4	5

問 23 あなたのご家庭では、お子さんとのかかわりの中で、以下の事柄について日頃から心がけていますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----|--------------------------------------|---|
| 1 | 規則正しい生活習慣を身につけさせる | |
| 2 | 子供が手伝う家事の分担を決める | |
| 3 | 悪いことはきちんと叱る | |
| 4 | 自分でできることは自分でさせる | |
| 5 | 家族で食事をする | |
| 6 | 将来の夢や目標について話をする | |
| 7 | 子供の勉強をみる | |
| 8 | ものづくりや自然体験の機会をつくる | |
| 9 | 運動やスポーツをする機会をつくる | |
| 10 | 学校での出来事や相談事などを聞く | |
| 11 | 家族・地域の人にあいさつをする | |
| 12 | 学習環境を整える | |
| 13 | 地域行事への参加を促す | |
| 14 | 社会のきまりの大切さについて話をする | |
| 15 | 学校教育と社会とのつながりについて話をする | |
| 16 | 自分や家族の仕事について話をする | |
| 17 | 子供のプライバシーを尊重する | |
| 18 | 子供の人権を尊重する | |
| 19 | ゲームやスマートフォン、タブレット端末の使用についてルールや約束をつくる | |
| 20 | その他(具体的に： |) |
| 21 | 特にない・わからない | |

問 24 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------|
| 1 | そう思う | 3 | あまりそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そう思わない |

最後に、あなたご自身についてお伺いします

F 1 あなたの性別をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1 女性	2 男性	3 回答しない
------	------	---------

F 2 あなたの年齢をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1 18～19歳	6 40～44歳	11 65～69歳
2 20～24歳	7 45～49歳	12 70～74歳
3 25～29歳	8 50～54歳	13 75～79歳
4 30～34歳	9 55～59歳	14 80歳以上
5 35～39歳	10 60～64歳	

F 3 あなたと同居されているお子さんはいますか。

(あてはまる番号1つに○)

<input checked="" type="radio"/> 1 いる	2 いない
---------------------------------------	-------

→(お子さんが「いる」方)

F 4-1 あなたご自身のお子さんについて、あてはまるものをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1 乳幼児（保育園等に通園していない）	6 高校生・高等専門学校生
2 保育園・認定こども園・幼稚園	7 短大生・専門学校生
3 小学校低学年	8 大学生・大学院生
4 小学校高学年	9 社会人
5 中学生	10 その他

F 4-2 そのうち、封筒の宛名に記載のお子さんについてについて、あてはまるものをお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1 乳幼児（保育園等に通園していない）	6 高校生・高等専門学校生
2 保育園・認定こども園・幼稚園	7 短大生・専門学校生
3 小学校低学年	8 大学生・大学院生
4 小学校高学年	9 社会人
5 中学生	10 その他

F 5 あなたの世帯構成をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|--|
| 1 ひとり世帯 | |
| 2 夫婦のみ世帯 | |
| 3 親と子供世帯 | |
| 4 親と子供と孫の3年代以上の世帯 | |
| 5 その他(具体的に:) | |

F 6 あなたの職業をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 会社員 | 6 学生 |
| 2 公務員(教員、団体職員などを含む) | 7 専業主婦(夫) |
| 3 自営業(農業を含む) | 8 無職 |
| 4 アルバイトやパートなどの臨時雇用 | |
| 5 その他の職業 | |

F 7 あなたの居住地区はどこですか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 松戸(本庁)地区 | 6 東部(東松戸)地区 |
| 2 矢切地区 | 7 新松戸地区 |
| 3 小金地区 | 8 馬橋地区 |
| 4 常盤平地区 | 9 小金原地区 |
| 5 六実地区 | 10 わからない |

F 8 あなたは、松戸市教育委員会からの教育情報や市立学校からの情報を、主に何によって入手しているかお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------------------------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 7 市公式SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)(LINE・X・Facebook) |
| 2 新聞・雑誌 | 8 市教育委員会からのパンフレット類 |
| 3 広報誌(広報まつど) | 9 市立学校からのお知らせ |
| 4 広報誌(教育広報「みらいドア」) | 10 その他() |
| 5 市教育委員会のホームページ | 11 特にない |
| 6 市立学校(小・中・高)のホームページ | |

自由記入欄

(松戸市の教育に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記入してください。)

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和7年8月25日(月)までにポストにご投函ください